

# 松阪市 市民意識調査

## 【結果報告書】

平成 29 年 11 月

松阪市



## 目次

I 調査の概要.....	1
1. 調査目的.....	2
2. 調査概要.....	2
3. 報告書における図表の見方 .....	2
4. 標本誤差.....	3
II 調査結果の概要 .....	5
III 調査結果 .....	19
IV 自由回答.....	173
V 調査票.....	187



# I 調査の概要

## 1. 調査目的

本市では平成 28 年度から「松阪市総合計画～住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪～」をスタートさせました。本調査は、今後この計画を実現していくため、市の政策や行政サービスに対する市民の皆様のご意見やご要望を調査、把握するために実施しました。

## 2. 調査概要

(1) 調査の名称

松阪市市民意識調査

(2) 調査対象

市内にお住まいの 15 歳以上の方

(3) 調査時期

平成 29 年 7 月 7 日～平成 29 年 7 月 25 日

(4) 調査方法

無作為に抽出した 3,000 人の市民への郵送による調査

(5) 回収結果

調査年度	標本数	回収数	回収率(%)	有効回収数	有効回収率(%)
平成29年度(今回)	3,000	1,330	44.3	1,330	44.3
平成27年度(前回)	5,000	2,376	47.5	2,371	47.4
平成24年度	3,000	1,305	43.5	1,301	43.4
平成21年度	3,000	1,506	50.2	1,505	50.2
平成17年度	4,000	1,961	49.0	1,841	46.0

※有効回収数：回収した調査票より全て記入のない白票等を無効票とし除いた数

## 3. 報告書における図表の見方

- ①図表内の「n」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとする。
- ③集計は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表示しているため、比率の合計が 100.0% とならない場合がある。
- ④複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- ⑤クロス集計表では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがある。
- ⑥本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

#### 4. 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。定数 1.96 は、信頼率 95%と設定した場合の定数である。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n} \times 1.96}$$

N：母集団数、n：サンプル数（有効回答数）、p：回答比率

この計算式に従って算出される各調査の標本誤差は以下のとおりとなる。

##### (1) 松阪市市民意識調査 (N=165,638)

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1330	±1.60%	±2.14%	±2.45%	±2.62%	±2.67%
563 (男性)	±2.48%	±3.30%	±3.79%	±4.05%	±4.13%
749 (女性)	±2.15%	±2.87%	±3.28%	±3.51%	±3.58%



## Ⅱ 調査結果の概要

## 問2 あなたの現在の状況についておうかがいします。

「(1) 健康だと思いますか。」では、「どちらかという和健康だと思う」が45.2%と最も高く、ついで「健康だと思う」が34.7%、「どちらかという和健康だと思わない」が9.1%となっている。「(2) 現在の生活に満足していますか。」では、「どちらかという満足している」が48.0%と最も高く、ついで「満足している」が24.4%、「どちらかという満足していない」が13.2%となっている。「(3) 生活に経済的な余裕はありますか。」では、「どちらかというとある」が29.7%と最も高く、ついで「どちらかというもない」が21.9%、「ない」が21.3%となっている。また、「(4) 将来の生活に不安を感じていますか。」では、「感じている」が38.3%と最も高く、ついで「どちらかというと感じている」が34.6%、「どちらかというと感じていない」が10.7%となっている。

## 問3 あなたの生きがいについておうかがいします。

「(1) 人から頼りにされていると感じていますか。」では、「どちらかというと感じている」が40.2%と最も高く、ついで「感じている」が19.6%、「わからない」が16.2%となっている。「(2) 社会に貢献(他人のために何かを)していると感じていますか。」では、「どちらかというと感じている」が29.8%と最も高く、ついで「感じていない」が20.8%、「どちらかというと感じていない」が17.4%となっている。「(3) 自分が活躍する場はありますか。」では、「どちらかというとある」が32.0%と最も高く、ついで「ある」が25.3%、「どちらともいえない」が15.1%となっている。また、「(4) 余暇は充実していますか。」では、「どちらかという充実している」が36.9%と最も高く、ついで「充実している」が21.7%、「どちらともいえない」が14.3%となっている。「(5) 生きがいにしてしているものはありますか。」では、「ある」が35.4%と最も高く、ついで「どちらかというとある」が30.4%、「ない」が11.7%となっている。「(6) 地域への愛着はありますか。」では、「どちらかというとある」が33.2%と最も高く、ついで「ある」が33.1%、「どちらともいえない」が13.8%となっている。

## 問4 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

「(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。」では、「どちらかというとしていない」が29.5%と最も高く、ついで「していない」が26.3%、「どちらかというとしている」が25.9%となっている。「(2) 健康づくりのために、ウォーキングや体調管理をしていますか。」では、「していない」が30.9%と最も高く、ついで「どちらかというとしている」が25.2%、「している」が22.0%となっている。「(3) かかりつけ医がいますか。」では、「いる」が69.5%と最も高くなっている。また、「(4) あなたはこの1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。」では、「特にしていない」が48.0%と最も高く、ついで「週に2~3回」が12.4%、「週に1回」が9.4%となっている。「(5) 最近(この2~3年間で)、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。」では、「利用したことがない」が73.0%と最も高くなっている。

**問5 あなたの結婚や子育てについてのお考えなどをおうかがいします。**

「(1) あなたの婚姻状況について」では、「既婚(事実婚を含む)」が69.3%と最も高くなっている。「(2) あなたはお子さん(自立しているお子さんも含む)がいらっしゃるでしょうか。」では、「2人」が44.1%と最も高く、ついで「いない」が22.8%、「1人」が15.0%となっている。子どものいる人に対する「(3) お子さんの就学区分をお答えください。」では、「その他(乳幼児・社会人・無職等を含む)」が59.0%と最も高く、ついで「小学生」が13.0%、「高校生」が10.6%となっている。「(4) あなたにとって、理想的な子どもの数をお答えください。」では、「2人」が44.1%と最も高く、ついで「3人」が29.6%、「わからない」が8.9%となっている。「(5) 松阪市における子育ての環境や支援への満足度について、あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。」では、「ふつう」が30.1%と最も高く、ついで「わからない」が27.4%、「やや不満」が11.3%となっている。

**問6 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。**

「(1) あなたのお住まいの地域の住民協議会(まちづくり協議会)を知っていますか。」では、「知っている」が35.5%と最も高く、ついで「知らない」が31.7%、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が31.3%となっている。「(2) あなたのお住まいの地域の住民協議会(まちづくり協議会)に期待する活動は何ですか。」では、「防災、防犯、交通安全等に関すること」が66.8%と最も高く、ついで「福祉、健康づくり等に関すること」が42.6%、「環境美化、環境保全等に関すること」が30.2%となっている。また、「(3) あなたはお住まいの地域の住民協議会(まちづくり協議会)のまちづくり活動に参加していますか。」では、「参加していない」が72.4%と最も高くなっている。

**問7 あなたが幸福な生活を送るにあたって望むことについておうかがいします。**

「(1) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。」では、「健康であること」が89.8%と最も高くなっている。「(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになるのが良いと思いますか。」では、「安心して医療を受けることができるまち」が56.0%と最も高く、ついで「犯罪が少ないまち」が34.1%、「安心して子育てができるまち」が32.0%となっている。

**問8 あなたは今、幸せだと感じますか。**

「どちらかという和幸福だと感じる」が62.6%と最も高くなっている。

**問9 問8の質問で、幸せを判断するときに重視したことは何ですか。**

「健康」を1位とする割合が最も高く、61.0%となっている。ついで2位では「家族との関係」が高くなっており、26.2%、3位では「家計(所得・消費)」で16.7%であった。

**問 10 市全般に関することについておうかがいします。**

「(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。」では、「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が 35.7%と最も高く、ついで「医療施設、救急医療が整っている」が 28.3%、「買い物が便利」が 27.1%となっている。「(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。」では、「交通マナーが悪い」が 37.2%と最も高く、ついで「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が 36.9%、「買い物が不便」が 14.4%となっている。「(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。」では、「どちらかという住みやすい」が 57.7%と最も高く、ついで「住みやすい」が 17.5%、「どちらともいえない」が 13.9%となっている。

**問 11 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(32)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。**

満足度(「満足」「やや満足」の合計)が高いものとして、「上水道の整備」が最も高く、42.4%となっているほか、「保健・医療の推進」が 26.4%、「廃棄物(ごみ)対策の整備」が 25.6%となっている。一方で不満度(「やや不満」「不満」)が高いものは、「公共交通の整備」が 52.5%、「市街地・拠点等の整備」が 37.8%、「交通安全対策の整備」が 37.6%となっている。重要度(「重要」「やや重要」の合計)が高いものとして、「防災対策の整備」が 77.2%、「保健・医療の推進」が 73.3%、「交通安全対策の整備」が 72.9%となっている。

**問 12 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。**

「ふつう」が 58.0%と最も高くなっている。

**問 13 あなたは松阪市の総合計画「住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪」を知っていますか。**

「知らない」が 77.1%と最も高くなっている。

## 幼稚園及び小中学校におけるエアコンの設置について

**問 14 幼稚園及び小中学校の教室にエアコンは必要だと思いますか。**

「必要だと思う」が 72.5%と最も高くなっている。

**問 15 必要だと思う理由は何ですか。**

「熱中症が心配だから」が 69.7%と最も高く、ついで「授業への集中力が高まるから」が 67.5%、「地球温暖化等で暑くなっているから」が 49.2%となっている。

**問 17 必要ないと思う理由は何ですか。**

「扇風機の設置など空調機器以外の方法もあると思うから」が 65.2%と最も高く、ついで「教室の室温低下が体の冷えなど健康面にマイナスとなるから」が 48.2%、「(学校には夏休み等があり)空調機器の使用期間を考えると必要ないと思うから」が 44.0%となっている。

## 幼稚園及び小中学校のトイレ洋式化について

問 19 幼稚園及び小中学校のトイレの洋式化を、現状より進めることが必要と思いますか。  
「必要だと思う」が 59.4%と最も高くなっている。

問 20 全体として洋式と和式の割合は、どのくらいがよいと思いますか。  
「洋式化率 100%」が 40.8%と最も高く、ついで「洋式化率 99%～71%」が 28.0%、  
「洋式化率 70%～51%」が 20.9%となっている。

問 21 必要だと思う理由は何ですか。  
「生活様式が変わり、洋式が一般的になっているから」が 74.2%と最も高く、ついで「洋式に慣れているから」が 38.9%、「子ども達が和式を使用したことがあまりなく敬遠するから」が 27.8%となっている。

問 22 必要ないと思う理由は何ですか。  
「和式にも対応できるようになって欲しいから」が 67.1%と最も高く、ついで「足腰が弱くなるから」が 36.0%、「改修費用を要するから」が 34.8%となっている。

問 23 子どもたちが通常使うトイレを洋式化した場合、洋式トイレの種類は、次のうちどれが最適と考えますか。  
「通常の洋式便座（温水洗浄機能や暖房機能がない洋式便座）」が 37.5%と最も高く、ついで「暖房便座（温水洗浄機能はなく、暖房機能のみの洋式便座）」が 24.2%、「温水洗浄機能付き暖房便座」が 16.3%となっている。

## ひとり親・多子世帯への支援策について

問 25 あなたは、ひとり親世帯（子どもが 18 歳未満）ですか。  
「いいえ」が 84.8%となっている。

問 26 あなたは、ひとり親世帯（子どもが 18 歳未満）の子育てには、更なる支援が必要だと思いますか。  
「母子家庭・父子家庭どちらにも必要」が 62.3%と最も高くなっている。

問 27 あなたは、ひとり親世帯（子どもが 18 歳未満）の子育てには、どのような支援が必要だと思いますか。  
「仕事と子育てを両立できる職場環境の整備」が 71.5%と最も高く、ついで「経済的負担の軽減」が 61.1%、「就職又は再就職への支援」が 24.3%となっている。

- 問 28 あなたは、多子世帯（18 歳未満の子どもが 3 人以上）ですか。  
「いいえ」が 81.9%と最も高くなっている。
- 問 29 18 歳未満のお子さんは何人ですか。  
「3 人」が 80.0%と最も高くなっている。
- 問 30 あなたは、多子世帯（18 歳未満の子どもが 3 人以上）の子育てには、更なる支援が必要だと思いませんか。  
「子どもが 3 人以上の世帯に必要」が 38.3%と最も高く、ついで「必要なし」が 21.1%、「子どもが 4 人以上の世帯に必要」が 12.3%となっている。
- 問 31 あなたは、多子世帯（18 歳未満の子どもが 3 人以上）の子育てには、どのような支援が必要だと思いませんか。  
「経済的負担の軽減」が 76.1%と最も高く、ついで「仕事と子育てを両立できる職場環境の整備」が 53.8%、「保健・医療の充実」が 28.9%となっている。

## 交通安全対策について

- 問 32 松阪市は他自治体に比べて交通事故が多いことを知っていますか。  
「よく知っている」が 52.6%と最も高く、ついで「少し知っている」が 27.1%、「あまり知らない」が 12.9%となっている。
- 問 33 松阪市で交通事故が多い原因は何だと思いませんか。  
「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が 78.1%と最も高く、ついで「歩行者や自転車運転者が交通ルールやマナーを守らない」が 59.7%、「道幅が狭い道路が多い」が 43.2%となっている。
- 問 34 松阪市の交通安全対策は、ソフト面、ハード面のどちらの対策を優先すべきだと思いますか。  
「ソフト面（交通安全啓発、交通安全教育など）」が 46.8%と最も高く、ついで「ハード面（道路の整備など）」が 40.7%となっている。
- 問 35 交通事故を減少させるため、どのような活動が必要だと思いませんか。  
「カーブミラーの増設」が 37.3%と最も高く、ついで「道路拡張等の道路改良」が 34.9%、「交通取締の強化」が 33.8%となっている。
- 問 36 あなたは自転車に乗りますか。  
「全く乗らない」が 57.5%と最も高く、ついで「週 1 回以下しか乗らない」が 18.7%、「ほぼ毎日乗る」が 12.0%となっている。

問 37 あなたは現在自転車保険に加入していますか。

「加入していない」が 57.7%と最も高く、ついで「加入している」が 33.3%となっている。

問 37-1 自転車保険に加入している方は保険の種類もお選びください。

「民間保険会社の保険」が 42.4%と最も高く、ついで「T Sマーク付帯保険」が 31.6%、「その他の保険」が 5.6%となっている。

問 38 自転車保険への加入を促進するためには、どのような施策が必要だと思いますか。

「加入の義務化」が 44.5%と最も高く、ついで「自転車保険の重要性に関する啓発」が 34.4%、「加入に対する県や市の補助」が 31.4%となっている。

問 39 運転免許証自主返納制度を知っていますか。

「知っている」が 95.7%と最も高くなっている。

問 40 あなたは将来的に自主返納するつもりはありますか。

「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」が 73.9%と最も高く、ついで「家庭の事情等で運転する必要が無くなれば返納するつもりである」が 27.0%、「返納者への支援対策等が整備されれば返納するつもりである」が 22.9%となっている。

問 41 返納者に対してどのような支援対策が必要だと思いますか。

「公共交通機関（タクシーを含む）の運賃割引」が 69.7%と最も高く、ついで「バスの運行範囲拡大」が 50.2%、「公共交通機関の増発」が 41.9%となっている。

## コミュニティ交通について

問 42 ご家族（あなたを含みます。以下同じ。）で、日常生活においてバス（民間路線バス、コミュニティバスを問いません。以下同じ。）を利用される方はいらっしゃいますか。いらっしゃる場合、その利用頻度はどのくらいですか。

「いない」が 84.0%と最も高くなっている。

問 43 利用されない理由は何ですか。

「移動手段は他の方法（自動車、自転車など）」が 75.4%と最も高く、ついで「近くにバス停がない」が 29.3%、「適当な運行ダイヤがない」が 20.1%となっている。

問 44 ご家族にとって、現在あるいは近い将来、バスは必要ですか。

「近い将来必要となる」が 39.4%と最も高く、ついで「必要である」が 31.7%、「必要でない」が 25.7%となっている。

問 45 バスの主な利用目的は何ですか。

「通勤・通学」が 27.6%と最も高く、ついで「通院」が 25.0%、「買い物」が 17.1%となっている。

問 47 コミュニティバス関係予算のうち、大部分を占める運行経費は、運賃（約 2,480 万円）のほか、松阪市の特色である、企業や地域・沿線住民からの協賛金（約 1,520 万円）により賄われていることをご存知ですか。

「知らなかった」が 70.2%と最も高くなっている。

問 48 この現状をふまえて、あなたはコミュニティバスの運賃がいくらまでなら利用しますか。

「200 円まで」が 42.9%と最も高く、ついで「300 円まで」が 22.3%、「100 円まで」が 17.8%となっている。

問 49 運行経費が増加する一方で、依然として公共交通の利用が困難な地域があり、過疎化・高齢化社会の進展や運転免許の自主返納者の増加などを要因として、コミュニティバスに対するニーズも高まっています。松阪市のコミュニティ交通について、あなたの考えに 1 番近いものはどれですか。

「現在の路線を維持しながら、公共交通利用が困難な地域を中心に路線を拡充」が 50.1%と最も高く、ついで「必要なものであるから、積極的に経費をかけて路線を拡充」が 22.7%、「利用の少ない路線やバス停の合理化・廃止などにより経費を削減」が 9.3%となっている。

## 救急医療体制などについて

問 50 休日夜間応急診療所など休日や年末年始、夜間に初期救急に対応する診療所をご存知ですか。

「知っていた」が 88.1%と最も高くなっている。

問 51 松阪市の休日夜間の応急診療は、「休日夜間応急診療所（春日町）」と松阪市が委託している「いおうじ応急クリニック（久保町）」があります。ご存知でしたか。

「休日夜間応急診療所のみ知っていた」が 45.6%と最も高く、ついで「両方知っていた」が 38.3%、「両方知らなかった」が 12.1%となっている。

問 52 今までに、「休日夜間応急診療所（春日町）」、「いおうじ応急クリニック（久保町）」を受診したことがありますか。

「休日夜間応急診療所（春日町）」を受診したことがある」が 45.8%と最も高く、ついで「受診したことはない」が 45.6%、「両方受診したことがある」が 4.3%となっている。

問 53 かかりつけ医などの医療機関を受診せず応急診療所を受診した理由は何ですか。

「診療時間外の急病・不意なケガ」が 95.8%と最も高く、ついで「診療時間内は仕事の都合で受診できなかった」が 2.6%、「診療時間内は家族の都合で受診できなかった」が 1.2%となっている。

問 54 応急診療所は、応急的な診療のみで、後でかかりつけ医など医療機関にかかっていたら必要があります。このことをご存知ですか。

「知っていた」が 76.2%と最も高くなっている。

問 55 急な発熱、不意のケガなど応急手当等の相談に医師、看護師、保健師等が 24 時間無料で相談ができる「松阪地区救急相談ダイヤル 24」（☎0120-4199-17）をご存知ですか。

「知らなかった」が 55.6%と最も高く、ついで「知っていた」が 40.9%となっている。

## 健康づくりについて

問 56 検診についてお聞きします。この 1 年間に次のがん検診を受診しましたか。

「大腸がん検診（便潜血検査）」が最も高く 44.8%、ついで「肺がん検診」が 41.2%、「胃がん検診」が 40.6%となっている。

問 57 がん検診を受けなかった理由は何ですか。

「健康だと思うから」が 31.4%と最も高く、ついで「忙しいから」が 26.8%、「面倒だから」が 15.9%となっている。

問 58 COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気を知っていますか。

「知らない」が 57.8%と最も高くなっている。

問 59 「ロコモティブシンドローム」を知っていますか。

「知らない」が 63.3%と最も高くなっている。

## 働き方改革について

問 60 ご家族（あなたを含みます。）の中で、働いている方はいらっしゃいますか。

「いる」が 74.8%と最も高くなっている。

問 61 職場で定められた 1 日の労働時間を上回って労働することがどのくらいありますか。

「ない」が 30.9%と最も高く、ついで「ほぼ毎日」が 27.7%、「週 1~3 回程度」が 20.6%となっている。

問 62 時間外労働の削減のためにどのような取組が必要だと思いますか。

「経営者・事業主が主導する自発的な意識改革」が 47.0%と最も高く、ついで「定時退社の徹底（「ノー残業デー」「ノー残業ウィーク」の導入など）」が 28.5%、「有給休暇取得の促進（月 1 日取得、連休に絡めた連続取得の徹底など）」が 25.9%となっている。

問 63 「ワーク・ライフ・バランス」について知っていますか。

「言葉も意味も知らない」が 40.8%と最も高く、ついで「言葉も意味も知っている」が 32.0%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が 19.9%となっている。

問 64 満足した「ワーク・ライフ・バランス」がとれていると思いますか。

「どちらかといえばとれている」が 26.5%と最も高く、ついで「わからない」が 20.8%、「とれていない」が 17.5%となっている。

問 65 「ワーク・ライフ・バランス」を充実させようとする際に、課題と覚えることは何ですか。

「仕事が忙しい」が 33.8%と最も高く、ついで「経済的余裕がない」が 28.4%、「会社等で育児や介護等の休暇制度が整備されていない、または取得しにくい」が 17.4%となっている。

問 66 「ワーク・ライフ・バランス」が実現された社会に近づくために、どのような取組が必要だと思いますか。

「会社等が、有給休暇の取得や労働時間の削減に向けた取組を進める」が 34.2%と最も高く、ついで「一人ひとりが、ワーク・ライフ・バランスの考え方について理解を深める」が 29.8%、「会社等が、育児や介護等の休暇制度を整備・充実させる」が 28.3%となっている。

問 67 女性や高齢者が長く働ける労働環境づくりのためにどのような取組が必要だと思いますか。

「高齢者の就業促進」が 33.2%と最も高く、ついで「就業形態や就業時間など多様な働き方の取組」が 32.9%、「介護支援」が 29.4%となっている。

## 松阪市の都市機能について

問 68 今後 20 年間の松阪市のまちづくりを進めるにあたり、次の各項目の重要度に関して、あなたのお考えに近いものをそれぞれ 1 つずつ選んで○をつけてください。

「重要」「やや重要」の合計の割合が高くなっているのは、「空き家・空き地などの対策」が 67.7%、「雇用の場の確保」が 66.9%、「松阪駅周辺の賑わいの向上」が 63.7%となっている。

問 69 松阪市に不足していると感じている施設、機能は何ですか。

「公共交通機関」が 34.4%と最も高く、ついで「商業施設、ショッピングモール、デパートなど」が 34.2%、「働く場所（工場など）」が 32.9%となっている。

問 70 お住まいの地域の鉄道駅や地域振興局、地区市民センター周辺等に必要な施設は何ですか。

「食料品、日用品購入のための商業施設」が 28.7%と最も高く、ついで「災害時の避難所」が 28.3%、「医療施設」が 26.7%となっている。

問 71 自宅から徒歩 10 分圏内にある施設をお答えください。

「医療施設」が 43.2%と最も高く、ついで「食料品、日用品購入のための商業施設」が 42.6%、「公民館、市民センターなどの集会施設」が 41.2%となっている。

問 72 あなたの外出状況（頻度）について①～⑤の目的ごとにお答えください。

「①通勤・通学」では、「ほぼ毎日」が 49.7%と最も高く、ついで「週 2～4 日」が 12.8%、「年に数回以下（0 回も含む）」が 8.8%となっている。「②買い物」では、「週 2～4 日」が 45.5%と最も高く、ついで「ほぼ毎日」が 23.5%、「週 1 日」が 16.5%となっている。また、「③通院・介護福祉施設への通所」では、「年に数回以下（0 回も含む）」が 41.8%と最も高く、ついで「月に 1 回」が 28.8%、「月に 2～3 回」が 12.5%となっている。「④地域での活動」では、「年に数回以下（0 回も含む）」が 65.0%と最も高く、ついで「月に 1 回」が 10.5%、「月に 2～3 回」が 6.8%となっている。「⑤飲食・レジャー」では、「月に 2～3 回」が 24.4%と最も高く、ついで「月に 1 回」が 22.6%、「年に数回以下（0 回も含む）」が 17.2%となっている。

問 73 あなたの 1 日の平均歩行時間はどの程度ですか。

「30 分～1 時間」が 25.0%と最も高く、ついで「15 分～30 分」が 22.8%、「15 分未満」が 22.6%となっている。

問 74 バスや電車をどれくらいの頻度で利用しますか。

「年に数回以下（0 回も含む）」が 69.5%と最も高くなっている。

問 75 電車やバスなど、公共交通機関に乗るまでの待ち時間はどの程度であれば待ちますか。

「10 分～30 分」が 56.5%と最も高く、ついで「10 分未満」が 27.8%、「30 分～60 分」が 5.3%となっている。

問 76 公共施設（市役所など）、商業施設等（スーパー、病院など）への移動について、自宅及び駅、バス停からの距離がどの程度であれば徒歩で移動をしようと思いますか。

「①医療・福祉施設」では、「徒歩 5 分～10 分で移動可能な距離」が 41.3%と最も高く、ついで「徒歩 10 分～20 分で移動可能な距離」が 26.2%、「徒歩 1 分～5 分で移動可能な距離」が 14.7%となっている。「②商業施設」では、「徒歩 5 分～10 分で移動可能な距離」が 38.9%と最も高く、ついで「徒歩 10 分～20 分で移動可能な距離」が 25.8%、「徒歩 1 分～5 分で移動可能な距離」が 13.9%となっている。「③集会所・公共施設」では、「徒歩 5 分～10 分で移動可能な距離」が 44.7%と最も高く、ついで「徒歩 10 分～20 分で移動可能な距離」が 22.9%、「徒歩 1 分～5 分で移動可能な距離」が 18.0%となっている。

問 77 あなたは現在お住いの地域、住居に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたい」が 58.9%と最も高く、ついで「特に考えていない」が 21.4%、「市内の他の場所へ移りたい」が 7.1%となっている。

問 78 住み続けたい理由は何ですか。

1位の理由では「自分（もしくは親族）の家、土地であるから」が 43.3%と最も高く、2位の理由では「長く同じ場所で生活しているから」が 14.6%、3位の理由では「長く同じ場所で生活しているから」が 19.8%と最も高くなっている。

問 79 住み続けたいと思わない理由は何ですか。

1位の理由では「日常生活に必要な商業施設や医療施設が整っていないから」が 22.6%と最も高く、2位の理由では「鉄道やバスなど公共交通機関の利用に不便な場所だから」が 24.7%、3位の理由では「通勤、通学に不便だから」「幹線道路へ出づらい環境だから」が 11.8%と最も高くなっている。

## 広報について

問 80 松阪市の情報を主にどのような方法で得ていますか。

「広報まつさか」が 75.3%と最も高く、ついで「自治会などの回覧」が 45.5%、「新聞」が 27.1%となっている。

問 81 広報まつさかを読んでいますか。

「毎月読んでいる」が 35.1%と最も高く、ついで「大体読んでいる」が 23.5%、「時々読む」が 21.9%となっている。

問 82 広報まつさかのよく読む記事を次のうちから選んでください。

「イベント・講座案内」が 41.4%と最も高く、ついで「まちのできごと」が 39.8%、「特集」が 36.5%となっている。

問 84 松阪市ホームページを利用していますか。

「見たことがない」が 56.5%と最も高く、ついで「年1回以上」が 22.3%、「月1回以上」が 8.8%となっている。

問 85 松阪市ホームページを利用する目的は何ですか。

「戸籍、住民票、税金などの手続きについて調べるため」が 16.4%と最も高く、ついで「催し・観光情報を調べるため」が 14.4%、「公共施設について調べるため」が 13.1%となっている。

問 86 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありますか。

「見たことがない」が 63.2%と最も高く、ついで「必要なとき」が 20.3%、「月 1 回以上」が 3.8%となっている。

問 87 ご覧になった番組をお聞かせください。

「アイウエーブまつさか（行政情報・地域情報など）」が 26.1%と最も高く、ついで「特集（松阪歴史探訪・いきいき健康情報など）」が 10.1%、「市議会放送」が 5.2%となっている。

問 88 行政チャンネルでどんな番組や情報があれば視聴したいと思いますか。

「イベント・講座情報」が 33.6%と最も高く、ついで「まちのできごと」が 28.7%、「各種手続き・行政情報」が 16.5%となっている。

## 総合窓口の設置について

問 90 市の窓口サービスに期待することは何ですか。

「待ち時間の短縮、混雑の緩和」が 47.7%と最も高く、ついで「申請書類等の簡素化（1枚の申請書でいくつかの手続きができる等）」が 41.7%、「窓口の総合化・複合化（1つの窓口でいくつかの手続きができる等）」が 29.9%となっている。

問 91 「総合窓口」を実施する場合、どのような「総合窓口」を実現することが重要であると思いますか。

「申請書等が簡素化された窓口（1枚の申請書でいくつかの手続きができる等）」が 35.4%と最も高く、ついで「待ち時間が短い窓口」が 29.5%、「総合的な相談ができる窓口」が 25.9%となっている。

## 市職員に対する市民の満足度について

問 92 この 1 年間で市職員に接したことはありますか。

「ある」が 71.0%と最も高くなっている。

問 93 職員の基本マナーについてどう思いますか。

「ふつう」が 42.9%と最も高く、ついで「良い」が 27.4%、「やや良い」が 14.1%となっている。

問 94 職員の話し方、聞き方についてどう思いますか。

「ふつう」が 43.9%と最も高く、ついで「良い」が 25.3%、「やや良い」が 15.3%となっている。

**問 95 職員の説明についてどう思いますか。**

「ふつう」が 43.7%と最も高く、ついで「良い」が 22.8%、「やや良い」が 17.1%となっている。

**問 96 職員の対応時間についてどう思いますか。**

「ふつう」が 44.3%と最も高く、ついで「満足」が 17.8%、「やや満足」が 17.3%となっている。

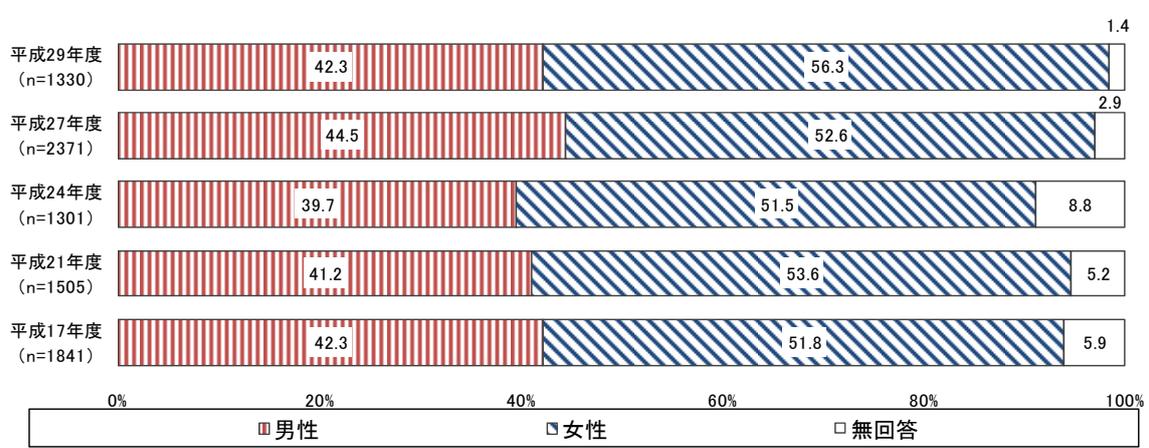
**問 97 より良い市民サービスを提供する上で、職員が改善すべき点は何だと思いませんか。**

「説明・用語の分かりやすさ」が 44.2%と最も高く、ついで「対応の迅速さ」が 36.5%、「態度・動作」が 32.2%となっている。

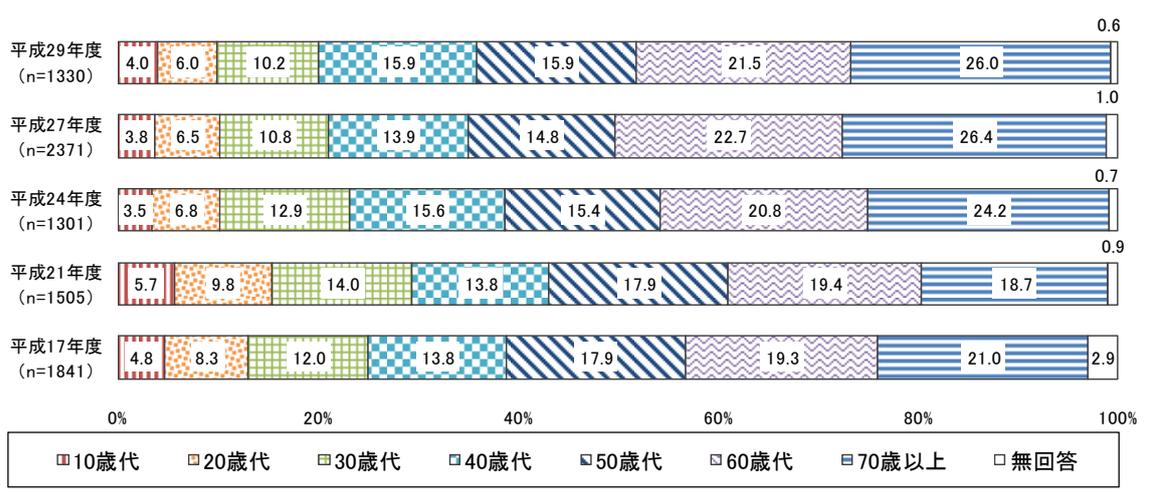
## Ⅲ 調査結果

問1 あなた自身に該当するものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

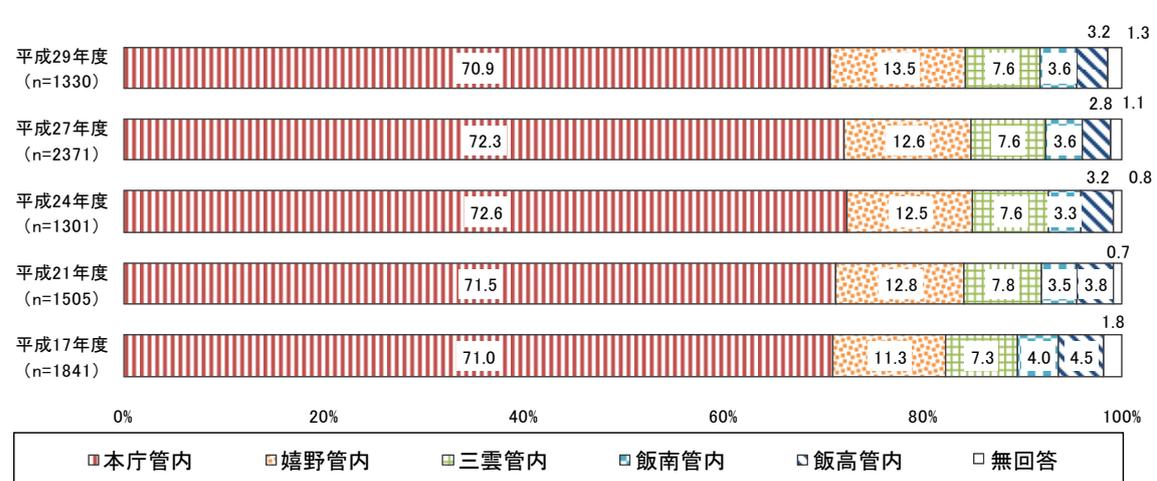
(1) 性別



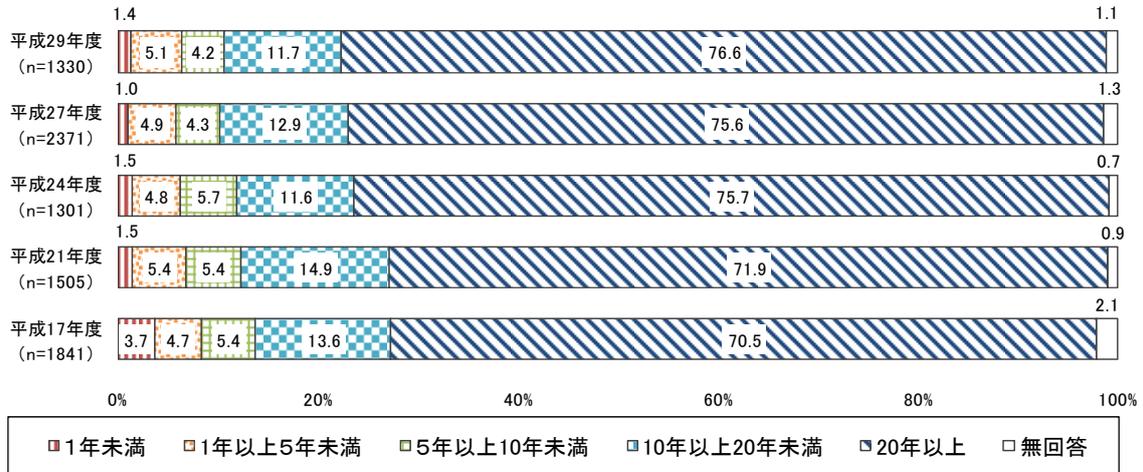
(2) 年齢



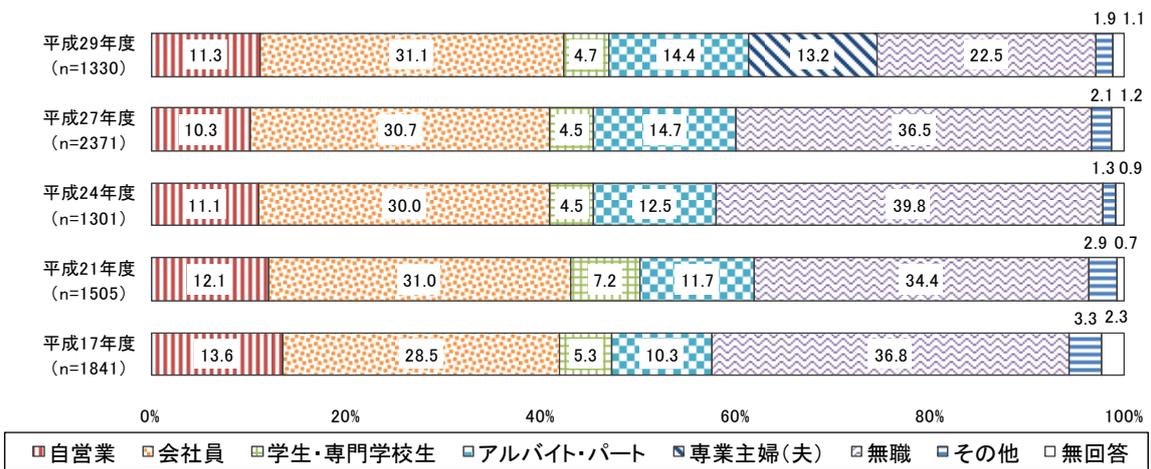
(3) 居住地



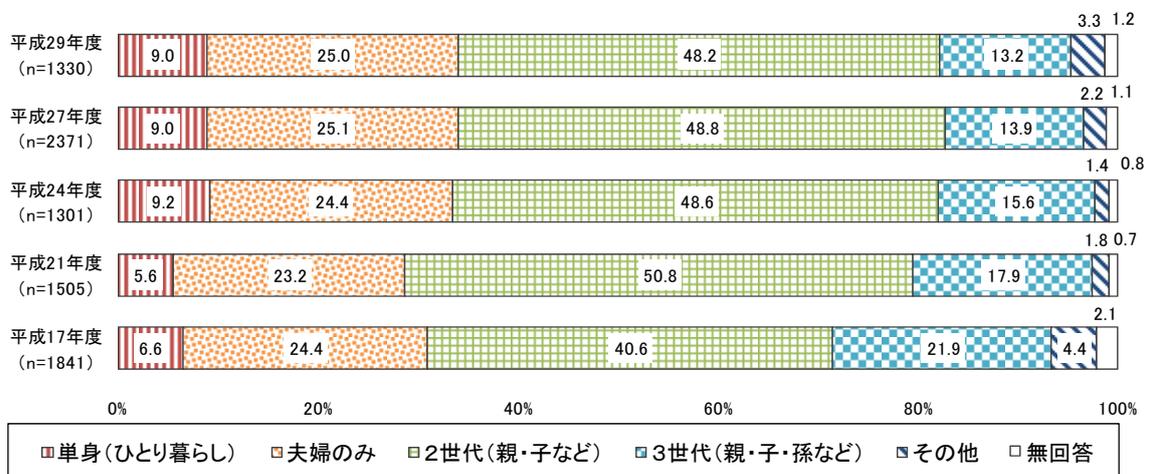
#### (4) 居住年数



#### (5) 職業



#### (6) 家族構成



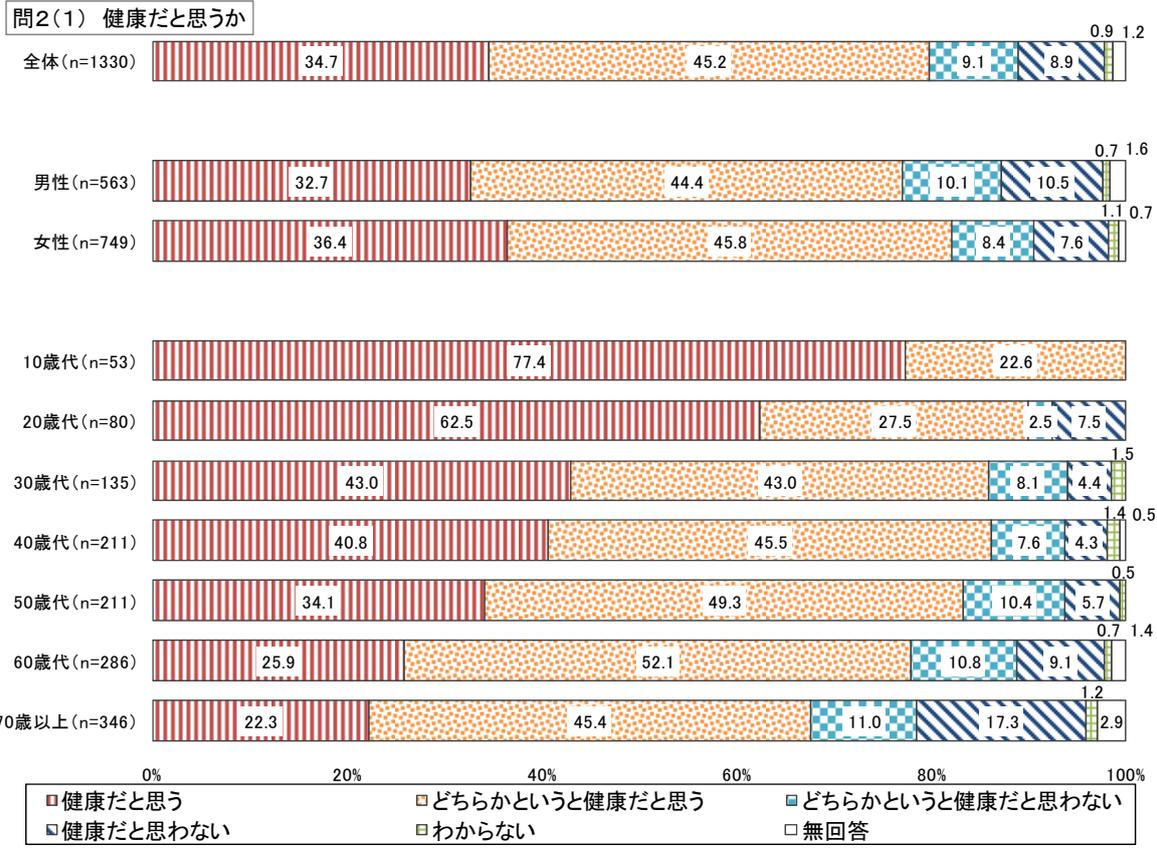
問2 あなたの現在の状況についておうかがいします。

(1) 健康だと思えますか。(〇は1つだけ)

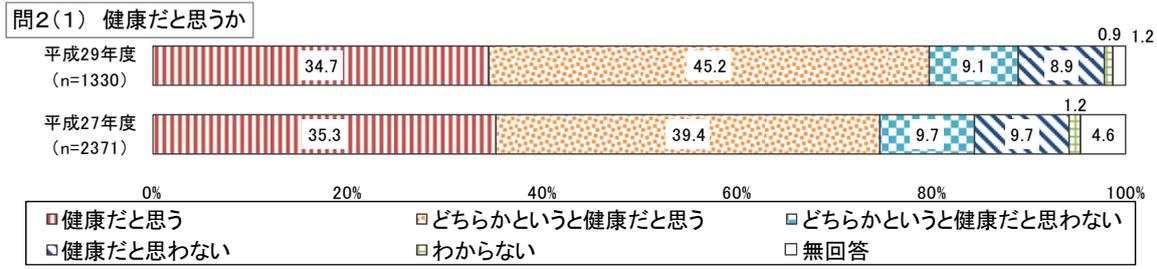
「どちらかという健康だと思える」が45.2%と最も高く、ついで「健康だと思える」が34.7%、「どちらかという健康だと思わない」が9.1%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「どちらかという健康だと思える」が最も高くなっており、男性44.4%、女性45.8%となっている。

年代別にみると、「健康だと思える」が年代が上がるにつれて減少している一方で、「どちらかという健康だと思わない」「健康だと思わない」が増加している。



前回と比較すると、「健康だと思える」「どちらかという健康だと思える」を合計した割合が79.9%で前回よりも5ポイント程度増加している。

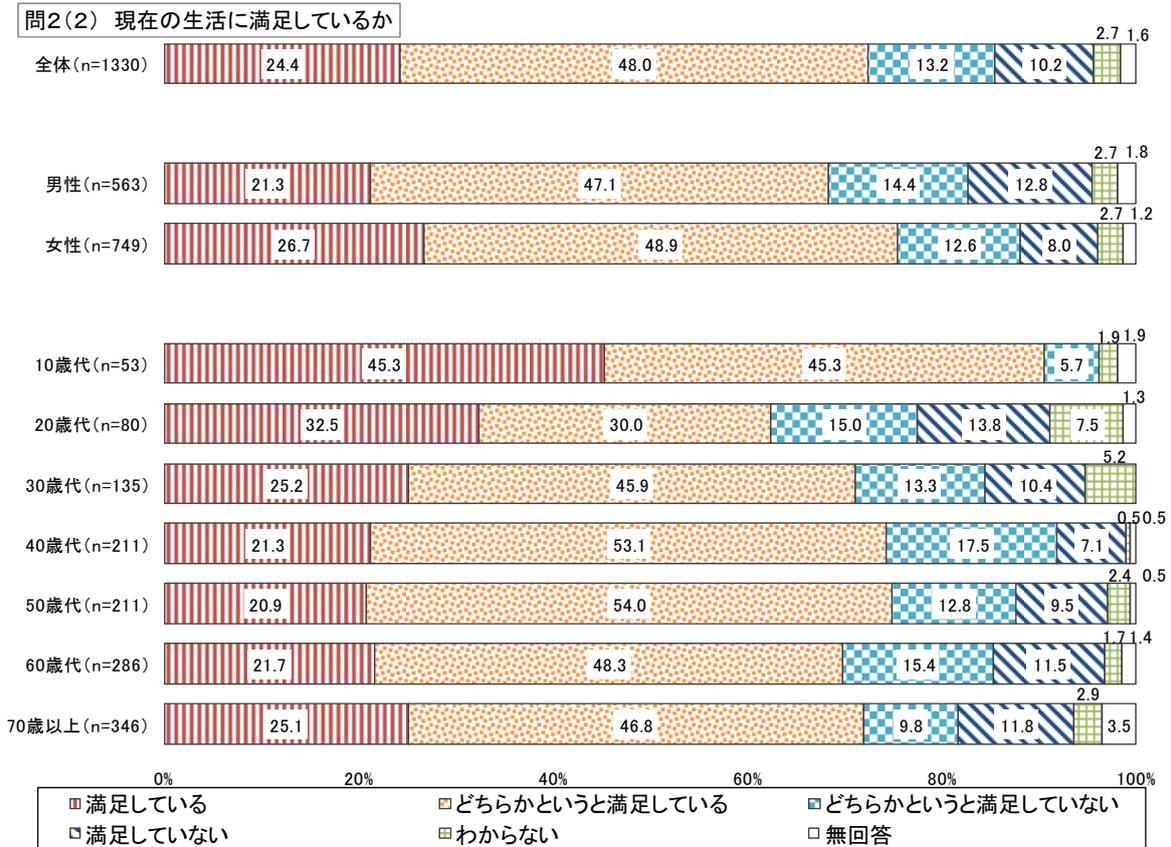


(2) 現在の生活に満足していますか。(〇は1つだけ)

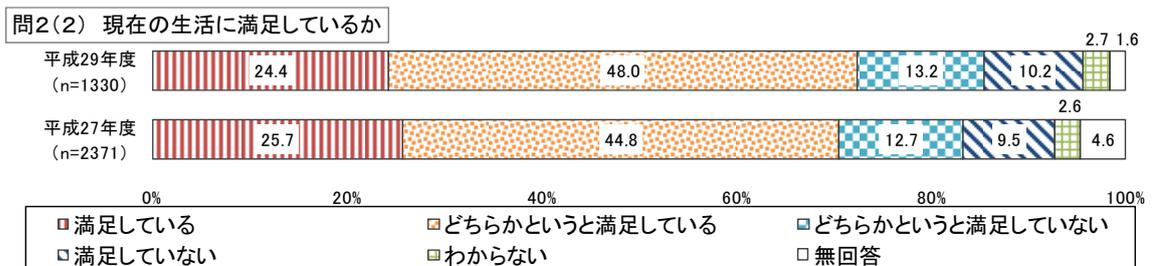
「どちらかという満足している」が48.0%と最も高く、ついで「満足している」が24.4%、「どちらかという満足していない」が13.2%となっている。

性別にみると、女性の方が男性よりも「満足している」「どちらかという満足している」の割合が高くなっている。

年代別では、10歳代の「満足している」の割合が高く、他の世代よりも10ポイント以上高くなっている。しかし、20歳代になると「どちらかという満足していない」「満足していない」の合計の割合が年代別で最も高くなっている。



前回と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、「どちらかという満足している」がやや増加して48.0%となっている。

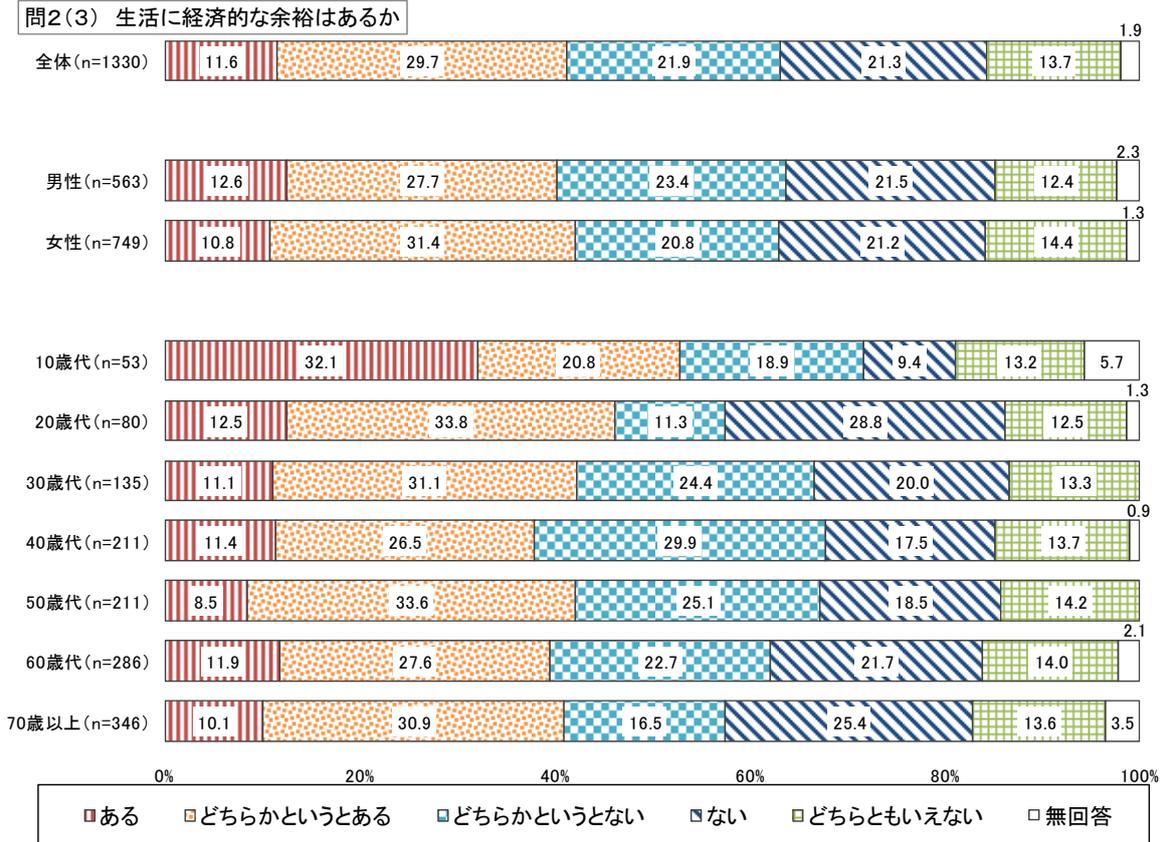


### (3) 生活に経済的な余裕はありますか。(〇は1つだけ)

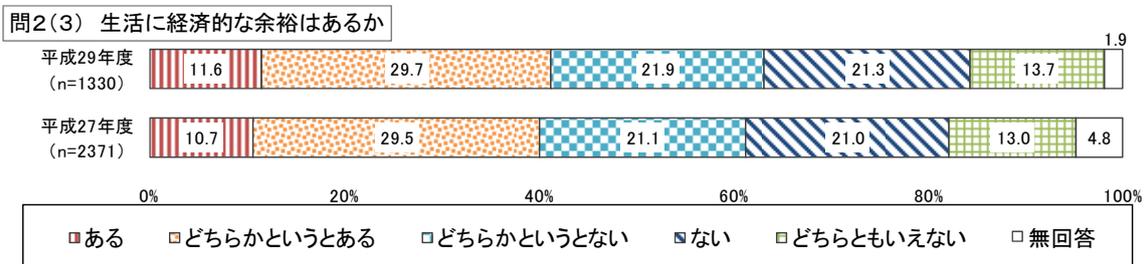
「どちらかというところある」が29.7%と最も高く、ついで「どちらかというところない」が21.9%、「ない」が21.3%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに概ね同様の傾向を示しているが、「どちらかというところない」の割合が男性でやや高くなっている。

10歳代では「ある」「どちらかというところある」の合計の割合が、年代別で最も高く、5割を超えているが、その割合は年代が上がるごとに徐々に減少していき、40歳代で最も低くなっている。



前回と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、「ある」の割合がわずかに増加している。

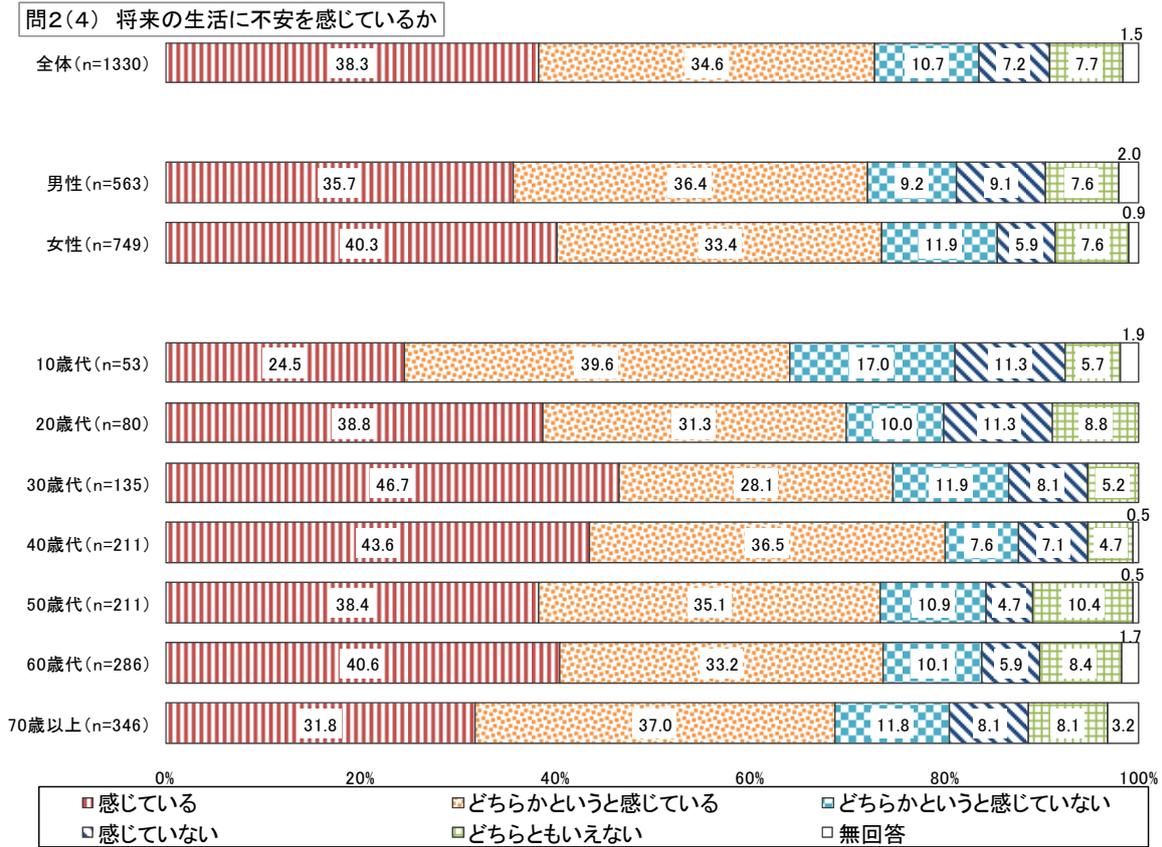


(4) 将来の生活に不安を感じていますか。(〇は1つだけ)

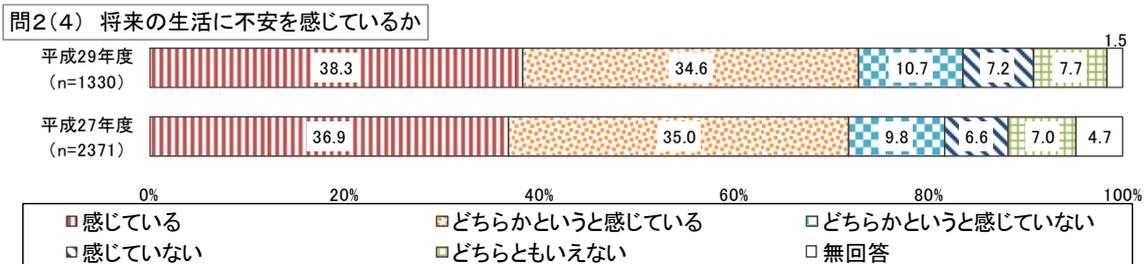
「感じている」が38.3%と最も高く、ついで「どちらかというと感じている」が34.6%、「どちらかというと感じていない」が10.7%となっている。

性別では、女性の方が男性よりも「感じている」の割合が高く、4割を超えている。

年代別では、10歳代では「感じている」「どちらかというと感じている」の合計の割合が64.1%と最も低く、40歳代では80.1%と最も高くなっている。



前回と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、「感じている」の割合がわずかに増加している。



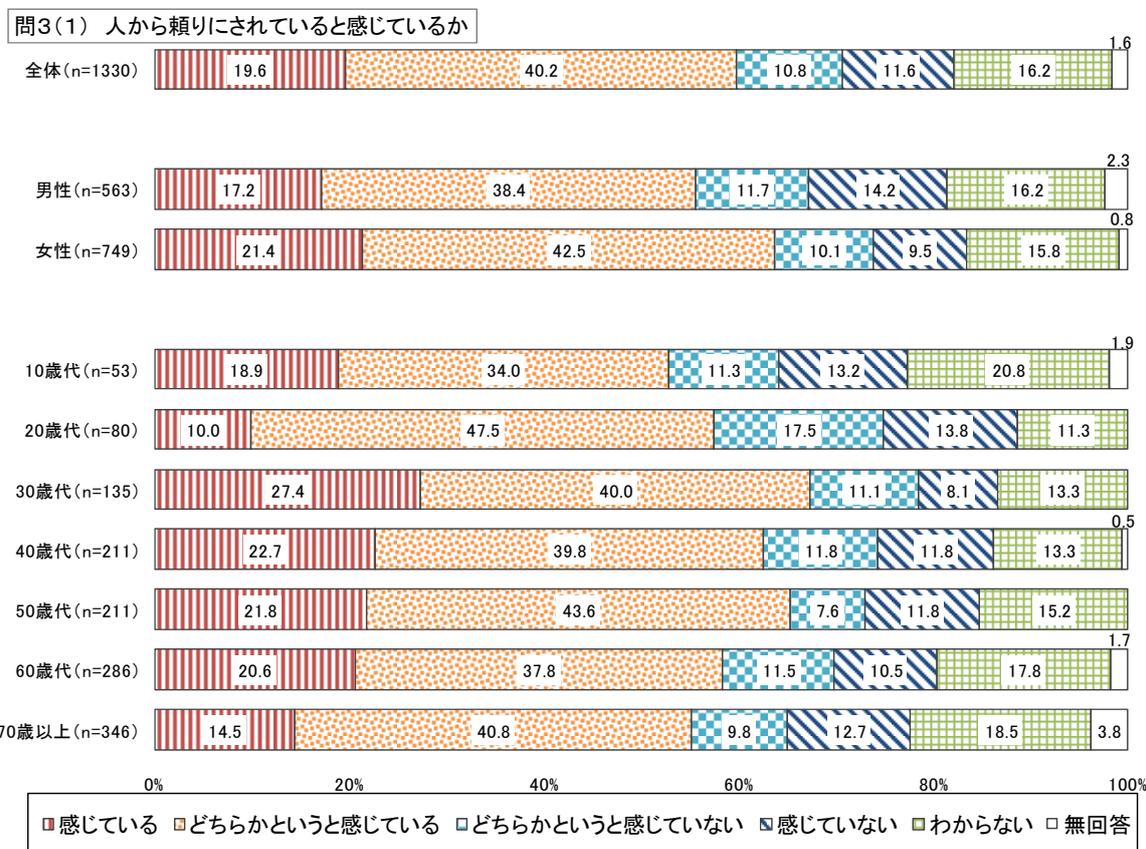
問3 あなたの生きがいについておうかがいします。

(1) 人から頼りにされていると感じていますか。(〇は1つだけ)

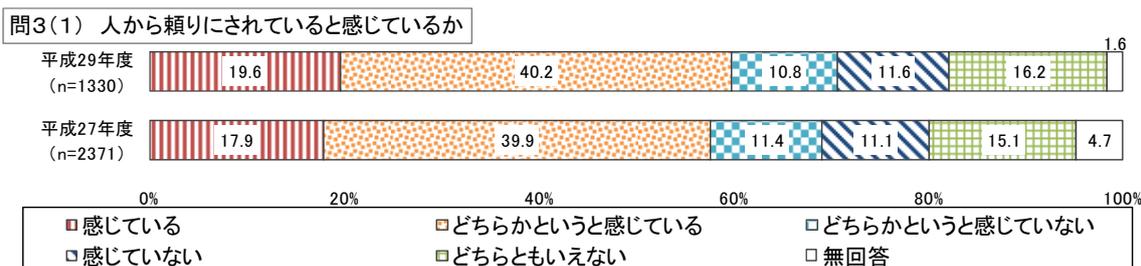
「どちらかというと感じている」が40.2%と最も高く、ついで「感じている」が19.6%、「わからない」が16.2%となっている。

性別では、女性の方が「感じている」「どちらかというと感じている」の合計の割合が男性よりも8ポイント程度高く、63.9%となっている。

年代別では、30歳代で「感じている」「どちらかというと感じている」の合計の割合が最も高く、67.4%となっている。20歳代では「感じている」の割合が年代別で最も低く、10.0%となっている一方で、「どちらかというと感じていない」「感じていない」の合計の割合が31.3%と他の年代よりも高くなっている。



前回と比較すると、「感じている」「どちらかというと感じている」の合計の割合が、若干増加しているが、概ね同様の傾向を示している。

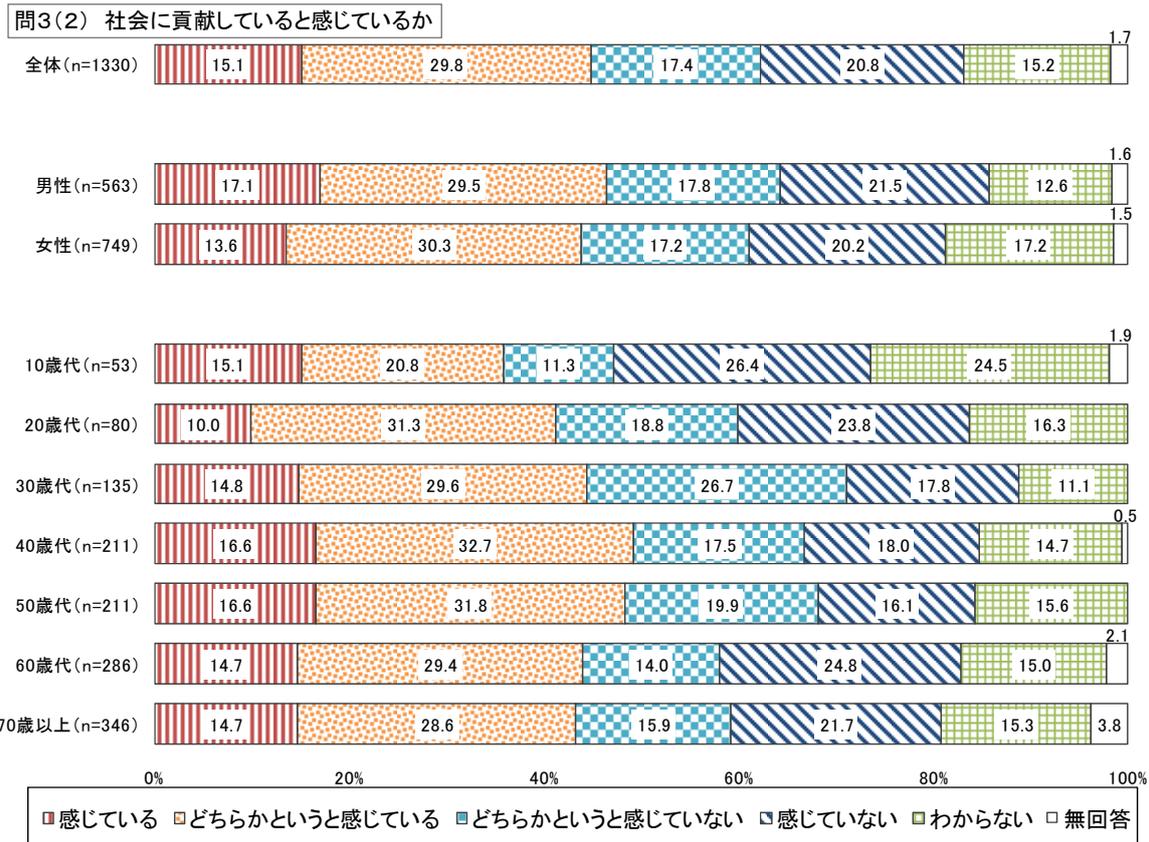


(2) 社会に貢献（他人のために何かを）していると感じていますか。（○は1つだけ）

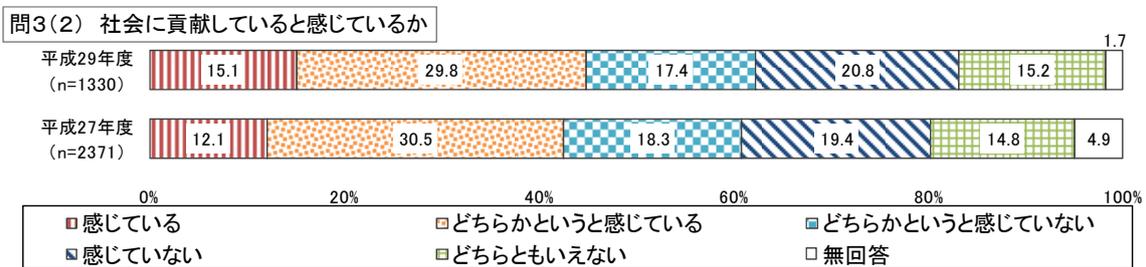
「どちらかというと感じている」が29.8%と最も高く、ついで「感じていない」が20.8%、「どちらかというと感じていない」が17.4%となっている。

性別では、男性で「感じている」が女性よりも高くなっている。また、女性は男性と比べ「わからない」が高くなっている。

年代別では、「感じている」「どちらかというと感じている」の合計の割合が10歳代から徐々に増加していき、40歳代で49.3%と最も高くなっており、その後減少している。



前回と比較すると、「感じている」の割合がやや増加しているが、概ね同様の傾向を示している。

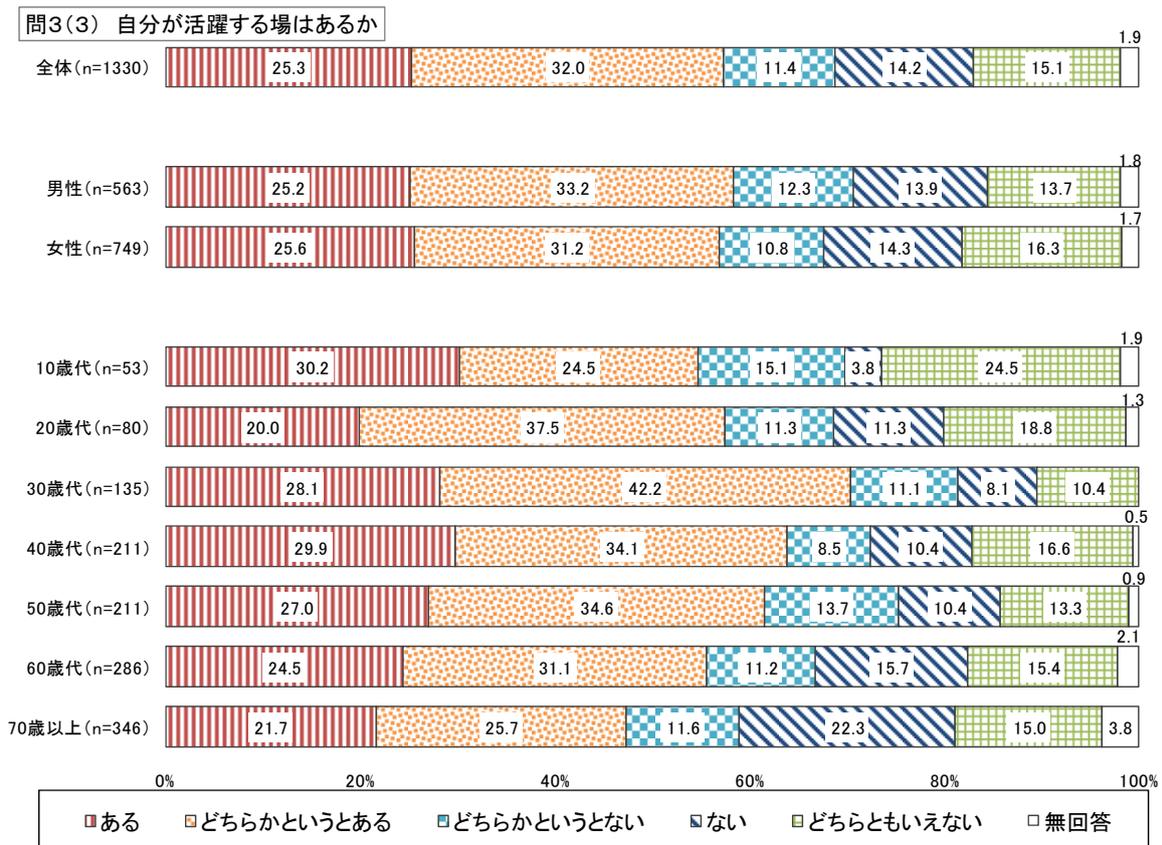


### (3) 自分が活躍する場はありますか。(〇は1つだけ)

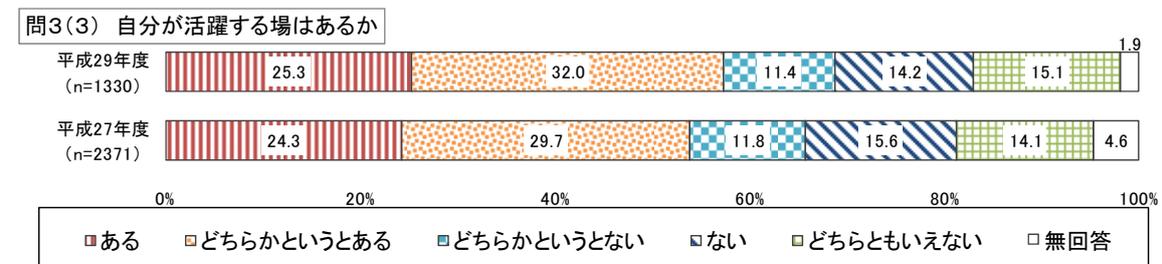
「どちらかというところがある」が32.0%と最も高く、ついで「ある」が25.3%、「どちらともいえない」が15.1%となっている。

性別では、「どちらともいえない」が女性でやや高くなっているが、その他は概ね同様の傾向を示している。

年代別では、30歳代では「ある」「どちらかというところがある」の合計の割合が、70.3%と他の年代よりも5ポイント以上高くなっている。また、50歳代以降「どちらかというところがない」「ない」の割合が年代が上がるごとに増加している。



前回と比較すると、「どちらかというところがない」「ない」の割合が減少し、「ある」「どちらかというところがある」の割合が増加している。

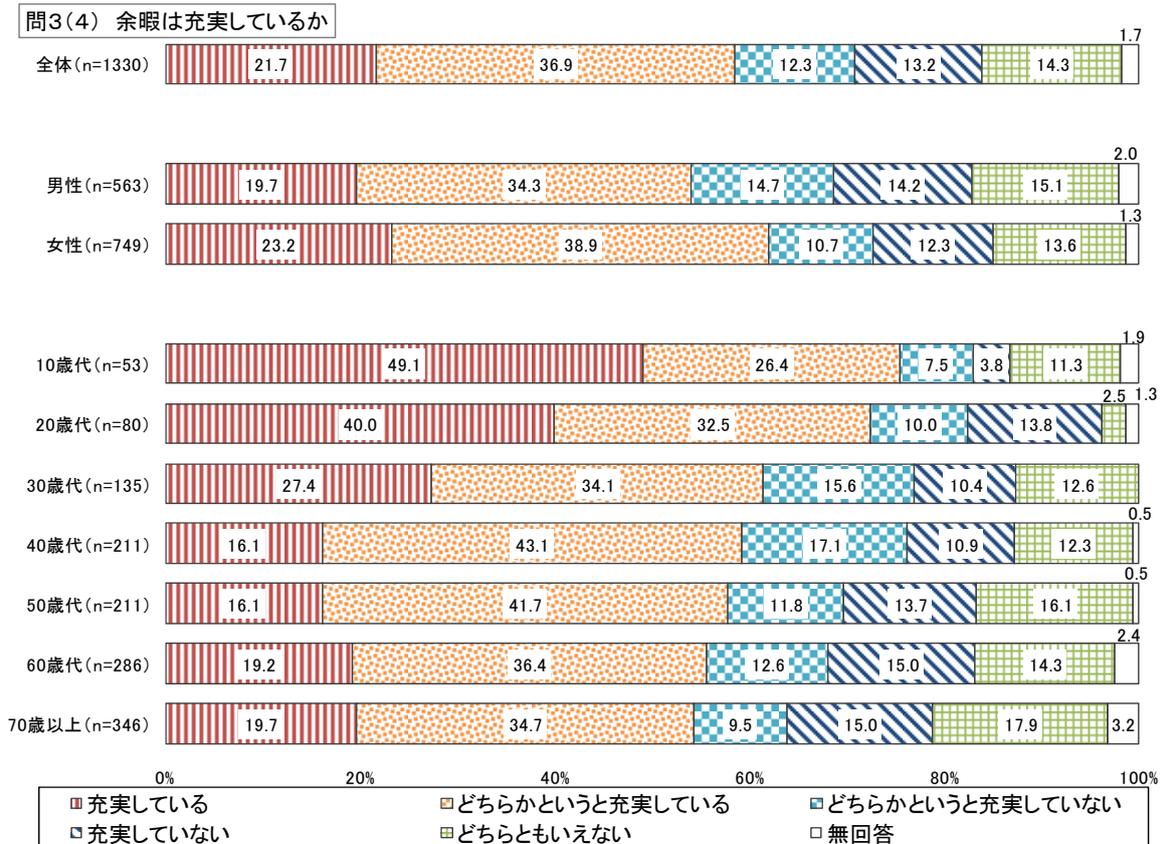


#### (4) 余暇は充実していますか。(〇は1つだけ)

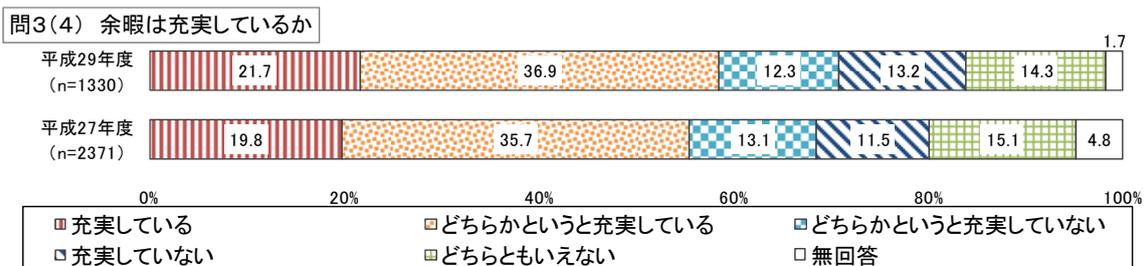
「どちらかという充実している」が36.9%と最も高く、ついで「充実している」が21.7%、「どちらともいえない」が14.3%となっている。

性別では、女性で「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合が男性よりも8ポイント程度高く、62.1%となっている。

年代別では、10歳代で「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合が最も高く、75.5%となっている。その後年代が上がるにつれて、その割合が徐々に減少していき70歳以上では54.4%となっており、20ポイント以上の差がある。



前回と比較すると、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合がやや増加して、58.6%となっている。



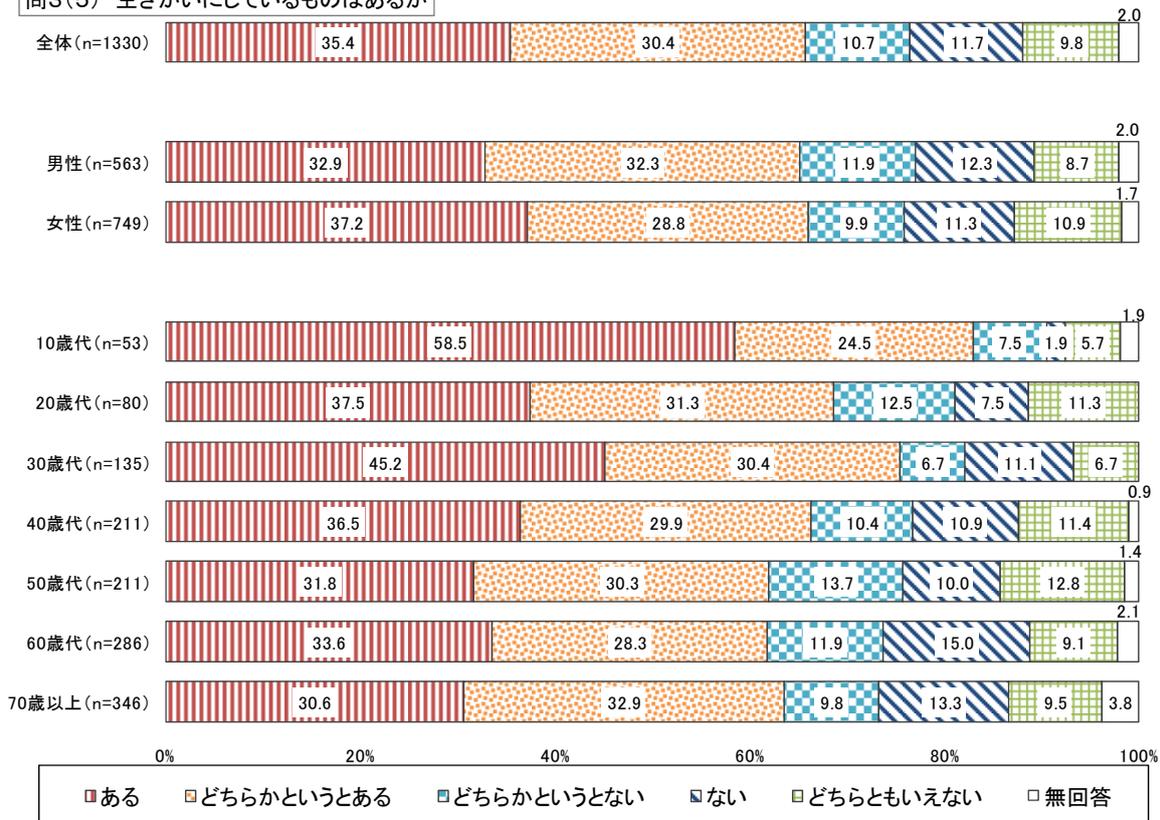
(5) 生きがいにしているものはありますか。(〇は1つだけ)

「ある」が35.4%と最も高く、ついで「どちらかというところがある」が30.4%、「ない」が11.7%となっている。

性別にみると、女性の方が男性よりも「ある」の割合が5ポイント程度高く、37.2%となっている。

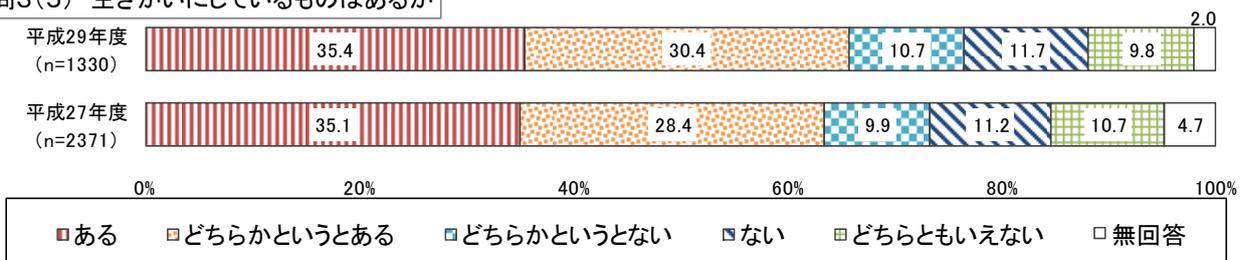
年代別にみると、10歳代で「ある」の割合が最も高く、58.5%となっている。「どちらかというところがある」も含めると83.0%に上る。同様に30歳代でも75.6%と高くなっているが、50歳代以降になると比較的低くなっており、いずれの年代でも6割程度となっている。

問3(5) 生きがいにしているものはあるか



前回と比較すると、「どちらかというところがある」の割合が若干増えているが、そのほかは概ね同様の傾向を示している。

問3(5) 生きがいにしているものはあるか

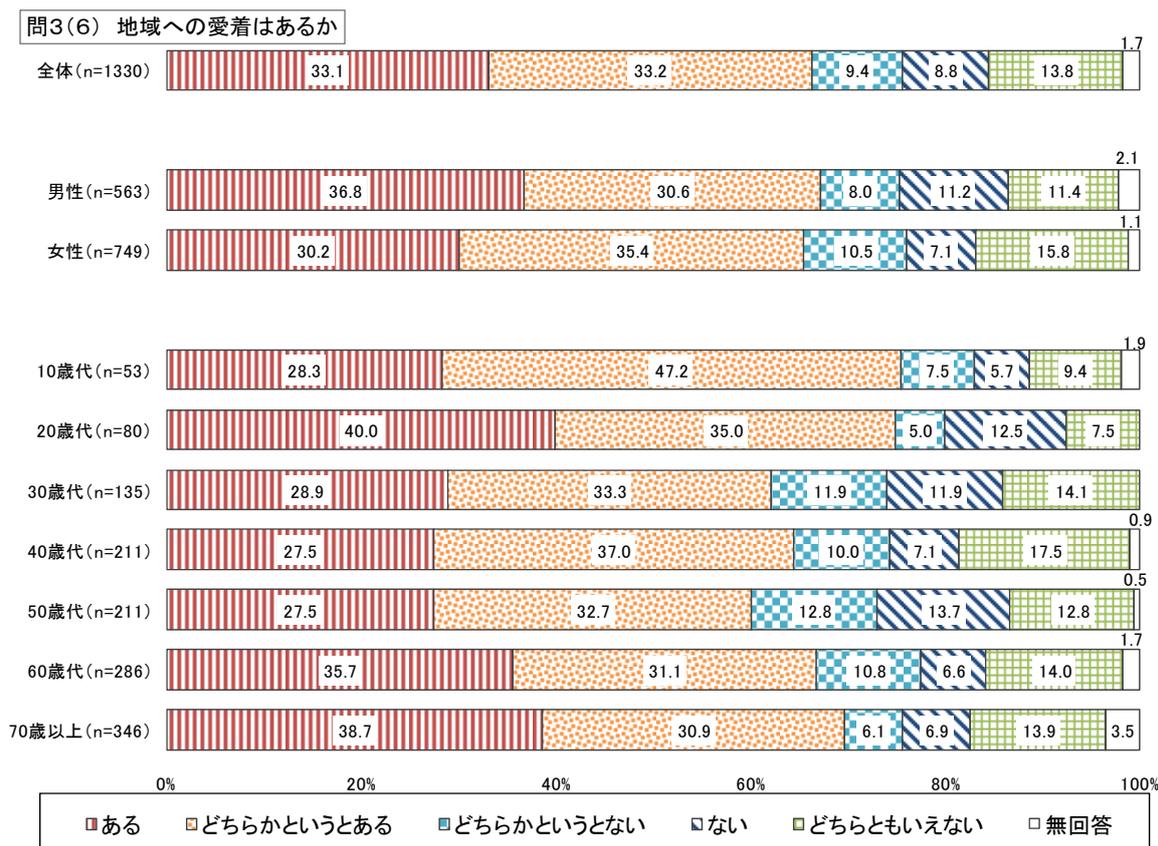


### (6) 地域への愛着はありますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというところがある」が33.2%と最も高く、ついで「ある」が33.1%、「どちらともいえない」が13.8%となっている。

性別にみると、「ある」としているのは男性の方が女性よりも5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、20歳代で「ある」の割合が最も高く40.0%となっている。「どちらかというところがある」も含めると、10歳代で75.5%と最も高くなっており、地域への愛着を持つ若い世代が高くなっている。



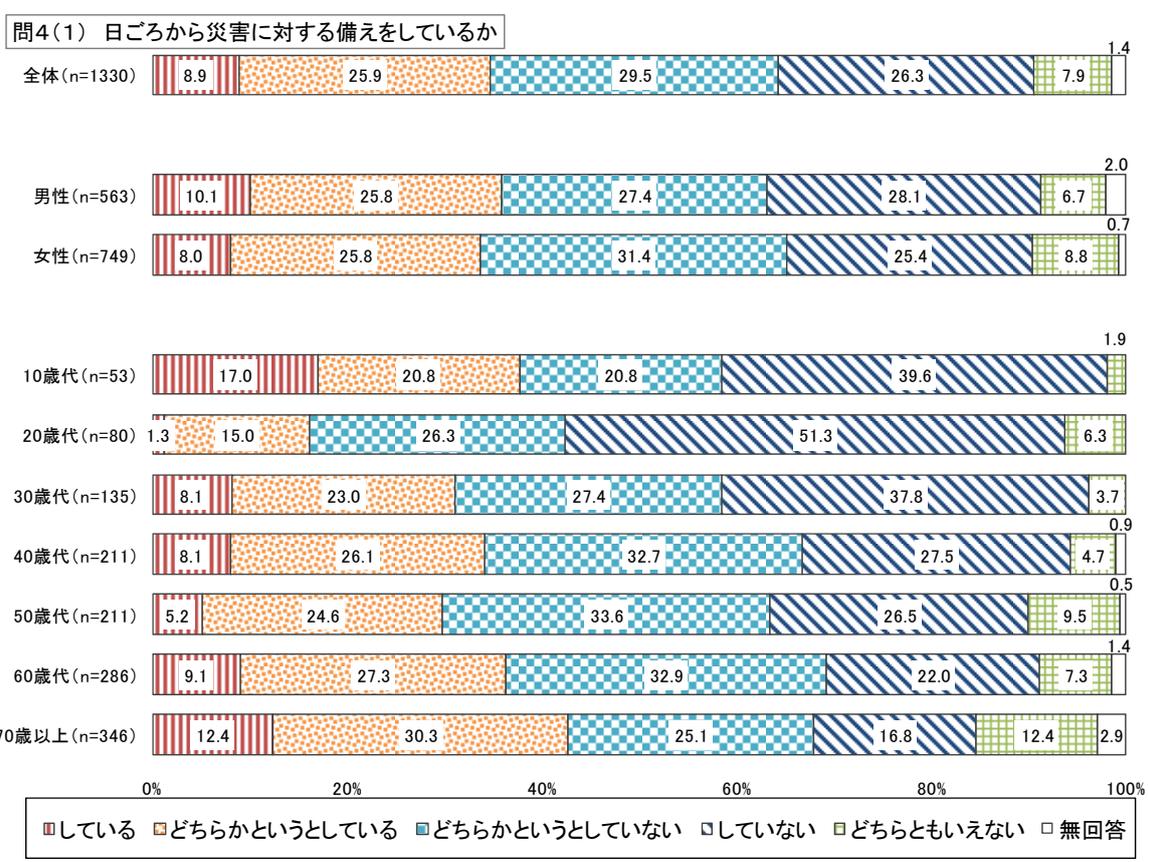
問4 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(〇は1つだけ)

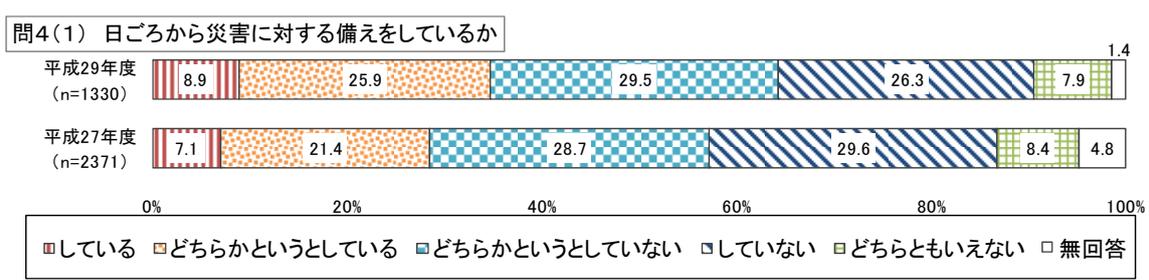
「どちらかというとしていない」が29.5%と最も高く、ついで「していない」が26.3%、「どちらかというとしてしている」が25.9%となっている。

性別にみると、「どちらかというとしていない」で女性の方が男性よりもやや高くなっているが、そのほかは概ね同様の傾向を示している。

年代別にみると、70歳以上で「している」「どちらかというとしてしている」の割合が高くなっており、42.7%となっている。一方で「どちらかというとしていない」「していない」が高かったのが20歳代で、77.6%となっている。



前回と比較すると、「している」「どちらかというとしてしている」の割合が5ポイント以上増加しており、34.8%となっている。

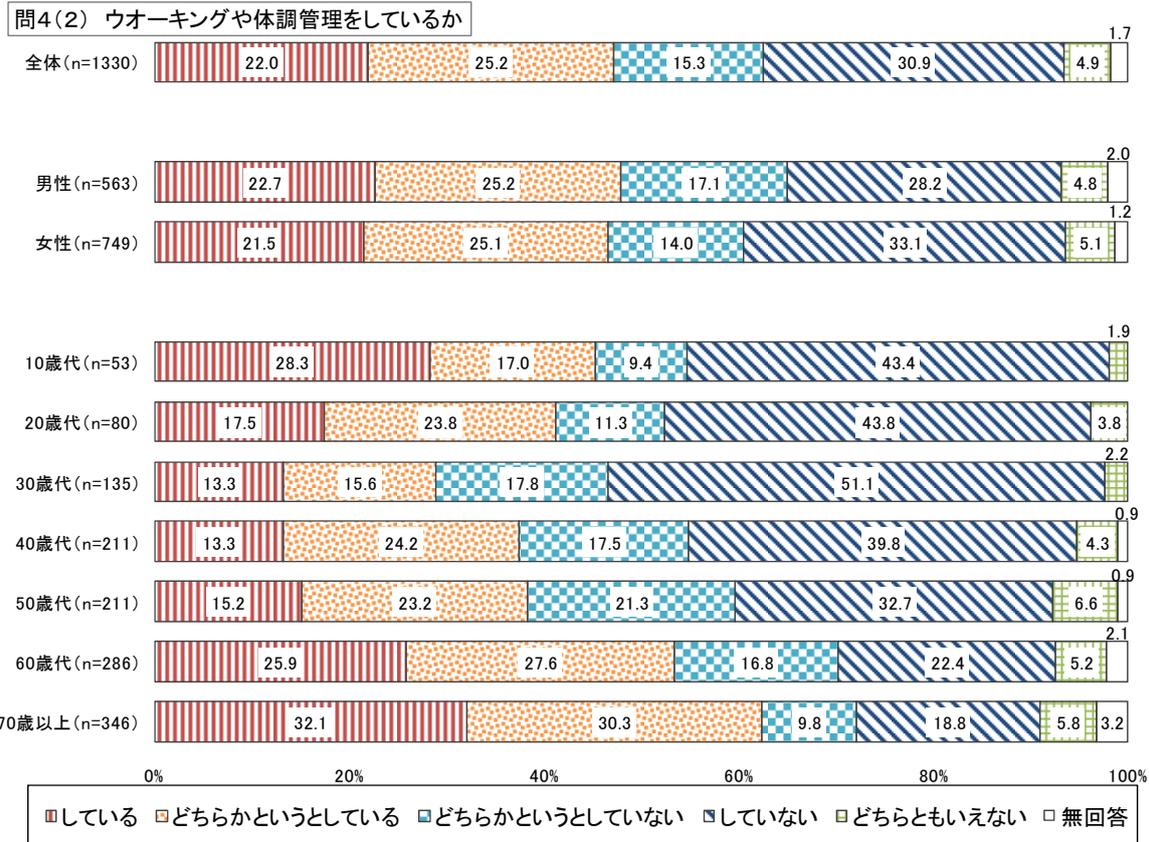


(2) 健康づくりのために、ウォーキングや体調管理をしていますか。(〇は1つだけ)

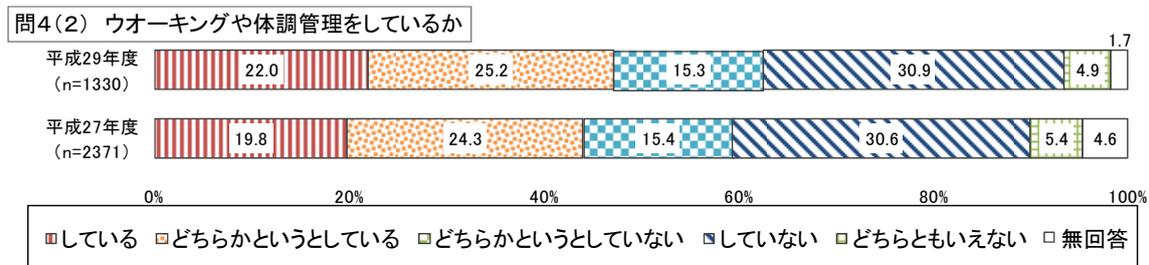
「していない」が30.9%と最も高く、ついで「どちらかというとしている」が25.2%、「している」が22.0%となっている。

性別にみると、女性では「していない」が33.1%となっており、男性よりも5ポイント程度高くなっている。

年代別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合が、10歳代で45.3%となっている。その後30歳代まで減少しているが、40歳代以降再び増加しており、70歳以上では62.4%と年代別で最も高くなっている。



前回と比較すると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合が47.2%となっており、やや増加している。

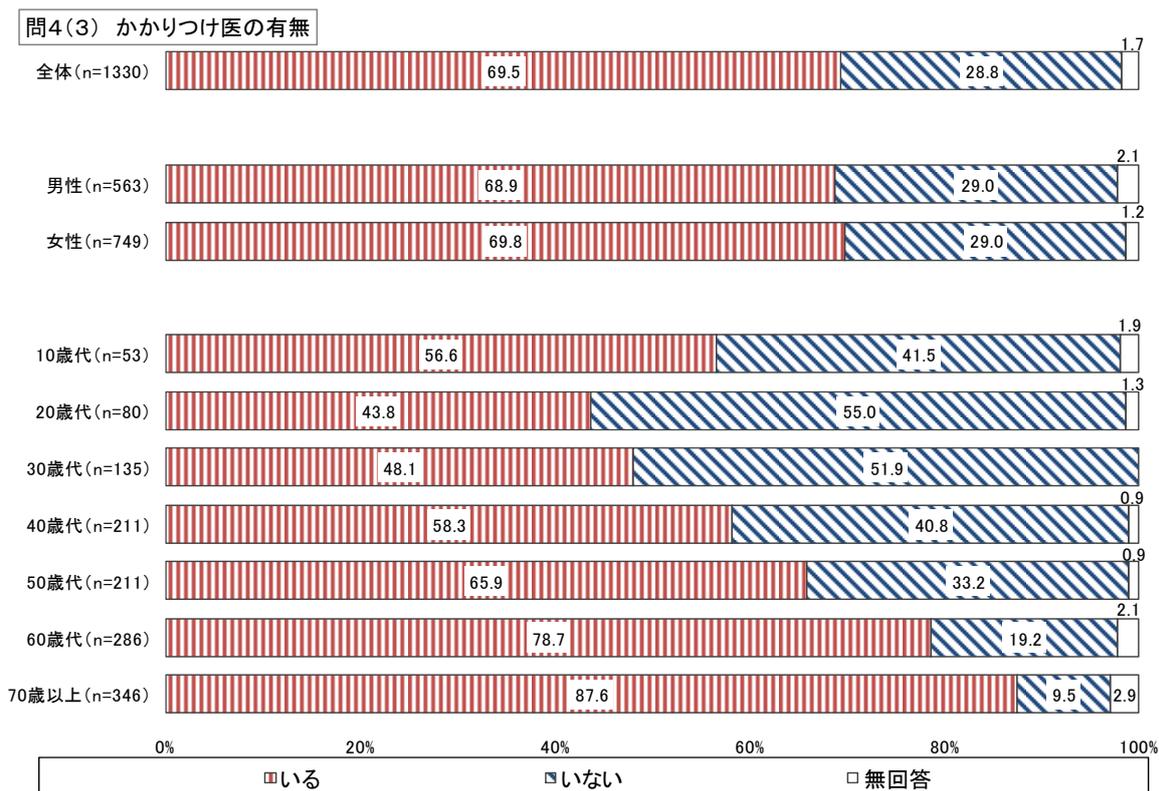


### (3) かかりつけ医がいますか。(〇は1つだけ)

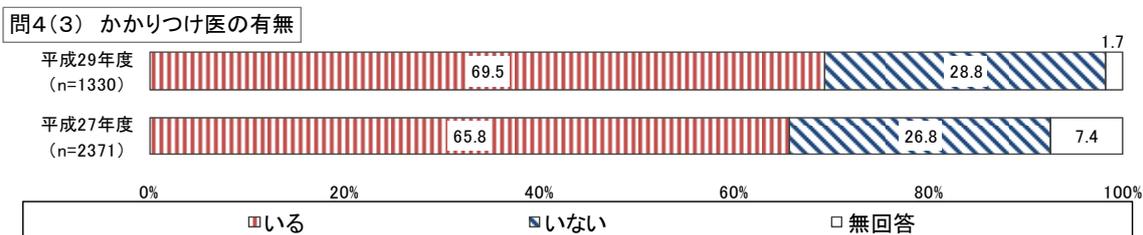
「いる」が69.5%と最も高く、ついで「いない」が28.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「いる」が7割程度となっており、大きな違いはみられない。

年代別にみると、10歳代では「いる」が56.6%と半数を超えているものの、20歳代では43.8%で半数を下回っている。20歳代以降は年代が上がるごとに増加していき、70歳以上で87.6%となっている。



前回と比較すると、「いる」がやや増加している。

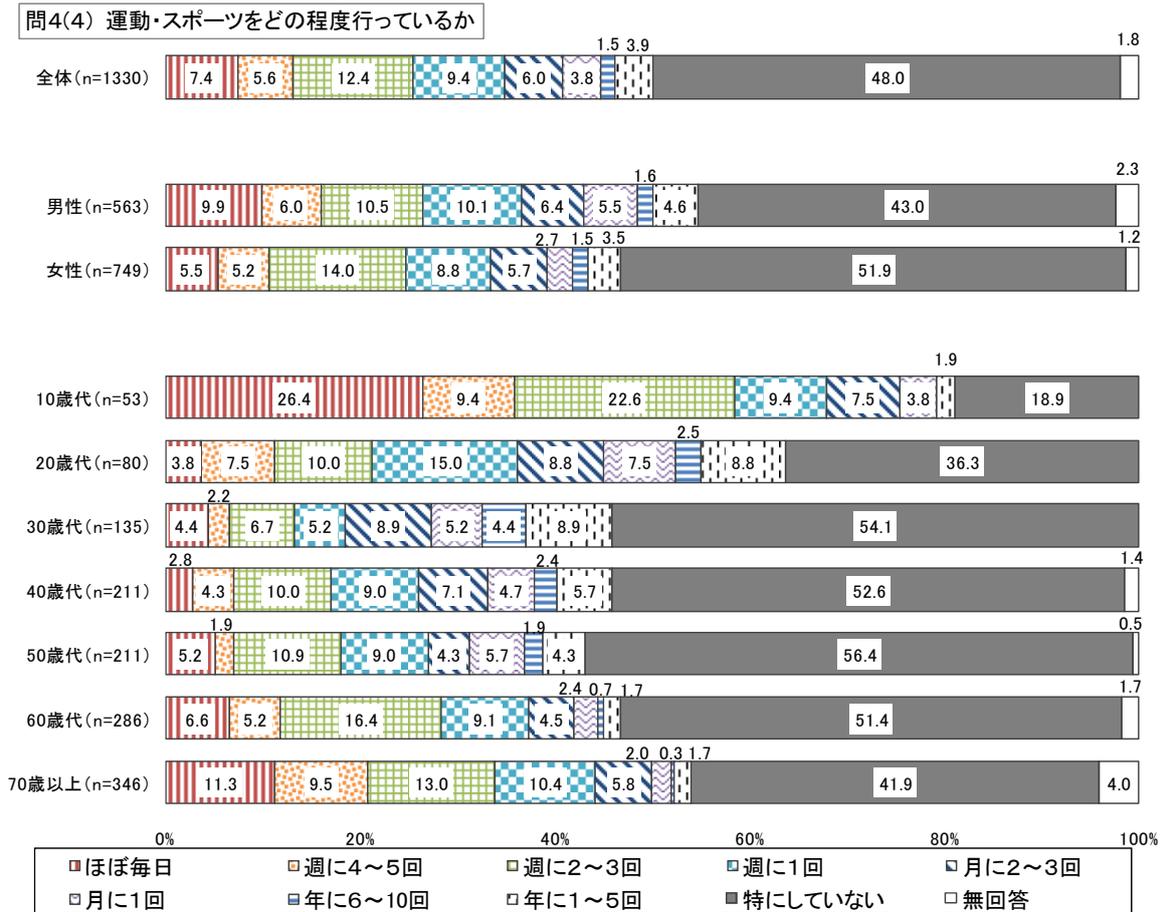


(4) あなたはこの1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。(○は1つだけ)

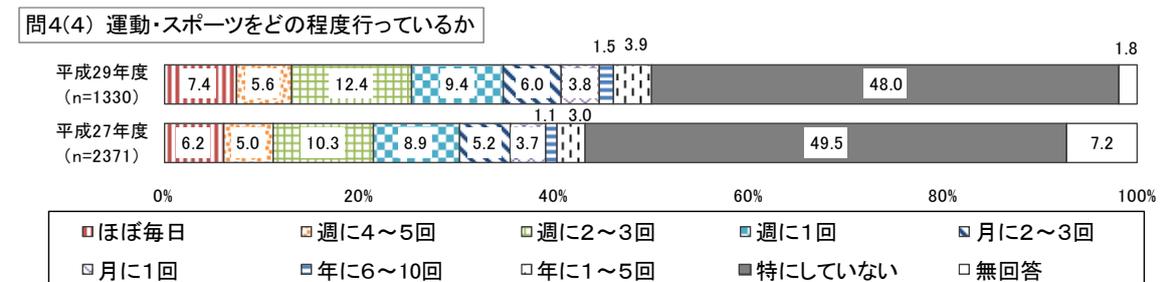
「特にしていない」が48.0%と最も高く、ついで「週に2〜3回」が12.4%、「週に1回」が9.4%となっている。

性別にみると、女性では「特にしていない」が51.9%と半数を超えている。

年代別にみると、30歳代から60歳代までで「特にしていない」の割合が高くなっており、半数を超えている。また、10歳代では「ほぼ毎日」が26.4%と他の世代と比べ非常に高くなっている。



前回と比較すると、「特にしていない」がやや減少し、運動・スポーツを実施している人が全体的に増加している。特に、「週に2〜3回」が12.4%で最も高くなっている。

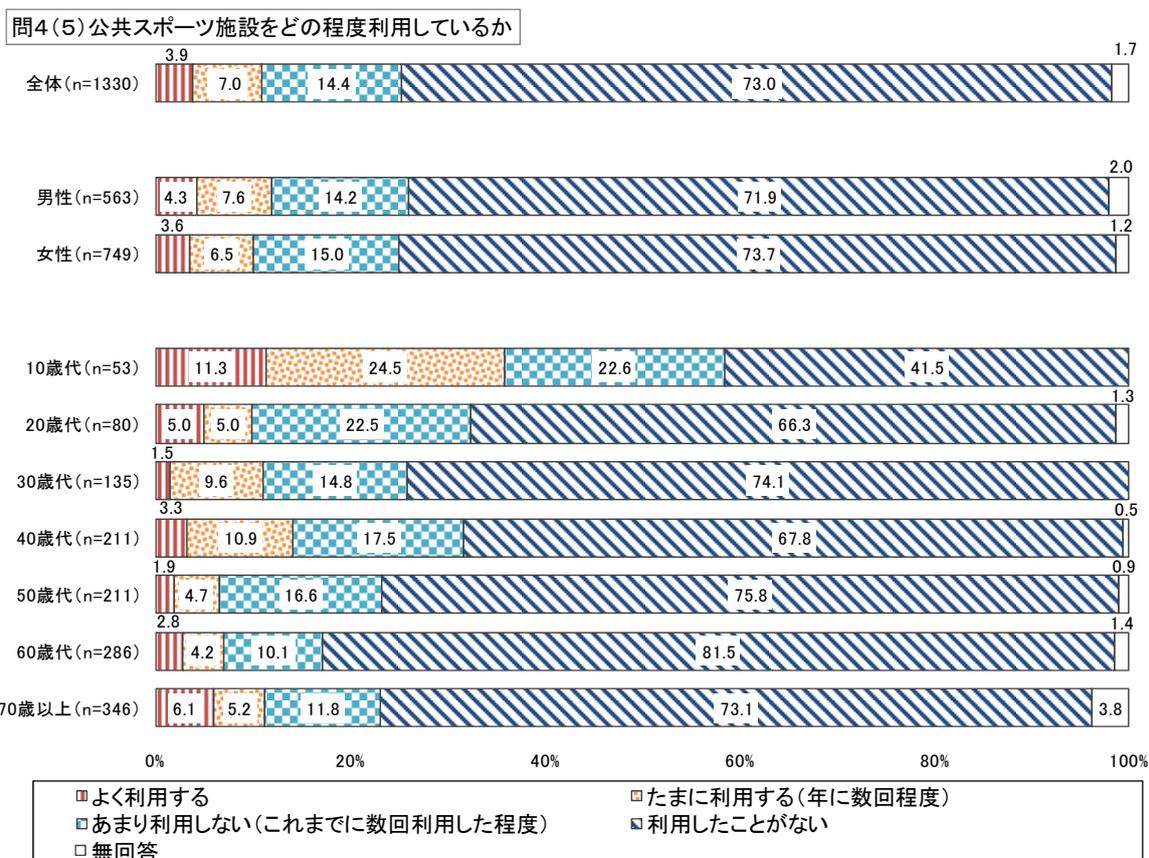


(5) 最近（この2～3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。（〇は1つだけ）

「利用したことがない」が73.0%と最も高く、ついで「あまり利用しない（これまでに数回利用した程度）」が14.4%、「たまに利用する（年に数回程度）」が7.0%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「利用したことがない」が高くなっており、いずれも7割を超えている。

年代別にみると、10歳代で利用したことがある人が高くなっているが、60歳代では「利用したことがない」が81.5%と年代別で最も高くなっている。



問5 あなたの結婚や子育てについてのお考えなどをおうかがいします。

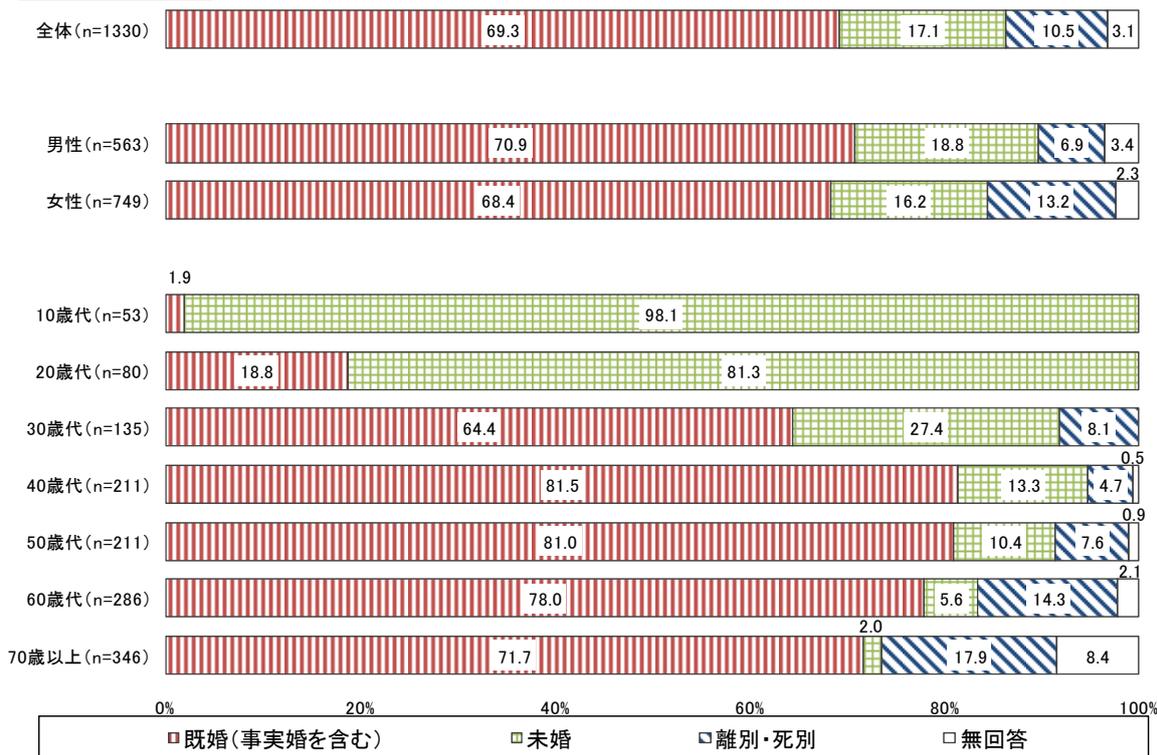
(1) あなたの婚姻状況について (○は1つだけ)

「既婚 (事実婚を含む)」が 69.3%と最も高く、ついで「未婚」が 17.1%、「離別・死別」が 10.5%となっている。

性別にみると、女性では「離別・死別」の割合が高く、男性のおよそ2倍となっている。

年代別にみると、「既婚」の割合が40歳代で最も高く81.5%となっている。20歳代では18.8%が、30歳代で64.4%まで増加している。

問5(1) 婚姻状況

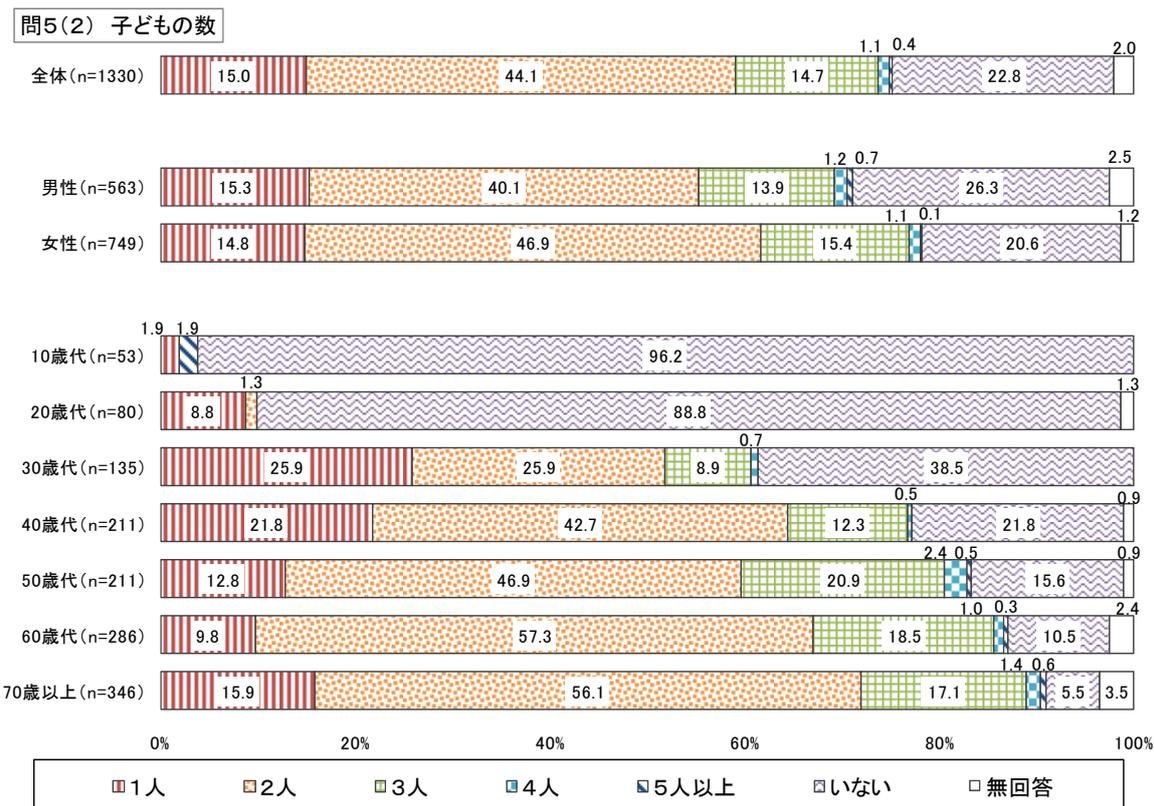


(2) あなたはお子さん（自立しているお子さんも含む）がいらっしゃるでしょうか。（〇は1つだけ）

「2人」が44.1%と最も高く、ついで「いない」が22.8%、「1人」が15.0%となっている。

性別にみると、男性では「いない」が女性よりも5ポイント程度高くなっている。女性では「2人」が46.9%で男性よりも5ポイント以上高くなっている。

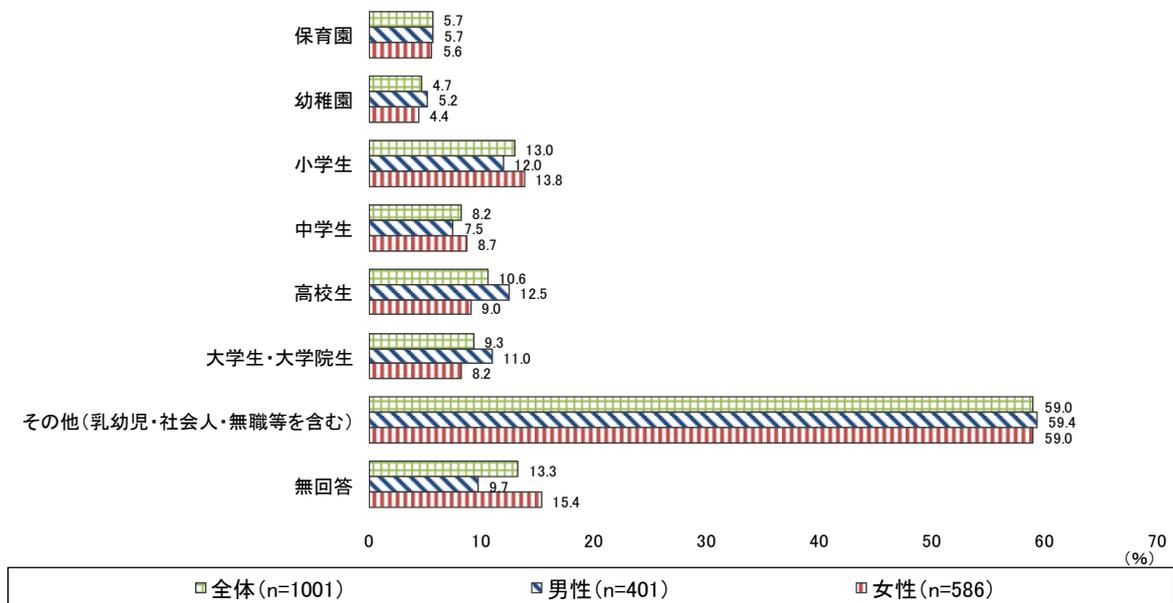
年代別にみると、年代が上がるにつれて「いない」が減少している。「いない」の割合が20歳代では88.8%が、30歳代で38.5%まで減少している。



(3) お子さんの就学区分をお答えください。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

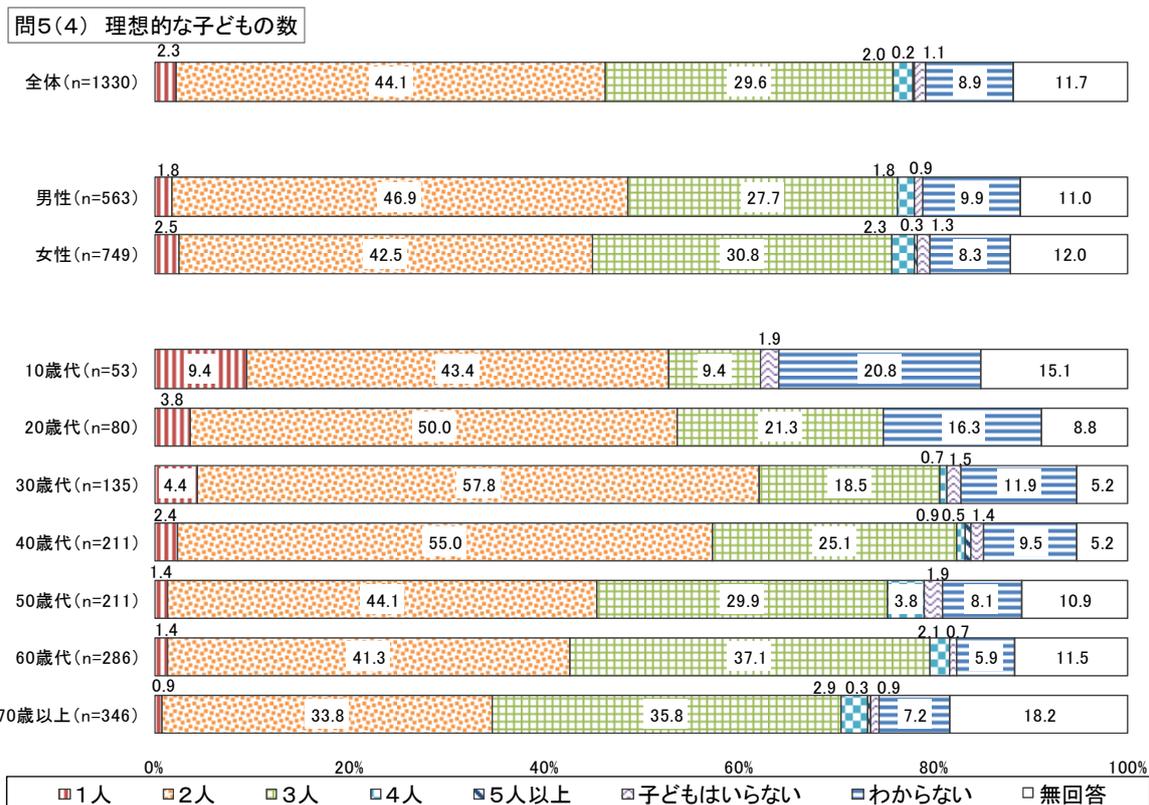
「その他(乳幼児・社会人・無職等を含む)」が59.0%と最も高く、ついで「小学生」が13.0%、「高校生」が10.6%となっている。

問5(3) 子どもの就学区分



(4) あなたにとって、理想的な子どもの数をお答えください。(○は1つだけ)

「2人」が44.1%と最も高く、ついで「3人」が29.6%、「わからない」が8.9%となっている。性別にみると、男性・女性ともに「2人」が最も高くなっており、いずれも4割を超えている。年代別にみると、70歳以上では「3人」が最も高くなっており、それ以外の年代では「2人」が高くなっている。

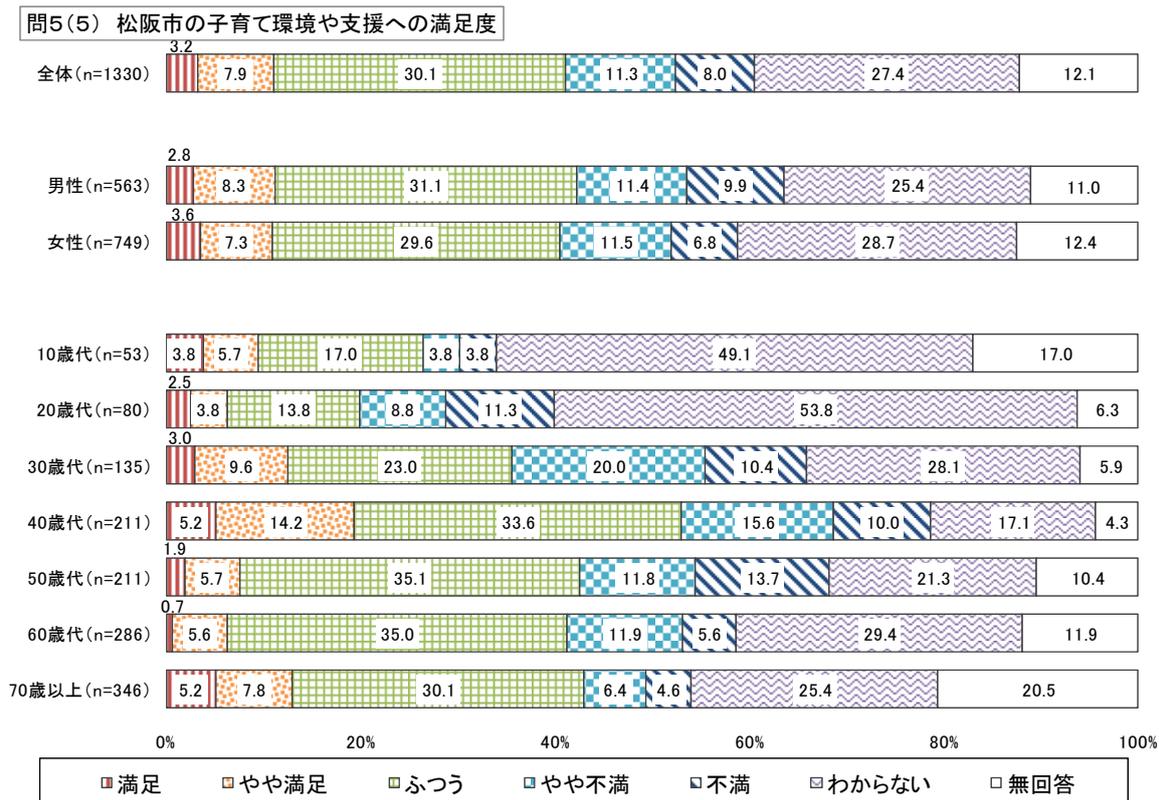


(5) 松阪市における子育ての環境や支援への満足度について、あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。(〇は1つだけ)

「ふつう」が30.1%と最も高く、ついで「わからない」が27.4%、「やや不満」が11.3%となっている。

性別にみると、女性では「わからない」が男性よりも高くなっており、28.7%となっている。

年代別にみると、30歳代までの各年代では「わからない」が最も高くなっているが、40歳代以降は「ふつう」が最も高くなっている。



問6 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

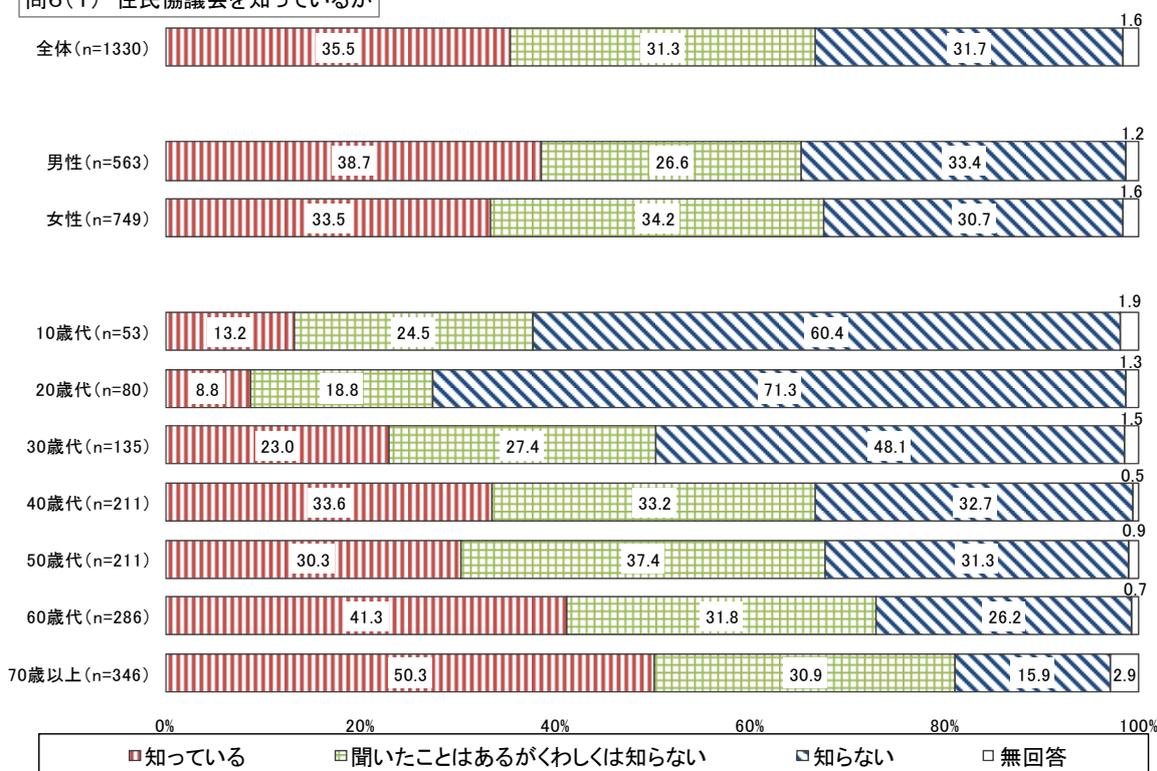
(1) あなたのお住まいの地域の住民協議会（まちづくり協議会）を知っていますか。（○は1つだけ）

「知っている」が35.5%と最も高く、ついで「知らない」が31.7%、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が31.3%となっている。

性別にみると、男性の方が「知っている」が5ポイント程度高く、38.7%となっている。

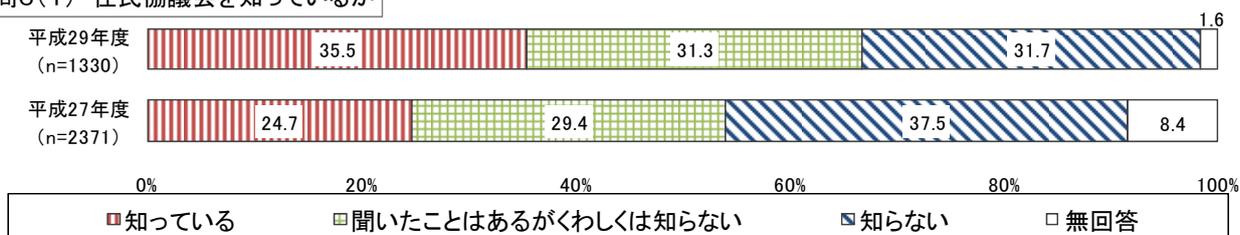
年代別にみると、10歳代から20歳代では「知っている」は1割前後となっているが、年代が上がるごとにその割合が増加する傾向がある。70歳以上では半数以上が「知っている」として

問6(1) 住民協議会を知っているか



前回と比較すると、「知っている」が10ポイント以上増加し、35.5%となっている。また、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」も僅かだが、増加している。

問6(1) 住民協議会を知っているか

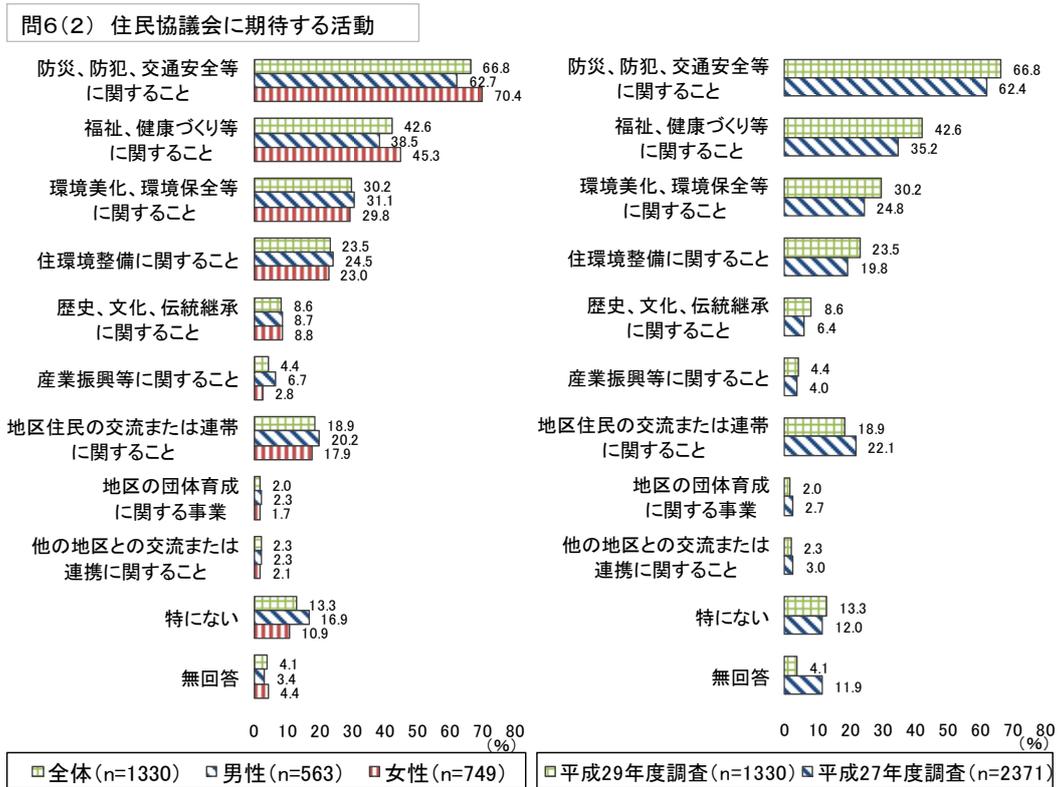


(2) あなたのお住まいの地域の住民協議会（まちづくり協議会）に期待する活動は何ですか。（〇は3つまで）

「防災、防犯、交通安全等に関すること」が66.8%と最も高く、ついで「福祉、健康づくり等に関すること」が42.6%、「環境美化、環境保全等に関すること」が30.2%となっている。

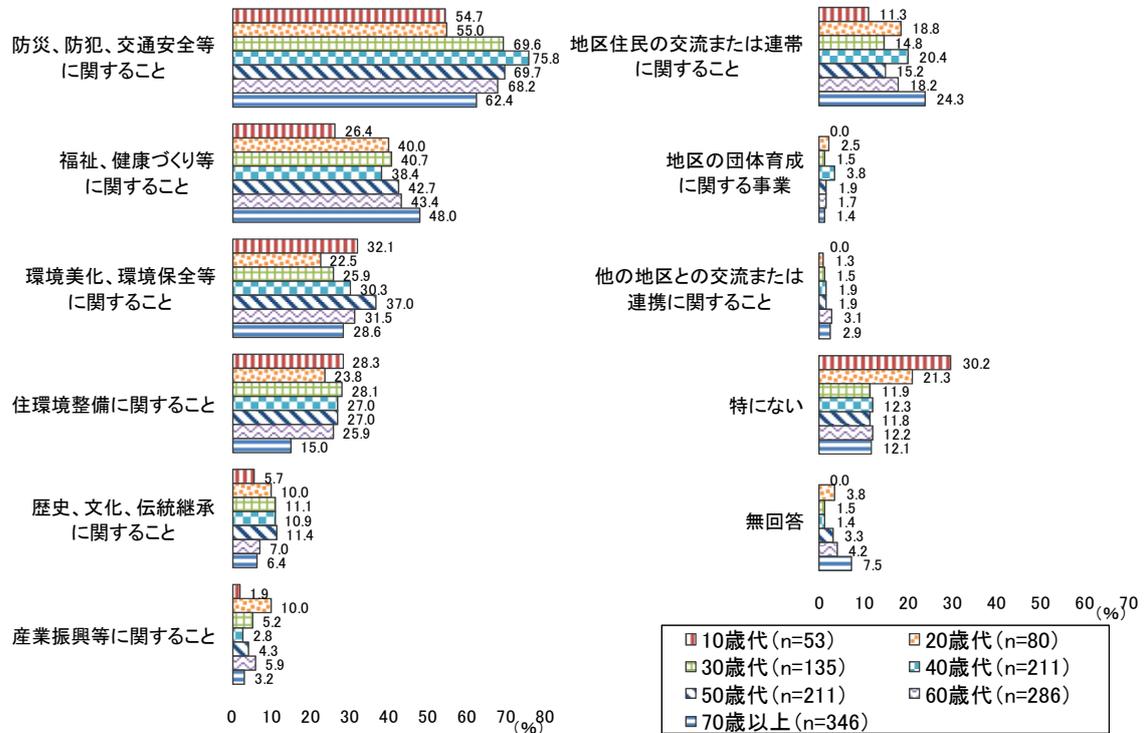
性別にみると、男性・女性ともに「防災、防犯、交通安全等に関すること」への期待が最も高く、他の項目よりも20ポイント以上高くなっている。

前回調査と比較すると、「福祉、健康づくり等に関すること」「環境美化、環境保全等に関すること」「防災、防犯、交通安全等に関すること」等がやや増加している。



年代別にみると、10歳代では「特にない」が他の年代よりも高くなっており、30.2%となっている。また、「福祉、健康づくり等に関すること」でも20歳代以降は概ね4割程度が期待しているのに対し、10歳代では3割に満たない結果となっている。

問6(2) 住民協議会に期待する活動

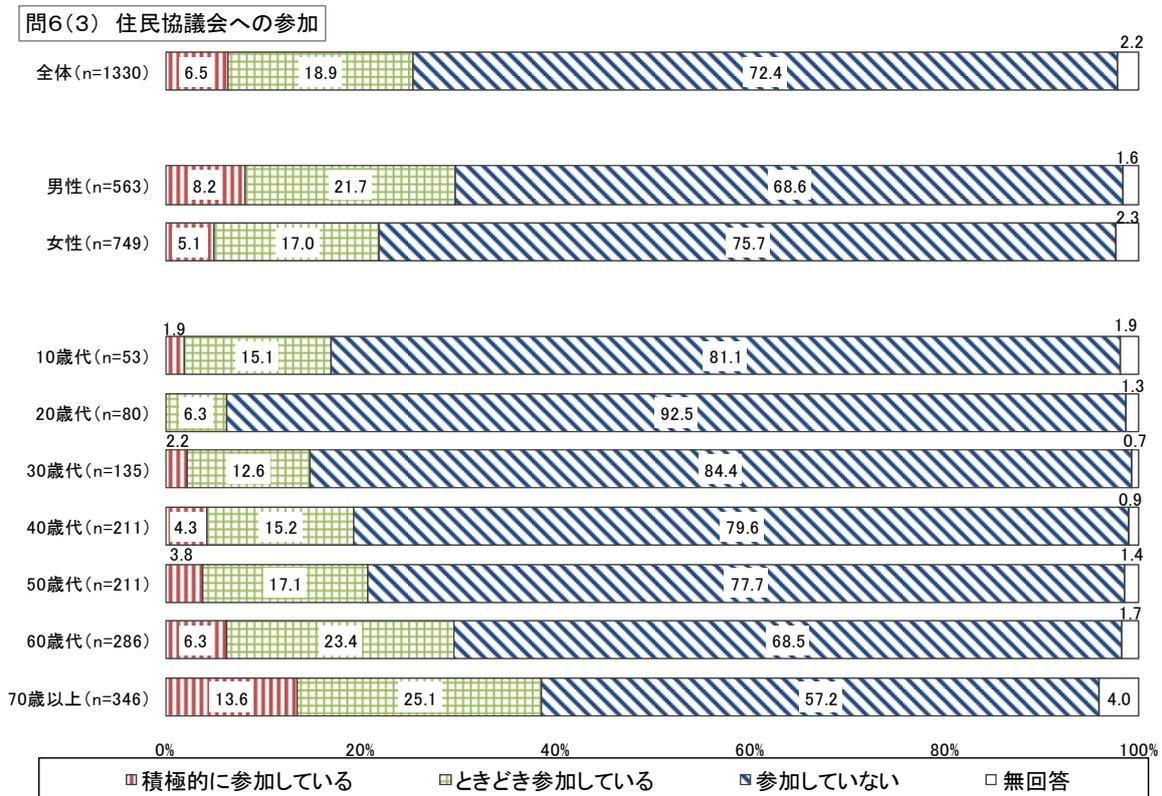


(3) あなたはお住まいの地域の住民協議会（まちづくり協議会）のまちづくり活動に参加していますか。（〇は1つだけ）

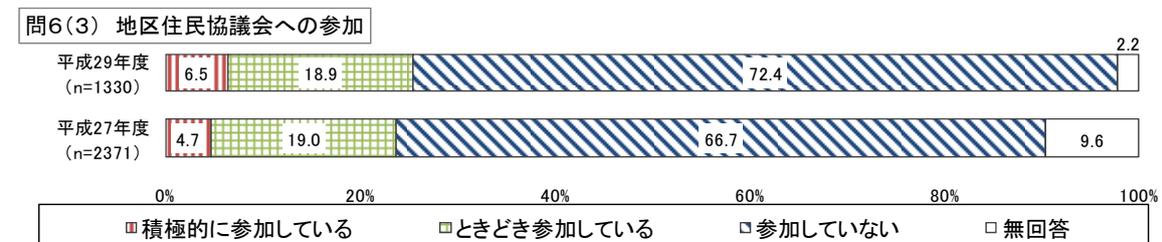
「参加していない」が72.4%と最も高く、ついで「ときどき参加している」が18.9%、「積極的に参加している」が6.5%となっている。

性別にみると、男性は「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合が、29.9%と女性と比べ、8ポイント近く高くなっている。

年代別にみると、10歳代では参加している割合が比較的高くなっているが、20歳代で1割未満に減少している。その後年代が上がるごとに「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合が増加していき、70歳以上で38.7%となっている。



前回と比較すると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合が、わずかであるが増加している。



問7 あなたが幸福な生活を送るにあたって望むことについておうかがいします。

(1) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

「健康であること」が89.8%と最も高く、ついで「家族との関係が良好なこと」が40.4%、「生活に経済的な余裕があること」が39.9%となっている。

性別にみると、「健康であること」「家族との関係が良好なこと」について男性と女性で割合に差がみられるが、そのほかは大きな違いはみられない。

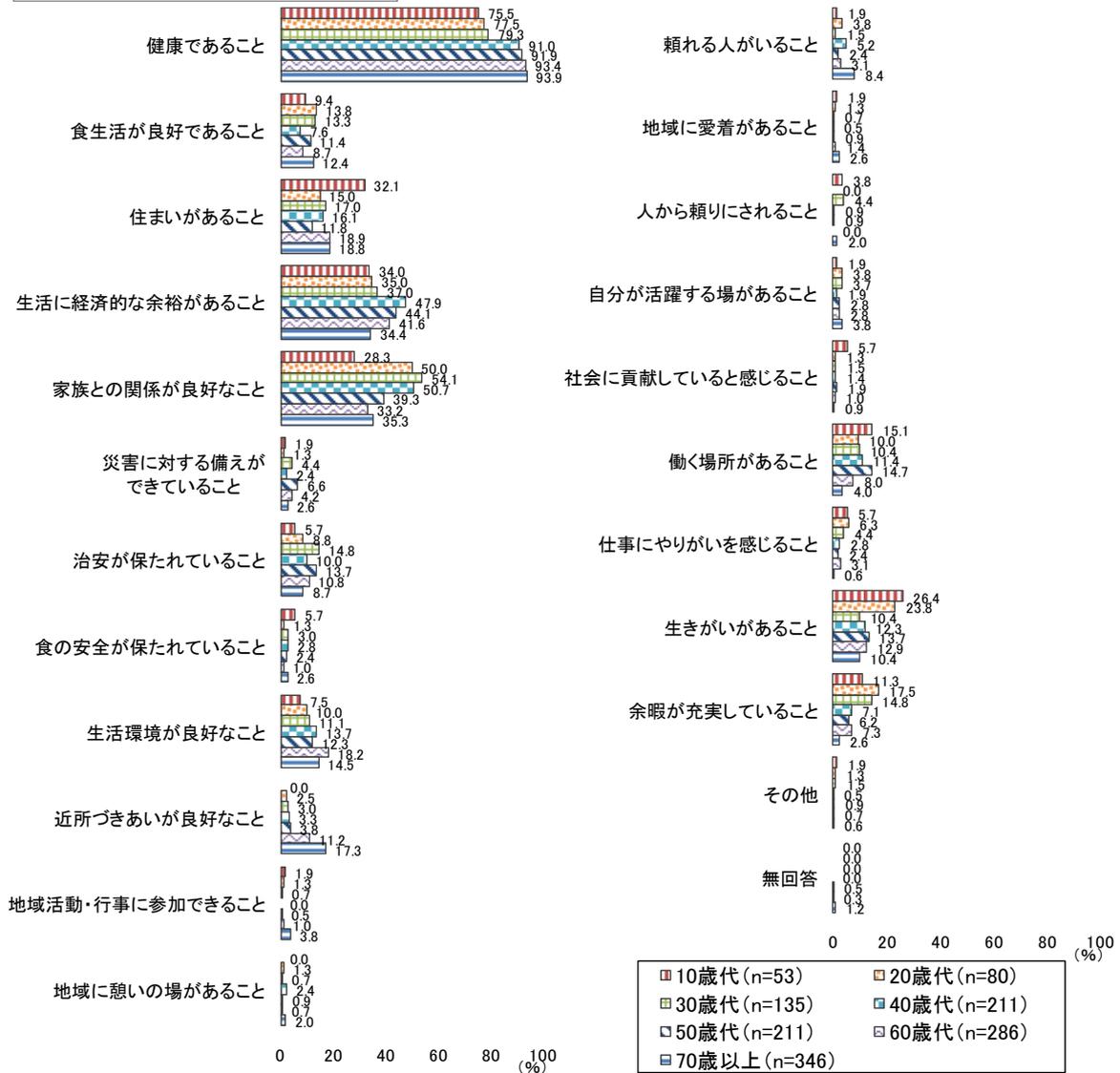
前回調査と比べると、「健康であること」が5ポイント程度高くなっているが、そのほかは大きな違いはみられない。

問7(1) 幸福な生活のために必要なこと



年代別にみると、年代が上がるごとに「健康であること」の割合が増加している。また、20歳代から40歳代では「家族との関係が良好なこと」が他の世代と比べ高くなっている。

問7(1) 幸福な生活のために必要なこと



(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになるのが良いと思いますか。

(○は3つまで)

「安心して医療を受けることができるまち」が56.0%と最も高く、ついで「犯罪が少ないまち」が34.1%、「安心して子育てができるまち」が32.0%となっている。

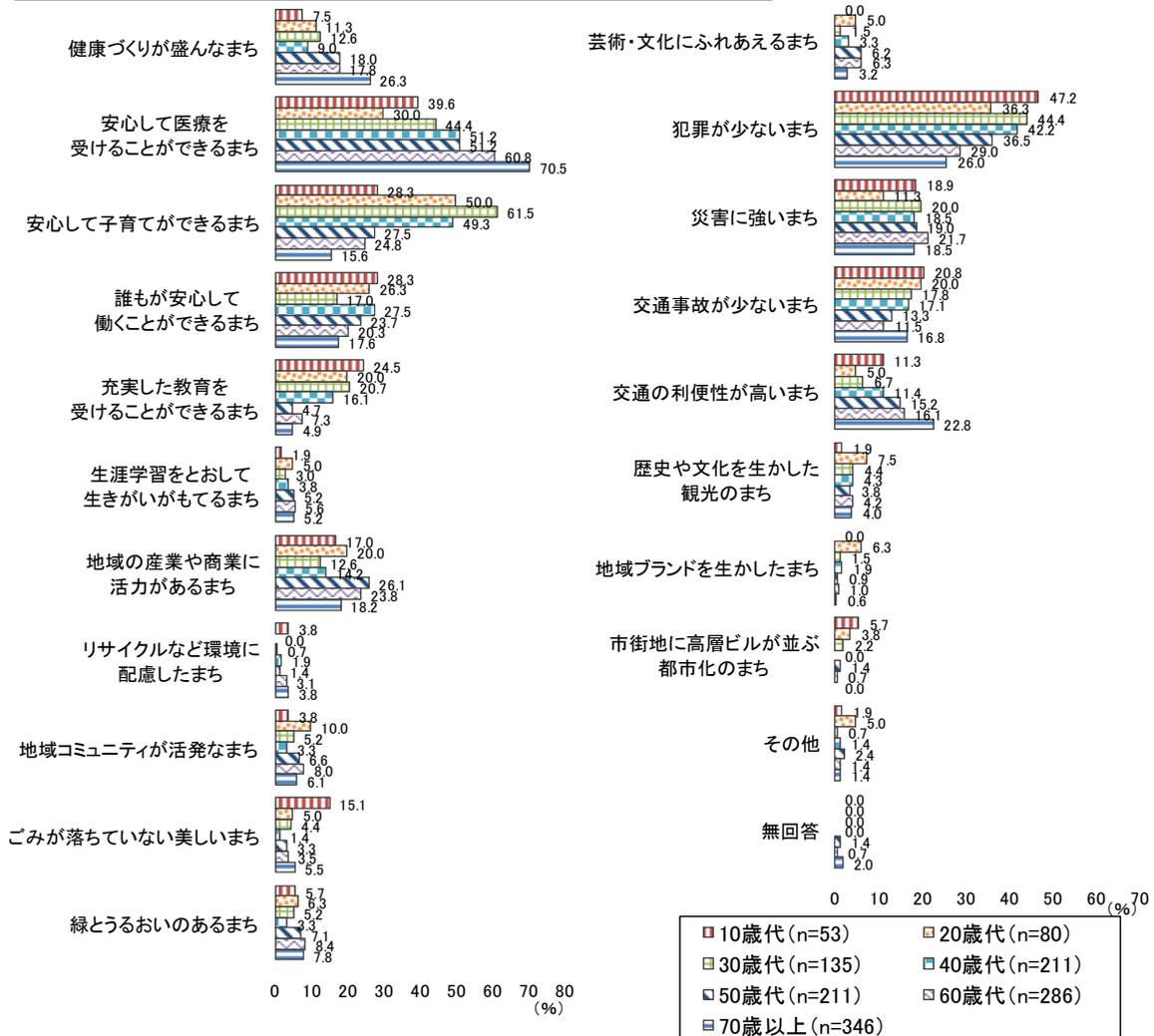
性別にみると、女性では「犯罪が少ないまち」が男性と比べ高くなっている。一方、男性では「健康づくりが盛んなまち」が女性と比べ高くなっている。

前回と比較すると、「安心して医療を受けることができるまち」と「交通の利便性が高いまち」がやや増加しているが、そのほかは概ね前回と同様の傾向を示している。



年代別にみると、「安心して医療を受けることができるまち」が年代が上がるごとに、割合が増加している。また、20歳代から40歳代では「安心して子育てができるまち」が比較的高くなっている。逆に、「犯罪が少ないまち」は年代が下がるごとに割合が減少している。

問7(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになると良いか

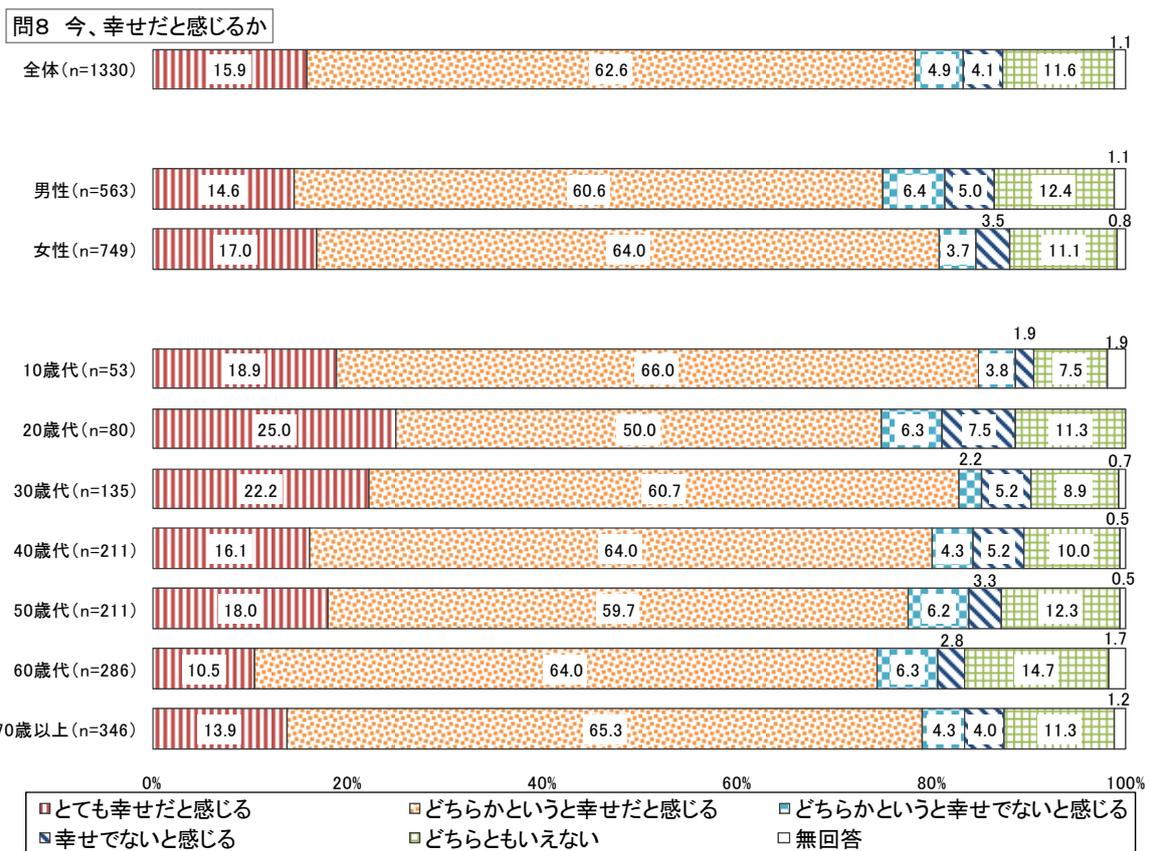


**問8 あなたは今、幸せだと感じますか。（○は1つだけ）**

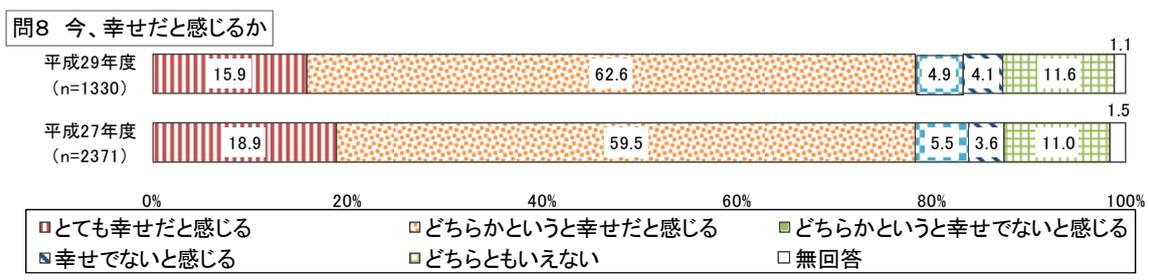
「どちらかという幸せだと感じる」が62.6%と最も高く、ついで「とても幸せだと感じる」が15.9%、「どちらともいえない」が11.6%となっている。

性別にみると、男性よりも女性の方が「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合が高く、81.0%となっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合が、7割を超えている。



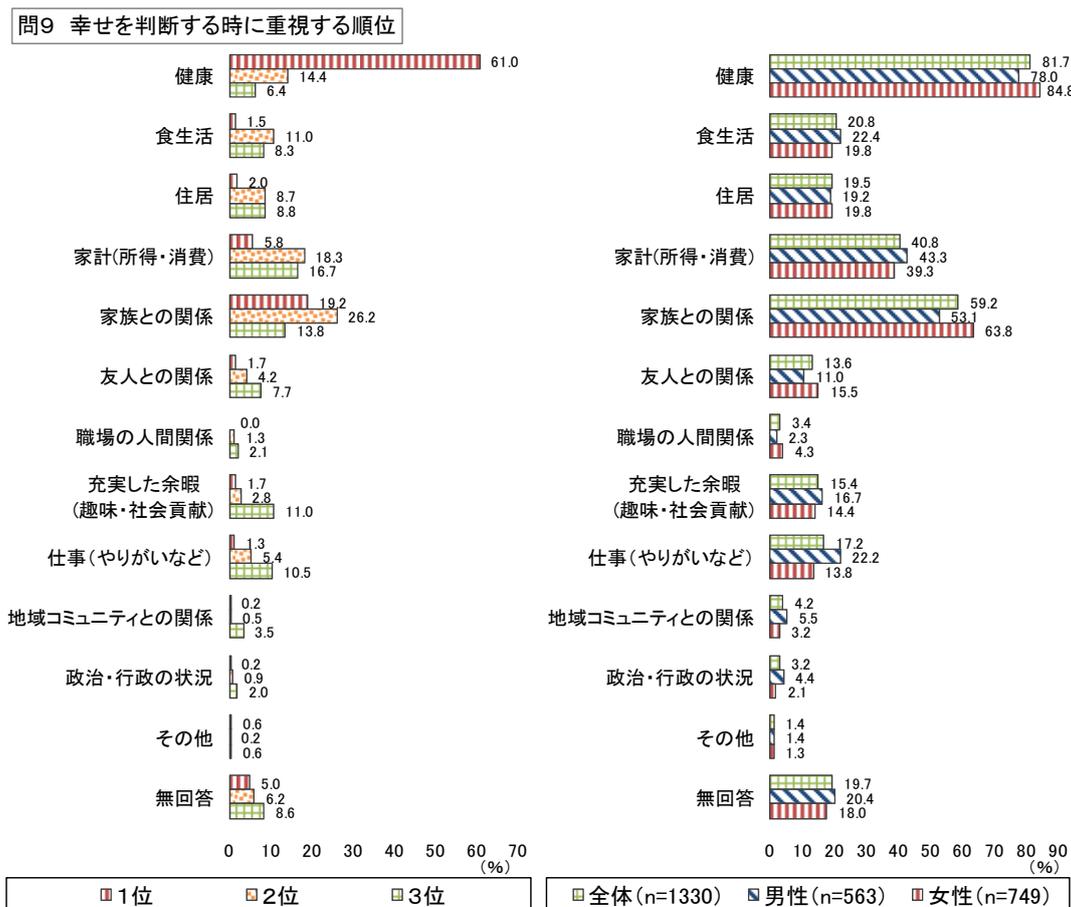
前回と比較すると、「とても幸せだと感じる」がやや減少しているが、「どちらかという幸せだと感じる」も含めた割合をみると、概ね同様の割合となっている。



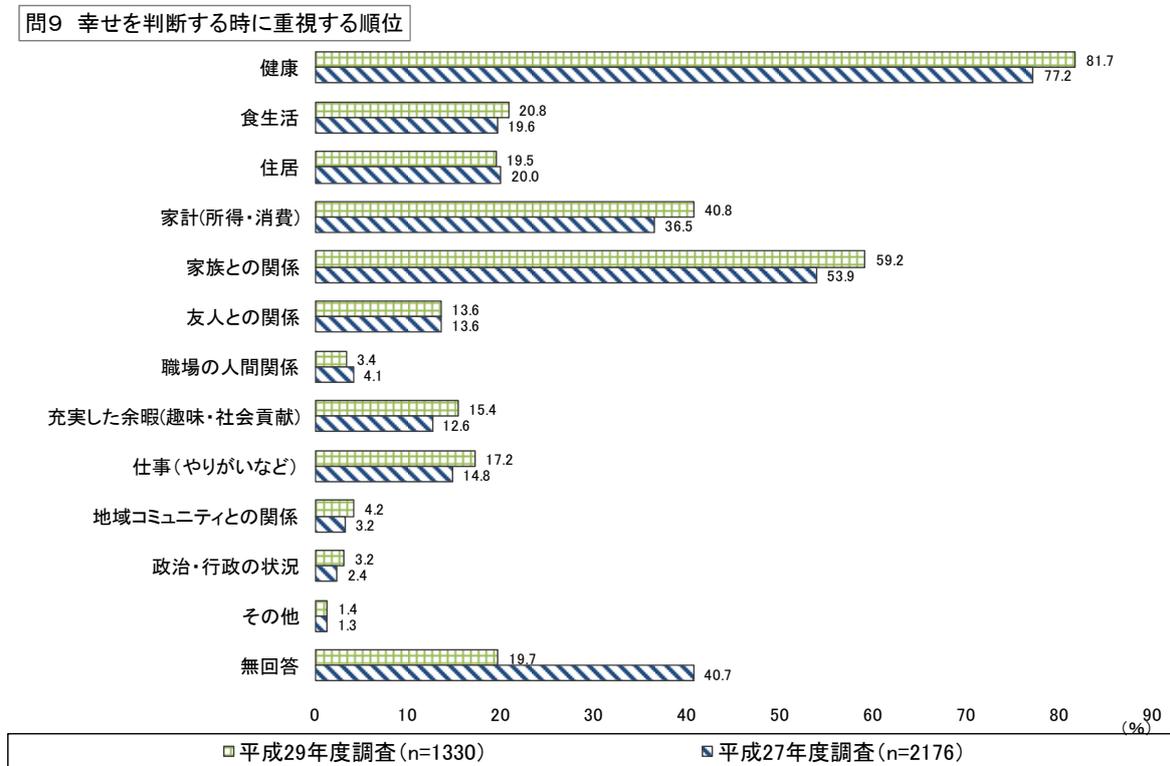
問9 問8の質問で、幸せを判断するときに重視したことは何ですか。（次のうちから重視した順に3つまでお書きください。）

「健康」を1位とする割合が最も高く、61.0%となっている。ついで2位では「家族との関係」が高くなっており、26.2%、3位では「家計（所得・消費）」で16.7%であった。

性別にみると、女性は「家族との関係」の割合で男性よりも10ポイント程度高く、63.8%となっている。一方で、「仕事（やりがいなど）」では男性の方が女性よりも10ポイント近く高く、22.2%であった。



前回調査と比較すると、「家族との関係」が5ポイント以上高い、59.2%となったほか、「健康」や「家計（所得・消費）」でも前回よりやや増加している。



問 10 市全般に関することについておうかがいします。

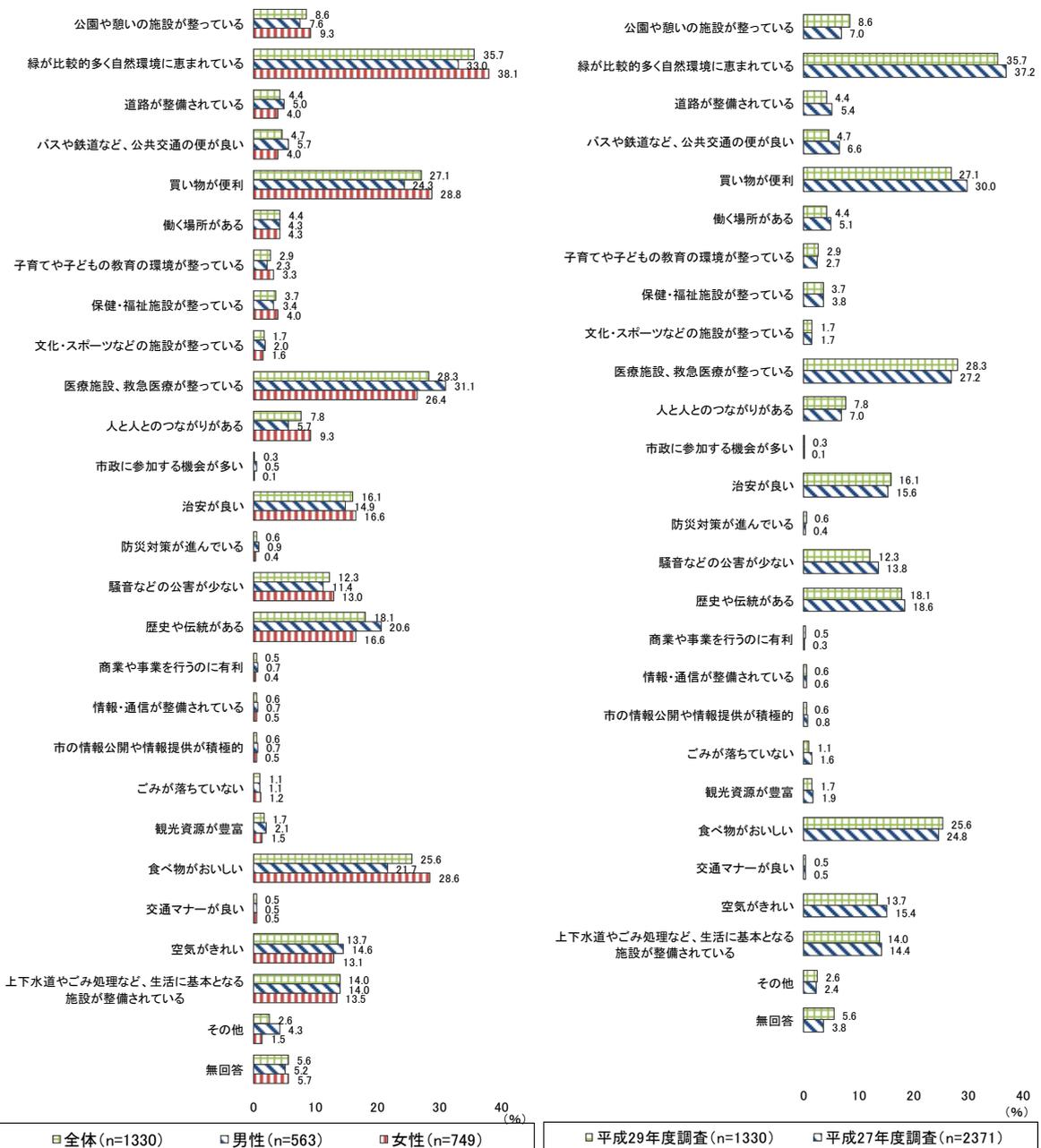
(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が35.7%と最も高く、ついで「医療施設、救急医療が整っている」が28.3%、「買い物便利」が27.1%となっている。

性別にみると、女性では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」「買い物便利」「食べ物がおいしい」が男性よりも比較的高くなっており、一方で男性では「医療施設、救急医療が整っている」「歴史や伝統がある」が女性よりも高くなっている。

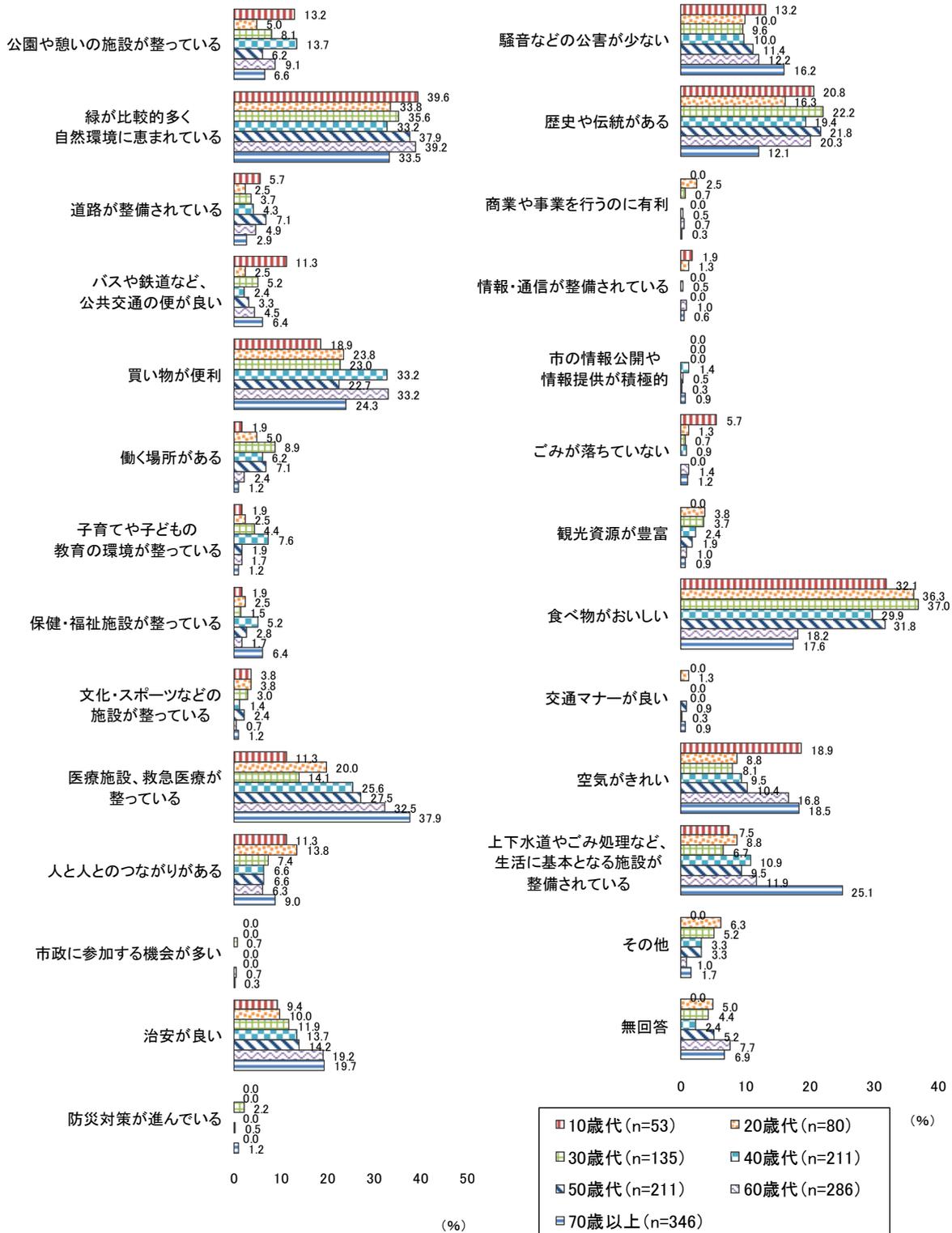
前回調査と比較すると、「公園や憩いの施設が整っている」が若干増加したが、「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」「買い物便利」「空気がきれい」等の割合が減少している。

問10(1) 松阪市の良いところ



年代別にみると、年代が上がるごとに「医療施設、救急医療が整っている」「治安が良い」の割合が増加している。また、20歳代から30歳代では「食べ物がおいしい」が3割半ばと高くなっている。

問10(1) 松阪市の良いところ



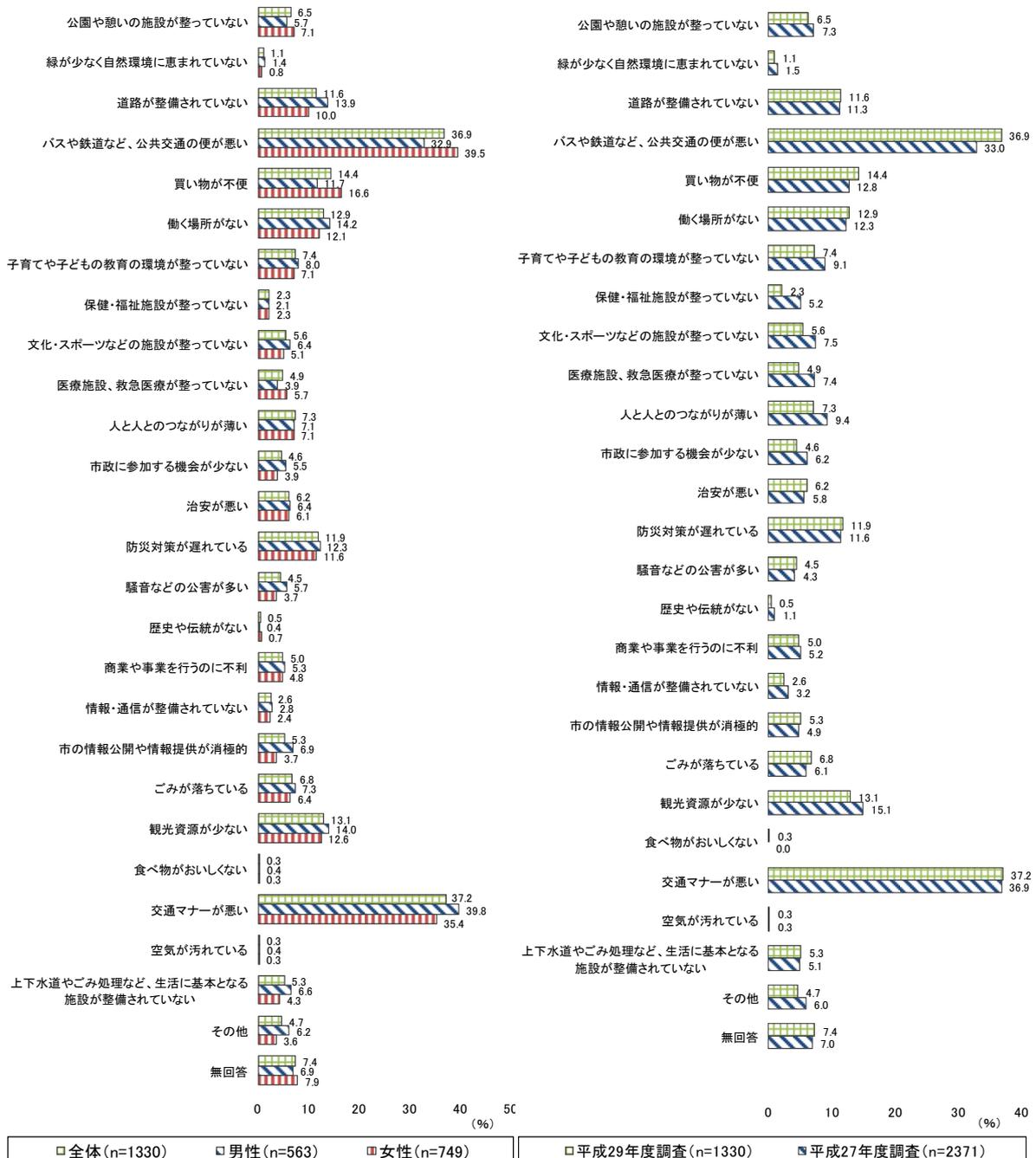
(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「交通マナーが悪い」が37.2%と最も高く、ついで「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が36.9%、「買い物不便」が14.4%となっている。

性別にみると、男性では「道路が整備されていない」「市の情報公開や情報提供が消極的」「交通マナーが悪い」が女性よりも高くなっている。一方で女性では、「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」「買い物不便」が男性よりも高くなっている。

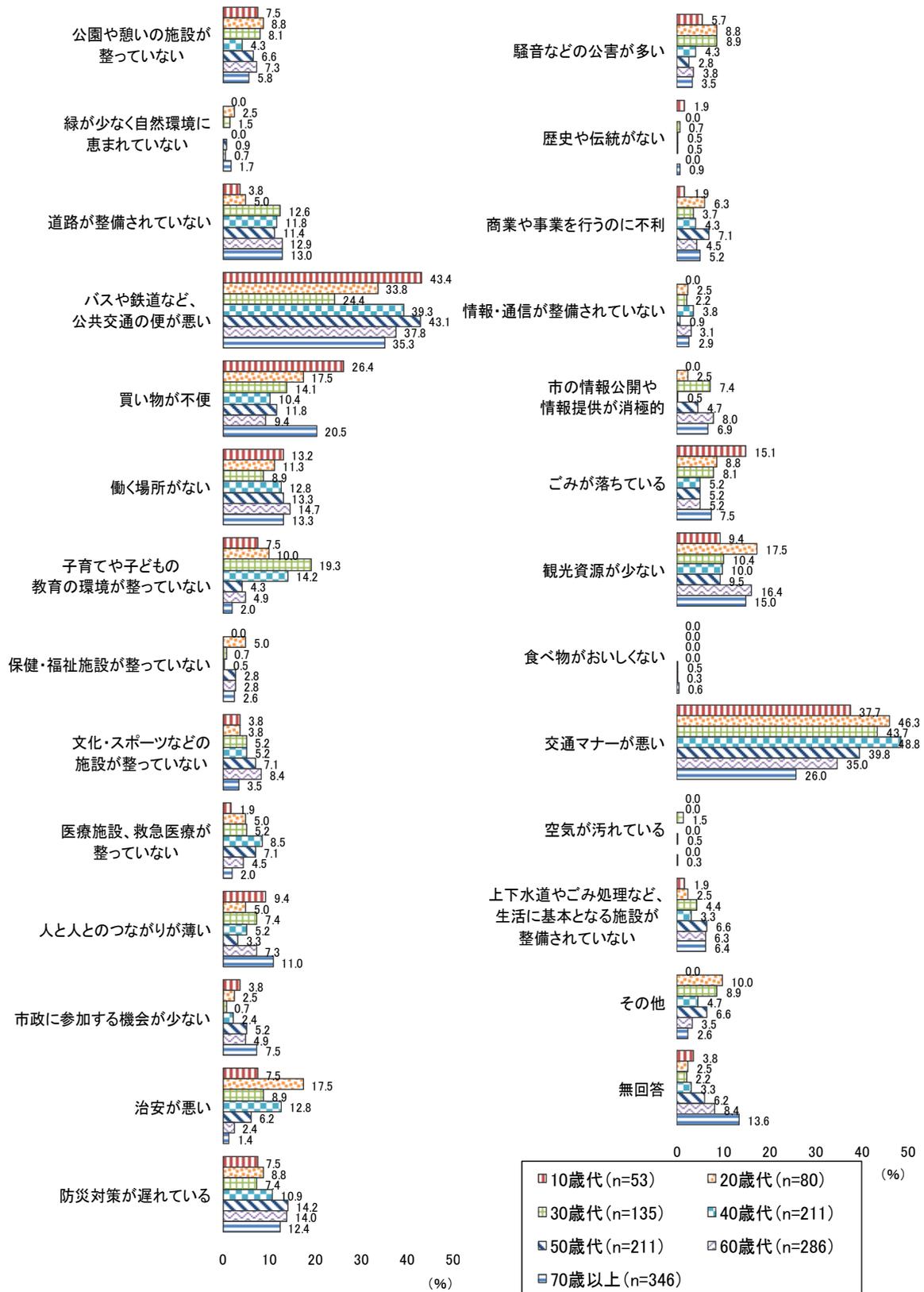
前回調査と比較すると、「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が増加している。一方で施設などハード面を指摘する割合は減少している。

問10(2) 松阪市の良くないところ



年代別にみると、10歳代と70歳以上で「買い物不便」が高く、いずれも2割を超えている。

問10(2) 松阪市の良くないところ

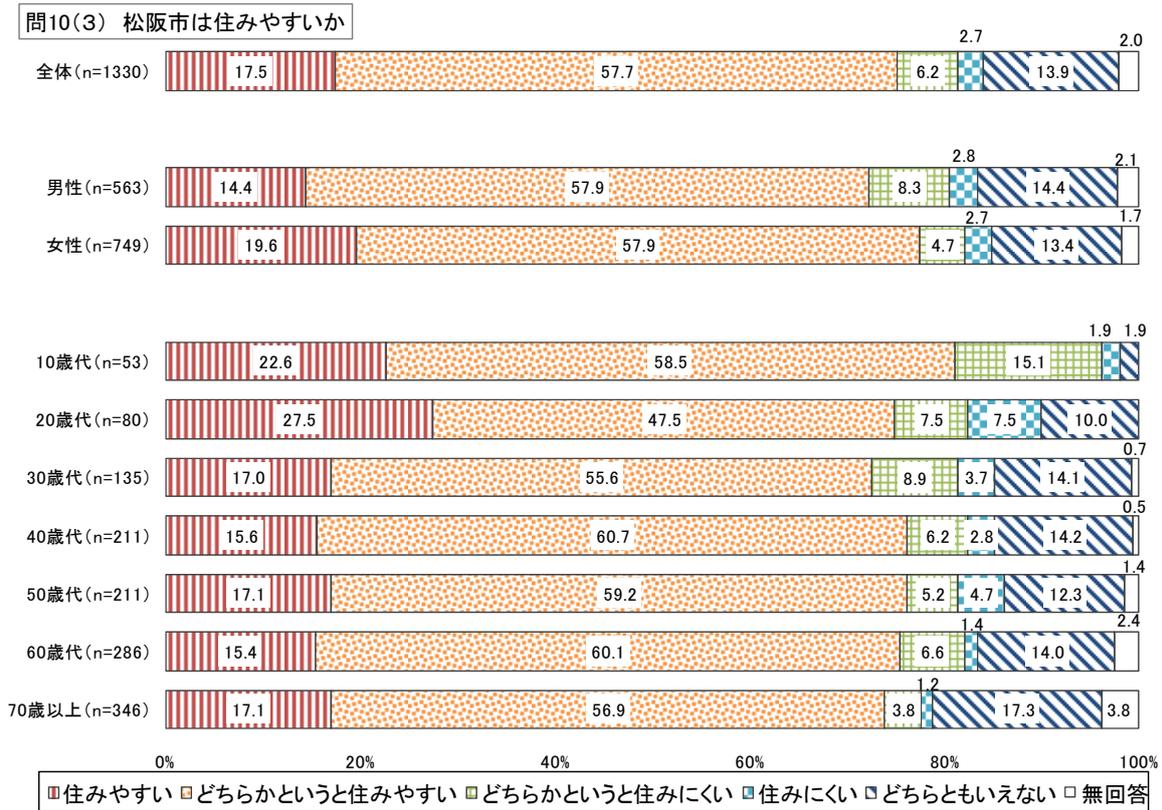


(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)

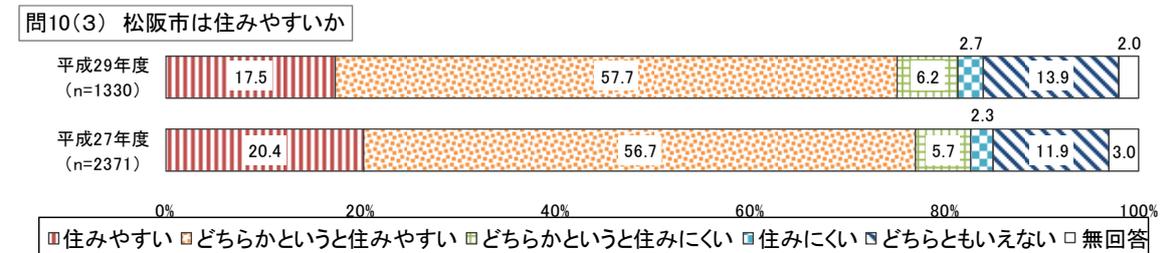
「どちらかというに住みやすい」が57.7%と最も高く、ついで「住みやすい」が17.5%、「どちらともいえない」が13.9%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」が高くなっているが、女性の方が男性よりも5ポイント程度「住みやすい」の割合が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代も「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合が半数以上となっているが、10歳代が81.1%で最も高くなっている。



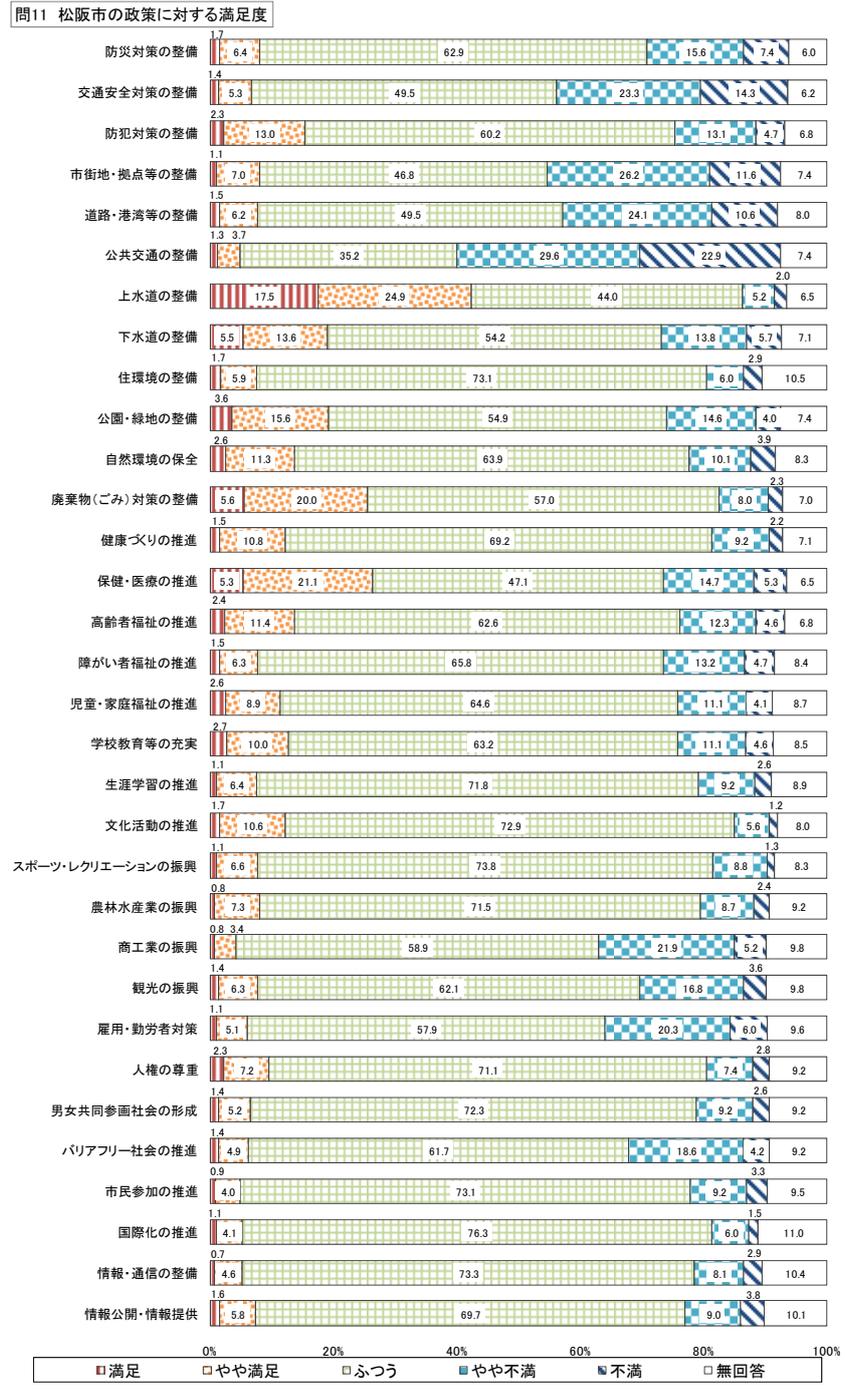
前回と比較すると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合が減少している一方で、「どちらかというに住みにくい」「住みにくい」が増加している。



問 11 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(32)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

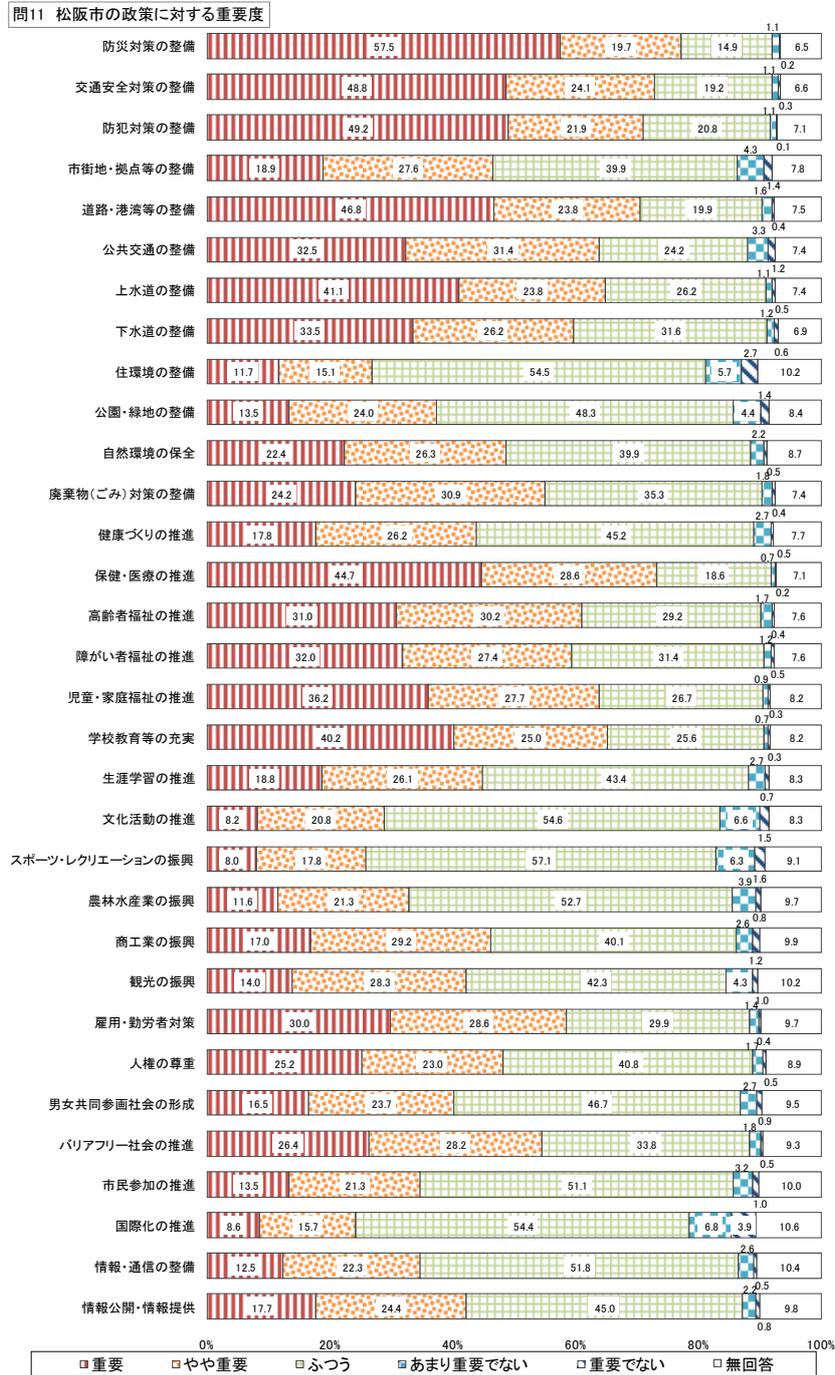
(1) 満足度

満足度(「満足」「やや満足」の合計)が高いものとして、「上水道の整備」が最も高く、42.4%となっているほか、「保健・医療の推進」が26.4%、「廃棄物(ごみ)対策の整備」が25.6%となっている。一方で不満度(「やや不満」「不満」)が高いものは、「公共交通の整備」が52.5%、「市街地・拠点等の整備」が37.8%、「交通安全対策の整備」が37.6%となっている。



## (2) 重要度

重要度（「重要」「やや重要」の合計）が高いものとして、「防災対策の整備」が77.2%、「保健医療の推進」が73.3%、「交通安全対策の整備」が72.9%となっている。



施策項目ごとに、満足度と重要度のそれぞれに評価得点をつけて評価する。評価得点は、満足度及び重要度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いる。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

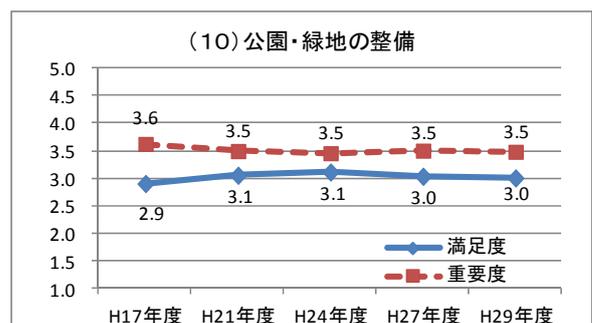
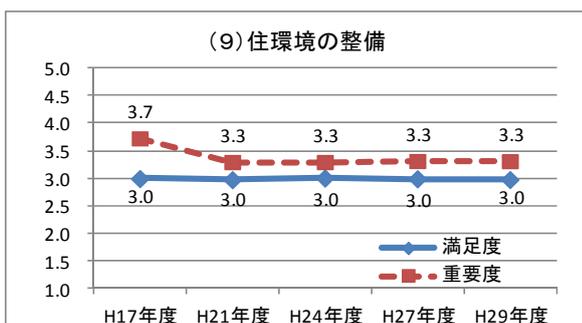
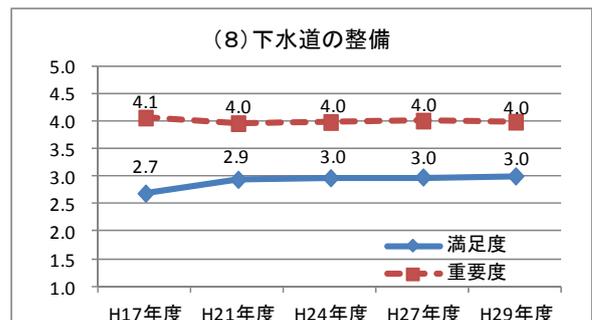
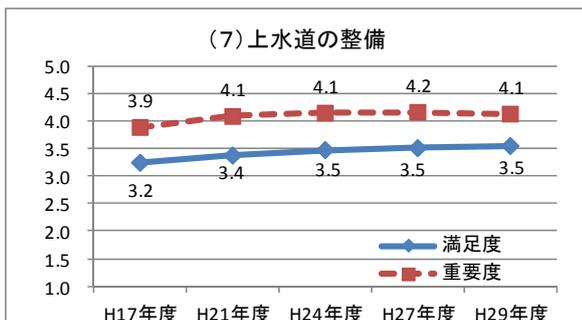
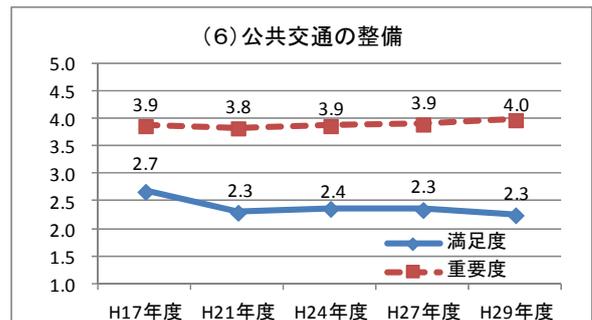
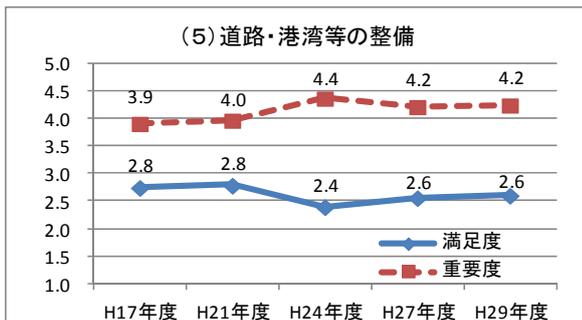
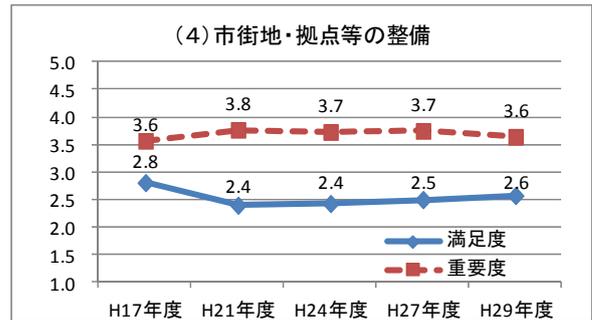
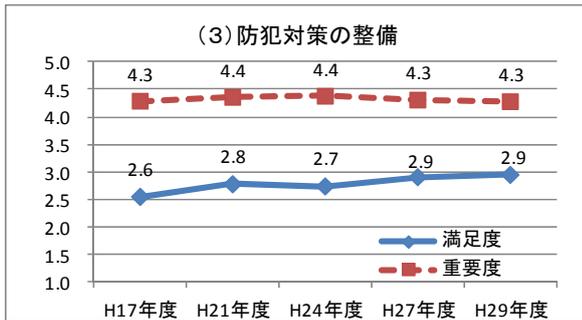
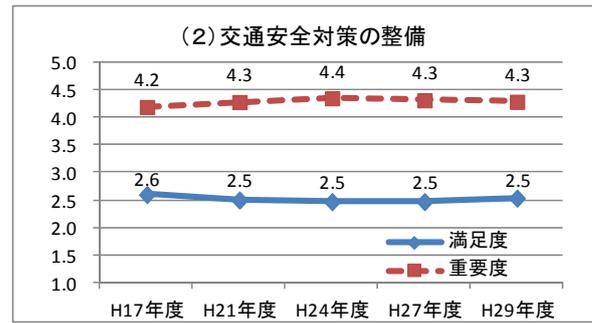
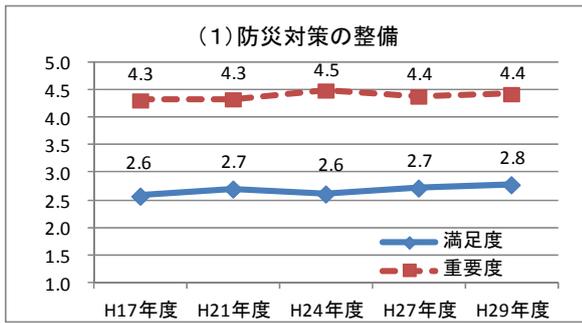
《評価得点の算出式》

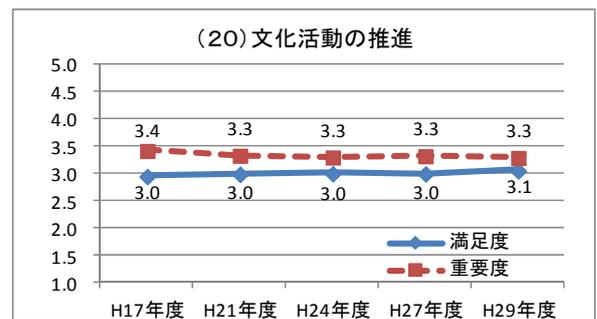
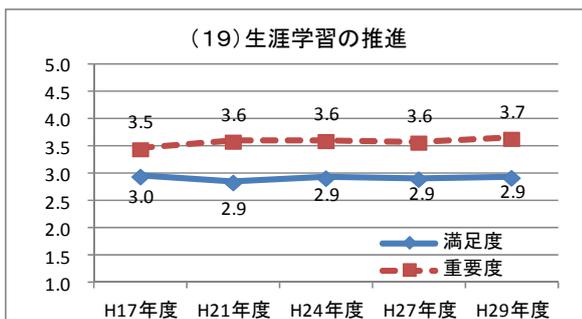
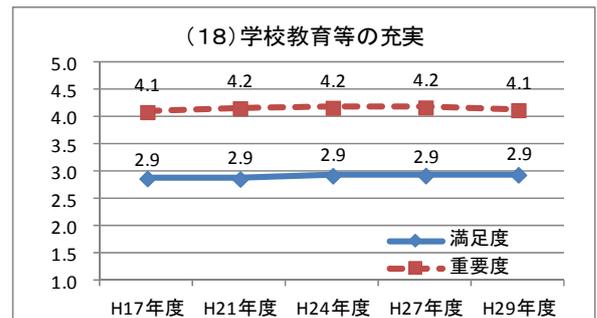
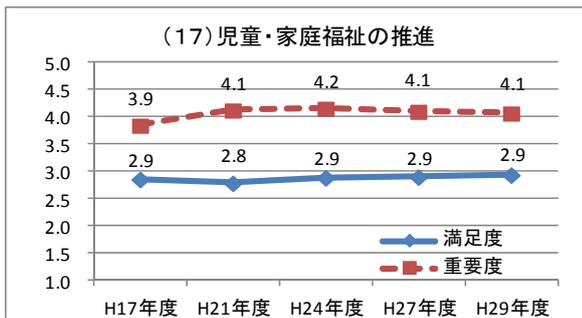
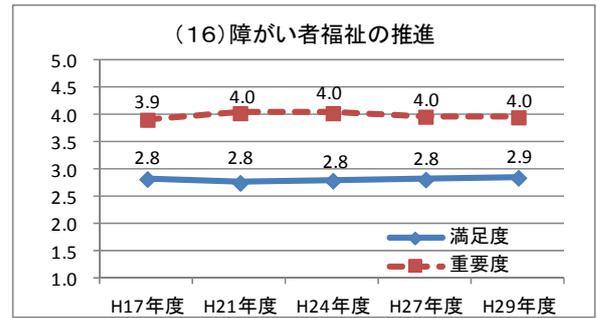
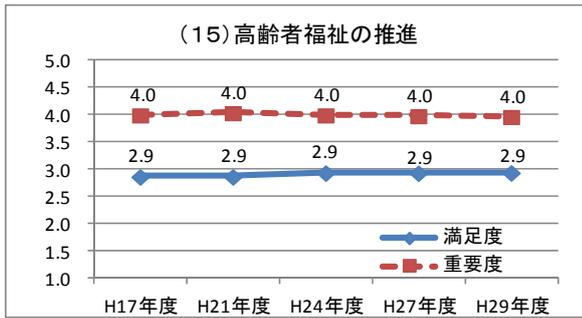
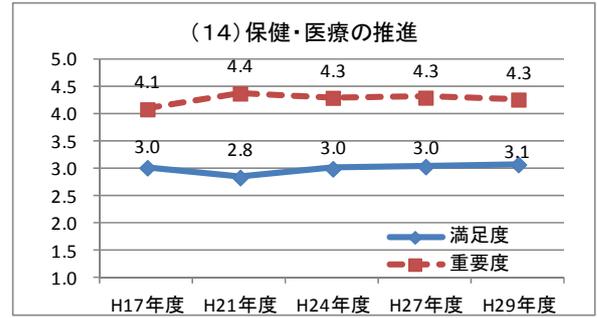
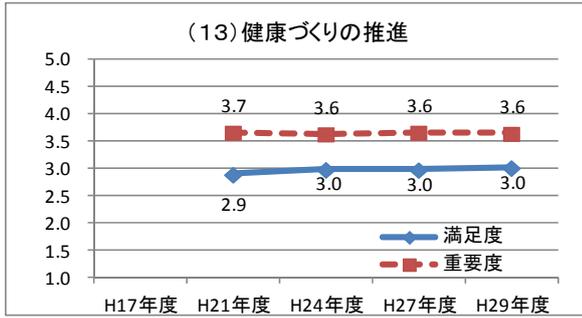
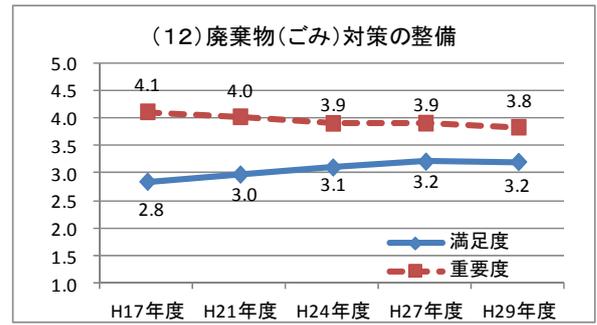
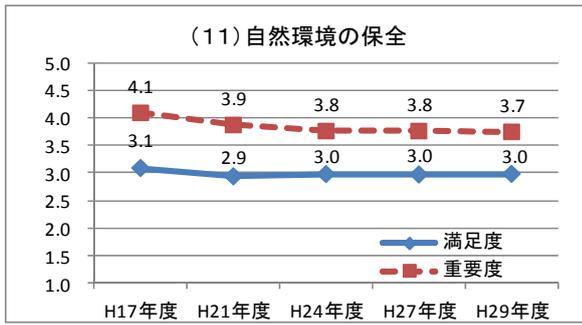
満足度 =	$\frac{[\text{満足}] \times 5 \text{点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{点} + [\text{不満}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$
重要度 =	$\frac{[\text{重要}] \times 5 \text{点} + [\text{やや重要}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{あまり重要でない}] \times 2 \text{点} + [\text{重要でない}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$

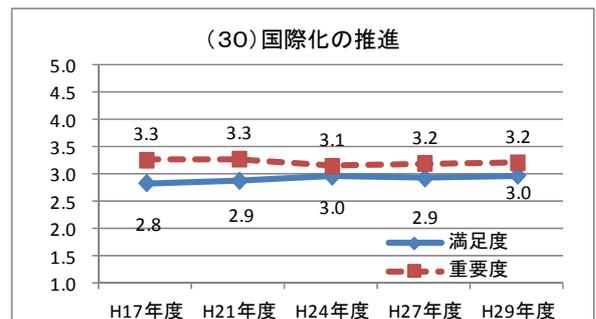
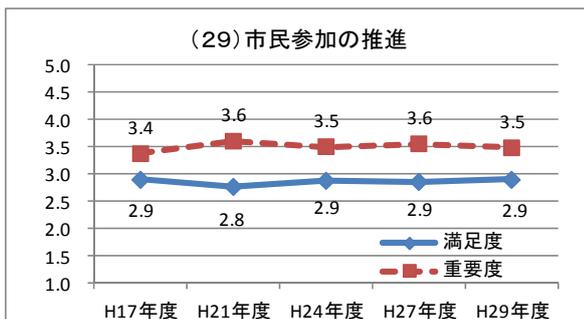
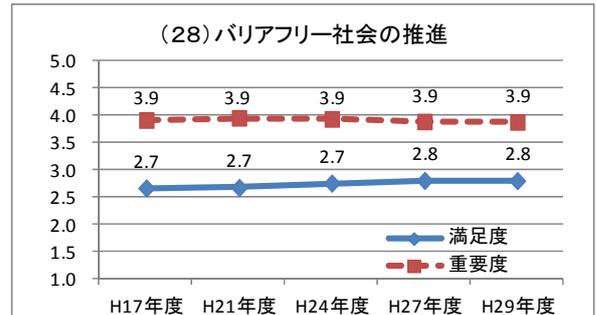
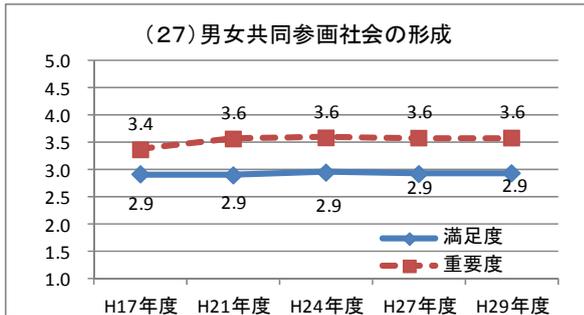
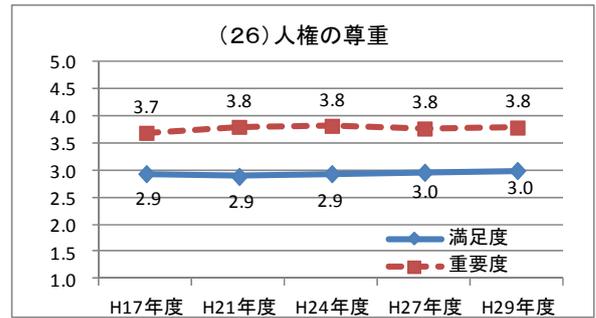
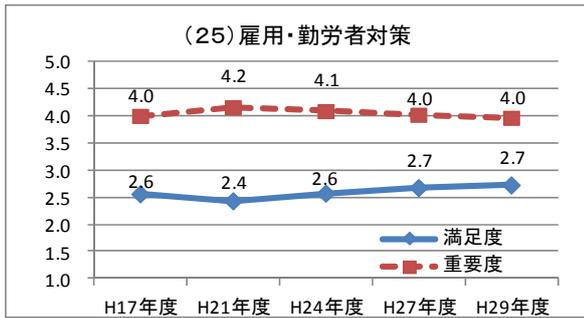
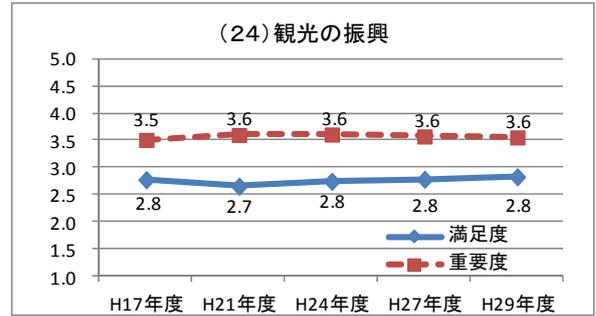
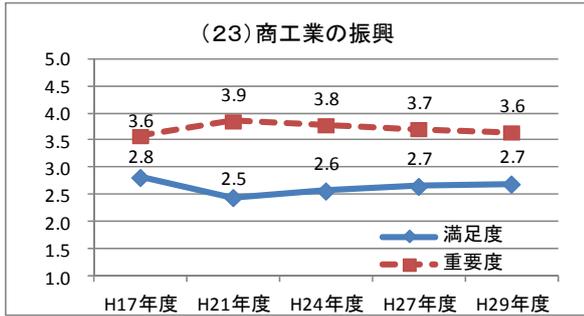
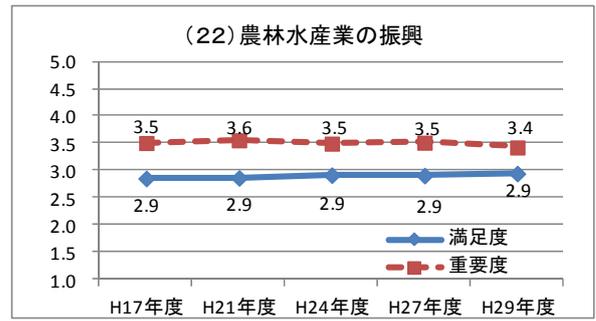
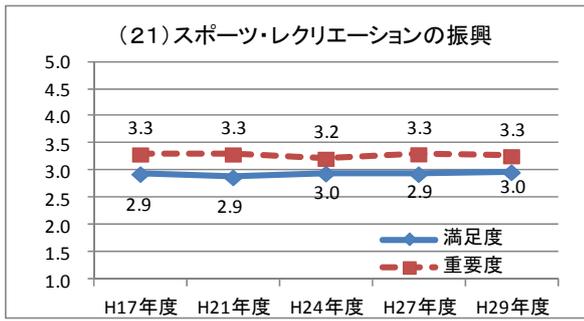
前回と比較すると、満足度では32項目中26項目が上昇、3項目が横ばい、3項目が下降となり、平均では横ばいとなっている。

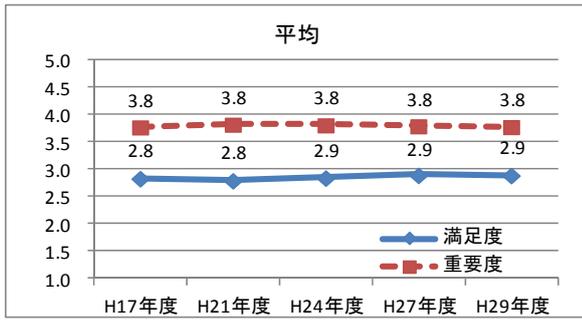
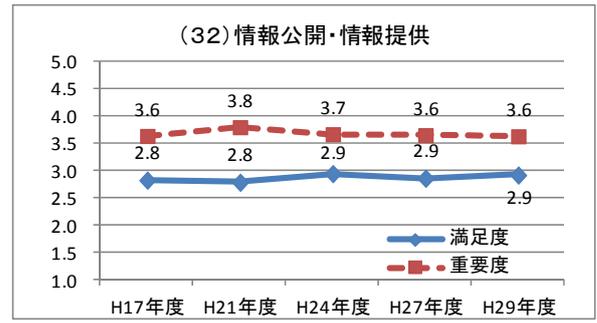
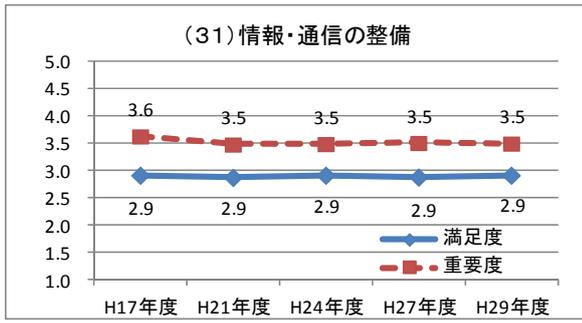
重要度をみると、32項目中6項目が上昇、2項目が横ばい、24項目が下降となり、平均では下降となっている。

項目番号	施策	満足度						重要度											
		H17年度	H21年度	H24年度	H27年度	H29年度	H17年度	H21年度	H24年度	H27年度	H29年度								
1	防災対策の整備	2.57	↗	2.70	↘	2.61	↗	2.72	↗	2.78	4.31	↗	4.33	↗	4.49	↘	4.38	↗	4.42
2	交通安全対策の整備	2.60	↘	2.50	↘	2.47	→	2.47	↗	2.53	4.19	↗	4.28	↗	4.35	↘	4.31	↘	4.29
3	防犯対策の整備	2.55	↗	2.78	↘	2.74	↗	2.91	↗	2.95	4.29	↗	4.36	↗	4.38	↘	4.31	↘	4.28
4	市街地・拠点等の整備	2.80	↘	2.39	↗	2.42	↗	2.49	↗	2.56	3.56	↗	3.76	↘	3.72	↗	3.74	↘	3.63
5	道路・港湾等の整備	2.75	↗	2.79	↘	2.40	↗	2.56	↗	2.61	3.91	↗	3.97	↗	4.37	↘	4.21	↗	4.24
6	公共交通の整備	2.68	↘	2.30	↗	2.37	↘	2.35	↘	2.25	3.87	↘	3.83	↗	3.87	↗	3.90	↗	3.98
7	上水道の整備	3.24	↘	3.37	↗	3.47	↗	3.50	↗	3.54	3.88	↗	4.08	↗	4.14	↗	4.16	↘	4.12
8	下水道の整備	2.68	↗	2.93	↗	2.96	↗	2.97	↗	2.99	4.05	↘	3.95	↗	3.97	↗	4.00	↘	3.98
9	住環境の整備	2.99	↘	2.97	↗	3.00	↘	2.99	↘	2.97	3.72	↘	3.29	→	3.29	↗	3.31	→	3.31
10	公園・緑地の整備	2.90	↘	3.05	↗	3.11	↘	3.03	↘	3.00	3.62	↘	3.49	↘	3.45	↗	3.50	↘	3.48
11	自然環境の保全	3.09	↘	2.94	↗	2.98	↘	2.97	↗	2.98	4.09	↘	3.87	↘	3.76	→	3.76	↘	3.75
12	廃棄物(ごみ)対策の整備	2.84	↗	2.97	↗	3.10	↗	3.20	→	3.20	4.11	↘	4.02	↘	3.90	→	3.90	↘	3.83
13	健康づくりの推進	-	↗	2.88	↗	2.97	→	2.97	↗	3.00	-	↘	3.65	↘	3.62	↗	3.65	↘	3.63
14	保健・医療の推進	3.01	↘	2.83	↗	2.99	↗	3.03	↗	3.07	4.08	↗	4.37	↘	4.29	→	4.29	↘	4.26
15	高齢者福祉の推進	2.87	→	2.87	↗	2.94	→	2.94	→	2.94	4.00	↗	4.04	↘	4.00	↘	3.98	↘	3.97
16	障がい者福祉の推進	2.83	↘	2.76	↗	2.80	↗	2.82	↗	2.85	3.92	↗	4.04	→	4.04	↘	3.98	↘	3.97
17	児童・家庭福祉の推進	2.86	↘	2.79	↗	2.89	↗	2.91	↗	2.94	3.85	↗	4.13	↗	4.16	↘	4.11	↘	4.07
18	学校教育等の充実	2.88	↘	2.87	↗	2.93	→	2.93	↗	2.95	4.10	↗	4.17	↗	4.18	→	4.18	↘	4.13
19	生涯学習の推進	2.96	↘	2.85	↗	2.93	↘	2.91	↗	2.94	3.46	↗	3.60	↗	3.61	↘	3.58	↗	3.65
20	文化活動の推進	2.96	↗	3.00	↗	3.01	→	3.01	↗	3.06	3.43	↘	3.34	↘	3.31	↗	3.33	↘	3.30
21	スポーツ・レクリエーションの振興	2.94	↘	2.88	↗	2.95	↘	2.94	↗	2.97	3.30	→	3.30	↘	3.22	↗	3.30	↘	3.27
22	農林水産業の振興	2.86	↘	2.87	↗	2.92	↘	2.91	↗	2.95	3.51	↗	3.56	↘	3.50	↗	3.52	↘	3.43
23	商工業の振興	2.82	↘	2.45	↗	2.57	↗	2.65	↗	2.70	3.58	↗	3.85	↘	3.78	↘	3.71	↘	3.65
24	観光の振興	2.78	↘	2.66	↗	2.75	↗	2.79	↗	2.83	3.51	↗	3.60	↗	3.61	↘	3.58	↘	3.56
25	雇用・勤労者対策	2.56	↘	2.43	↗	2.57	↗	2.67	↗	2.72	3.99	↗	4.15	↘	4.08	↘	4.01	↘	3.96
26	人権の尊重	2.93	↘	2.88	↗	2.93	↗	2.95	↗	2.99	3.68	↗	3.79	↗	3.81	↘	3.76	↗	3.78
27	男女共同参画社会の形成	2.91	↘	2.89	↗	2.94	↘	2.91	↗	2.93	3.36	↗	3.56	↗	3.58	→	3.58	→	3.58
28	バリアフリー社会の推進	2.65	↗	2.66	↗	2.74	↗	2.79	→	2.79	3.90	↗	3.94	↘	3.92	↘	3.87	↘	3.86
29	市民参加の推進	2.89	↘	2.76	↗	2.87	↘	2.85	↗	2.89	3.37	↗	3.60	↘	3.50	↗	3.55	↘	3.48
30	国際化の推進	2.83	↗	2.87	↗	2.95	↘	2.92	↗	2.97	3.25	↗	3.27	↘	3.14	↗	3.19	↗	3.20
31	情報・通信の整備	2.91	↘	2.87	↗	2.91	↘	2.88	↗	2.91	3.62	↘	3.47	↗	3.48	↗	3.50	↘	3.49
32	情報公開・情報提供	2.82	↘	2.78	↗	2.94	↘	2.85	↗	2.91	3.63	↗	3.79	↘	3.66	↗	3.64	↘	3.62
平均		2.84	↘	2.80	↗	2.85	↗	2.90	→	2.90	3.78	↗	3.83	↘	3.82	↘	3.80	↘	3.79





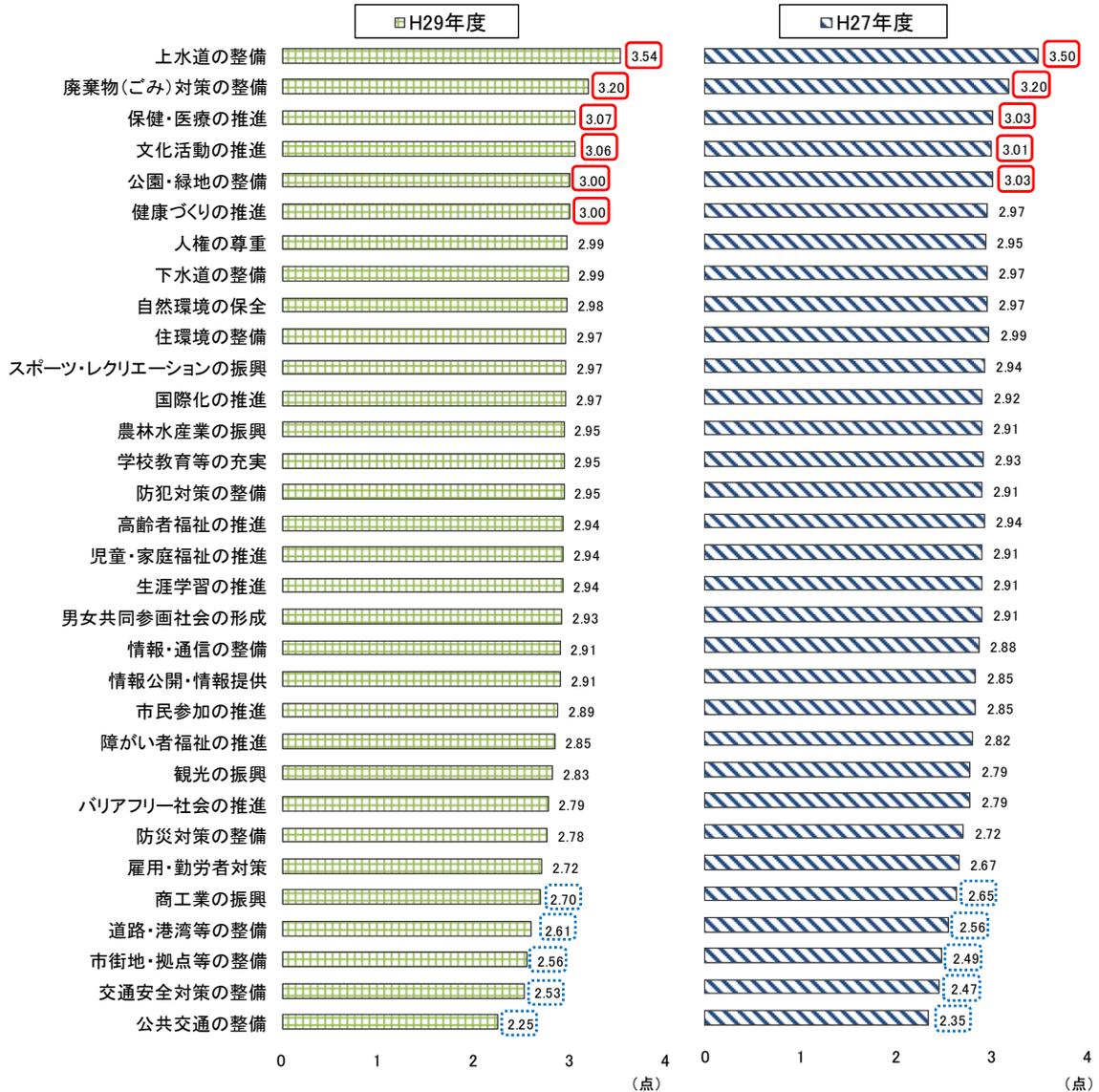




満足度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内□、評価得点が高い下位5項目は青枠線内□となっている。

上位5項目は前回と同様の項目となっているが、「文化活動の推進」と「公園・緑地の整備」の順位が入れ替わっているほか、前回上位5項目に入っていなかった「健康づくりの推進」が入っている。一方で下位5項目は順位も含め前回と同様となっている。

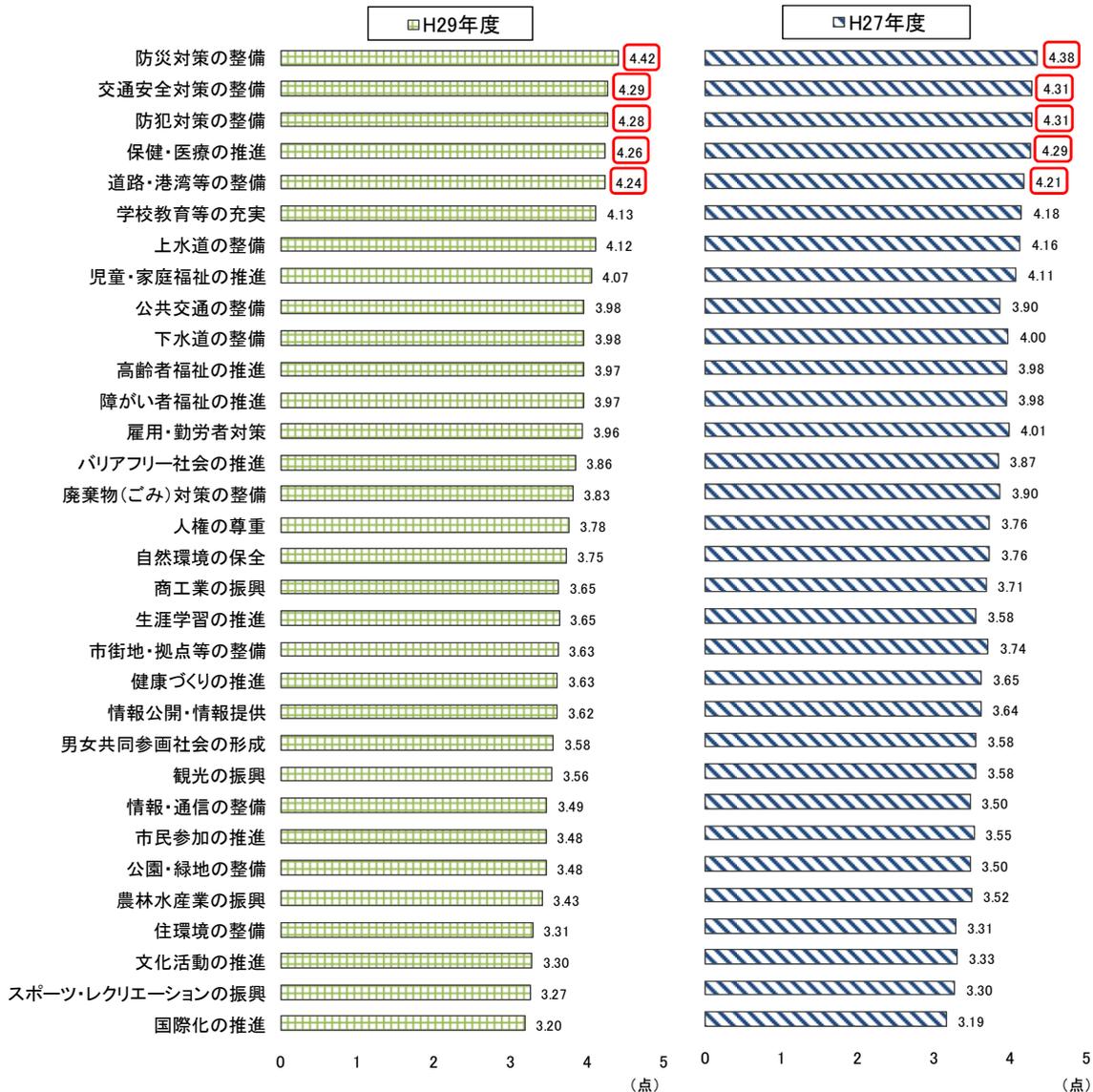
問11 松阪市の政策に対する満足度



重要度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 4.42 となっている。

上位5項目は順位も含め、前回と同様となっている。また、「公共交通の整備」が順位を上げた一方で、「雇用・勤労者対策」が順位を下げている。

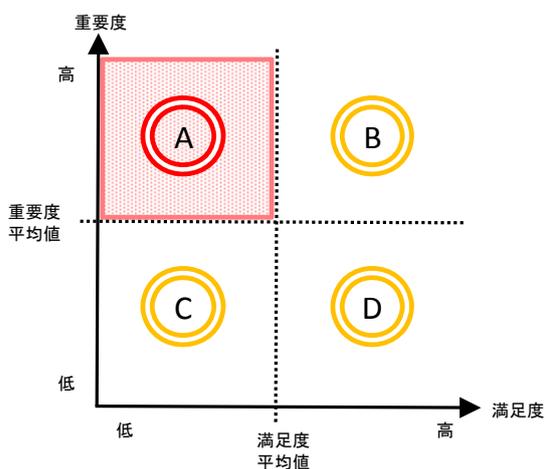
問11 松阪市の政策に対する重要度



32 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

### 《分析方法》

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析します。



#### 《最重点項目の設定》

重要度が高く、満足度が低い項目は、市民が最も望んでいる最重点項目と考えることができます。

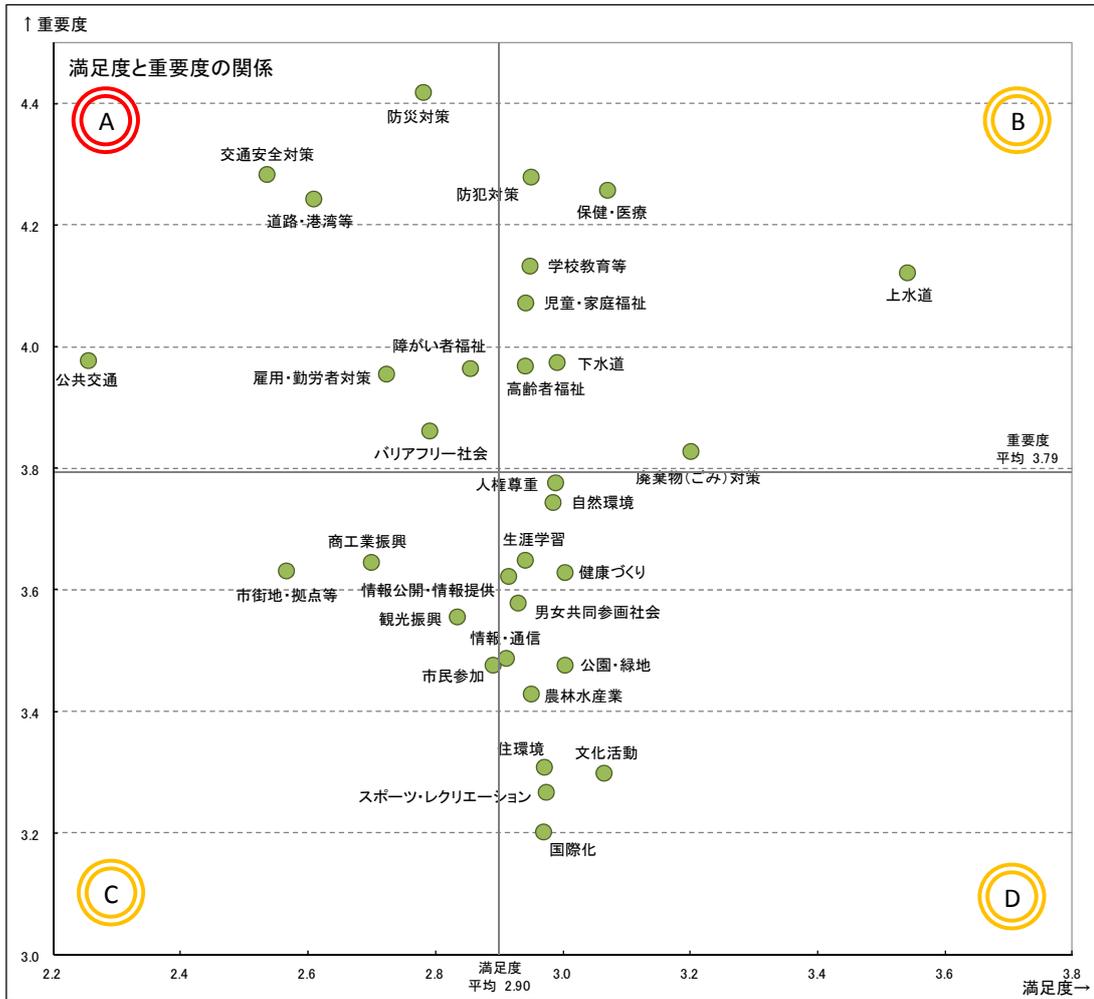
#### 最重点項目の判定基準

- ・満足度⇒平均値を下回る
- ・重要度⇒平均値を上回る

### 《施策項目に対する考え方》

#### 分類

- ① A 満足度が低く、重要度が高い ⇒ **最重点項目（優先すべき施策）**
- ② B 満足度が高く、重要度が高い ⇒ **これまで通り継続して実施すべき施策**
- ③ C 満足度が低く、重要度が低い ⇒ **施策内容等を見直し、検討を要する施策**
- ④ D 満足度が高く、重要度が低い ⇒ **これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策**



以上の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は下記のとおりです。

<p>最重点項目（市民が優先して求めている施策）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 防災対策の整備</li> <li><input type="radio"/> 交通安全対策の整備</li> <li><input type="radio"/> 道路・港湾等の整備</li> <li><input type="radio"/> 雇用・勤労者対策</li> <li><input type="radio"/> 障がい者福祉の推進</li> <li><input type="radio"/> 公共交通の整備</li> <li><input type="radio"/> パリアフリー社会の推進</li> </ul>		
<p>これまで通り継続して実施すべき施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 防犯対策の整備</li> <li><input type="radio"/> 保健・医療の推進</li> <li><input type="radio"/> 学校教育等の充実</li> <li><input type="radio"/> 上水道の整備</li> <li><input type="radio"/> 児童・家庭福祉の推進</li> <li><input type="radio"/> 下水道の整備</li> <li><input type="radio"/> 高齢者福祉の推進</li> <li><input type="radio"/> 廃棄物（ごみ）対策の整備</li> </ul>		
<p>施策内容等を見直し、検討を要する施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 市街地・拠点等の整備</li> <li><input type="radio"/> 商工業の振興</li> <li><input type="radio"/> 市民参加の推進</li> <li><input type="radio"/> 観光の振興</li> </ul>		
<p>これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 自然環境の保全</li> <li><input type="radio"/> 人権の尊重</li> <li><input type="radio"/> 健康づくりの推進</li> <li><input type="radio"/> 男女共同参画社会の形成</li> <li><input type="radio"/> 生涯学習の推進</li> <li><input type="radio"/> 農林水産業の振興</li> <li><input type="radio"/> 公園・緑地の整備</li> <li><input type="radio"/> 文化活動の推進</li> <li><input type="radio"/> 住環境の整備</li> <li><input type="radio"/> スポーツ・レクリエーションの振興</li> <li><input type="radio"/> 国際化の推進</li> <li><input type="radio"/> 情報公開・情報提供</li> <li><input type="radio"/> 情報・通信</li> </ul>		

最重点項目について前回と比べると以下の通りとなる。

7つの重点項目をみると、4つのパターンに分かれる。

①『満足度が上昇』かつ『重要度が下降』

「交通安全対策の整備」「雇用・勤労者対策」「障がい者福祉の推進」があげられる。

②『満足度が上昇』かつ『重要度が上昇』

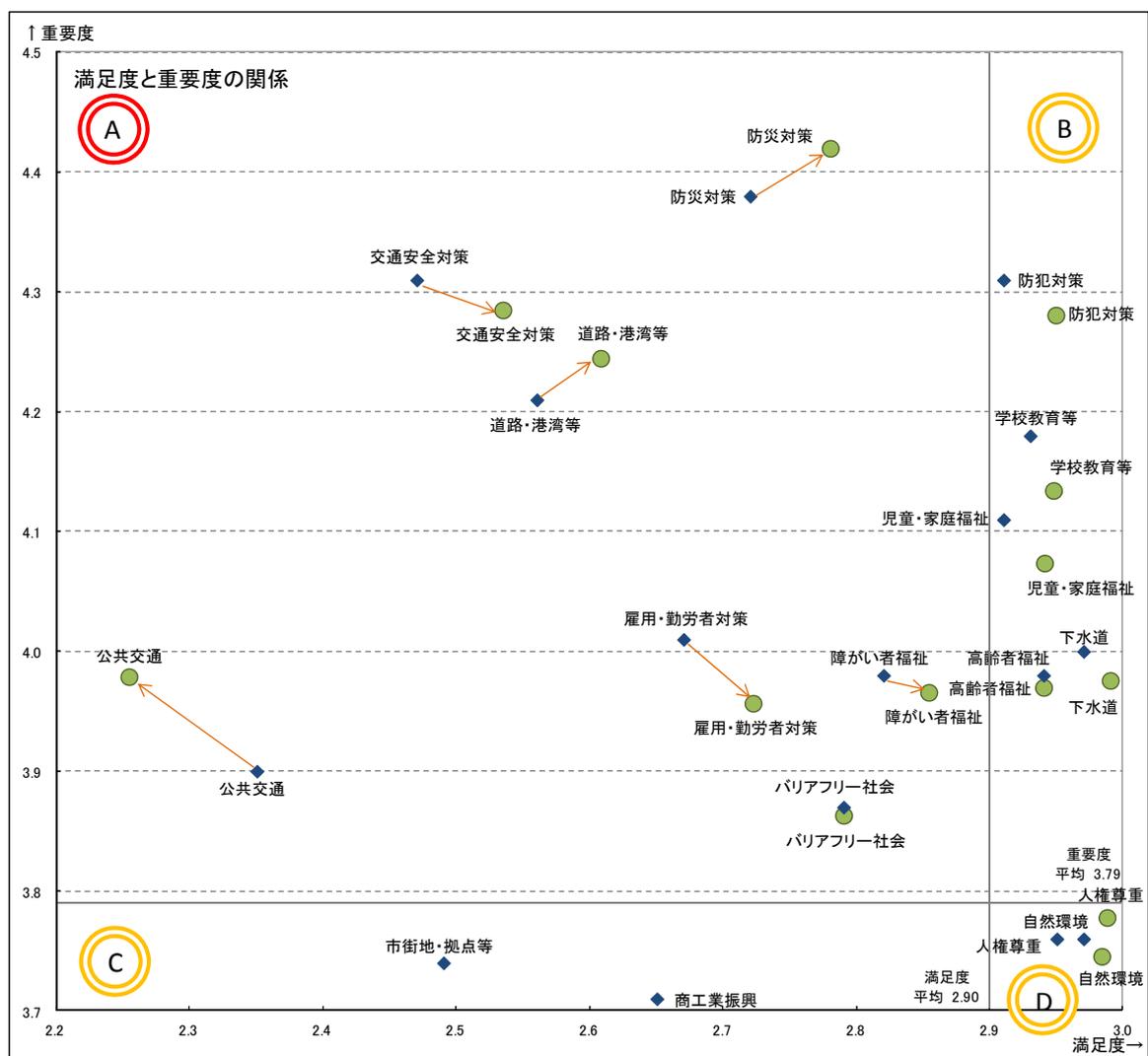
「防災対策の整備」「道路・港湾等の整備」があげられる。

③『満足度が下降』かつ『重要度が上昇』

「公共交通の整備」があげられる。

④『満足度がよこばい』かつ『重要度が下降』

「バリアフリー社会の推進」があげられる。



※◆前回調査（平成27年度） ●平成29年度調査

ここで、最重点項目について、ニーズを算出して整理する。

《ニーズ得点》

ニーズ得点は、満足度と重要度により、満足度が低くかつ重要度が大きいほど点数が高くなる指標であり、その得点が大きい項目ほど市民のニーズが高いことを示している。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《ニーズ得点の算出式》

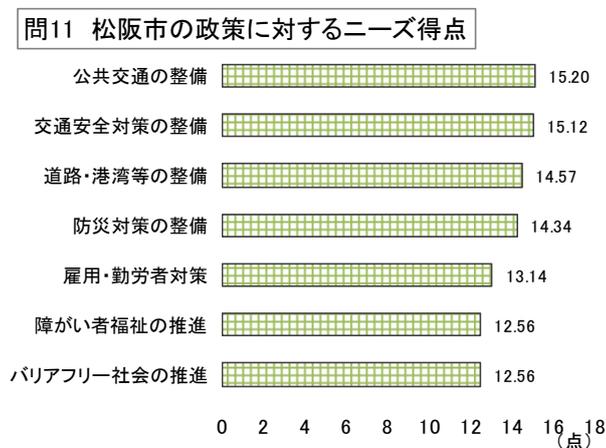
$$\text{ニーズ得点} = (6 - \text{満足度得点}) \times \text{重要度得点}$$

優先順位の判定にあたっては、平均ニーズ得点で行う。

《平均ニーズ得点の算出式》

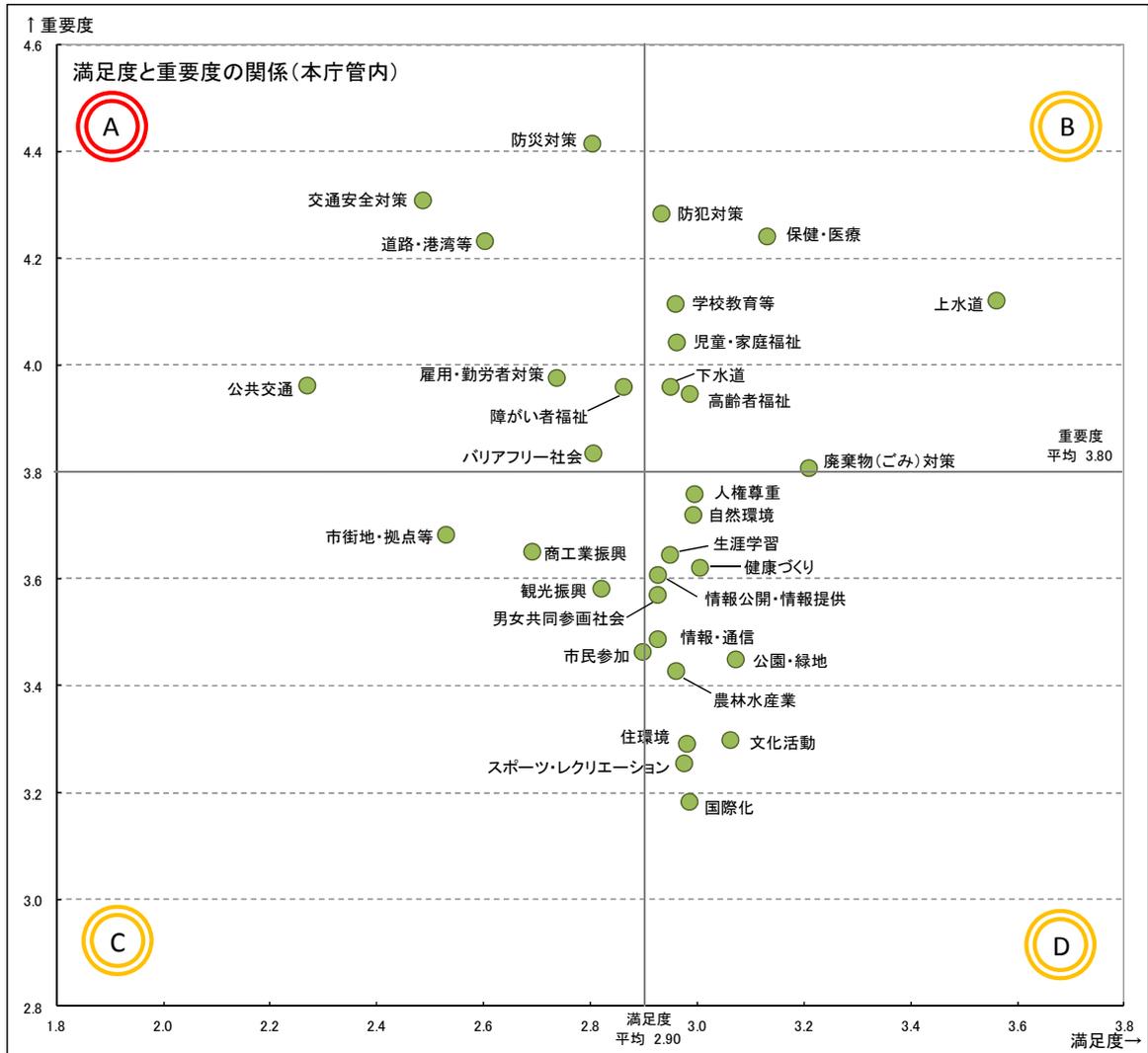
$$\text{平均ニーズ得点} = \text{ニーズ得点の合計} \div \text{回答数(満足度と重要度の両方を回答された数)}$$

以上の算出方法をもとに、最重点項目について平均ニーズ得点を整理すると、以下のように「公共交通の整備」「交通安全対策の整備」「道路・港湾等の整備」のニーズ得点が高くなっている。



ここで、居住地域別に 32 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

《本庁管内》



- 最重点項目（本庁管内の市民が優先して求めている施策）
- 防災対策の整備
  - 交通安全対策の整備
  - 道路・港湾等の整備
  - 雇用・勤労者対策
  - 障がい者福祉の推進
  - 公共交通の整備
  - バリアフリー社会の推進

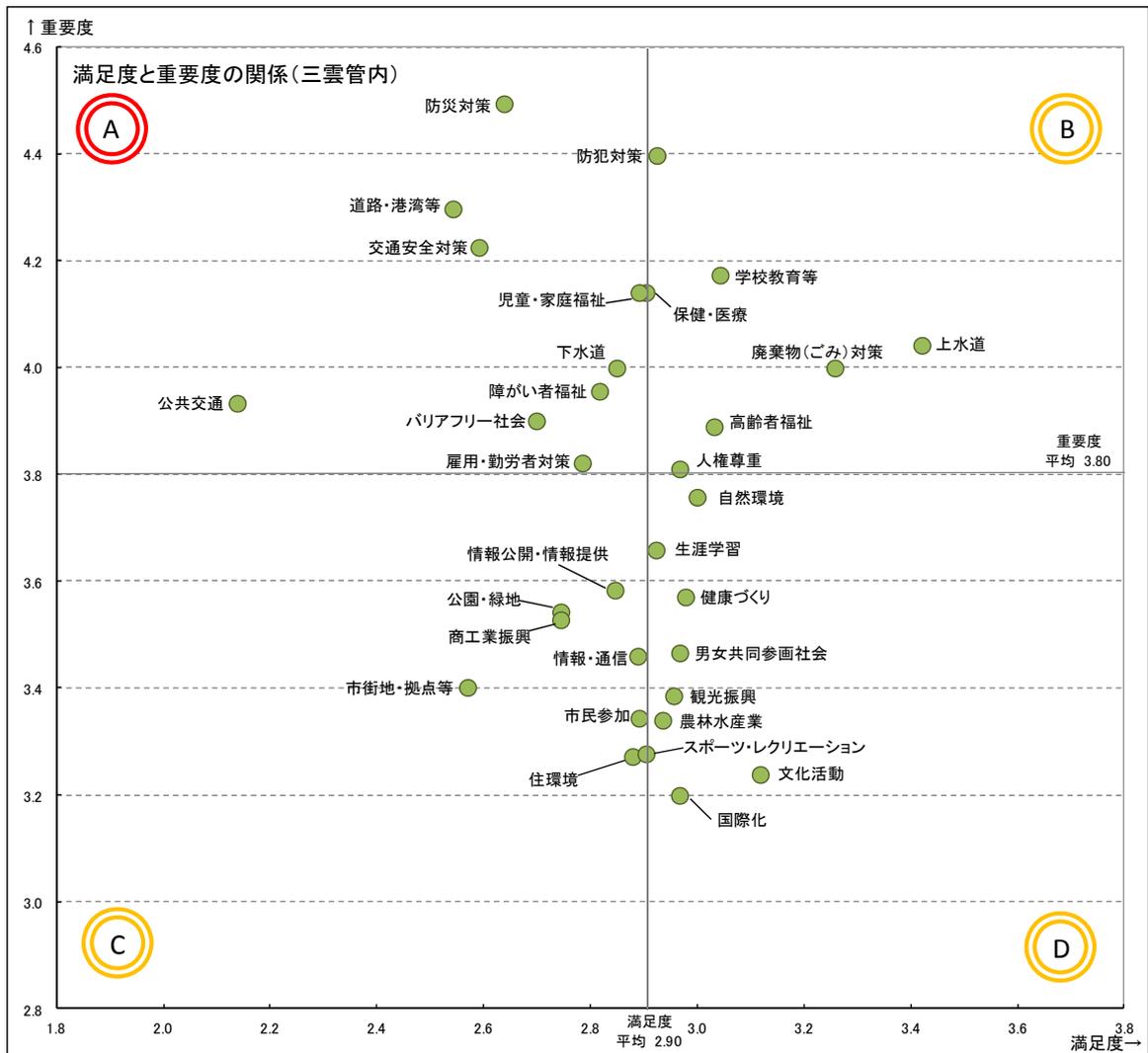
《 嬉野管内 》



最重点項目 (嬉野管内の市民が優先して求めている施策)

- 防災対策の整備
- 交通安全対策の整備
- 道路・港湾等の整備
- 雇用・勤労者対策
- 障がい者福祉の推進
- バリアフリー社会の推進
- 公共交通の整備

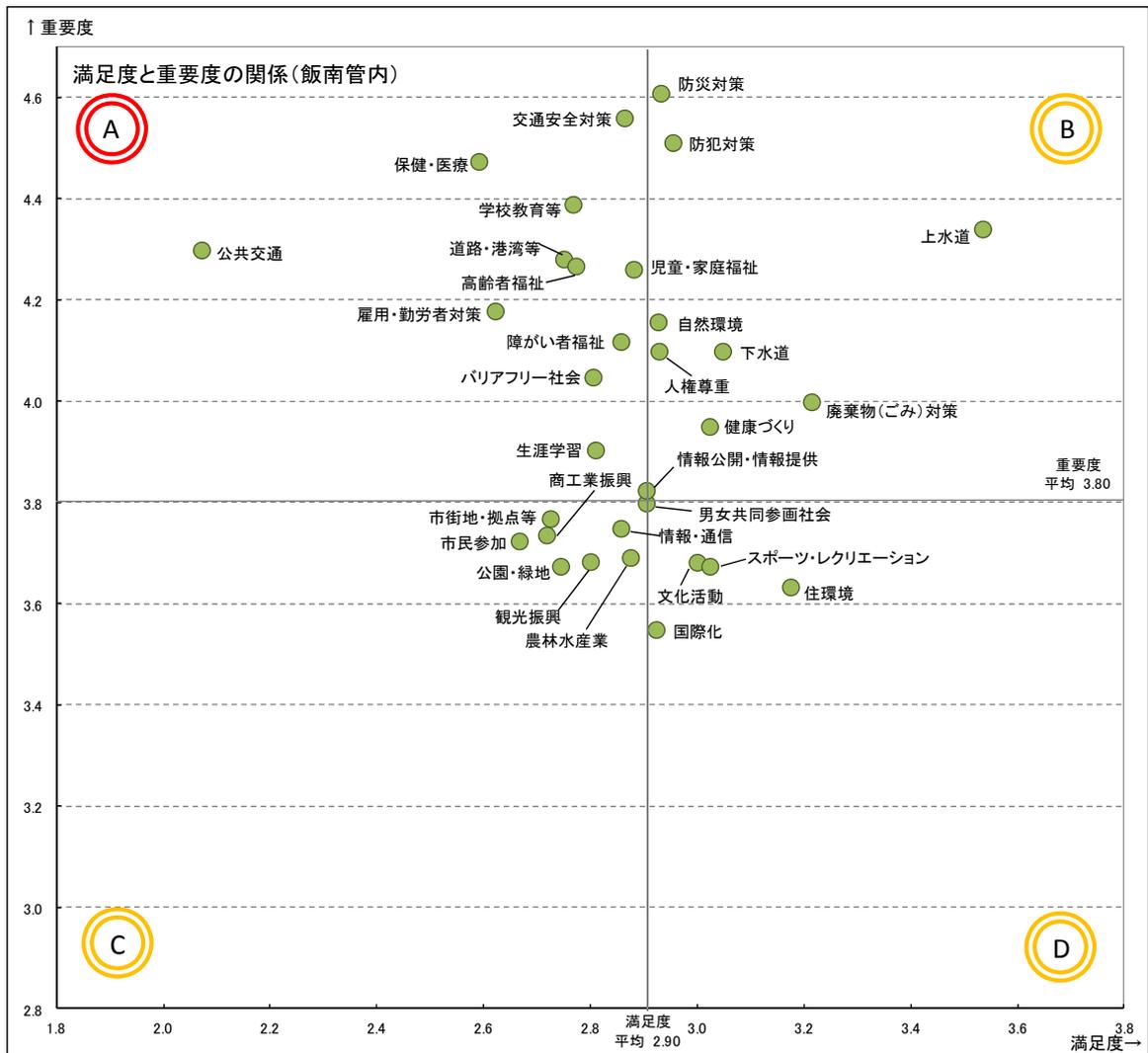
《三雲管内》



最重点項目 (三雲管内の市民が優先して求めている施策)

- 防災対策の整備
- 道路・港湾等の整備
- 交通安全対策の整備
- 下水道の整備
- 児童・家庭福祉の推進
- 雇用・勤労者対策
- 障がい者福祉の推進
- 公共交通の整備
- バリアフリー社会の推進
- 保健・医療の推進

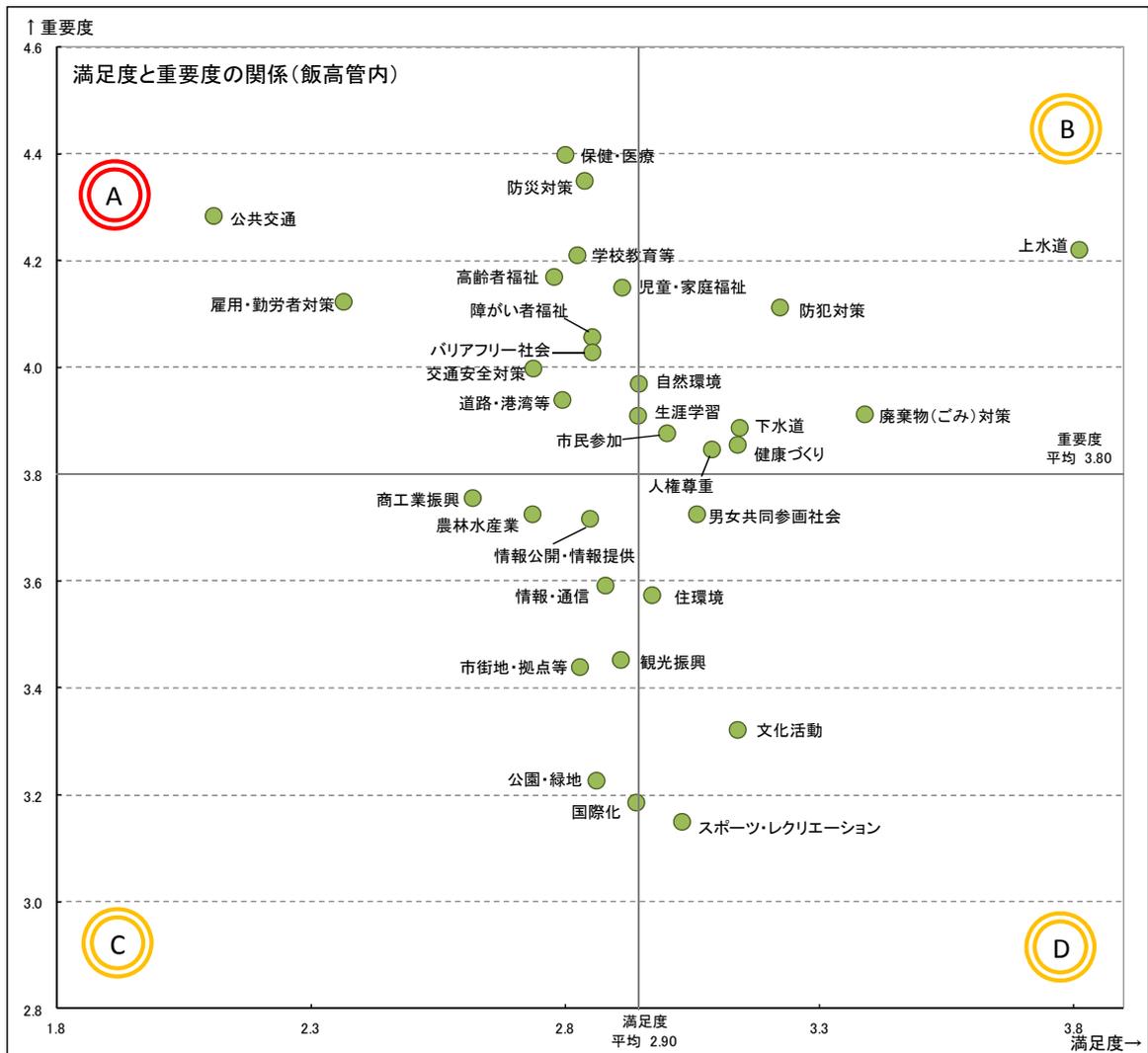
《飯南管内》



最重点項目（飯南管内の市民が優先して求めている施策）

- バリアフリー社会の推進
- 交通安全対策の整備
- 保健・医療の推進
- 児童・家庭福祉の推進
- 雇用・勤労者対策
- 道路・港湾等の整備
- 公共交通の整備
- 障がい者福祉の推進
- 高齢者福祉の推進
- 学校教育等の充実
- 生涯学習の推進

《飯高管内》



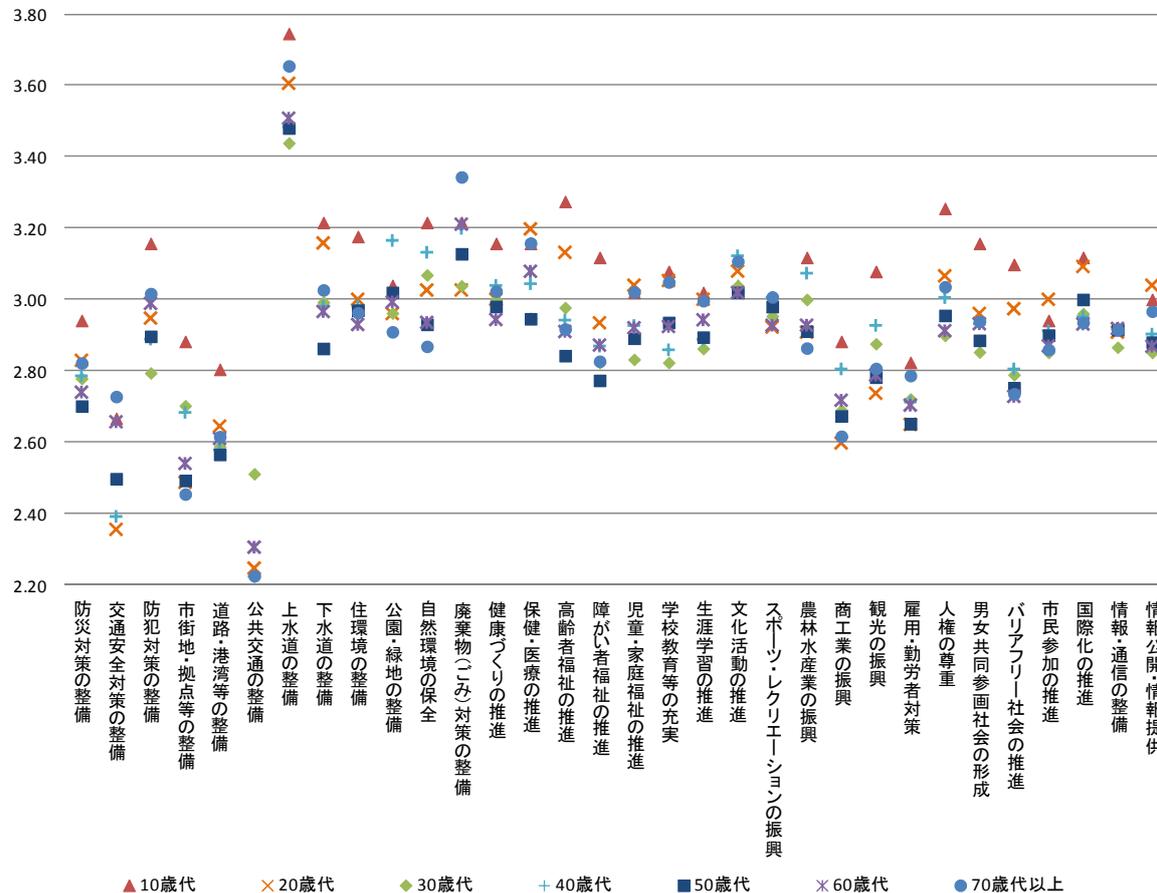
最重点項目 (飯高管内の市民が優先して求めている施策)

- |               |              |             |
|---------------|--------------|-------------|
| ○ 公共交通の整備     | ○ 防災対策の整備    | ○ 道路・港湾等の整備 |
| ○ 保健・医療の推進    | ○ 交通安全対策の整備  | ○ 雇用・勤労者対策  |
| ○ 高齢者福祉の推進    | ○ 障がい者福祉の推進  | ○ 学校教育等の充実  |
| ○ バリアフリー社会の推進 | ○ 児童・家庭福祉の推進 |             |

ここで、年代別に 32 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

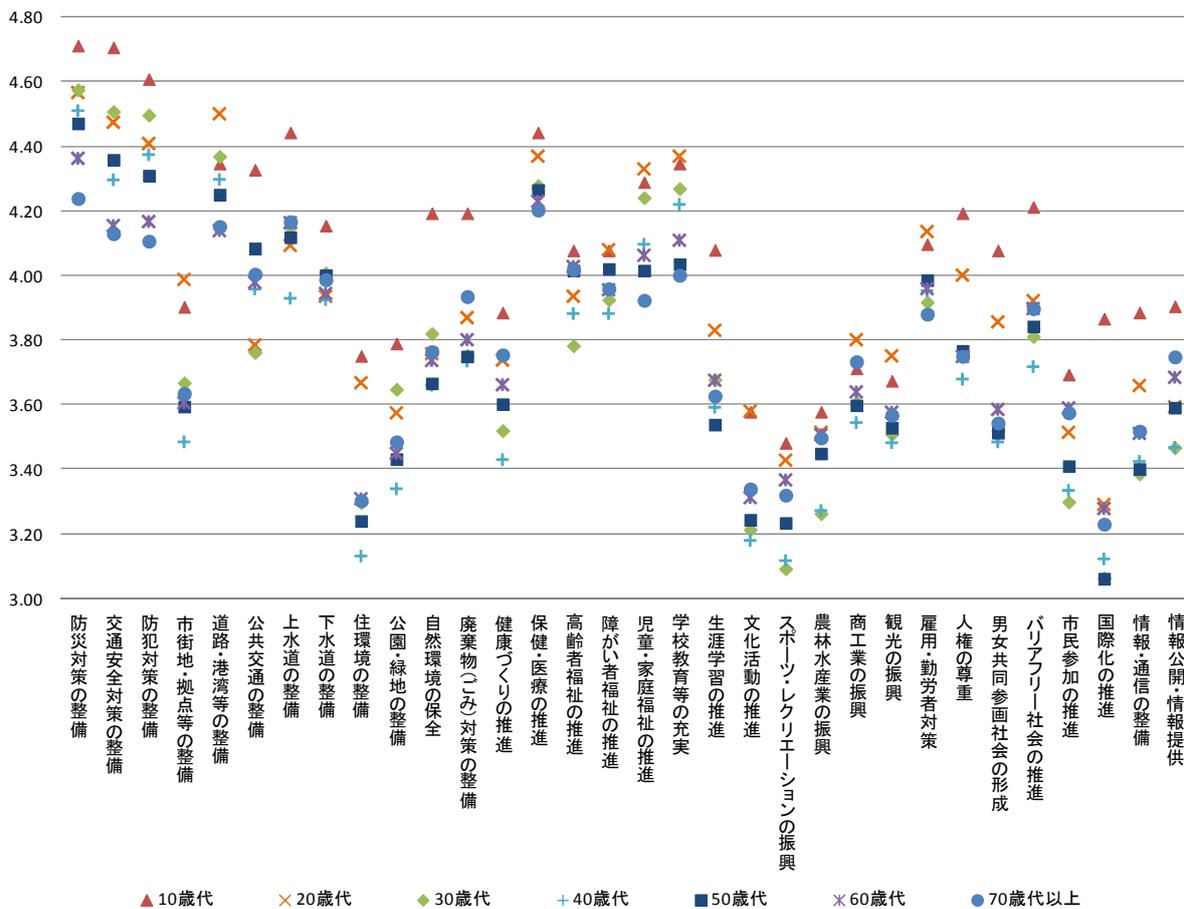
### 《年代別 満足度》

問11 年代別 満足度



《年代別 重要度》

問11 年代別 重要度

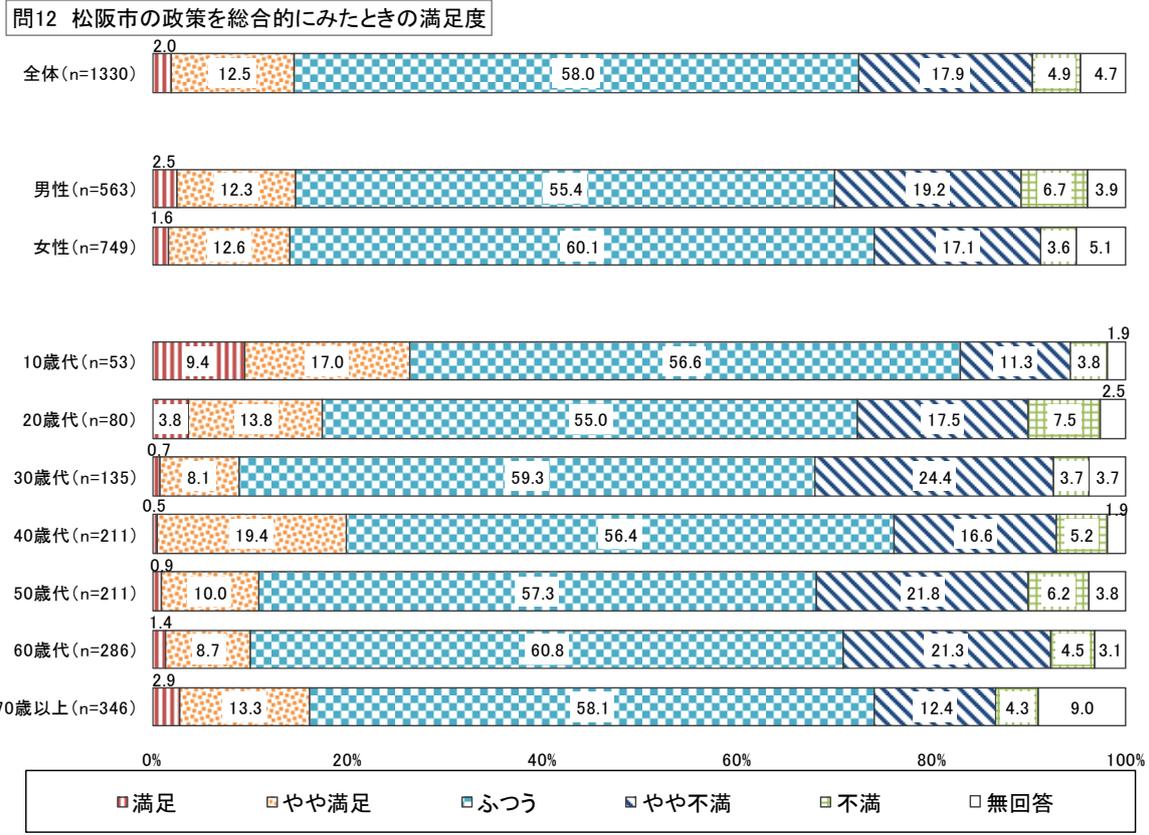


問12 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

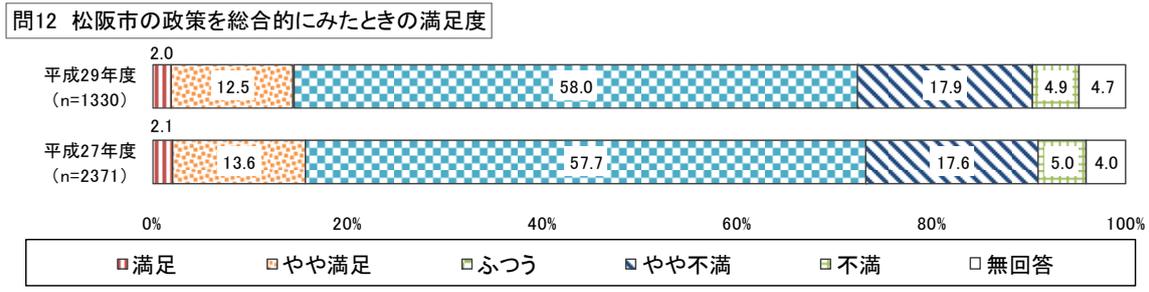
「ふつう」が58.0%と最も高く、ついで「やや不満」が17.9%、「やや満足」が12.5%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「不満」「やや不満」としている割合が5ポイント程度高くなっている。

年代別にみると、10歳代では「満足」「やや満足」の合計の割合が比較的高く、26.4%となっている。一方で30歳代と50歳代では「不満」「やや不満」の割合が高く、3割弱となっている。



前回と比較すると、「やや満足」が若干減少しているが、その他は概ね前回と同様の割合となっている。



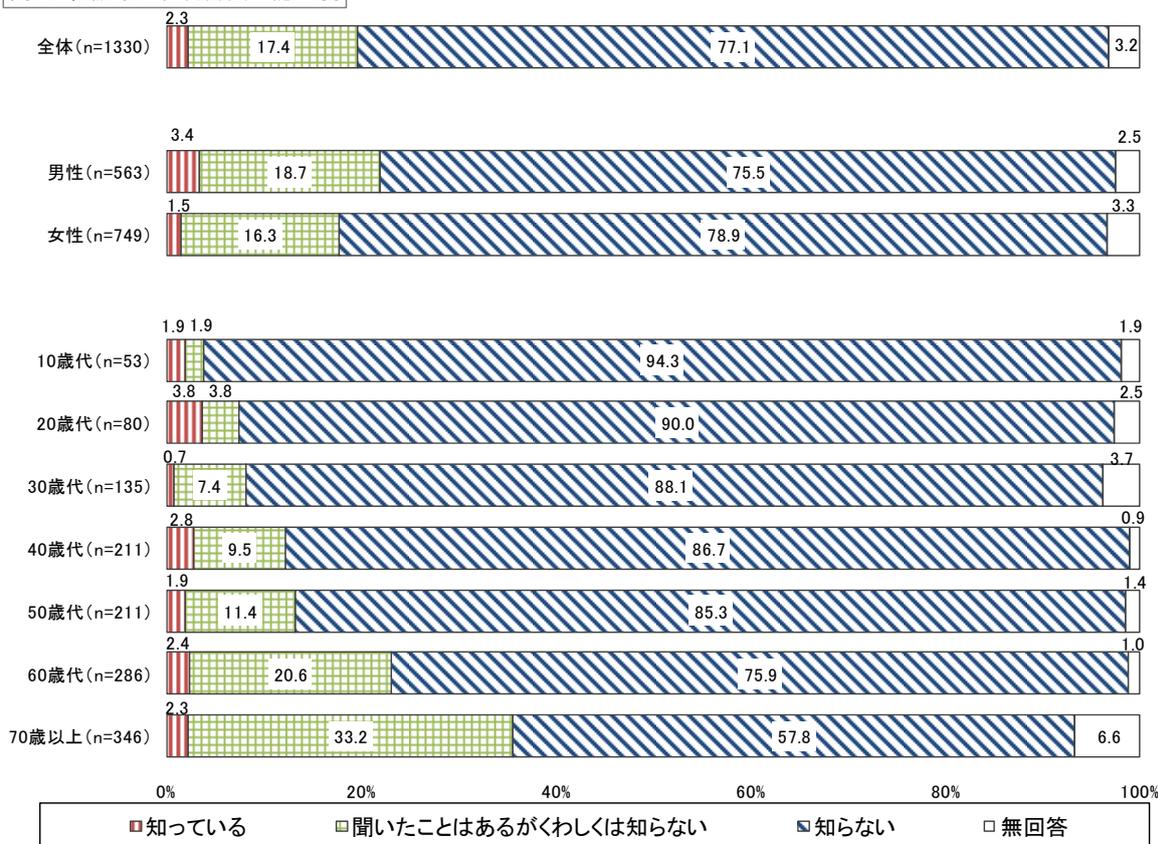
**問 13 あなたは松阪市の総合計画「住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪」を知っていますか。（○は1つだけ）**

「知らない」が77.1%と最も高く、ついで「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が17.4%、「知っている」が2.3%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「知っている」「聞いたことはあるがくわしくは知らない」の割合がやや高くなっている。

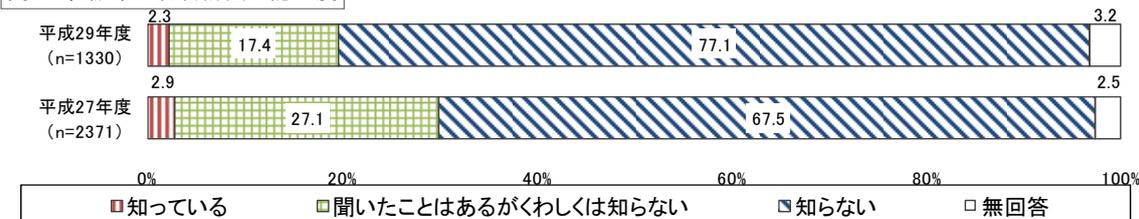
年代別にみると、「知らない」の割合が、年代が上がるごとに減少している。

問13 松阪市の総合計画の認知度



前回と比較すると、「知っている」「聞いたことはあるがくわしくは知らない」のいずれも減少している。

問13 松阪市の総合計画の認知度



## 幼稚園及び小中学校におけるエアコンの設置について

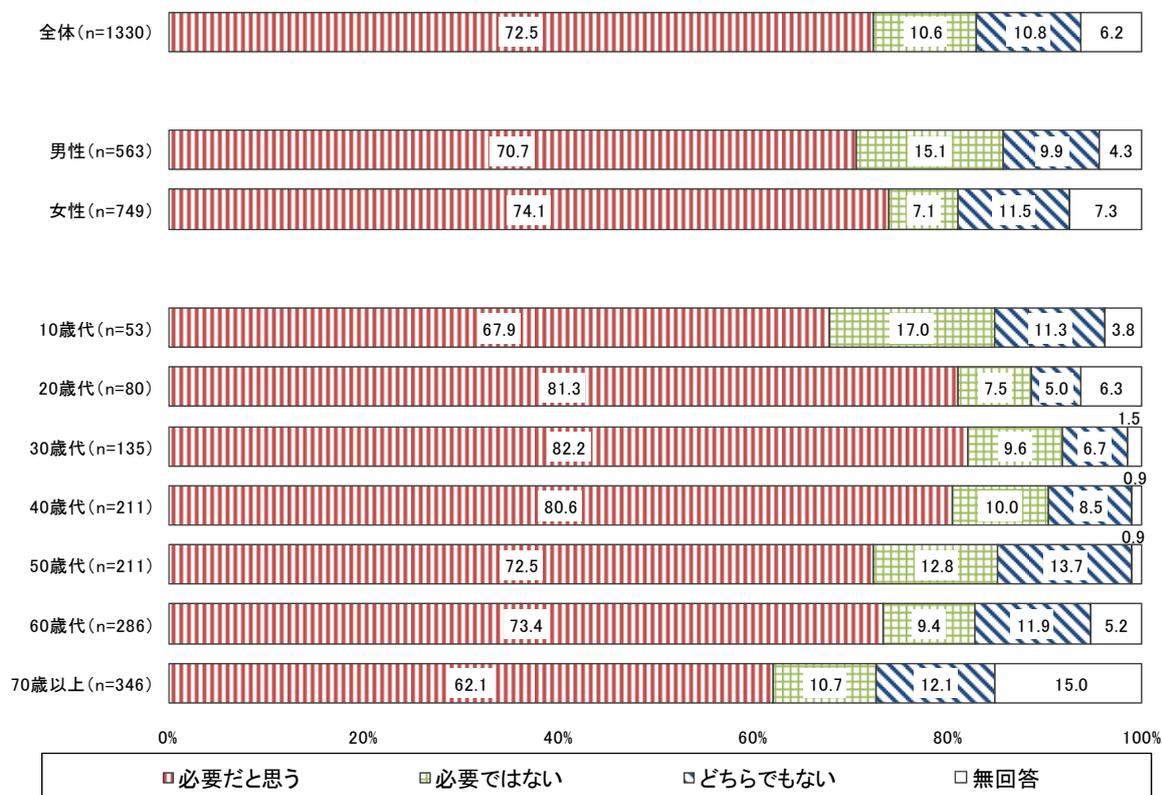
### 問 14 幼稚園及び小中学校の教室にエアコンは必要だと思いますか。（〇は1つだけ）

「必要だと思う」が72.5%と最も高く、ついで「どちらでもない」が10.8%、「必要ではない」が10.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「必要だと思う」が7割を超え、最も高くなっているが、男性は女性に比べ「必要ではない」の割合も高くなっている。

年代別にみると、20歳代から40歳代では「必要だと思う」としている割合が特に高く、8割を超えている。10歳代や70歳以上では「必要だと思う」の割合は他の年代よりも低く、7割未満となっている。

問14 幼稚園及び小中学校の教室にエアコンは必要だと思うか



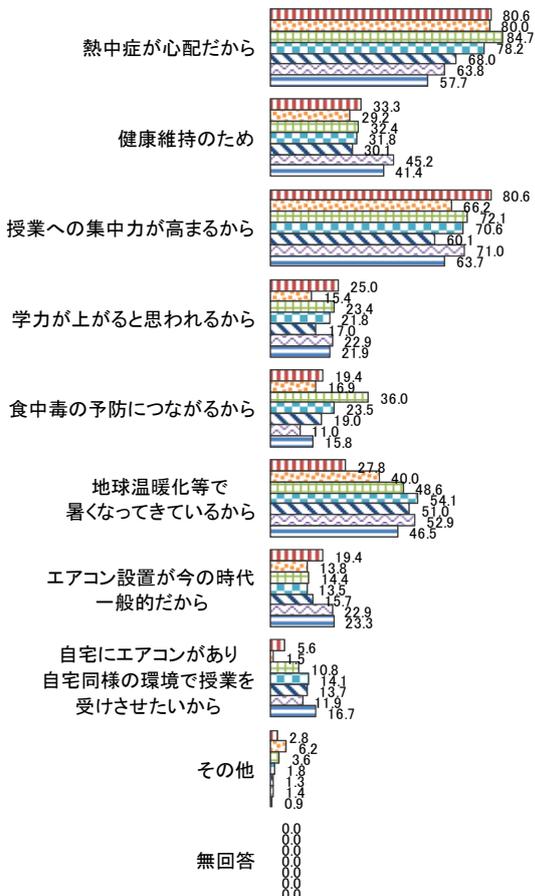
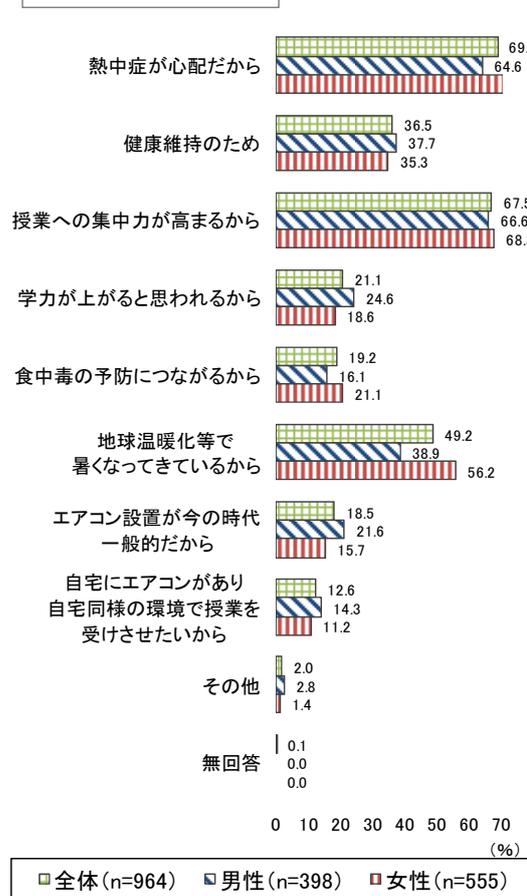
**問 15 必要だと思う理由は何ですか。（〇はいくつでも）**

「熱中症が心配だから」が 69.7%と最も高く、ついで「授業への集中力が高まるから」が 67.5%、「地球温暖化等で暑くなってきているから」が 49.2%となっている。

性別にみると、女性では「地球温暖化等で暑くなってきているから」が 56.2%で、男性 38.9%に比べ非常に高くなっている。

年代別にみると、10 歳代で「授業への集中力が高まるから」が 80.6%で他の年代よりも高くなっている。また、30 歳代では「食中毒の予防につながるから」が 36.0%で他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。

問15 必要だと思う理由



問16 教室にエアコンが設置された場合、今後の松阪市の教育にどのようなことを期待しますか。ご自由にお書きください。

設問	詳細分類項目		件数	構成比 (%)
問 16	1	学力・学習について	194	45.9
	2	健康について	48	11.3
	3	環境教育について	15	3.6
	4	学校の施設・設備について	34	8.0
	5	夏季休暇と学習機会について	34	8.0
	6	外遊び・体力について	13	3.1
	7	エアコンの使用の仕方について	23	5.4
	8	費用・財政面について	5	1.2
	9	期待していない、今までと変わらない	19	4.5
	10	その他	38	9.0
		合計	423	

#### 《主な意見》

##### 「1. 学力・学習について」

- ・子どもたちが集中して勉強に取り組むことを期待します。
- ・快適な環境の中なら自然に学力が向上すると思う。
- ・集中しやすい環境で教育を受けることで、テストや調査等のポイント的な時だけでなく、土台になる基本的な力を付け、学力の向上につなげていただきたい。

##### 「2. 健康について」

- ・子どもたちが楽しく学校生活が過ごせて、健康維持に期待したい。
- ・温度調節をきちんとして体調管理に気を付けてほしいです。エアコンだけでなく扇風機を使って風を送るという方法も同時にしてほしいです。
- ・熱中症等を避け、健康保持のため。

##### 「4. 学校の施設・設備について」

- ・子どもたちに良い環境で内容の濃い教育を受けさせてあげて下さい。
- ・時代に応じた環境づくり。

##### 「5. 夏季休暇と学習機会について」

- ・夏休みを短縮し、授業時間を増やしたり、行事を増やしてほしい。
- ・夏休みの短期化により授業時間を確保し、学力の向上を期待します。

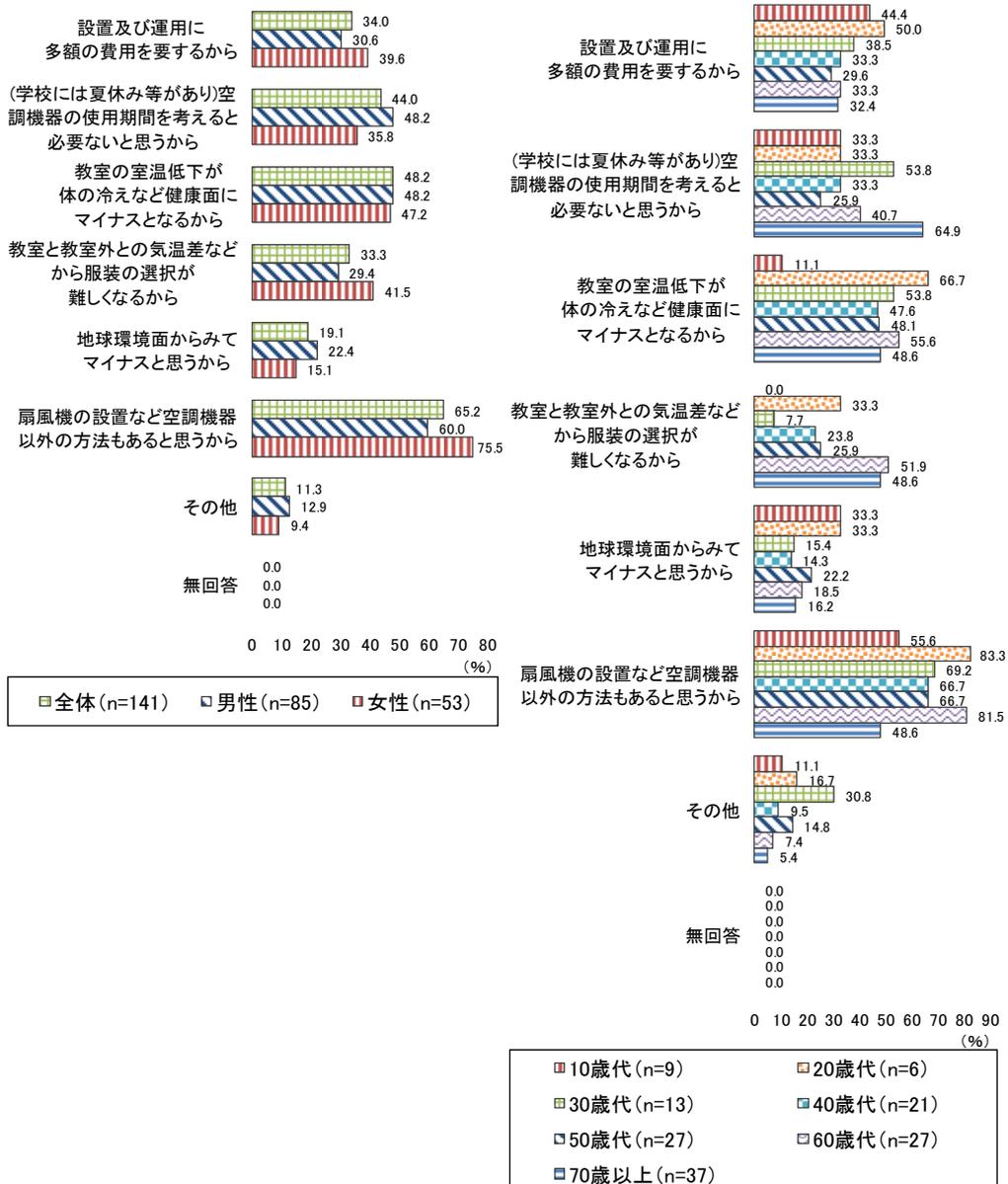
問 17 必要ないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「扇風機の設置など空調機器以外の方法もあると思うから」が 65.2%と最も高く、ついで「教室の室温低下が体の冷えなど健康面にマイナスとなるから」が 48.2%、「(学校には夏休み等があり)空調機器の使用期間を考えると必要ないと思うから」が 44.0%となっている。

性別にみると、「扇風機の設置など空調機器以外の方法もあると思うから」が女性で高くなっており、75.5%となっており、男性よりも 15 ポイント以上高くなっている。一方で男性では「(学校には夏休み等があり)空調機器の使用期間を考えると必要ないと思うから」が女性よりも 10 ポイント以上高い、48.2%となっている。

年代別にみると、20 歳代と 60 歳代で「扇風機の設置など空調機器以外の方法もあると思うから」が高くなっており、いずれも 8 割を超えている。

問17 必要ないと思う理由



問 18 幼稚園及び小中学校へのエアコンの設置等に関してのお考えをご自由にお書きください。

設問	詳細分類項目		件数	構成比 (%)
問 18	1	エアコンの導入について (肯定的)	125	33.2
	2	エアコンの導入について (否定的)	28	7.4
	3	エアコンの導入による体力・健康面への影響	62	16.4
	4	エアコンの使用の仕方	50	13.3
	5	環境整備・維持管理について	20	5.3
	6	学力・集中力向上について	25	6.6
	7	エアコン以外の代替案について	11	2.9
	8	費用・財政について	18	4.8
	9	その他	38	10.1
		合計	377	

《主な意見》

「1. エアコンの導入について (肯定的)」

- ・昔とは違う環境になっているので、エアコンを設置してあげてほしい。
- ・子どもたちが学校で過ごす時間を考えれば、エアコン設置は必要だと考えます。
- ・大人も会社内でエアコン使用しているから、子どもも同じようにエアコンは必要。

「3. エアコンの導入による体力・健康面への影響」

- ・熱中症対策にはいいと思います。
- ・熱中症への配慮は重要だが、耐え得る体づくりの経験も重要。
- ・弱い体質の子どもが多くなるのではないかと。自力での体温調節が出来なくなる。

「4. エアコンの使用の仕方」

- ・30℃を超える日が多く、熱中症等心配なのでエアコンがあると安心であるが、自己体温調整する機会も必要と思うので、臨機応変な使用法を！
- ・エアコン温度調節が大切になってくると思います。
- ・ルールを決め使用して、エアコン等を上手く活用してほしい。

## 幼稚園及び小中学校のトイレ洋式化について

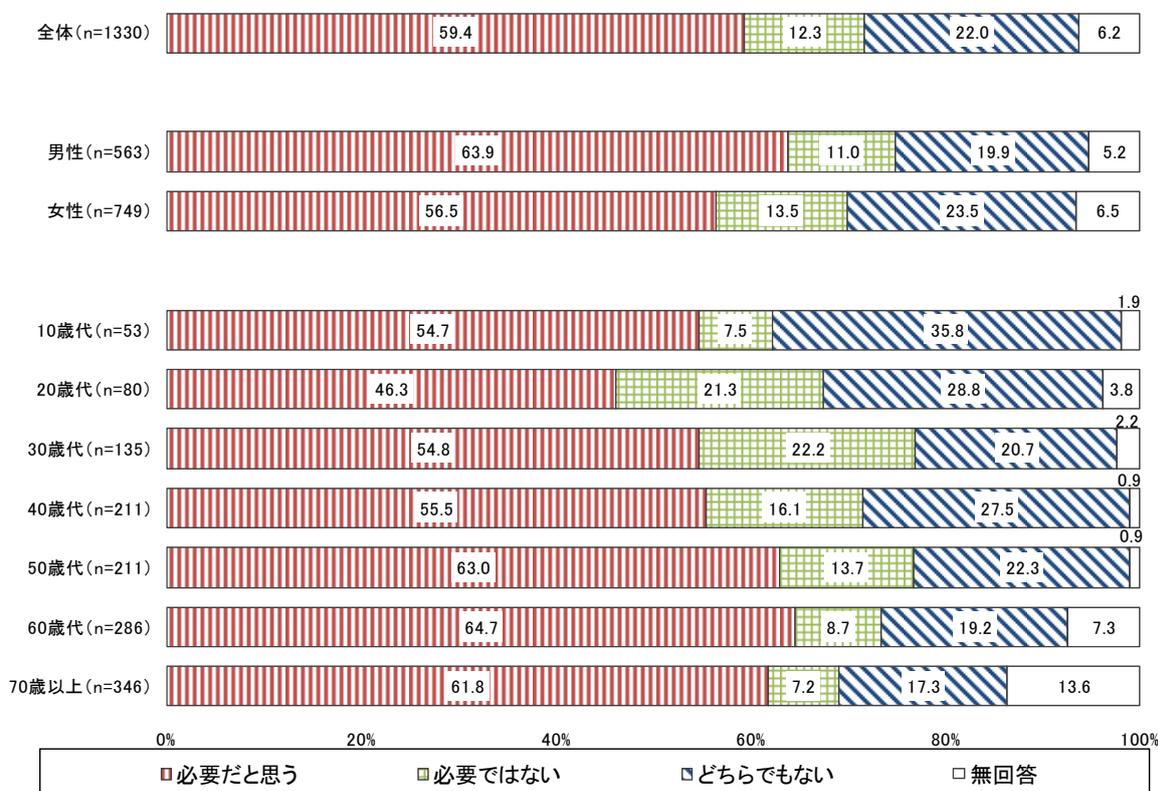
問19 幼稚園及び小中学校のトイレの洋式化を、現状より進めることが必要と思いますか。（○は1つだけ）

「必要だと思う」が59.4%と最も高く、ついで「どちらでもない」が22.0%、「必要ではない」が12.3%となっている。

性別にみると、「必要だと思う」が男性・女性ともに半数以上となっているが、男性の方がその割合が高く、63.9%となっている。

年代別にみると、20歳代では「必要だと思う」の割合が5割を下回っている。また、「必要ではない」が20歳代、30歳代で高くなっており、いずれの年代でも2割を上回っている。

問19 幼稚園及び小中学校のトイレの更なる洋式化が必要と思うか

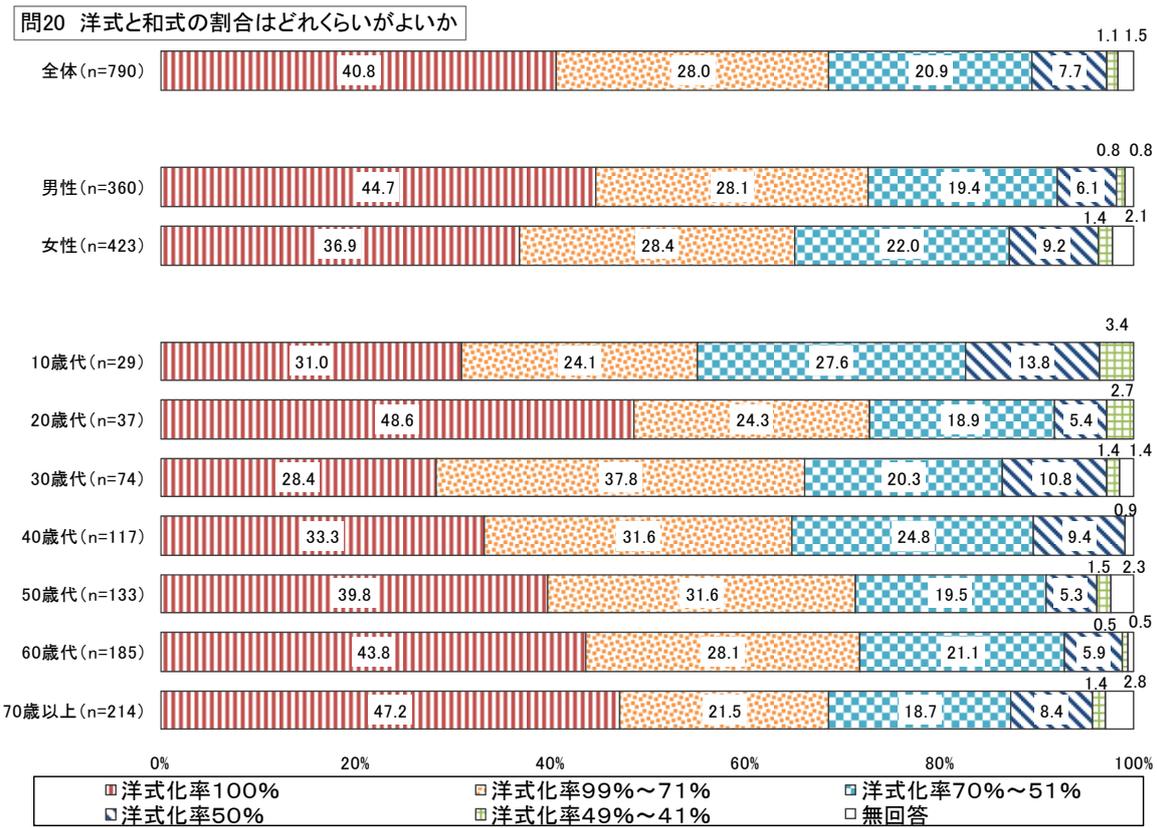


問 20 全体として洋式と和式の割合は、どのくらいがよいと思いますか。(〇は1つだけ)

「洋式化率100%」が40.8%と最も高く、ついで「洋式化率99%~71%」が28.0%、「洋式化率70%~51%」が20.9%となっている。

性別にみると、男性では女性よりも「洋式化率100%」がやや高く、44.7%となっている。

年代別にみると、30歳代を除くいずれの年代でも「洋式化率100%」が高くなっており、特に20歳代では48.6%と最も高くなっている。



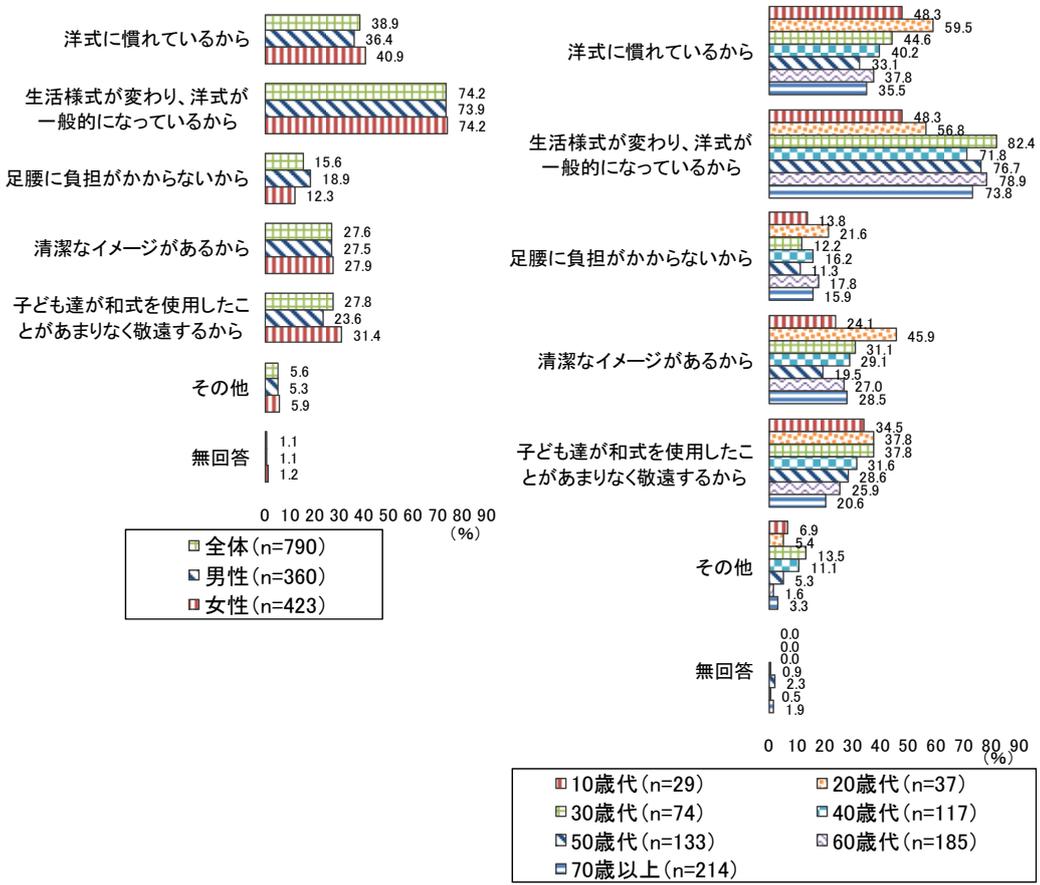
問 21 必要だと思う理由は何ですか。（〇はいくつでも）

「生活様式が変わり、洋式が一般的になっているから」が74.2%と最も高く、ついで「洋式に慣れているから」が38.9%、「子ども達が和式を使用したことがあまりなく敬遠するから」が27.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「生活様式が変わり、洋式が一般的になっているから」が最も高くなっており、いずれも7割を超えている。女性では「洋式に慣れているから」「子ども達が和式を使用したことがあまりなく敬遠するから」が高くなっており、いずれも男性の割合をやや上回っている。

年代別にみると、「生活様式が変わり、洋式が一般的になっているから」で30歳代が82.4%と他の年代よりも高くなっており。一方で10歳代では48.3%と低くなっている。

問21 必要だと思う理由



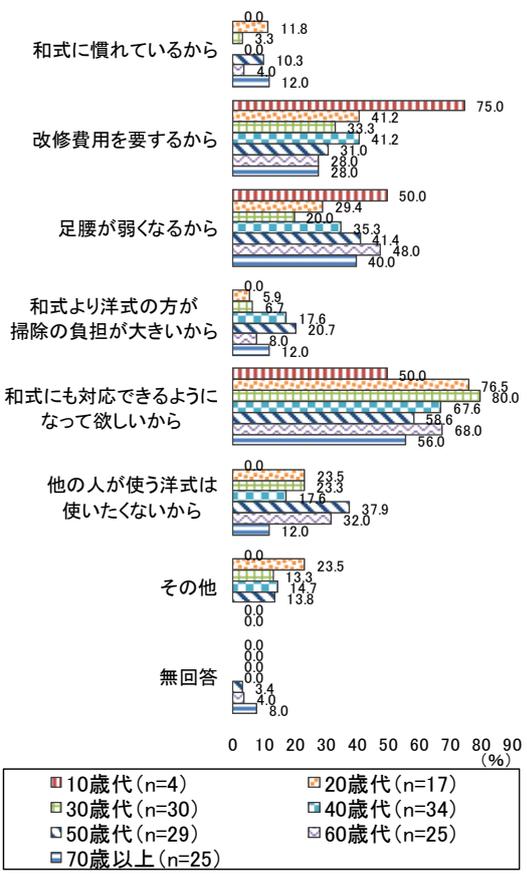
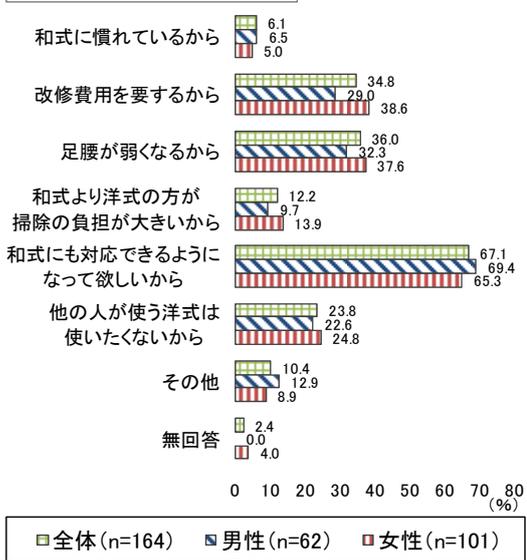
問 22 必要ないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「和式にも対応できるようになって欲しいから」が 67.1%と最も高く、ついで「足腰が弱くなるから」が 36.0%、「改修費用を要するから」が 34.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「和式にも対応できるようになって欲しいから」が最も高くなっている。女性では「改修費用を要するから」「足腰が弱くなるから」などで男性よりも5ポイントから10ポイント程度高くなっている。

年代別にみると、10歳代では「改修費用を要するから」が他の年代よりも高くなっており、75.0%となっている。また、「和式にも対応できるようになって欲しいから」では20歳代、30歳代で特に高くなっており、7割半ばから8割となっている。

問22 必要ないと思う理由



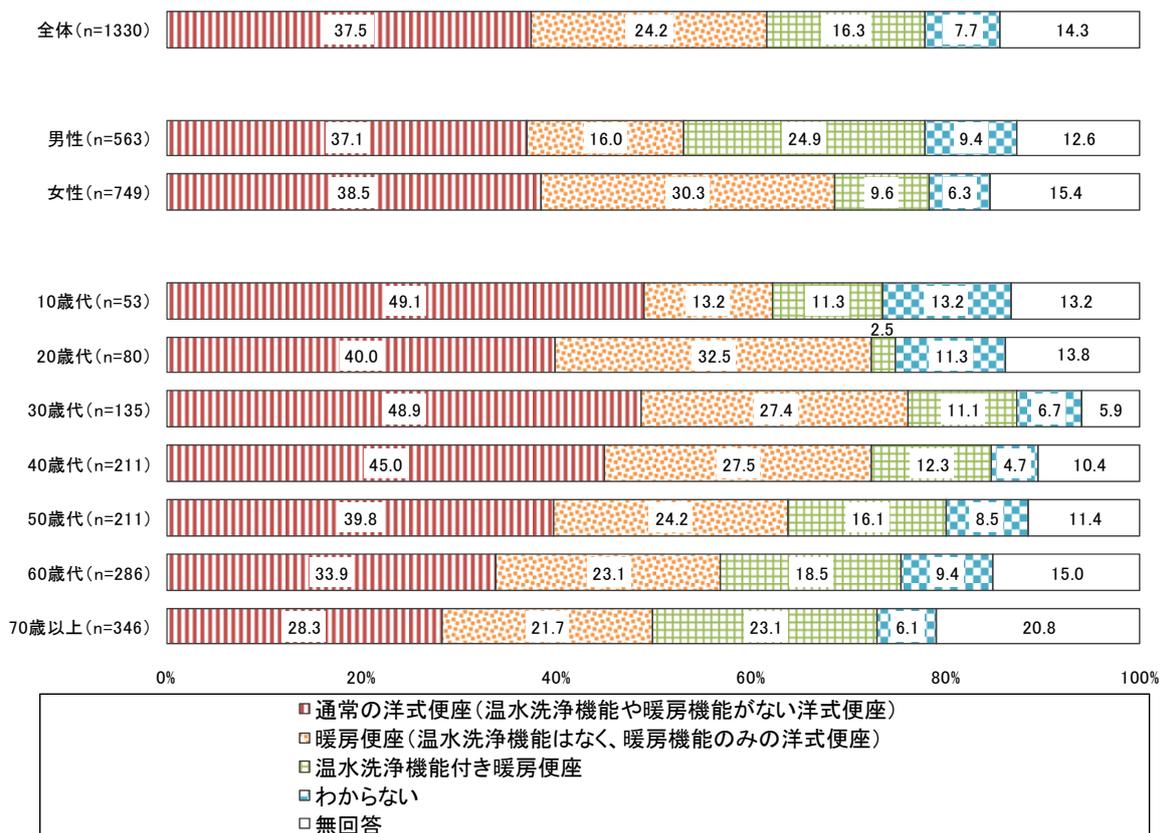
問23 子どもたちが通常使うトイレを洋式化した場合、洋式トイレの種類は、次のうちどれが最適と考えますか。（○は1つだけ）

「通常の洋式便座（温水洗浄機能や暖房機能がない洋式便座）」が37.5%と最も高く、ついで「暖房便座（温水洗浄機能はなく、暖房機能のみの洋式便座）」が24.2%、「温水洗浄機能付き暖房便座」が16.3%となっている。

性別にみると、男性では「温水洗浄機能付き暖房便座」が女性よりも15ポイント程度高く、24.9%となっている。女性では「暖房便座（温水洗浄機能はなく、暖房機能のみの洋式便座）」が男性のおよそ2倍の30.3%となっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「通常の洋式便座（温水洗浄機能や暖房機能がない洋式便座）」が高くなっているが、30歳代以降、年代が上がるにつれてその割合が低下しており、70歳以上では28.3%にとどまっている。また、30歳代以降では「温水洗浄機能付き暖房便座」が徐々に高くなっており、70歳以上で23.1%となっている。

問23 最適だと思う洋式トイレの種類



問 24 幼稚園及び小中学校のトイレの洋式化に関してのお考えをご自由にお書きください。

設問	詳細分類項目		件数	構成比 (%)
問 24	1	和式トイレについて	37	10.5
	2	洋式トイレについて	157	44.6
	3	和式・洋式両方のトイレについて	72	20.5
	4	トイレ全体の衛生面・マナーについて	29	8.2
	5	トイレ全体の装備・環境について	8	2.3
	6	その他	49	13.9
		合計	352	

《主な意見》

「1. 和式トイレについて」

- ・和式トイレは日本の大切な文化だと思います。洋式は足腰弱くなりますよ。
- ・和式のため、我慢する子どもが多い。健康上悪い。
- ・どうしても和式しか無いという場面で、洋式しか知らず使えないのは困る。

「2. 洋式トイレについて」

- ・生活様式が変わり、洋式が一般的になり、清潔なイメージがあるから。
- ・洋式化した場合、衛生面が気になる。
- ・洋式の方が汚れにくく、悪臭もしないので良いと思う。

「3. 和式・洋式両方のトイレについて」

- ・和式でも十分間に合うと思うが、身体的に不自由な方に対応できるよう、一部、洋式も必要と思う。
- ・洋式も和式もどちらも必要だと思う。
- ・まだ公共のトイレで和式のトイレもあるので、少しだけ和式を残すことも必要かと思います。

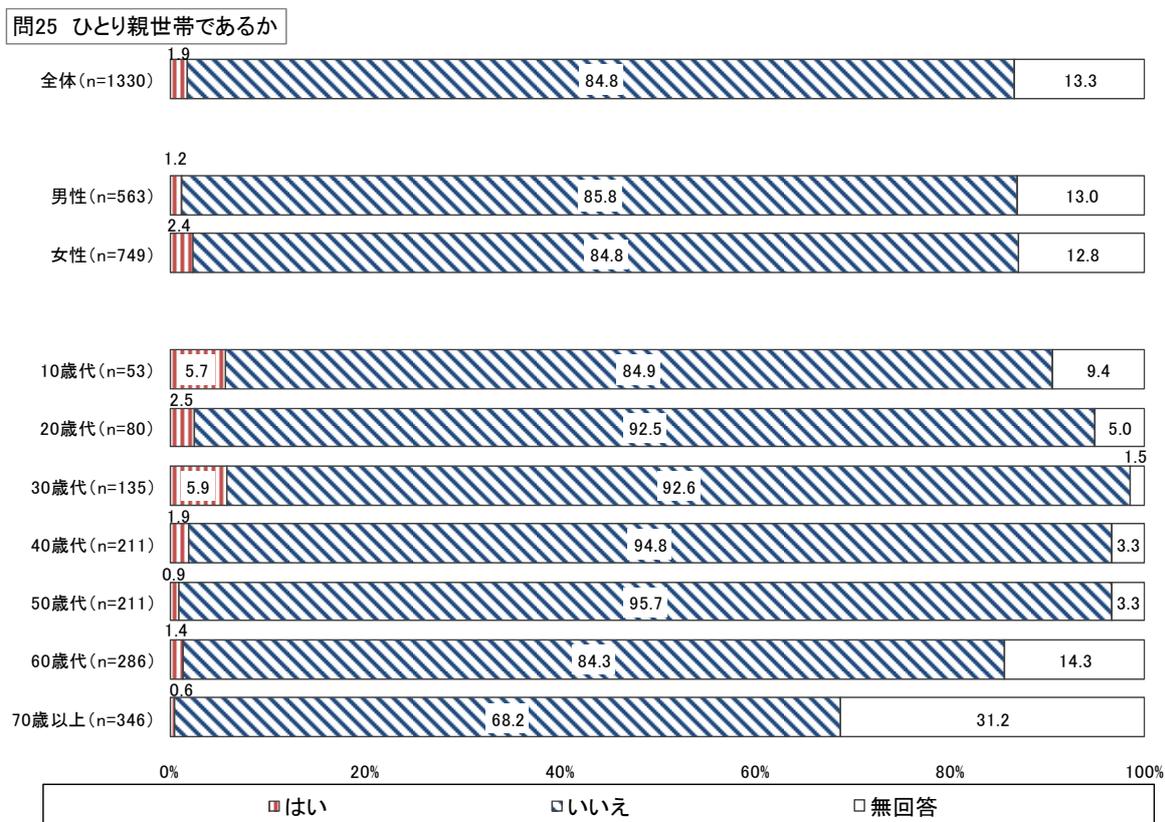
# ひとり親・多子世帯への支援策について

問 25 あなたは、ひとり親世帯（子どもが 18 歳未満）ですか。（○は 1 つだけ）

「いいえ」が 84.8%、「はい」が 1.9%となっている。

性別にみると、女性の方が僅かにひとり親世帯が高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、10 歳代と 30 歳代で他の年代に比べ、ひとり親世帯が高くなっており、いずれも 5%を上回っている。



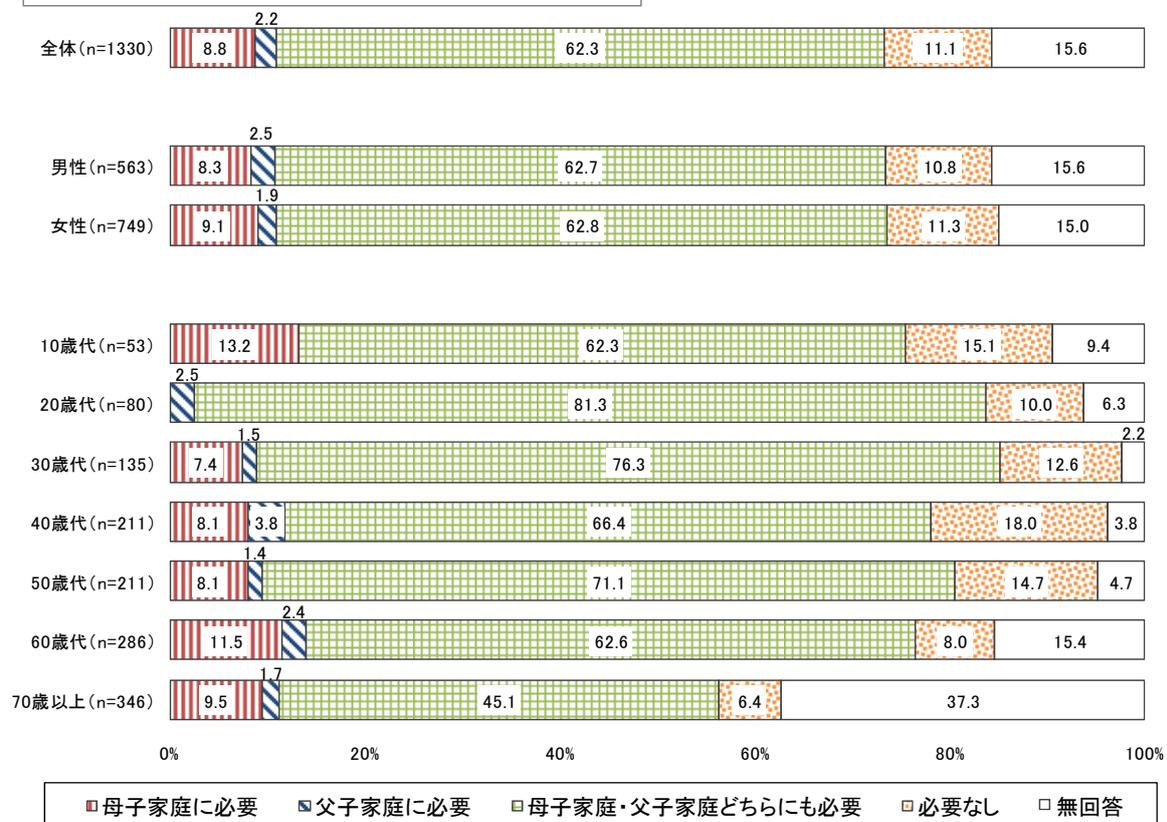
**問 26 あなたは、ひとり親世帯（子どもが18歳未満）の子育てには、更なる支援が必要だと思いますか。（○は1つだけ）**

「母子家庭・父子家庭どちらにも必要」が62.3%と最も高く、ついで「必要なし」が11.1%、「母子家庭に必要」が8.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「母子家庭・父子家庭どちらにも必要」が最も高くなっており、6割を超えている。その他の項目についても同様の傾向を示しており、性別による違いはみられない。

年代別にみると、いずれの年代でも「母子家庭・父子家庭どちらにも必要」が高くなっており、特に20歳代では81.3%で特に高くなっており、

問26 ひとり親世帯の子育てには、更なる支援が必要だと思うか

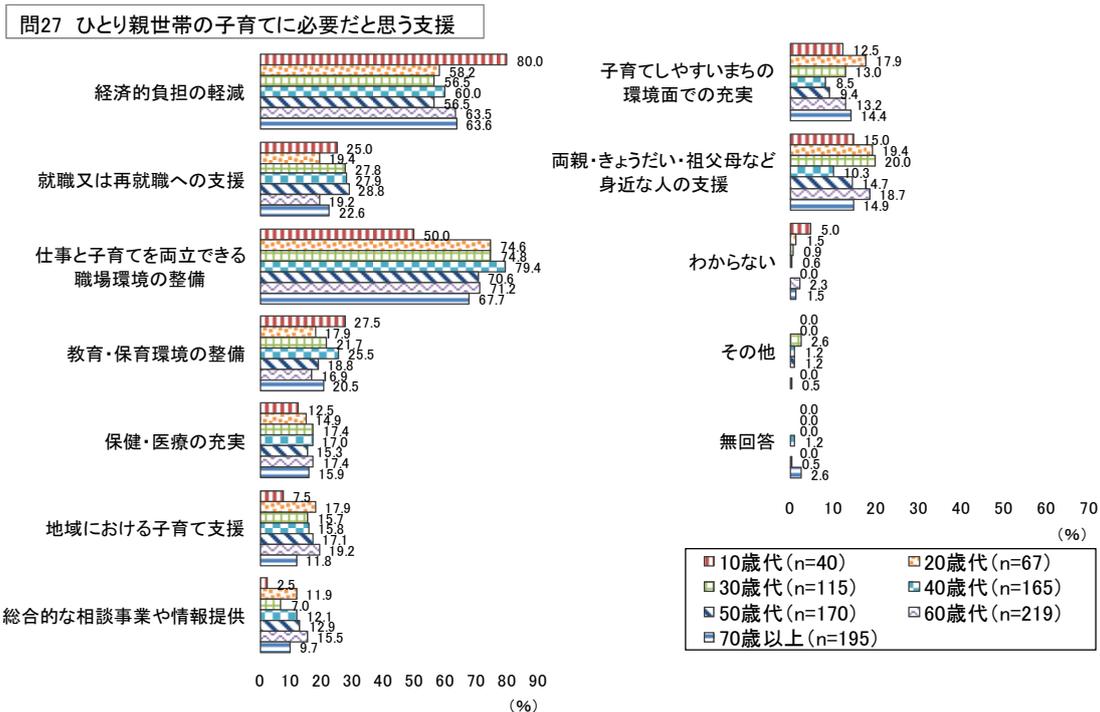
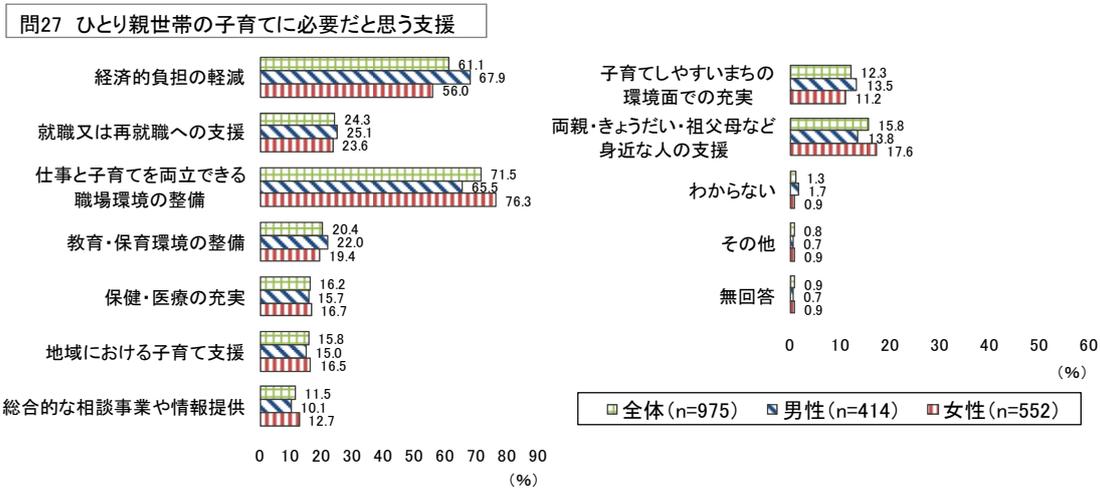


問27 あなたは、ひとり親世帯（子どもが18歳未満）の子育てには、どのような支援が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「仕事と子育てを両立できる職場環境の整備」が71.5%と最も高く、ついで「経済的負担の軽減」が61.1%、「就職又は再就職への支援」が24.3%となっている。

性別にみると、男性では「経済的負担の軽減」が女性と比べ10ポイント以上高く67.9%となっている。一方で女性は「仕事と子育てを両立できる職場環境の整備」が男性と比べ10ポイント以上高い76.3%となっている。

年代別にみると、10歳代では「経済的負担の軽減」が他の年代よりも高く80.0%となっている。また、40歳代では「仕事と子育てを両立できる職場環境の整備」が他の年代よりもやや高く79.4%となっている。

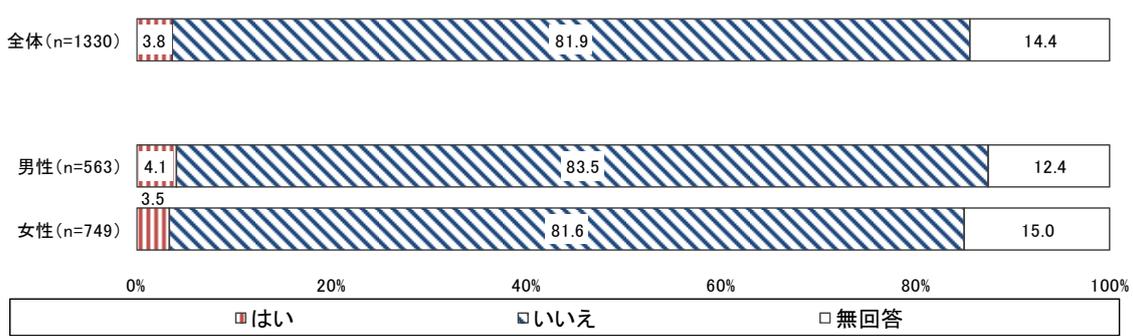


**問 28 あなたは、多子世帯（18歳未満の子どもが3人以上）ですか。（○は1つだけ）**

「いいえ」が81.9%と最も高く、ついで「はい」が3.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「いいえ」が8割を超えて最も高くなっている。男性・女性ともに同様の傾向を示しており、性別による違いはみられない。

問28 多子世帯であるか

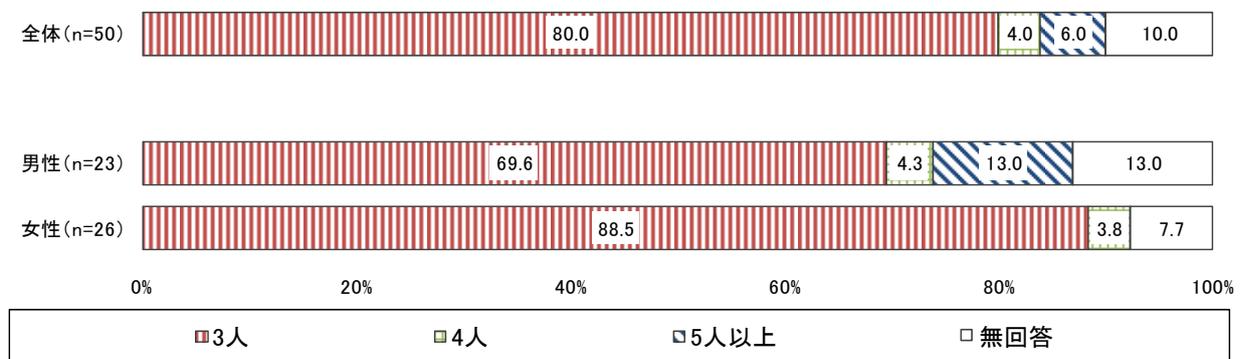


**問 29 18歳未満のお子さんは何人ですか。（○は1つだけ）**

「3人」が80.0%と最も高く、ついで「5人以上」が6.0%、「4人」が4.0%となっている。

性別にみると、女性では「3人」が男性よりも20ポイント程度高くなっている。一方で男性は「5人以上」が13.0%で女性よりも10ポイント以上高い。

問29 18歳未満の子どもの数



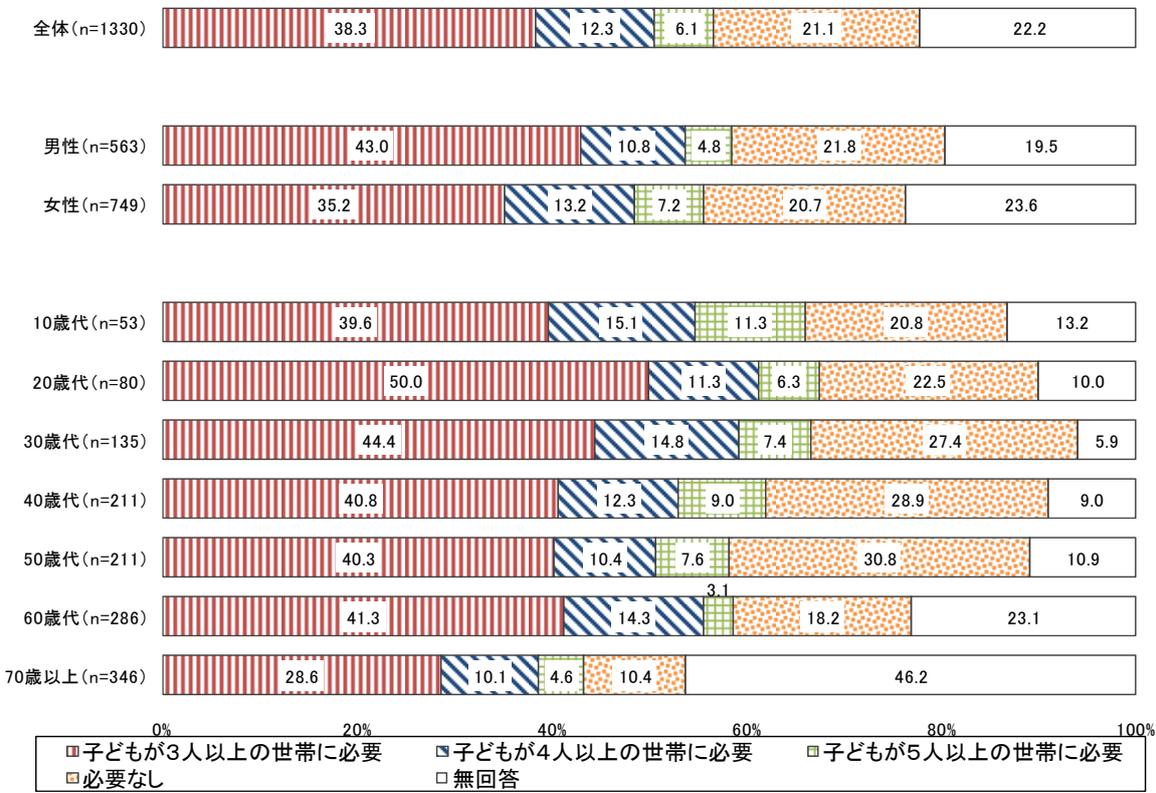
**問 30 あなたは、多子世帯（18歳未満の子どもが3人以上）の子育てには、更なる支援が必要だと思いますか。（○は1つだけ）**

「子どもが3人以上の世帯に必要」が38.3%と最も高く、ついで「必要なし」が21.1%、「子どもが4人以上の世帯に必要」が12.3%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「子どもが3人以上の世帯に必要」が最も高くなっているが、その割合は男性の方が女性よりも高く、43.0%となっている。

年代別にみると、70歳以上を除く年代では「子どもが3人以上の世帯に必要」がおよそ4割から5割と高くなっている。また、10歳代から50歳代にかけて、年代が上がるにつれて「必要なし」が増加している。

問30 多子世帯の子育てには、更なる支援が必要だと思うか



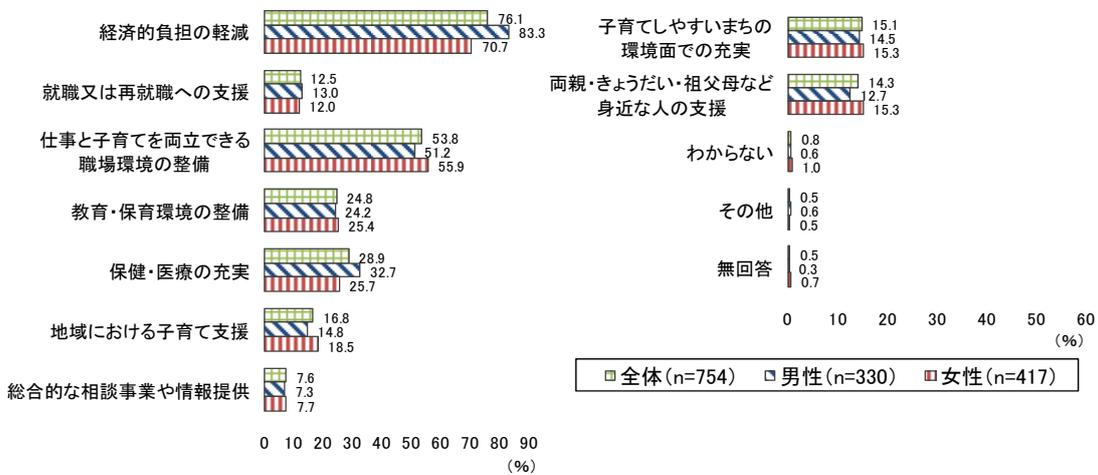
**問 31 あなたは、多子世帯（18歳未満の子どもが3人以上）の子育てには、どのような支援が必要だと思いますか。（〇は3つまで）**

「経済的負担の軽減」が76.1%と最も高く、ついで「仕事と子育てを両立できる職場環境の整備」が53.8%、「保健・医療の充実」が28.9%となっている。

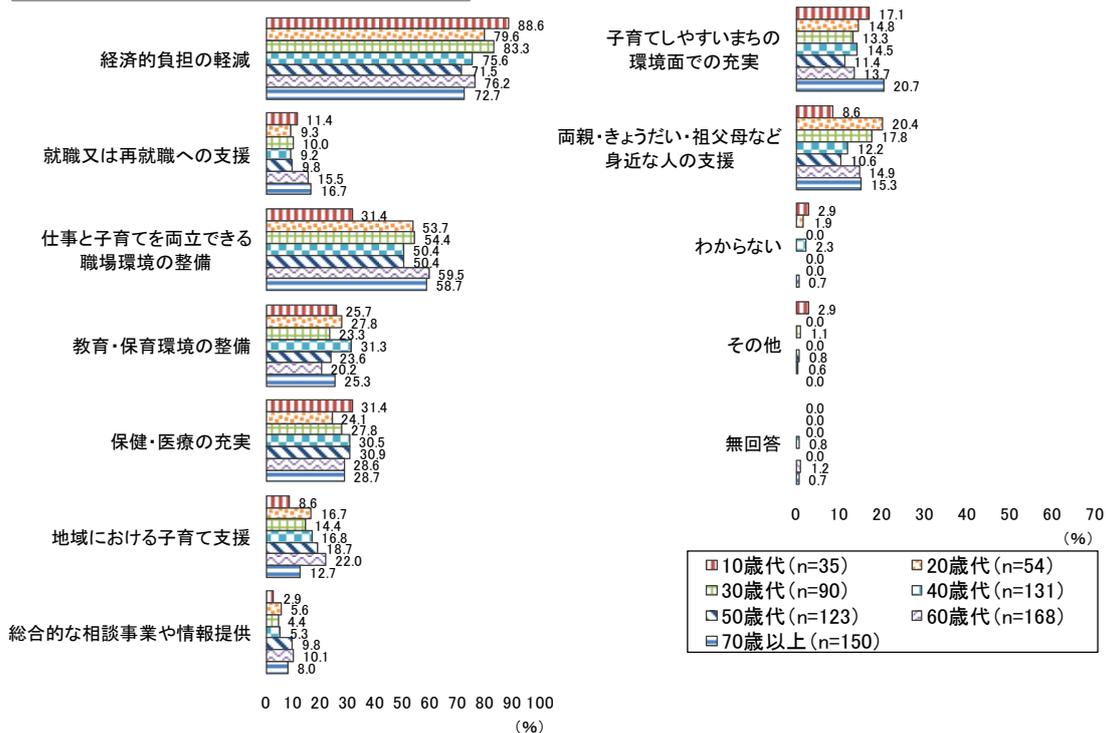
性別にみると、男性では「経済的負担の軽減」が83.3%で女性よりも10ポイント以上高い。女性では、「仕事と子育てを両立できる職場環境の整備」が男性よりもやや高く、55.9%となっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「経済的負担の軽減」が高くなっているが、特に10歳代では88.6%と高くなっている。一方で「仕事と子育てを両立できる職場環境の整備」では10歳代は他の年代を大きく下回り、31.4%となっている。

問31 多子世帯の子育てに必要なと思う支援



問31 多子世帯の子育てに必要なと思う支援



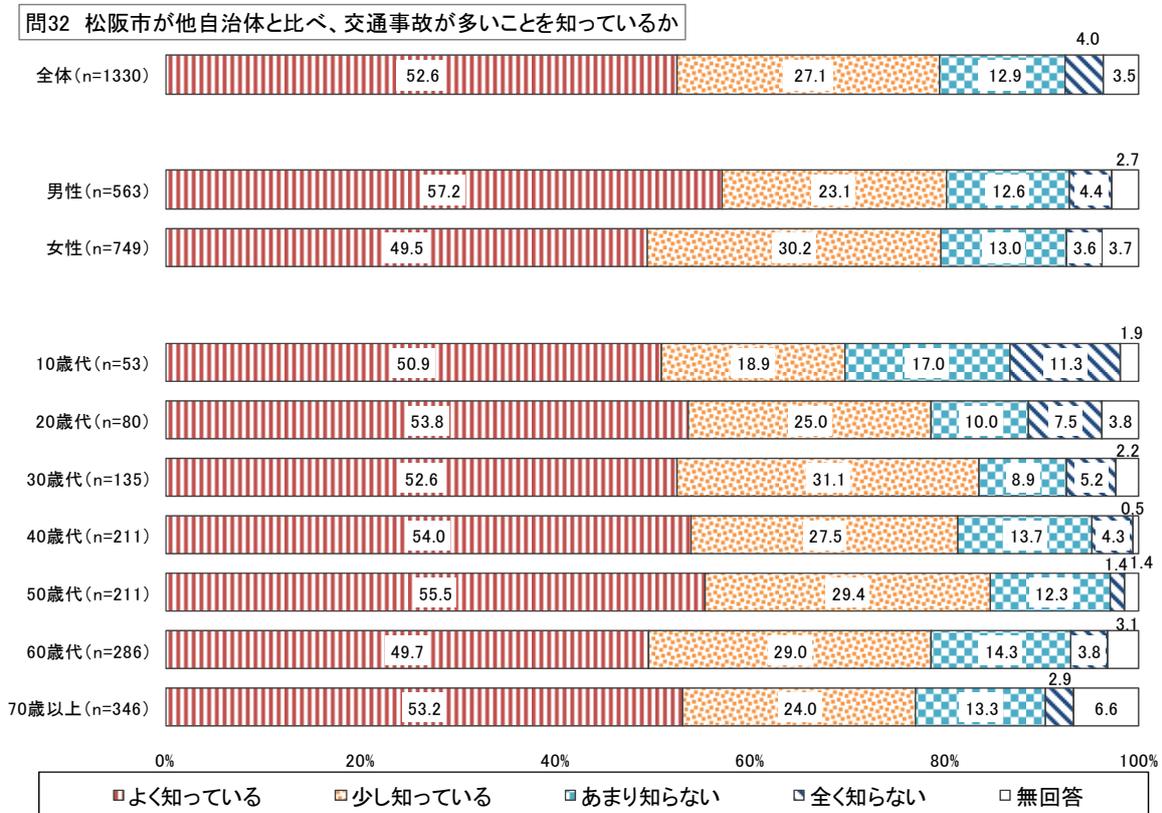
## 交通安全対策について

### 問 32 松阪市は他自治体に比べて交通事故が多いことを知っていますか。(○は1つだけ)

「よく知っている」が52.6%と最も高く、ついで「少し知っている」が27.1%、「あまり知らない」が12.9%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「よく知っている」の割合が高く、57.2%となっている。

年代別にみると、「よく知っている」がいずれの年代でも最も高くなっている。一方で、10歳代では「あまり知らない」「全く知らない」の合計の割合が他の年代よりも高く、28.3%となっている。

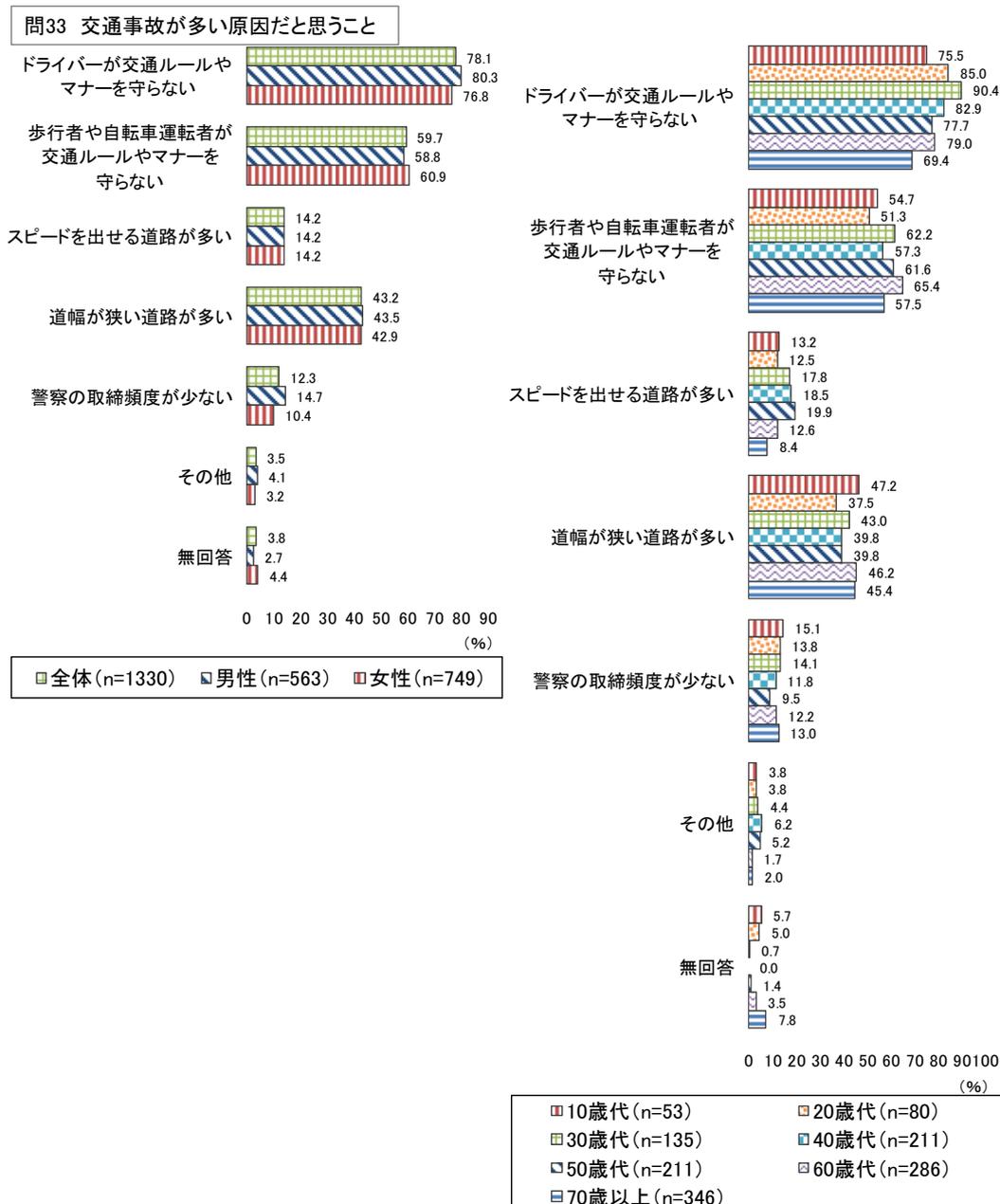


問 33 松阪市で交通事故が多い原因は何だと思いますか。（〇はいくつでも）

「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が78.1%と最も高く、ついで「歩行者や自転車運転者が交通ルールやマナーを守らない」が59.7%、「道幅が狭い道路が多い」が43.2%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が高くなっているが、男性の方が女性よりもやや高くなっている。

年代別にみると、20歳代から40歳代で「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が8割を超えて他の年代よりも高くなっている。

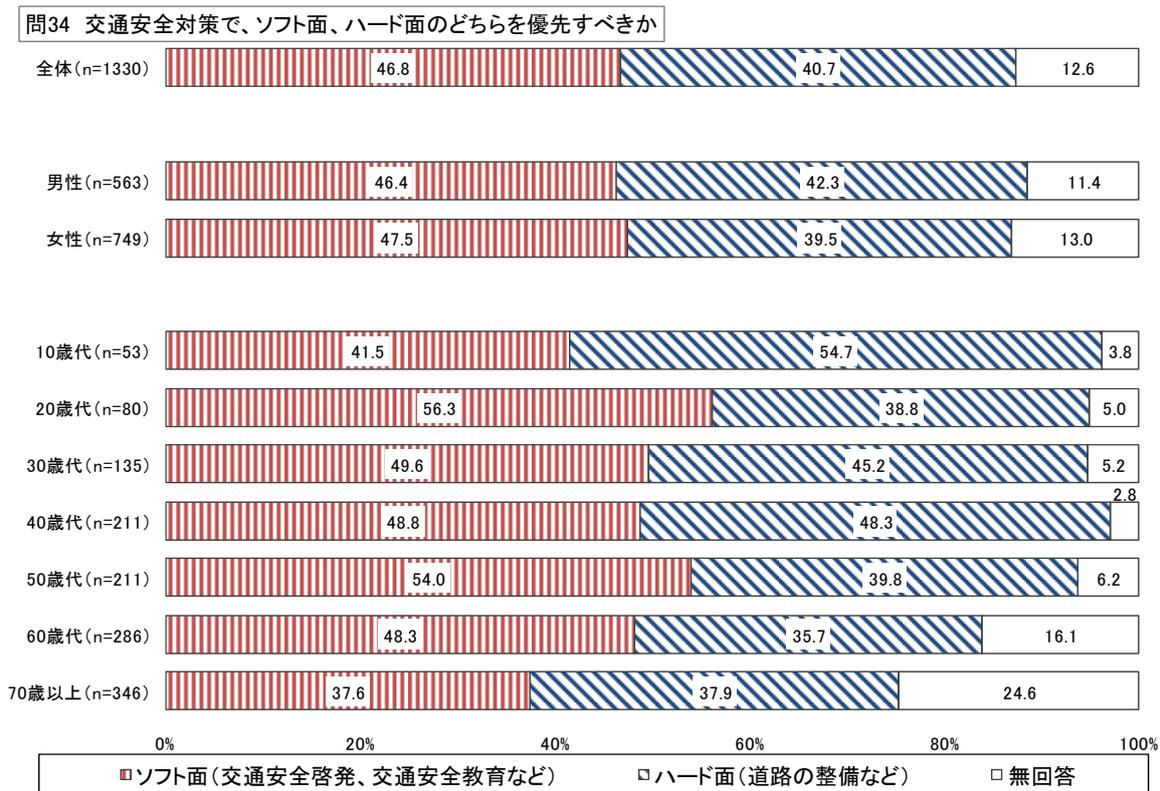


**問 34 松阪市の交通安全対策は、ソフト面、ハード面のどちらの対策を優先すべきだと思いますか。（○は1つだけ）**

「ソフト面（交通安全啓発、交通安全教育など）」が 46.8%と最も高く、ついで「ハード面（道路の整備など）」が 40.7%となっている。

性別にみると、「ハード面（道路の整備など）」が女性で男性よりもやや低く、39.5%となっているが、性別による大きな違いはみられない。

年代別にみると、10歳代、70歳以上を除く全ての年代で「ソフト面（交通安全啓発、交通安全教育など）」が高くなっている。



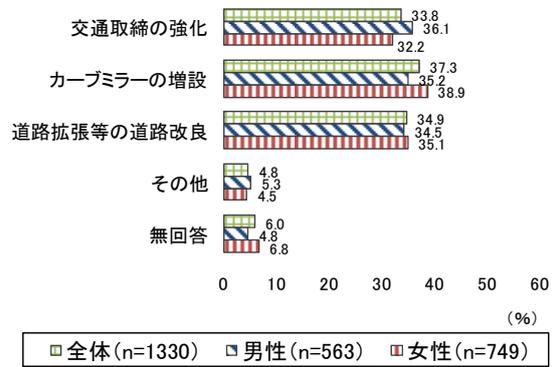
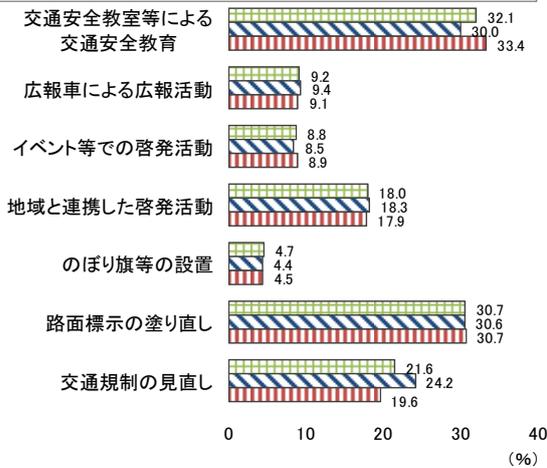
問35 交通事故を減少させるため、どのような活動が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「カーブミラーの増設」が37.3%と最も高く、ついで「道路拡張等の道路改良」が34.9%、「交通取締の強化」が33.8%となっている。

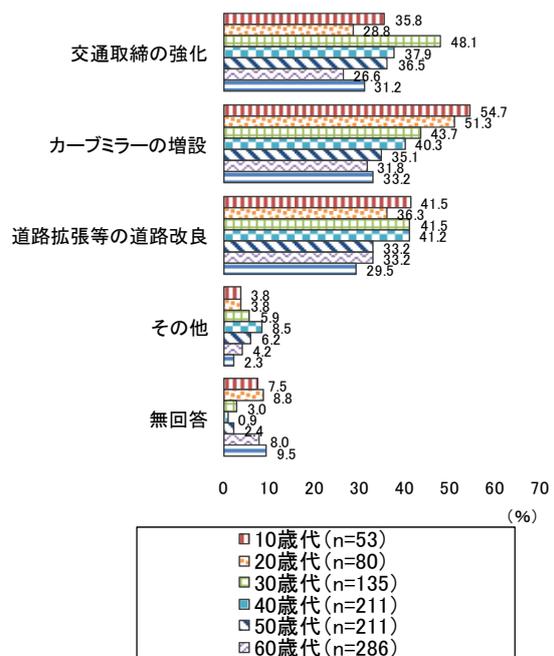
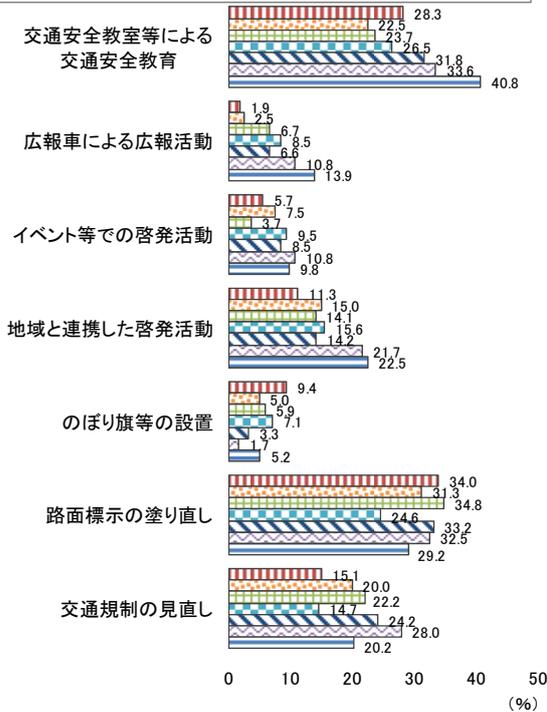
性別にみると、男性では「交通取締の強化」が最も高くなっており、女性よりも5ポイント程度高くなっている。女性では「カーブミラーの増設」が最も高くなっている。

年代別にみると、70歳以上では「交通安全教室等による交通安全教育」が他の年代よりも比較的高くなっており、40.8%となっている。10歳代、20歳代では「カーブミラーの増設」がいずれの年代でも50%以上で高くなっている。

問35 交通事故を減少させるために必要だと思う活動



問35 交通事故を減少させるために必要だと思う活動

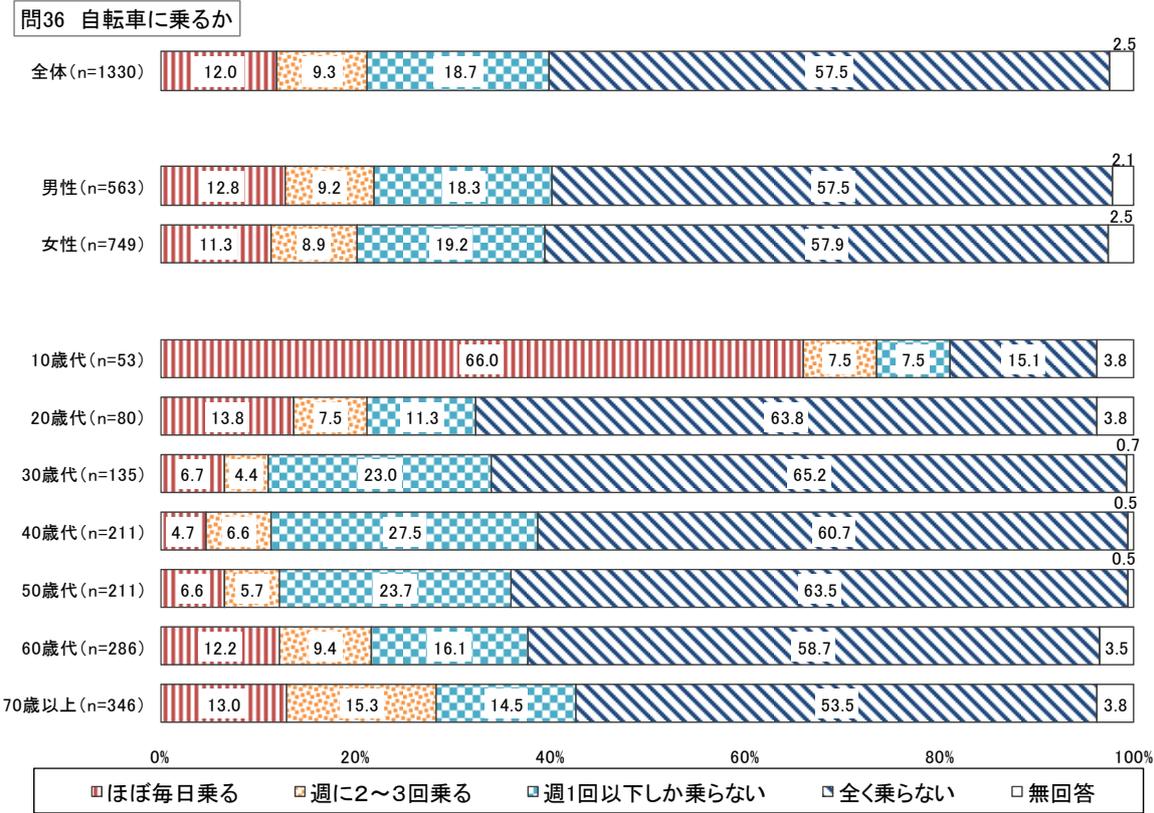


**問 36 あなたは自転車に乗りますか。（〇は1つだけ）**

「全く乗らない」が57.5%と最も高く、ついで「週1回以下しか乗らない」が18.7%、「ほぼ毎日乗る」が12.0%となっている。

性別にみると、「ほぼ毎日乗る」が男性の方が女性よりも僅かに上回っているが、概ね男性・女性ともに同様の傾向を示しており、性別による大きな違いはみられない。

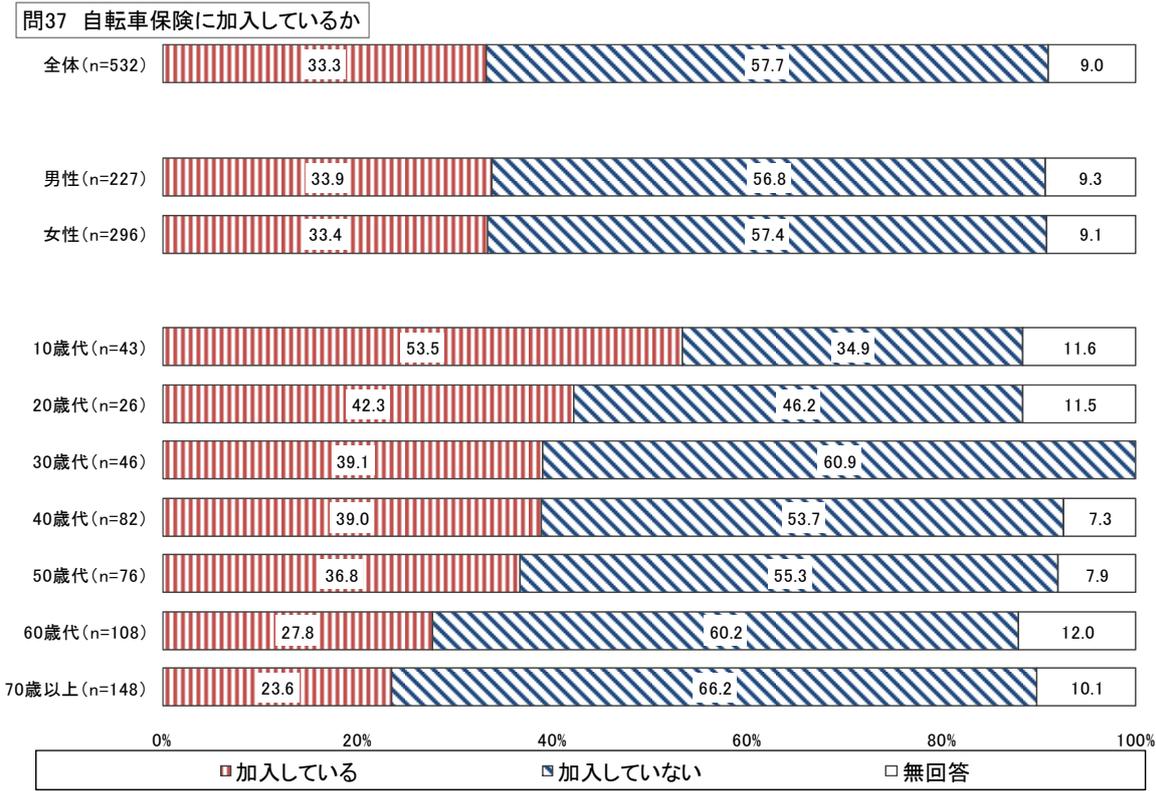
年代別にみると、10歳代では「ほぼ毎日乗る」が66.0%となっており、他の年代よりも50ポイント程度高くなっている。その他の年代では「全く乗らない」が5割以上を占めている。



**問 37 あなたは現在自転車保険に加入していますか。（〇は1つだけ）**

「加入していない」が57.7%と最も高く、ついで「加入している」が33.3%となっている。  
性別にみると、男性・女性ともに「加入していない」が5割半ばで高くなっており、性別による大きな違いはみられない。

年代別にみると、10歳代、20歳代の若い世代では「加入している」が4割以上と高くなって  
いるが、60歳代、70歳以上になると「加入していない」が6割を超えている。

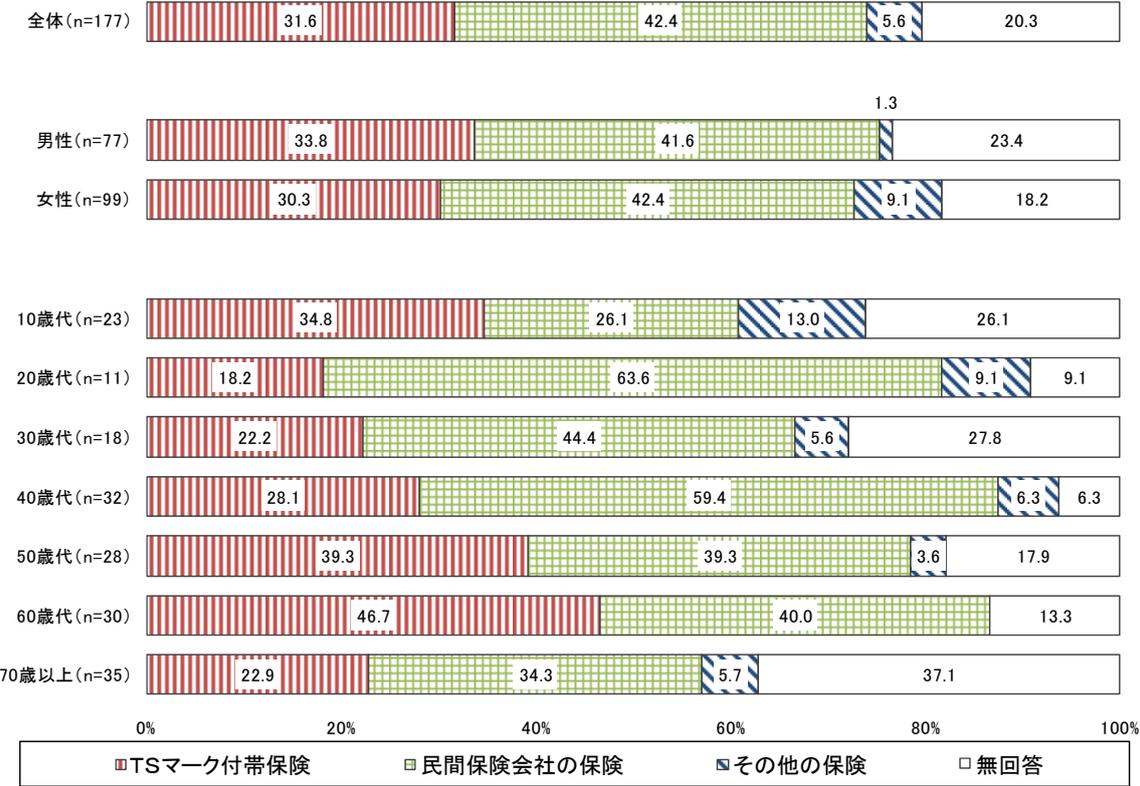


問 37-1 自転車保険に加入している方は保険の種類もお選びください。

「民間保険会社の保険」が 42.4%と最も高く、ついで「TSマーク付帯保険」が 31.6%、「その他の保険」が 5.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「民間保険会社の保険」が最も高く 4割以上となっている。  
 年代別にみると、20歳代から60歳代にかけて年代が上がるにつれて、「TSマーク付帯保険」が高くなっており、60歳代では 46.7%となっている。また、20歳代、40歳代では「民間保険会社の保険」がおおよそ6割と他の年代よりも高くなっている。

問37-1 加入している保険の種類



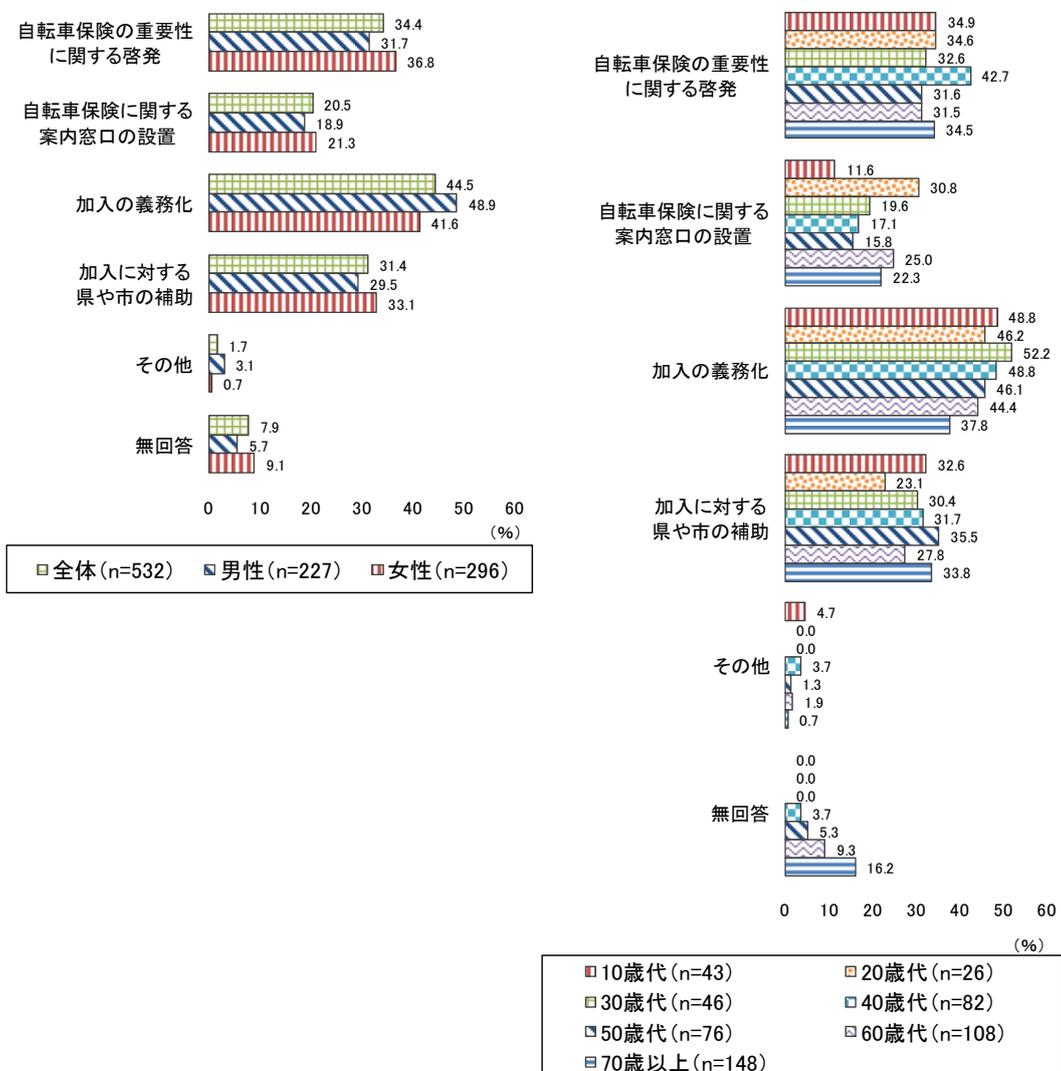
問38 自転車保険への加入を促進するためには、どのような施策が必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

「加入の義務化」が44.5%と最も高く、ついで「自転車保険の重要性に関する啓発」が34.4%、「加入に対する県や市の補助」が31.4%となっている。

性別にみると、男性では「加入の義務化」が最も高く、女性よりも7ポイント程度高い48.9%となっている。女性では「自転車保険の重要性に関する啓発」としている割合が高く、男性を5ポイント程度上回って、36.8%となっている。

年代別にみると、「加入の義務化」では年代が上がるにつれて、その割合が減少傾向にある。また、40歳代では「自転車保険の重要性に関する啓発」が42.7%と他の年代よりも高くなっている。

問38 自転車保険の加入促進のために必要だと思う施策

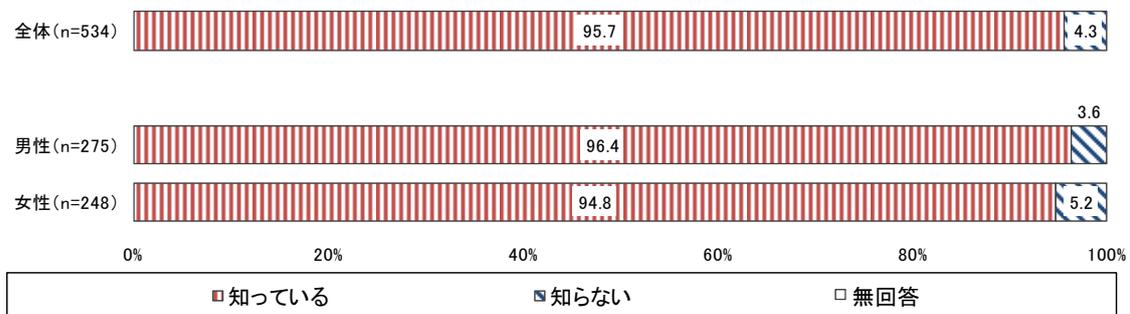


**問 39 運転免許証自主返納制度を知っていますか。（○は1つだけ）**

「知っている」が95.7%と最も高く、ついで「知らない」が4.3%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「知っている」が僅かに高くなっているが、性別による大きな違いはみられない。

問39 運転免許証自主返納制度を知っているか

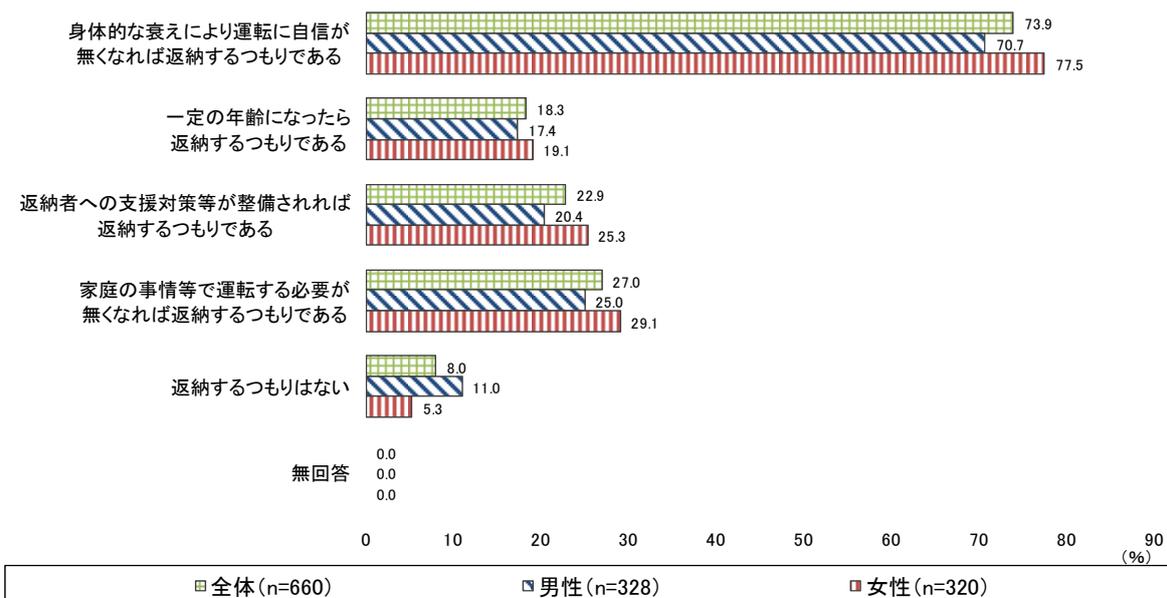


**問 40 あなたは将来的に自主返納するつもりはありますか。（○はいくつでも）**

「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」が73.9%と最も高く、ついで「家庭の事情等で運転する必要が無くなれば返納するつもりである」が27.0%、「返納者への支援対策等が整備されれば返納するつもりである」が22.9%となっている。

性別にみると、「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」で女性が男性を7ポイント程度上回っている。その他についても返納するつもりがあるとしているのは、女性の方が高いが、「返納するつもりはない」では男性が11.0%で女性を上回っている。

問40 将来的に自主返納するつもりはあるか

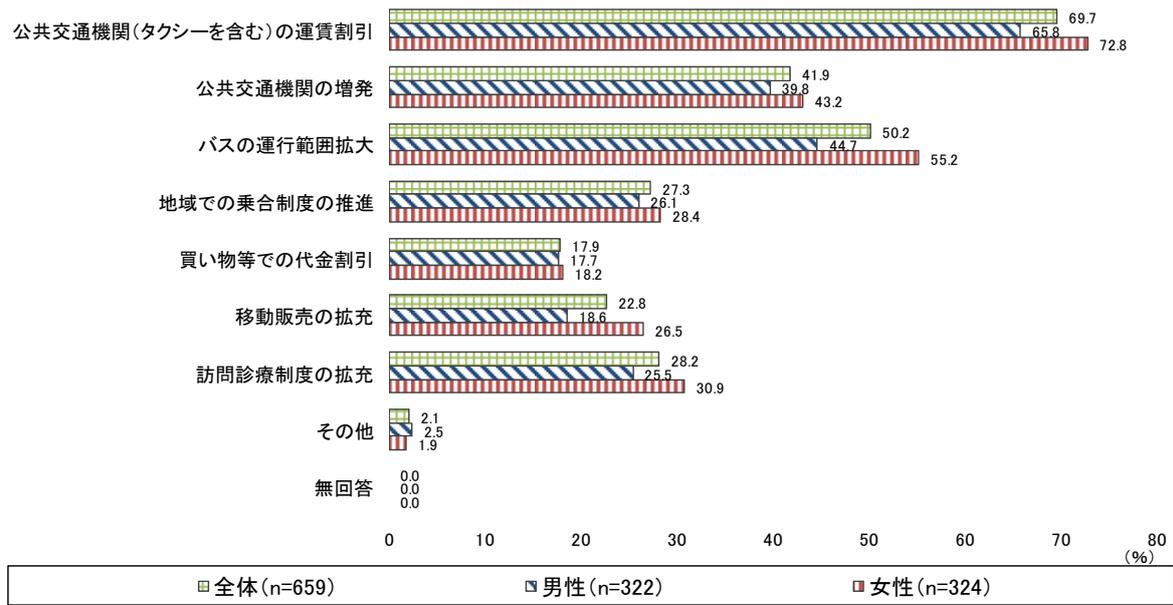


**問 41 返納者に対してどのような支援対策が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）**

「公共交通機関（タクシーを含む）の運賃割引」が 69.7%と最も高く、ついで「バスの運行範囲拡大」が 50.2%、「公共交通機関の増発」が 41.9%となっている。

性別にみると、女性では「バスの運行範囲拡大」が高く 55.2%となっており、男性より 10 ポイント以上高くなっている。

問41 返納者に対してどのような支援が必要だと思うか



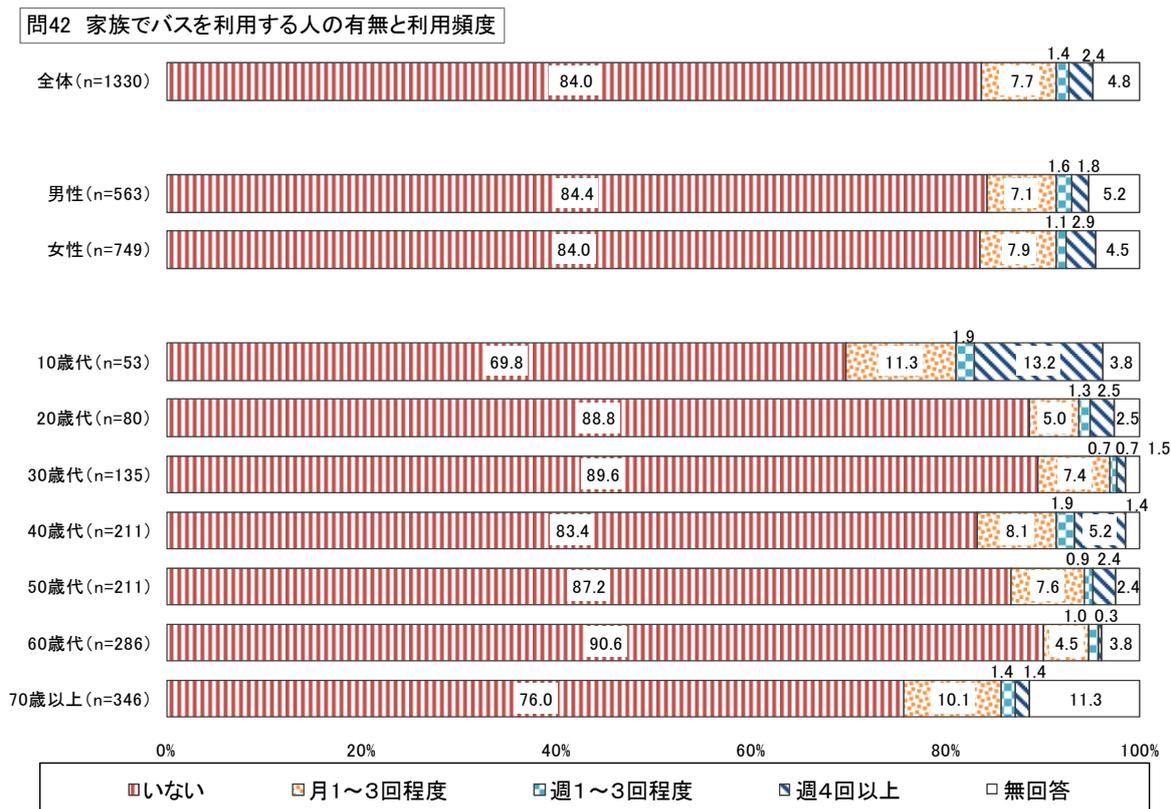
## コミュニティ交通について

問 42 ご家族（あなたを含みます。以下同じ。）で、日常生活においてバス（民間路線バス、コミュニティバスを問いません。以下同じ。）を利用される方はいらっしゃいますか。いらっしゃる場合、その利用頻度はどのくらいですか。（複数人いらっしゃる場合は、〇はいくつでも）

「いない」が84.0%と最も高く、ついで「月1～3回程度」が7.7%、「週4回以上」が2.4%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「いない」が最も高く、8割半ばとなっている。性別による大きな違いはみられない。

年代別にみると、10歳代では「いない」が他の年代に比べ低く、7割を下回っている。一方で、「週4回以上」が高くなっており13.2%となっている。

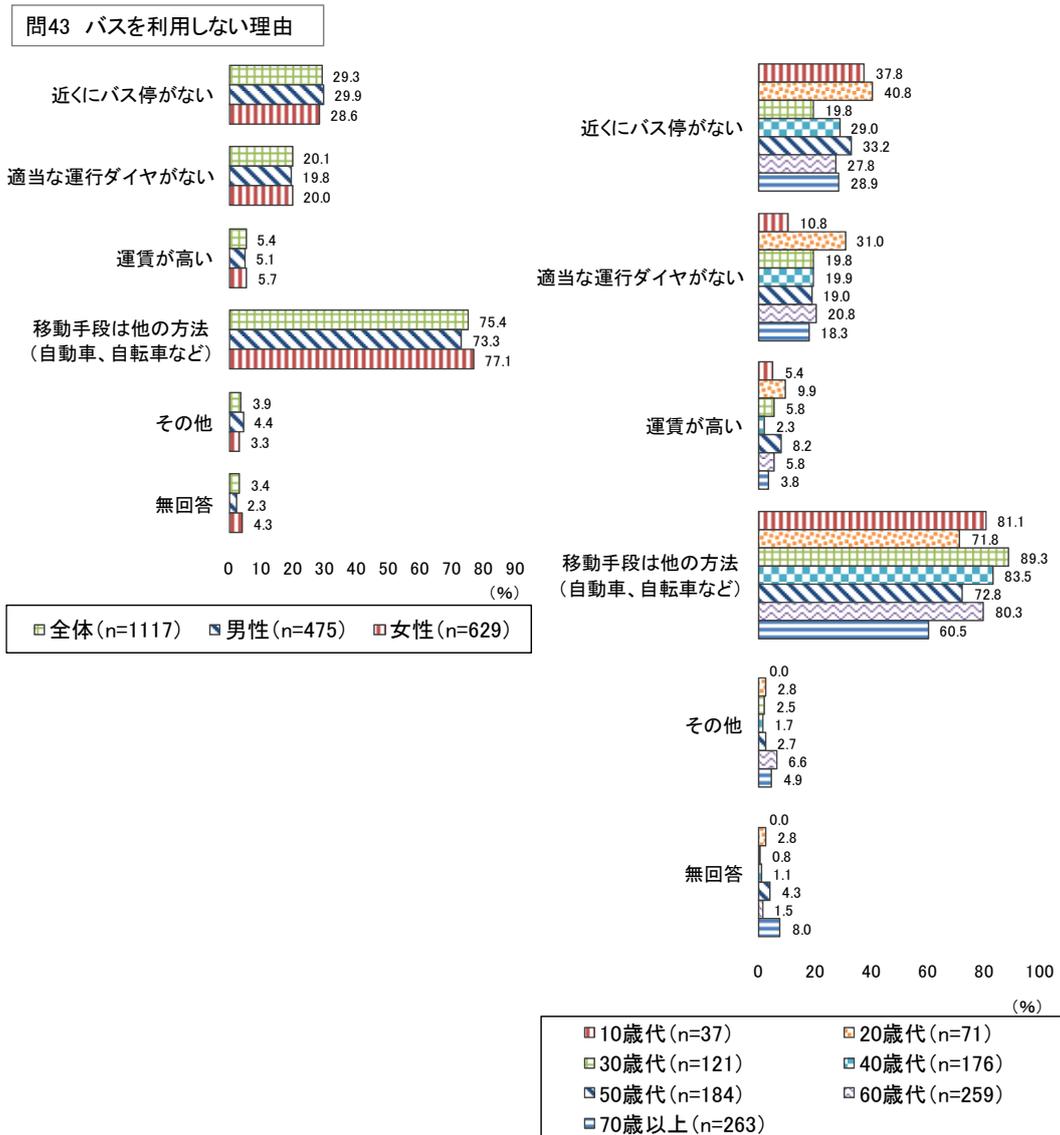


問 43 利用されない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

「移動手段は他の方法（自動車、自転車など）」が 75.4%と最も高く、ついで「近くにバス停がない」が 29.3%、「適当な運行ダイヤがない」が 20.1%となっている。

性別にみると、「移動手段は他の方法（自動車、自転車など）」で男性が 73.3%、女性が 77.1%で僅かに女性の方が高くなっているが、そのほかに大きな差はみられない。

年代別にみると、70 歳以上では「移動手段は他の方法（自動車、自転車など）」が他の年代よりも低く、60.5%にとどまっている。また、20 歳代で「適当な運行ダイヤがない」が他の年代よりも 10 ポイント程度高くなっている。

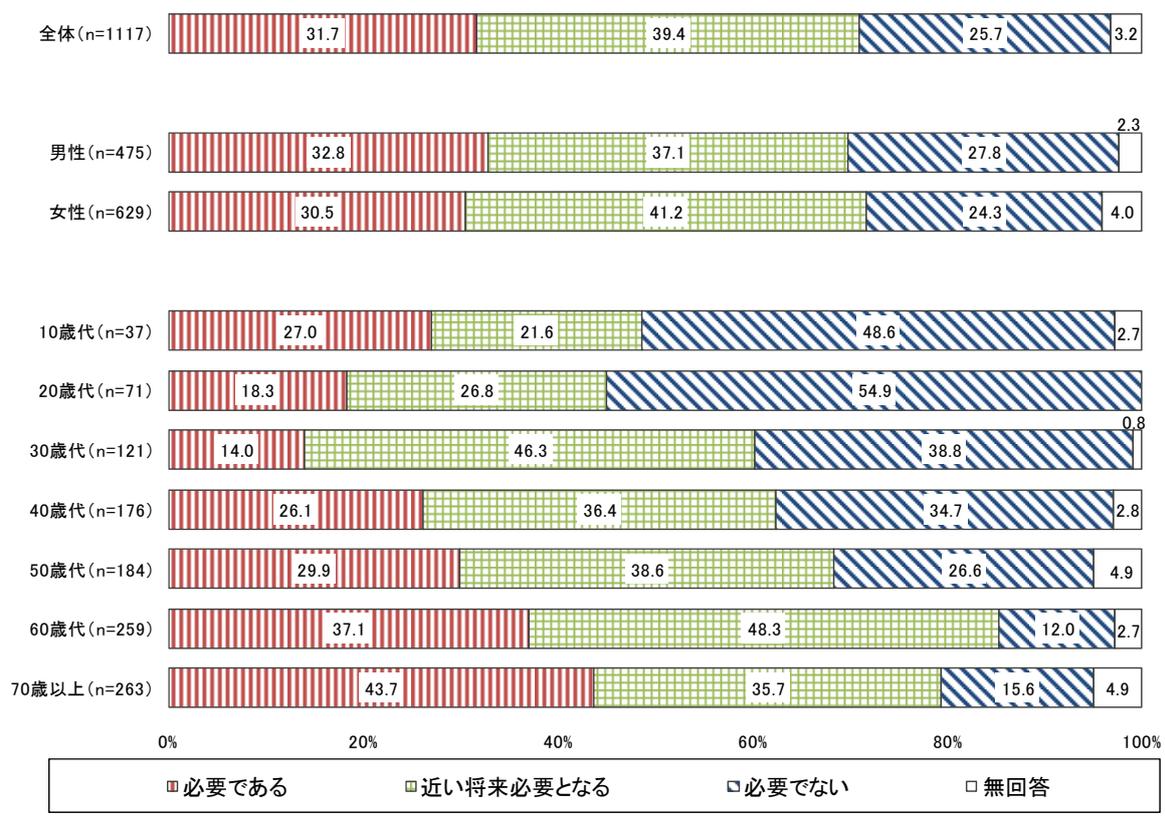


**問 44 ご家族にとって、現在あるいは近い将来、バスは必要ですか。（〇は1つだけ）**

「近い将来必要となる」が 39.4%と最も高く、ついで「必要である」が 31.7%、「必要でない」が 25.7%となっている。

性別にみると、女性で「近い将来必要となる」が男性よりもやや高く、41.2%となっている。年代別にみると、10歳代、20歳代では、約半数程度が「必要ではない」としており、非常に高くなっている。一方で、60歳代、70歳以上では「必要でない」は1割台と低くなっており、「必要である」「近い将来必要となる」の割合が高くなっている。

問44 バスは必要か



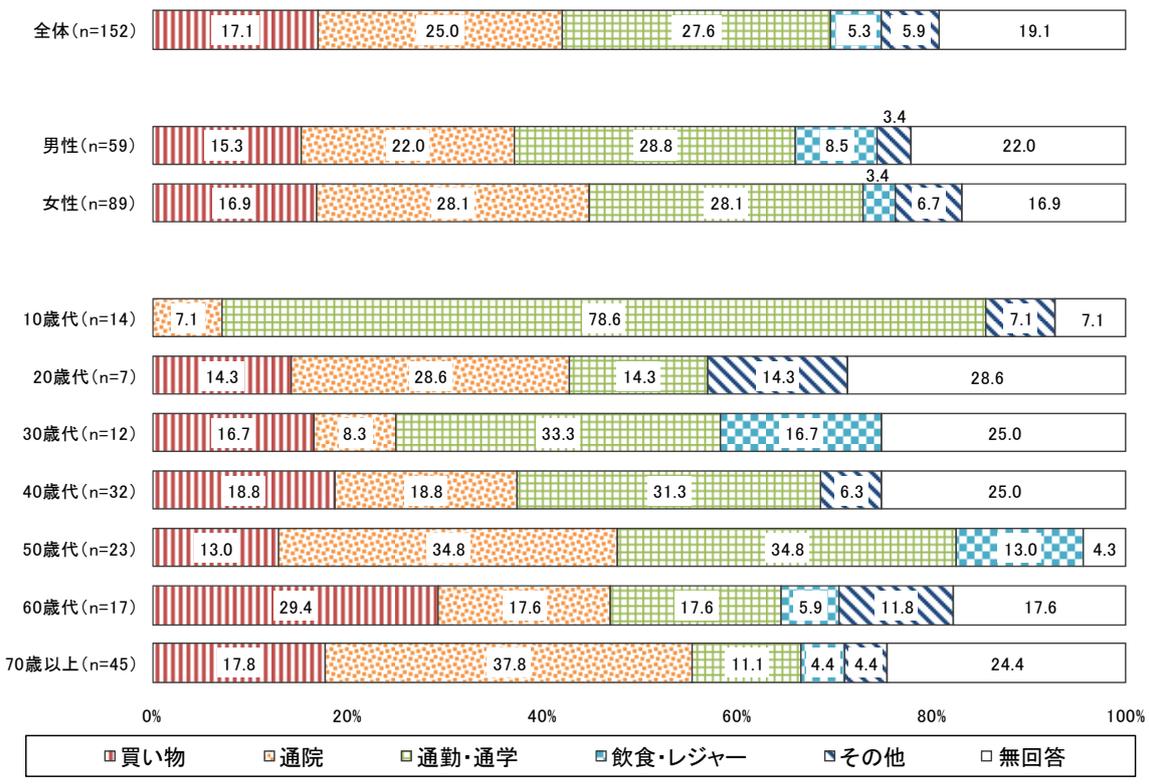
**問 45 バスの主な利用目的は何ですか。（〇は1つだけ）**

「通勤・通学」が27.6%と最も高く、ついで「通院」が25.0%、「買い物」が17.1%となっている。

性別にみると、女性では「通院」が男性よりも高く、28.1%となっている。一方で男性では「通勤・通学」が最も高くなっている。

年代別にみると、10歳代ではおよそ8割が「通勤・通学」となっている。50歳代、70歳以上では「通院」が高く、いずれも3割半ば程度となっている。

問45 バスの主な利用目的



問 46 市内または隣接市町で、バスを運行すれば出かける、あるいは便利だと思うところはどこですか。

設問	詳細分類項目	件数	構成比 (%)
問 46	I. 松阪市内	243	69.6
	1 商業施設、ショッピングセンター、スーパーなど	68	19.5
	2 病院、医療機関	49	14.0
	3 公共施設（公園、文化施設、公衆浴場など）	40	11.5
	4 駅、市役所	45	12.9
	5 その他	41	11.7
	II. 松阪市外	106	30.4
	1 商業施設、ショッピングセンター、スーパーなど	59	16.9
	2 病院、医療機関	7	2.0
	3 公共施設（公園、文化施設、公衆浴場など）	6	1.7
	4 駅、港など	8	2.3
	5 その他	26	7.4
	合計	349	

《主な意見》

I. 松阪市内

「1. 商業施設、ショッピングセンター、スーパーなど」

- ・松阪市のアピタ
- ・松阪市のマーム
- ・松阪市のパワーセンター など

II. 松阪市外

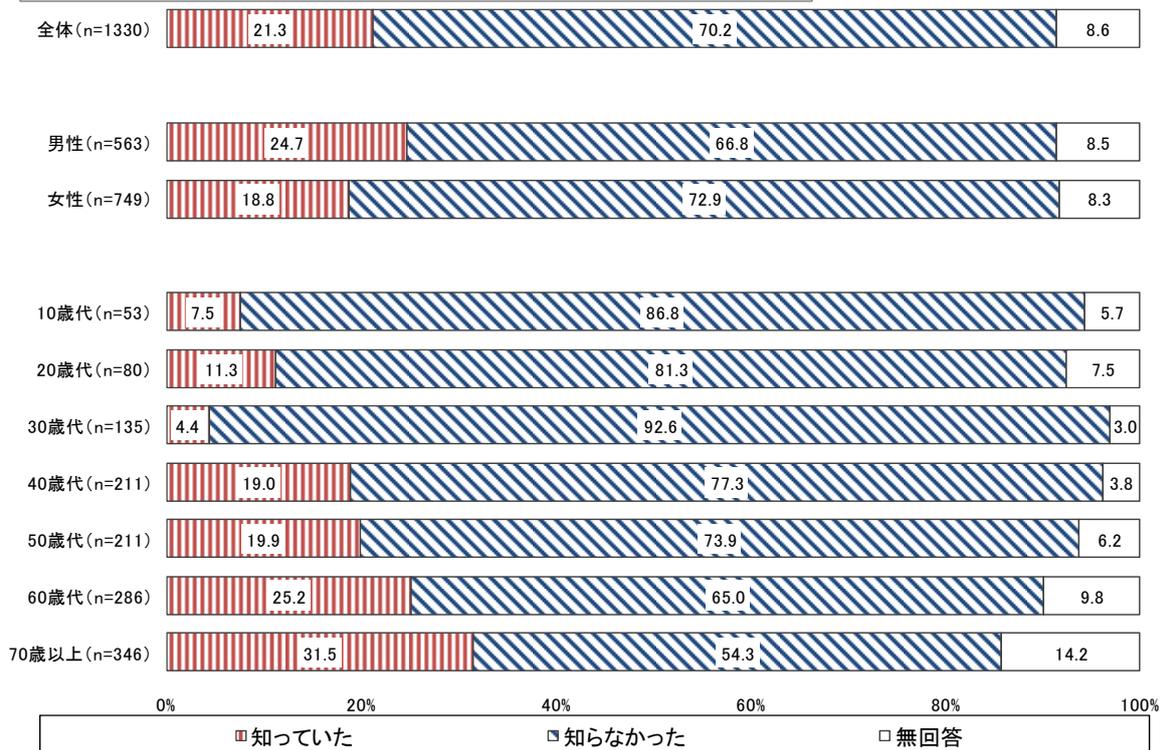
「1. 商業施設、ショッピングセンター、スーパーなど」

- ・明和町のイオンモール
- ・多気町のクリスタルタウン など

問 47 コミュニティバス関係予算のうち、大部分を占める運行経費は、運賃（約 2,480 万円）のほか、松阪市の特色である、企業や地域・沿線住民からの協賛金（約 1,520 万円）により賄われていることをご存知ですか。（○は1つだけ）

「知らなかった」が 70.2%と最も高く、ついで「知っていた」が 21.3%となっている。性別にみると、「知っていた」としているのは男性の方が女性よりも高く、24.7%となっている。年代別にみると、40 歳代以降「知っていた」が高くなっていき、70 歳以上では 31.5%となっている。

問47 コミュニティバスの運行経費が協賛金からも賄われていることを知っているか

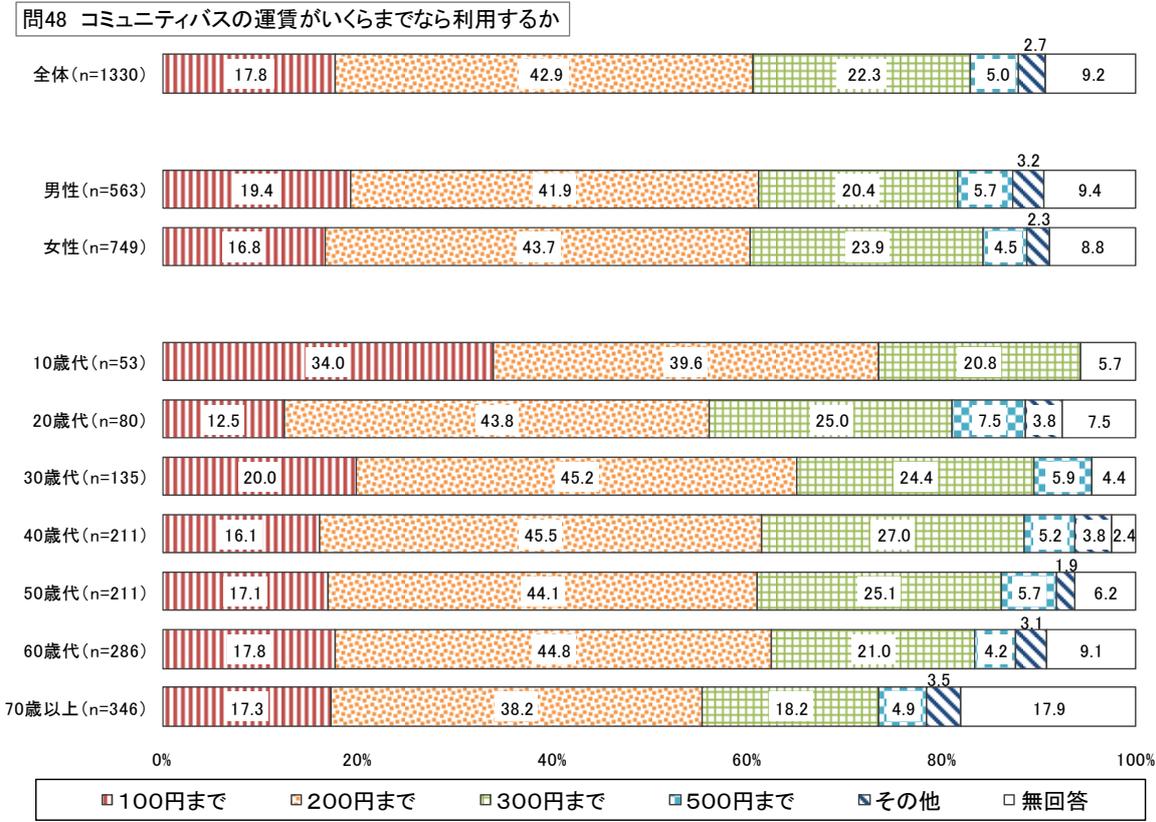


問48 この現状をふまえて、あなたはコミュニティバスの運賃がいくらまでなら利用しますか。(〇は1つだけ)

「200円まで」が42.9%と最も高く、ついで「300円まで」が22.3%、「100円まで」が17.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「200円まで」が最も高くなっている。また、男性では「100円まで」が女性よりもやや高く、19.4%となっている。女性では、「300円まで」が男性よりも僅かに高く、23.9%となっている。

年代別にみると、10歳代では34.0%が「100円まで」としており、他の年代よりも高い割合となっている。



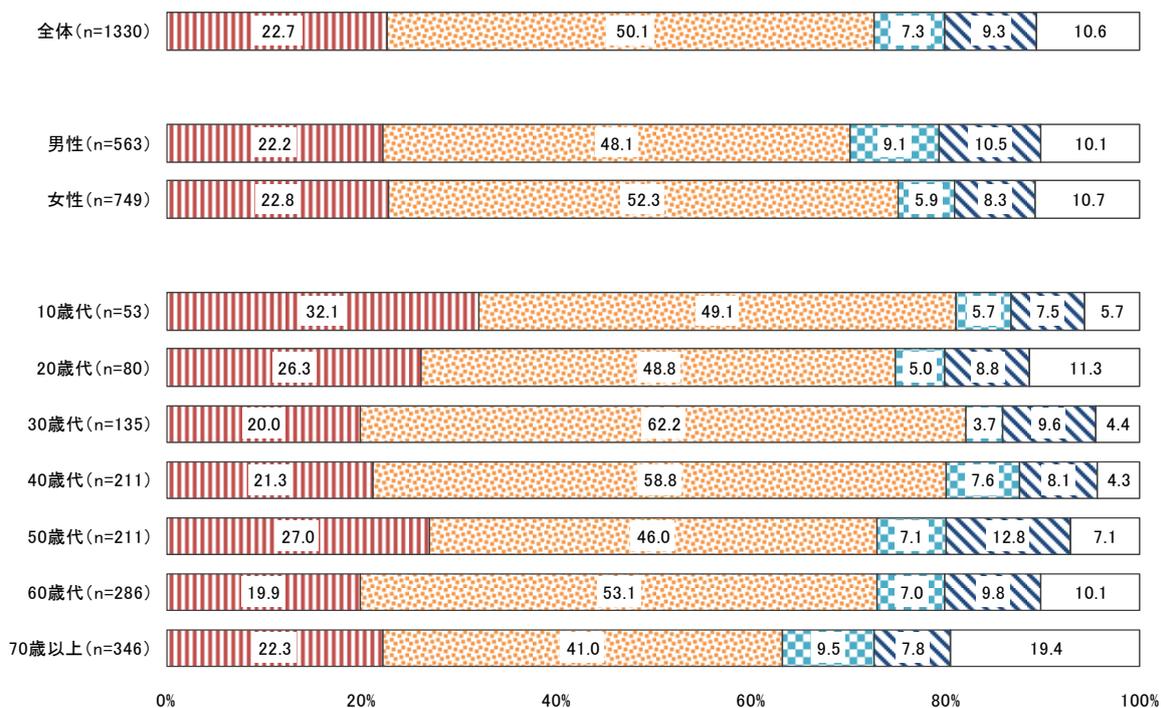
問 49 運行経費が増加する一方で、依然として公共交通の利用が困難な地域があり、過疎化・高齢化社会の進展や運転免許の自主返納者の増加などを要因として、コミュニティバスに対するニーズも高まっています。松阪市のコミュニティ交通について、あなたの考えに1番近いものはどれですか。(○は1つだけ)

「現在の路線を維持しながら、公共交通利用が困難な地域を中心に路線を拡充」が50.1%と最も高く、ついで「必要なものであるから、積極的に経費をかけて路線を拡充」が22.7%、「利用の少ない路線やバス停の合理化・廃止などにより経費を削減」が9.3%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「現在の路線を維持しながら、公共交通利用が困難な地域を中心に路線を拡充」が最も高いが、女性は男性をやや上回る52.3%となっている。

年代別にみると、「現在の路線を維持しながら、公共交通利用が困難な地域を中心に路線を拡充」がいずれの年代でも最も高くなっているが、特に30歳代、40歳代で6割程度と高くなっている。

問49 コミュニティ交通について一番近い考え



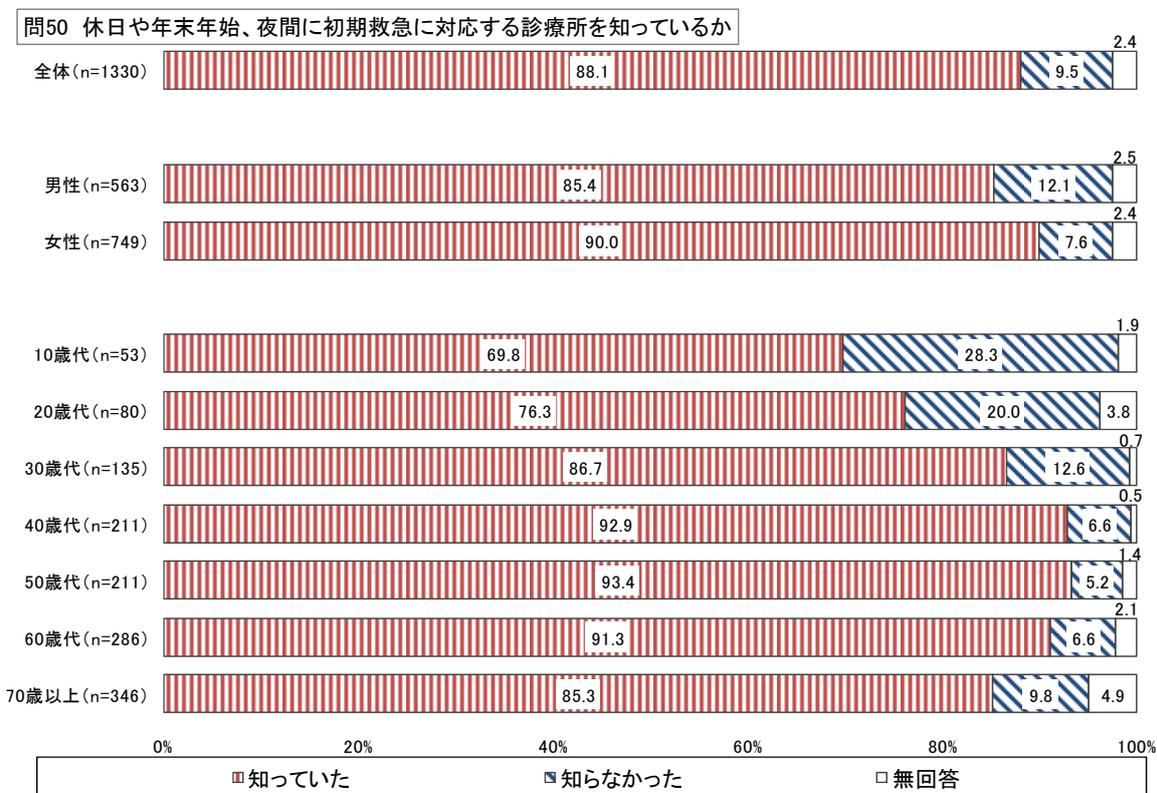
- 必要なものであるから、積極的に経費をかけて路線を拡充
- 現在の路線を維持しながら、公共交通利用が困難な地域を中心に路線を拡充
- 現在の路線を維持していくことで十分
- 利用の少ない路線やバス停の合理化・廃止などにより経費を削減
- 無回答

## 救急医療体制などについて

問50 休日夜間応急診療所など休日や年末年始、夜間に初期救急に対応する診療所をご存知ですか。（以下、「応急診療所」といいます。）（○は1つだけ）

「知っていた」が88.1%と最も高く、ついで「知らなかった」が9.5%となっている。性別にみると、女性の方が男性よりも「知っていた」が5ポイント程度高く、90.0%となっている。

年代別にみると、10歳代と20歳代では「知っていた」が8割を下回っているが、その他の年代では、8割半ばから9割半ば程度と高くなっている。

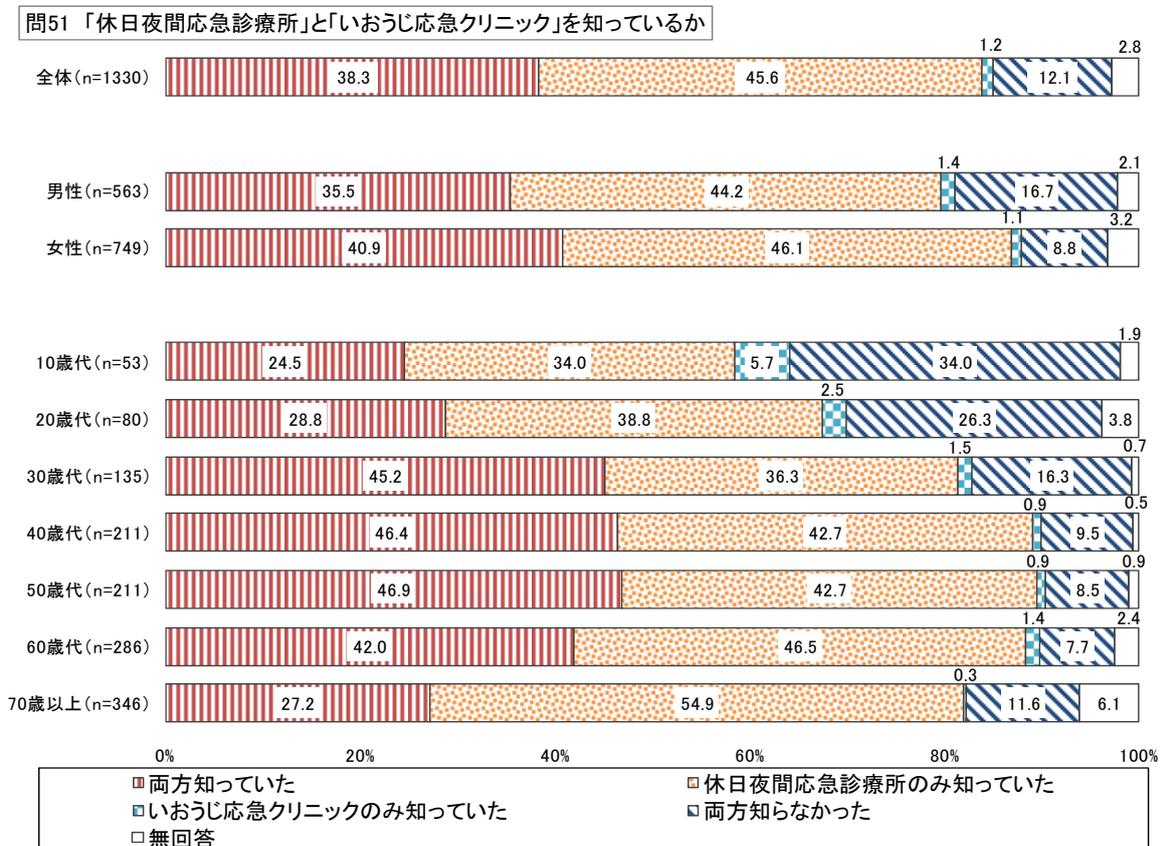


問 51 松阪市の休日夜間の応急診療は、「休日夜間応急診療所（春日町）」と松阪市が委託している「いおうじ応急クリニック（久保町）」があります。ご存知でしたか。（○は1つだけ）

「休日夜間応急診療所のみ知っていた」が45.6%と最も高く、ついで「両方知っていた」が38.3%、「両方知らなかった」が12.1%となっている。

性別にみると、女性は「両方知っていた」が40.9%となっており、男性よりも5ポイント程度高くなっている。男性は「両方知らなかった」が16.7%で女性よりも高くなっている。

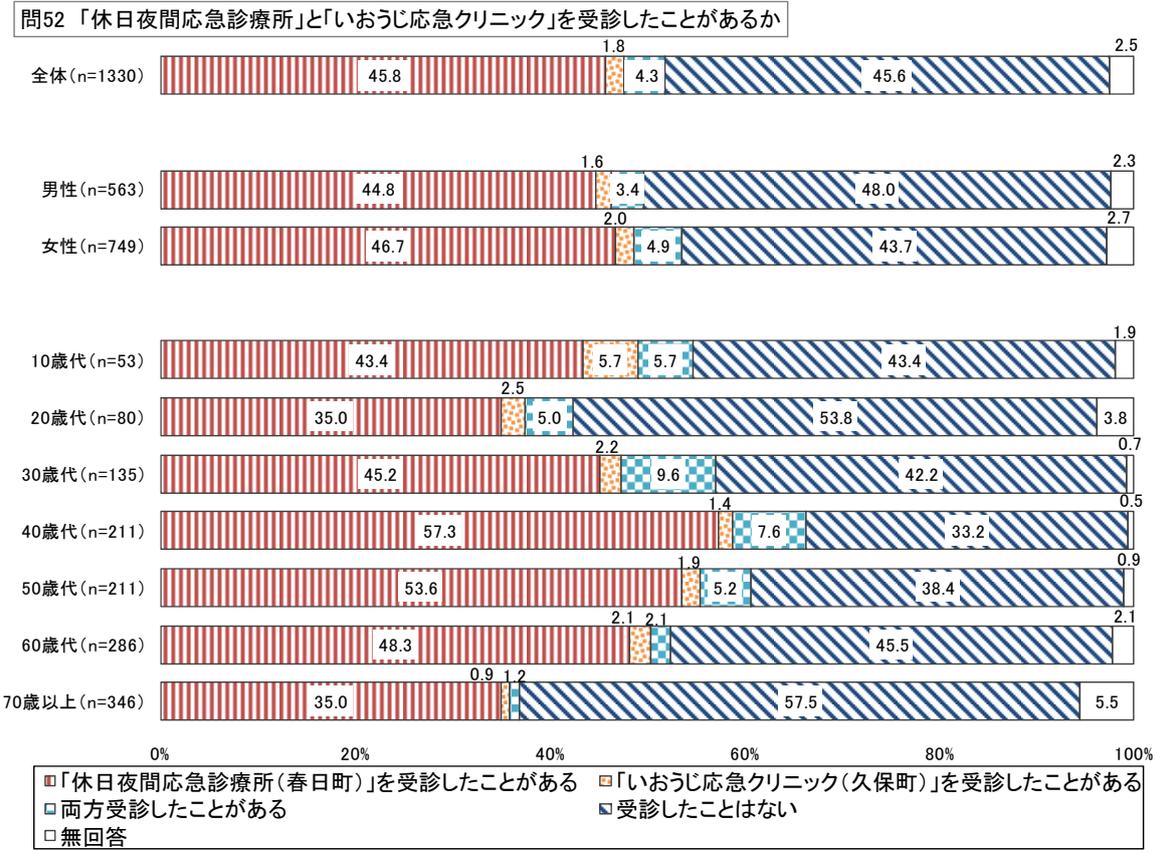
年代別にみると、10歳代では「両方知らなかった」が34.0%と高くなっているが、年代が上がるにつれてその割合は低下していき、60歳代では「両方知らなかった」は7.7%にまで低下している。



問 52 今までに、「休日夜間応急診療所（春日町）」、「いおうじ応急クリニック（久保町）」を受診したことがありますか。（○は1つだけ）

「休日夜間応急診療所（春日町）」を受診したことがあるが 45.8%と最も高く、ついで「受診したことはない」が 45.6%、「両方受診したことがある」が 4.3%となっている。

性別にみると、男性は「受診したことはない」が女性よりもやや高く、48.0%となっている。年代別にみると、40歳代では、両方、あるいはいずれかで受診したことのある人の割合が6割半ばで最も高くなっている。70歳以上では「受診したことはない」が57.5%で最も高くなっている。



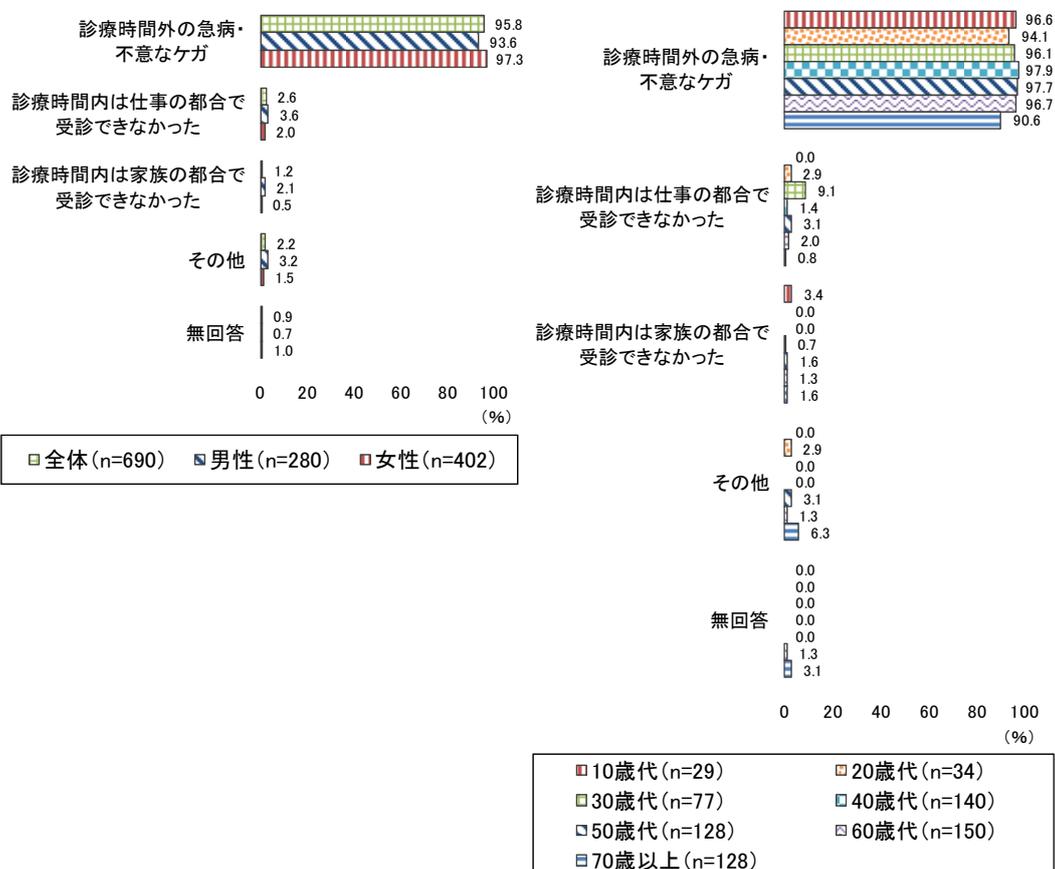
問 53 かかりつけ医などの医療機関を受診せず応急診療所を受診した理由は何ですか。  
(〇はいくつでも)

「診療時間外の急病・不意なケガ」が 95.8%と最も高く、ついで「診療時間内は仕事の都合で受診できなかった」が 2.6%、「診療時間内は家族の都合で受診できなかった」が 1.2%となっている。

性別にみると、「診療時間外の急病・不意なケガ」が女性では 97.3%で男性よりも高くなっているが、性別による大きな違いはみられない。

年代別にみると、「診療時間外の急病・不意なケガ」がいずれの年代でも 9 割を上回っているが、70 歳以上では 90.6%と他の年代よりもやや低くなっている。

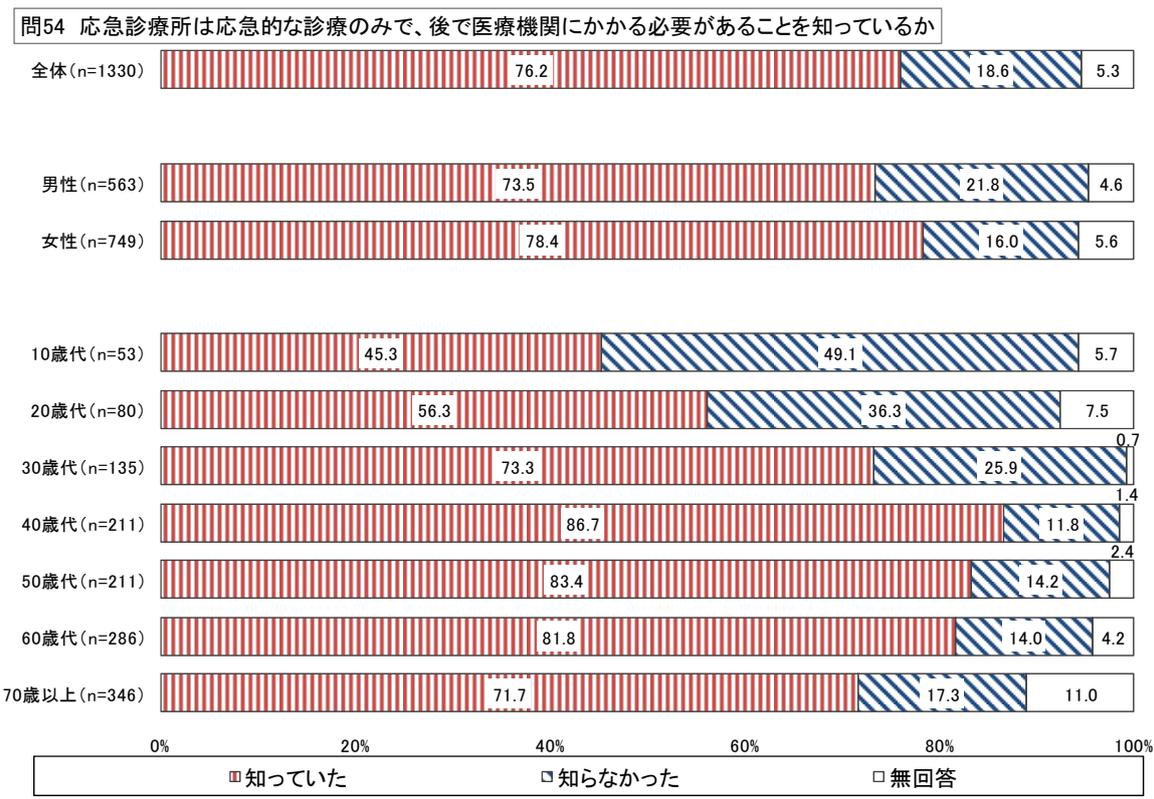
問53 かかりつけ医などの医療機関を受診せず応急診療所を受診した理由



問54 応急診療所は、応急的な診療のみで、後でかかりつけ医など医療機関にかかっていた  
 だけ必要があります。このことをご存知ですか。（○は1つだけ）

「知っていた」が76.2%と最も高く、ついで「知らなかった」が18.6%となっている。  
 性別にみると、女性では「知っていた」が78.4%で男性よりも5ポイント程度高くなっている。

年代別にみると、10歳代では「知っている」が45.3%となっているが、年代が上がるにつれて、その割合は増加していき40歳代では86.7%となっている。その後再び「知っている」の割合は減少していき、70歳以上では71.7%となっている。

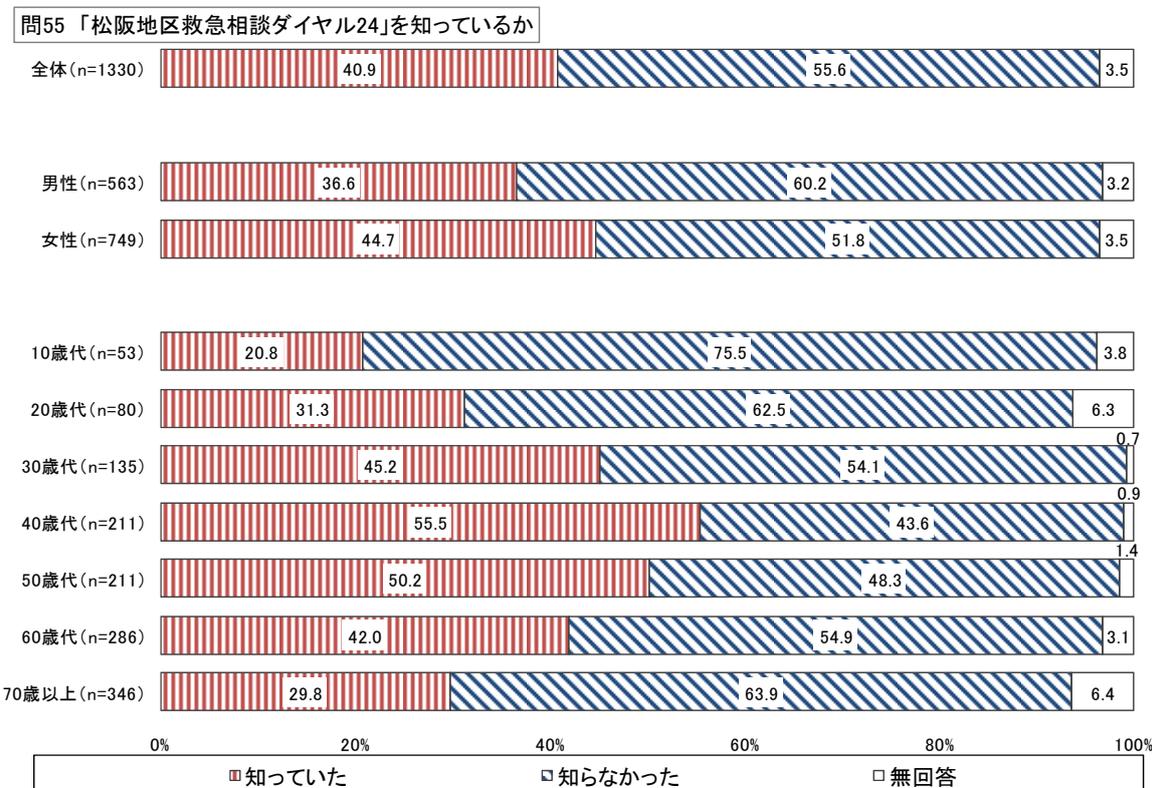


問 55 急な発熱、不意のケガなど応急手当等の相談に医師、看護師、保健師等が 24 時間無料で相談ができる「松阪地区救急相談ダイヤル 24」(☎0120-4199-17)をご存知ですか。(○は1つだけ)

「知らなかった」が 55.6%と最も高く、ついで「知っていた」が 40.9%となっている。

性別にみると、女性は「知っていた」が 44.7%で、男性よりも 8 ポイント程度高くなっている。

年代別にみると、10 歳代では「知っていた」が 20.8%であるが、年代が上がるにつれてその割合は増加していき、40 歳代では 55.5%と半数を超えている。その後再び減少していき、70 歳以上では 29.8%となっている。

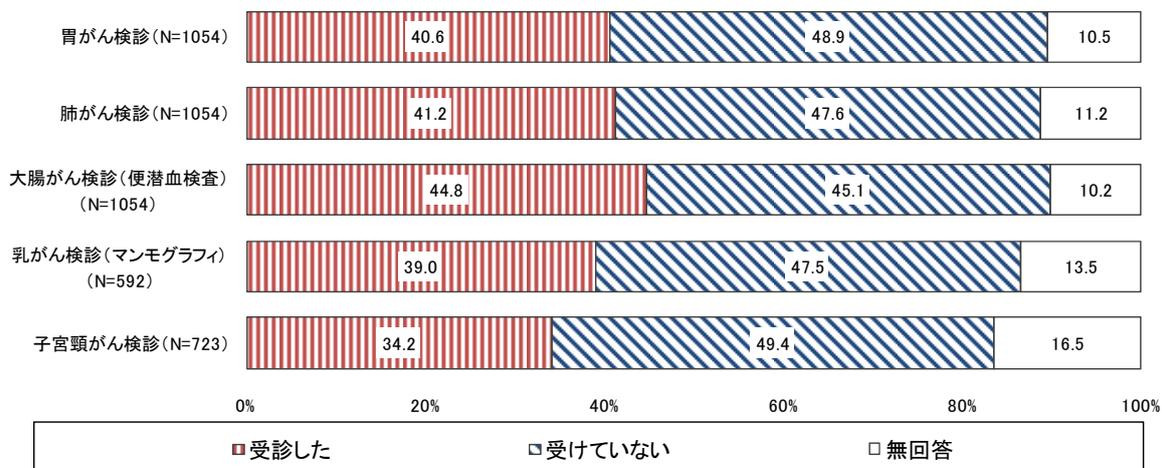


## 健康づくりについて

問56 検診についてお聞きします。この1年間に次のがん検診を受診しましたか。①～⑤の検診ごとに、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。◀①～③は40歳以上、④は40歳以上の女性、⑤は20歳以上の女性の方のみお答えください。▶

「大腸がん検診（便潜血検査）」が最も高く44.8%、ついで「肺がん検診」が41.2%、「胃がん検診」が40.6%となっている。

問56 がん検診の受診状況



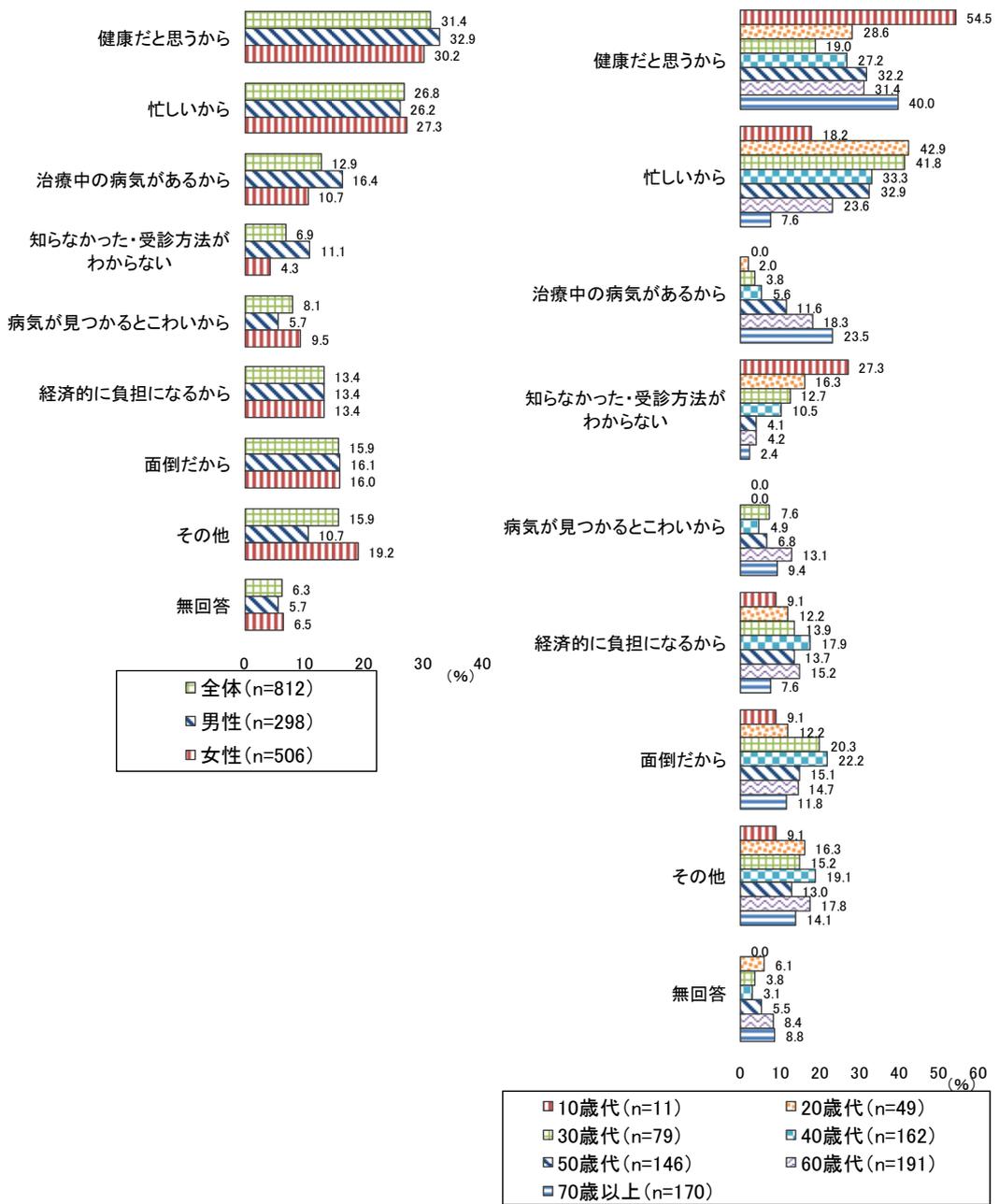
問 57 がん検診を受けなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「健康だと思うから」が31.4%と最も高く、ついで「忙しいから」が26.8%、「面倒だから」が15.9%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「健康だと思うから」が最も高くなっている。また、「治療中の病気があるから」「知らなかった・受診方法がわからない」で男性が女性に比べ高くなっている。

年代別にみると、10歳代では「健康だと思うから」が高くなっており、54.5%となっている。また、20歳代、30歳代では「忙しいから」が高く、4割を超えている。

問57 がん検診を受けなかった理由



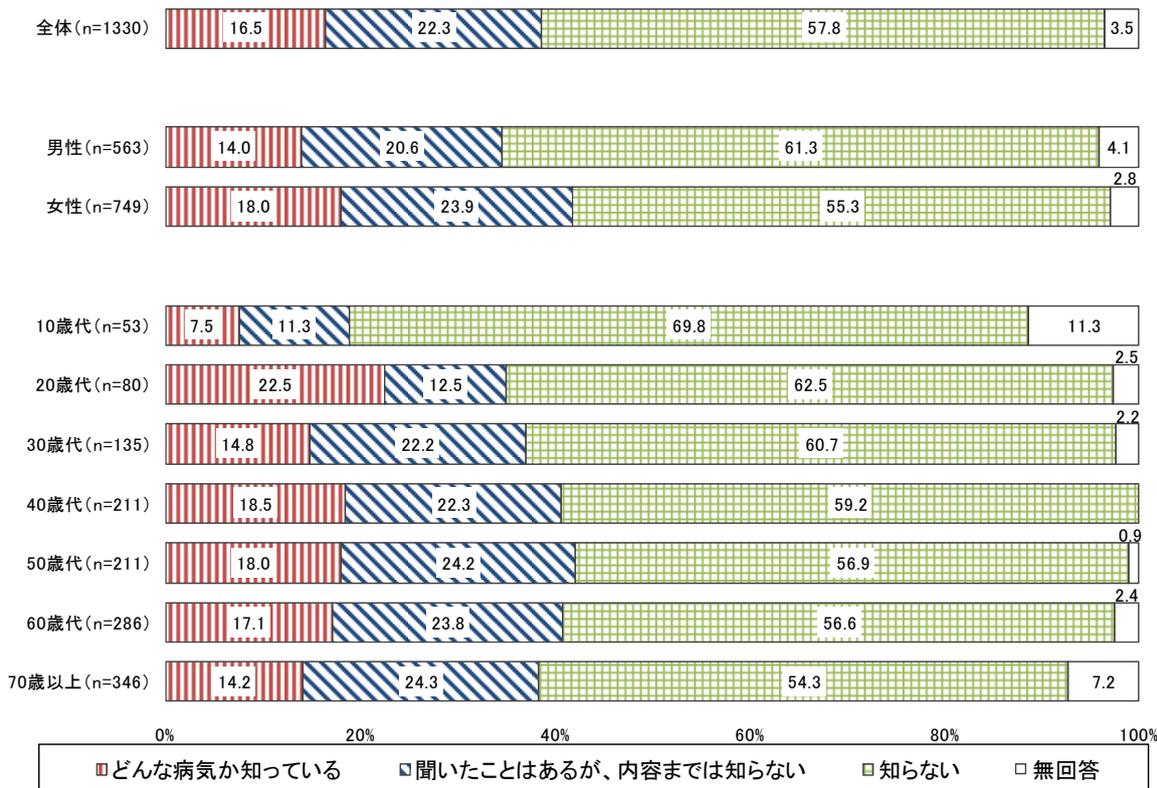
**問 58 COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気を知っていますか。（〇は1つだけ）**

「知らない」が57.8%と最も高く、ついで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が22.3%、「どんな病気か知っている」が16.5%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「知らない」が高く61.3%となっている。

年代別にみると、40歳代から60歳代では「どんな病気か知っている」「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が30歳代よりも下の年代と比べ高くなっているが、「知らない」の割合も5割半ばから6割と高くなっている。

問58 COPDを知っているか

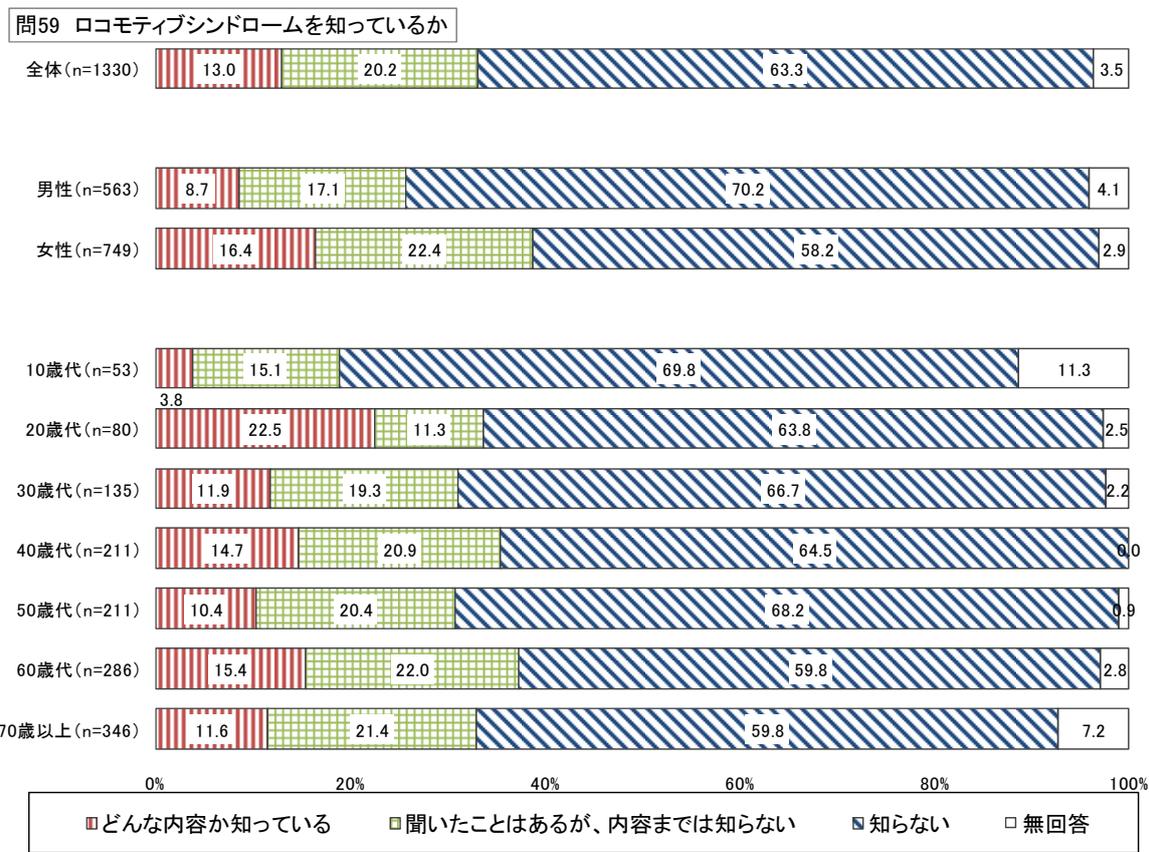


問 59 「ロコモティブシンドローム」を知っていますか？（○は1つだけ）

「知らない」が 63.3%と最も高く、ついで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が 20.2%、「どんな内容か知っている」が 13.0%となっている。

性別にみると、女性では「どんな内容か知っている」「聞いたことはあるが、内容までは知らない」がいずれも男性よりも高くなっている。男性では「知らない」が 70.2%で女性よりも 10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「知らない」が高くなっているが、特に 10 歳代では 69.8%と最も高くなっている。20 歳代では「どんな内容か知っている」が 22.5%で他の年代に比べ高くなっている。



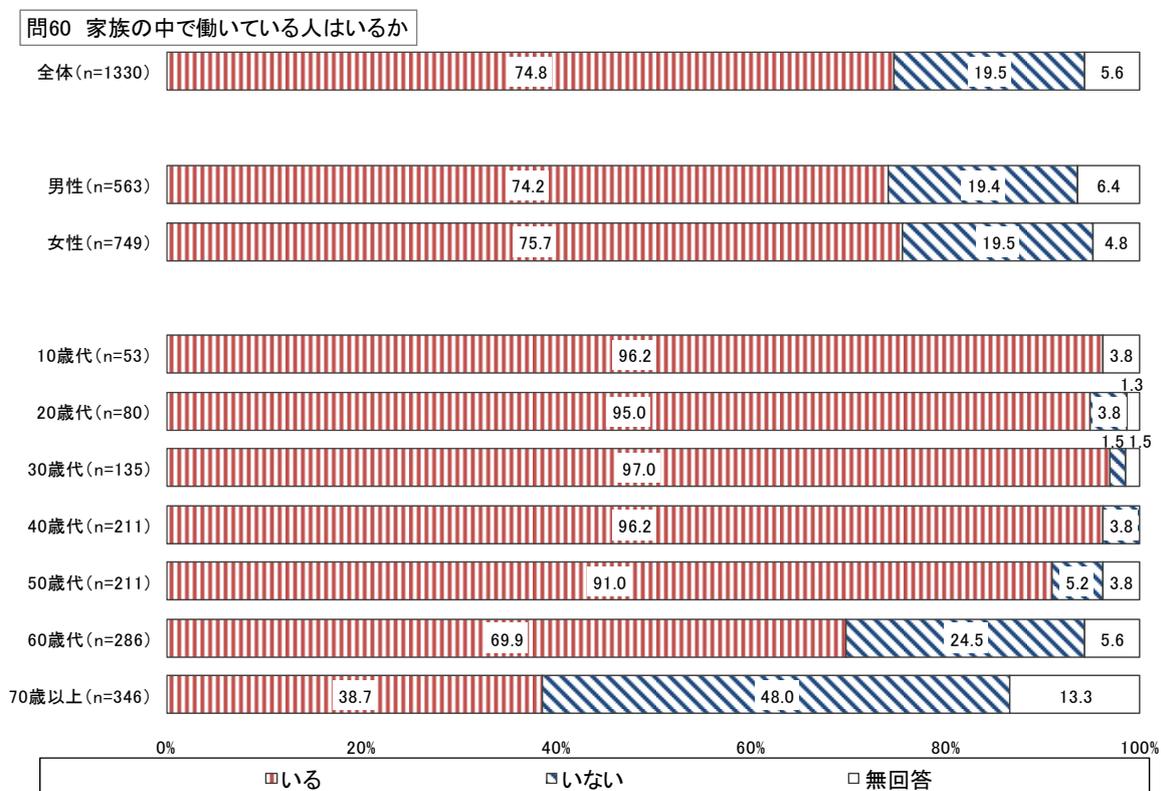
## 働き方改革について

問 60 ご家族（あなたを含みます。）の中で、働いている方はいらっしゃいますか。（複数人いらっしゃる場合は、主に生計を維持している方についてご回答ください。）  
（○は1つだけ）

「いる」が74.8%と最も高く、ついで「いない」が19.5%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「いる」が7割半ば程度となっており、性別による違いはみられない。

年代別にみると、10歳代から50歳代までは、「いる」がいずれの年代でも9割を超えているが、60歳代からは「いない」が増加しており、70歳以上ではおよそ半数が「いない」としている。

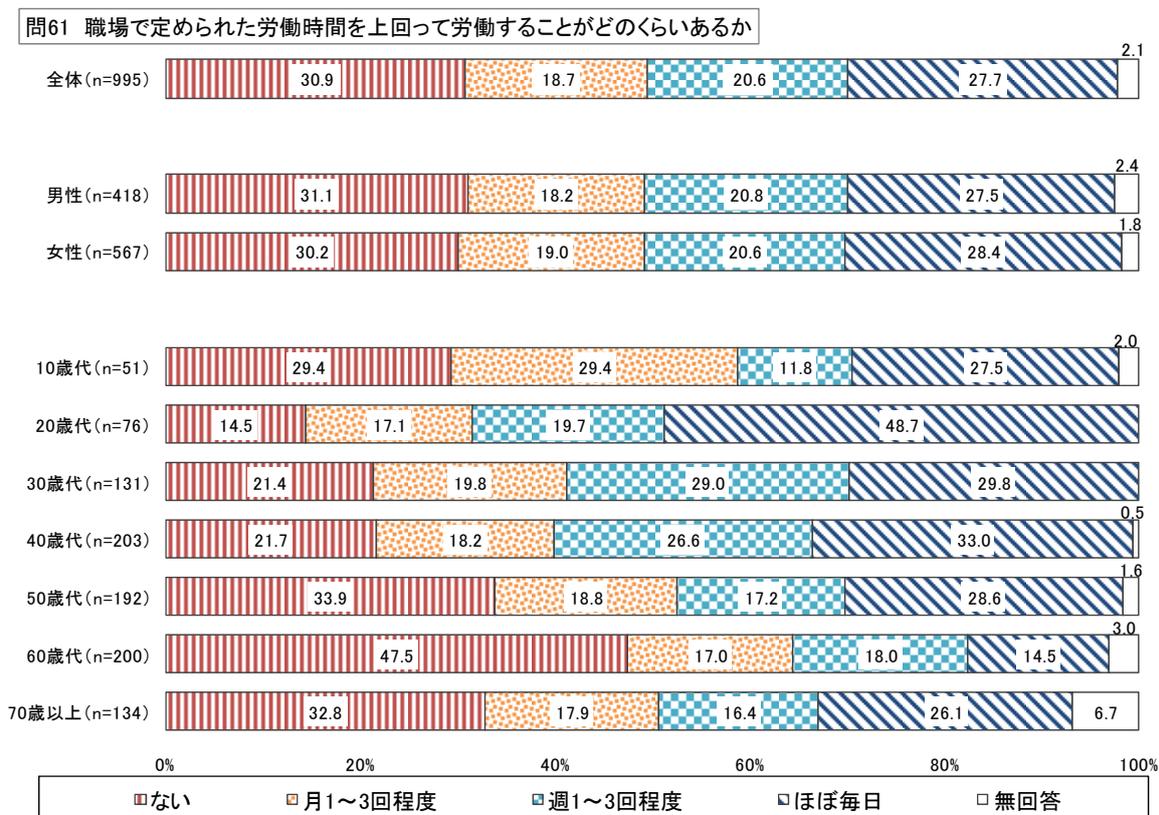


問 61 職場で定められた1日の労働時間を上回って労働することがどのくらいありますか。(〇は1つだけ)

「ない」が30.9%と最も高く、ついで「ほぼ毎日」が27.7%、「週1~3回程度」が20.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「ない」が最も高く、その他についても概ね同様の傾向を示しており、性別による違いはみられない。

年代別にみると、20歳代ではおよそ半数が「ほぼ毎日」となっている。一方で60歳代では「ない」が47.5%と最も高くなっている。

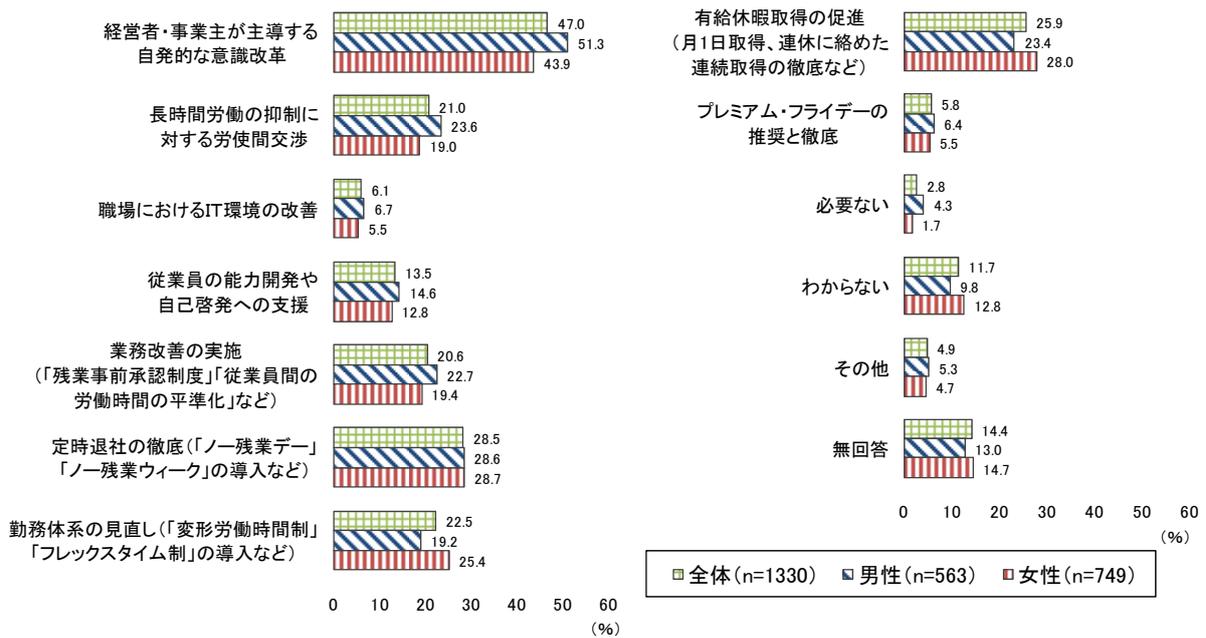


問 62 時間外労働の削減のためにどのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「経営者・事業主が主導する自発的な意識改革」が47.0%と最も高く、ついで「定時退社の徹底(「ノー残業デー」「ノー残業ウィーク」の導入など)」が28.5%、「有給休暇取得の促進(月1日取得、連休に絡めた連続取得の徹底など)」が25.9%となっている。

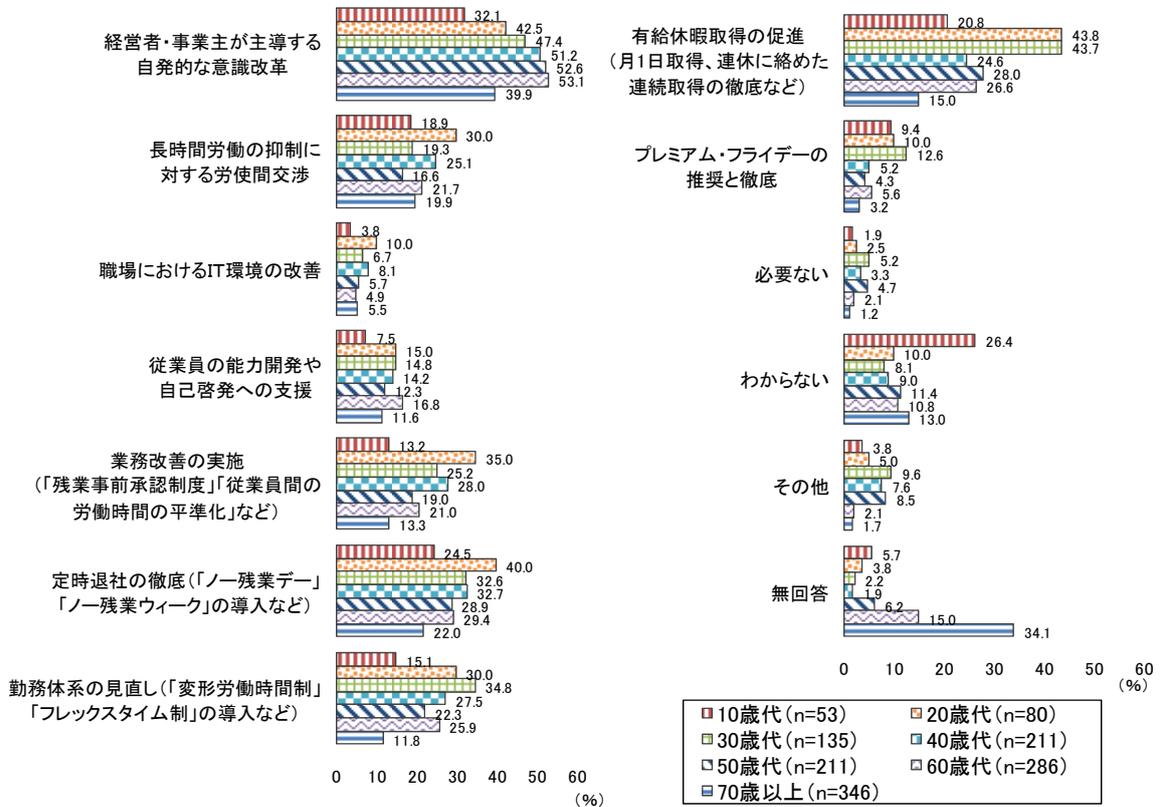
性別にみると、男性・女性ともに「経営者・事業主が主導する自発的な意識改革」が高くなっているが、男性では女性よりもおよそ8ポイント高く、51.3%となっている。

問62 時間外労働の削減のために必要だと思う取組



年代別にみると、20歳代、30歳代で「有給休暇取得の促進（月1日取得、連休に絡めた連続取得の徹底など）」が他の年代よりも15～20ポイント程度高く、4割半ばとなっている。

問62 時間外労働の削減のために必要だと思う取組



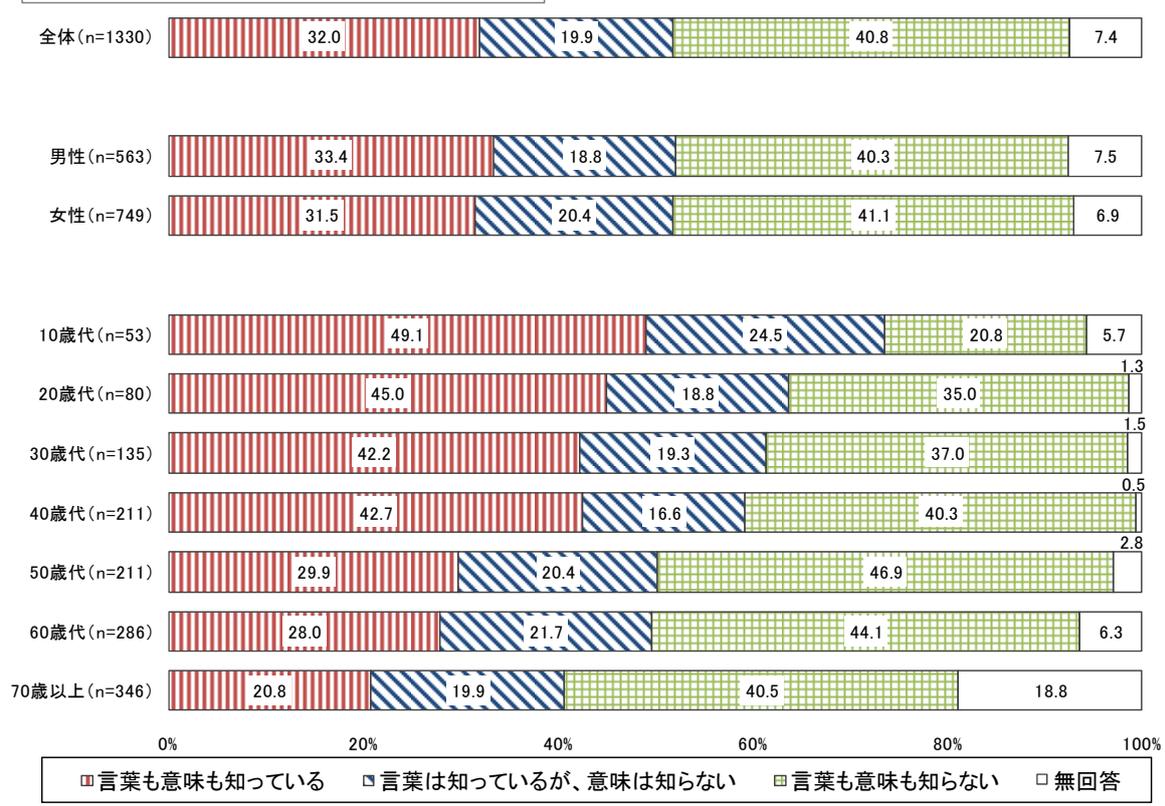
**問 63 「ワーク・ライフ・バランス」について知っていますか。（〇は1つだけ）**

「言葉も意味も知らない」が 40.8%と最も高く、ついで「言葉も意味も知っている」が 32.0%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が 19.9%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「言葉も意味も知らない」がおよそ4割となっている。男性は「言葉も意味も知っている」が 33.4%で女性よりも僅かに高くなっている。

年代別にみると、10歳代で「言葉も意味も知っている」が 49.1%と約半数であるが、その後減少していき、70歳以上では 20.8%となっている。

問63 「ワーク・ライフ・バランス」について知っているか



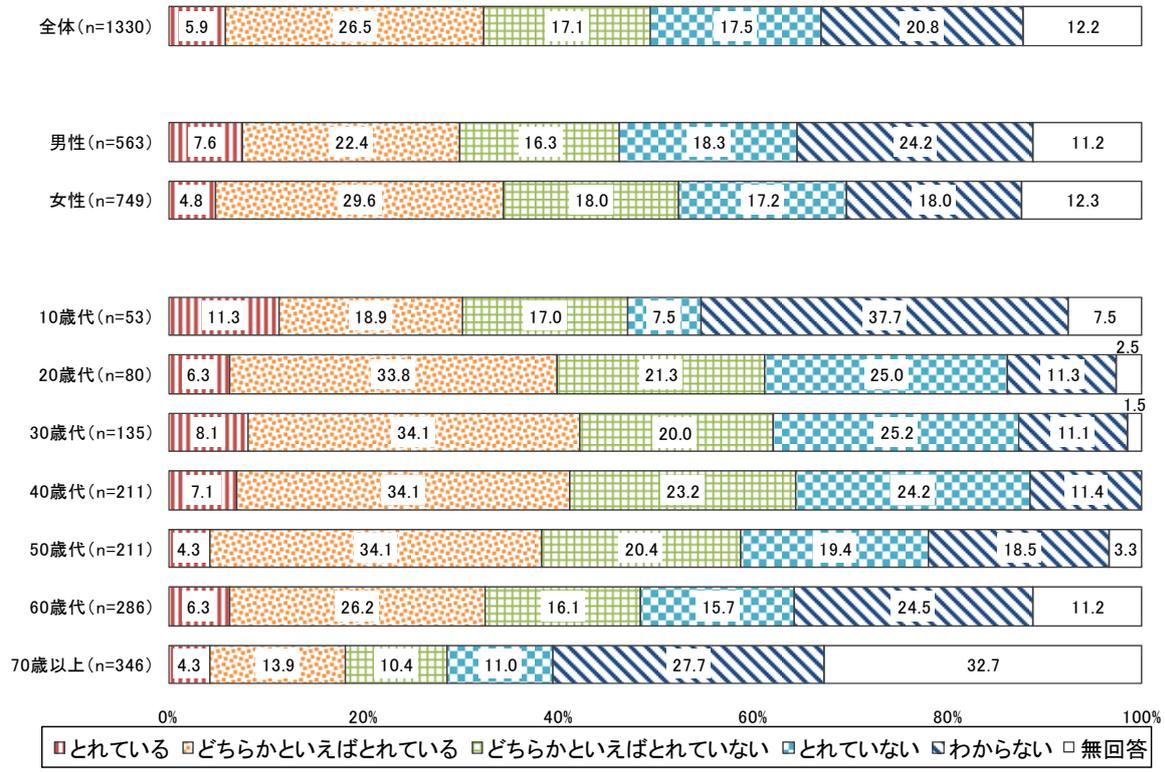
**問 64 満足した「ワーク・ライフ・バランス」がとれていると思いますか。(○は1つだけ)**

「どちらかといえばとれている」が 26.5%と最も高く、ついで「わからない」が 20.8%、「とれていない」が 17.5%となっている。

性別にみると、女性は「とれている」「どちらかといえばとれている」の合計の割合が男性よりもやや高くなっている。

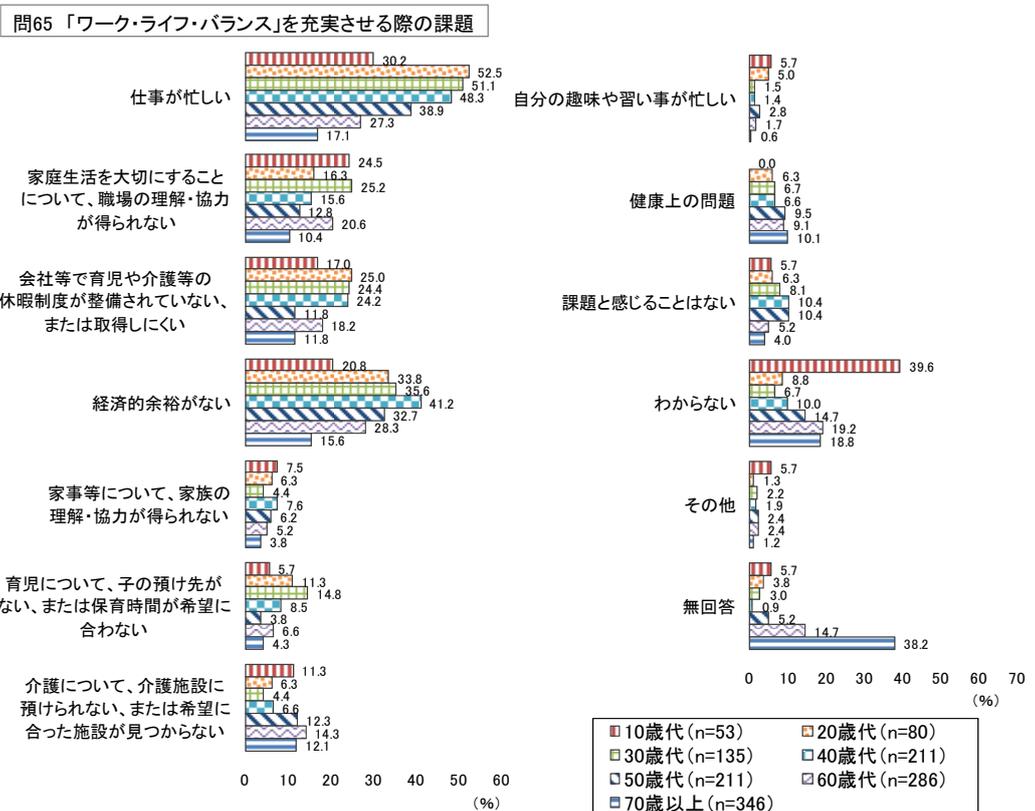
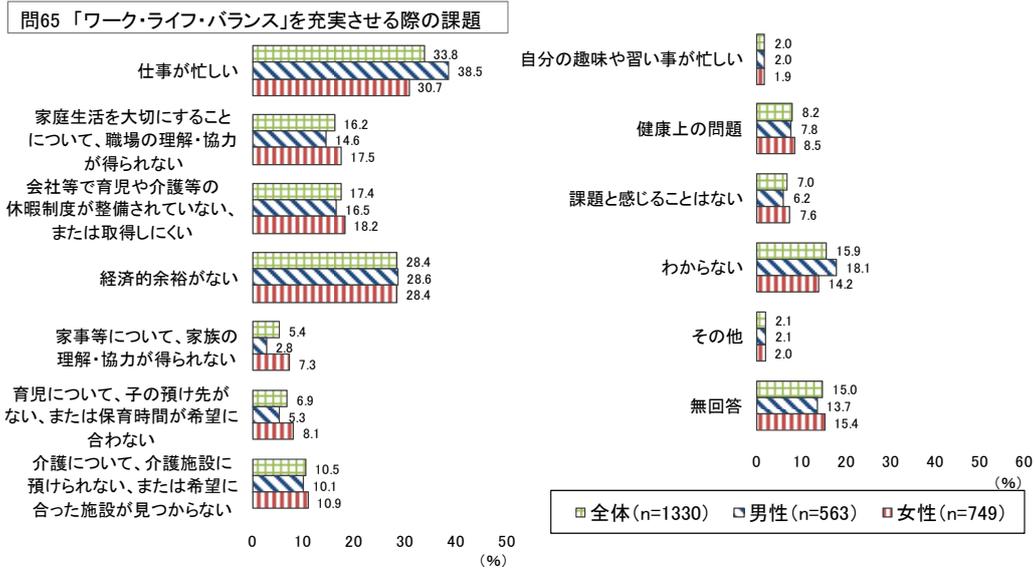
年代別にみると、20歳代から40歳代では「とれている」「どちらかといえばとれている」の合計の割合が、他の年代と比べ高くなっており、4割を超えている。

問64 「ワーク・ライフ・バランス」がとれているか



問 65 「ワーク・ライフ・バランス」を充実させようとする際に、課題と感ずることは何ですか。（〇はいくつでも）

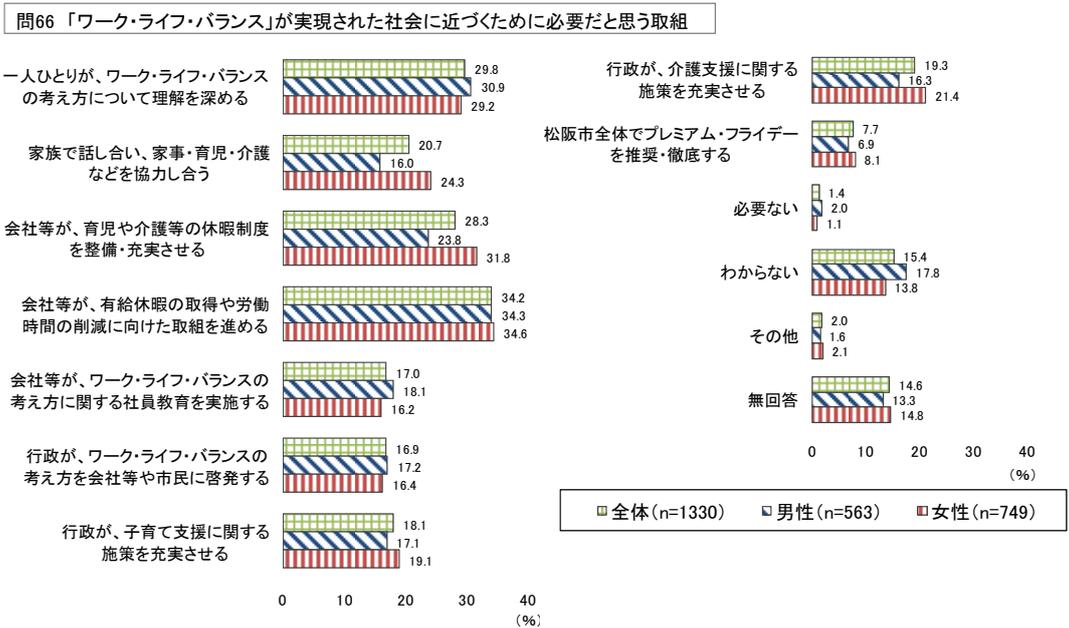
「仕事が忙しい」が33.8%と最も高く、ついで「経済的余裕がない」が28.4%、「会社等で育児や介護等の休暇制度が整備されていない、または取得しにくい」が17.4%となっている。  
 性別にみると、男性では「仕事が忙しい」が女性よりも8ポイント程度高くなっている。  
 年代別にみると、20歳代から40歳代で「仕事が忙しい」がおおよそ5割で高くなっている。また、40歳代では「経済的余裕がない」が比較的高く、41.2%となっている。



**問 66 「ワーク・ライフ・バランス」が実現された社会に近づくために、どのような取組が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）**

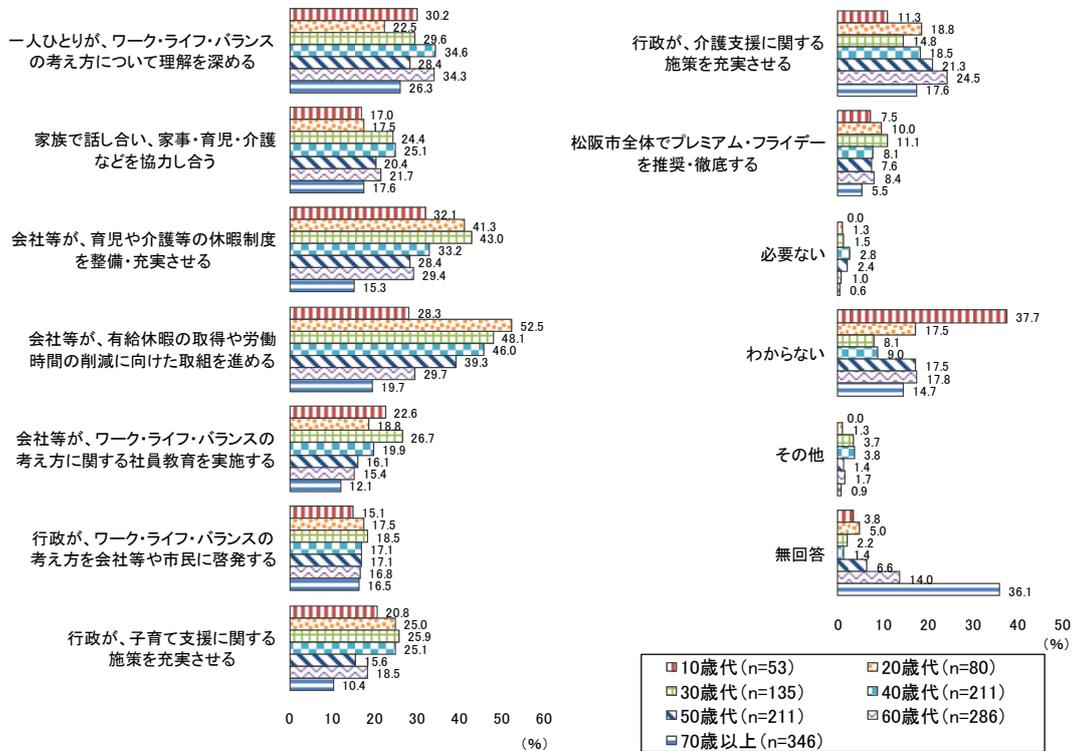
「会社等が、有給休暇の取得や労働時間の削減に向けた取組を進める」が 34.2%と最も高く、ついで「一人ひとりが、ワーク・ライフ・バランスの考え方について理解を深める」が 29.8%、「会社等が、育児や介護等の休暇制度を整備・充実させる」が 28.3%となっている。

性別にみると、「家族で話し合い、家事・育児・介護などを協力し合う」「会社等が、育児や介護等の休暇制度を整備・充実させる」で男性と女性の間と比較的大きな差がみられ、女性の方が男性よりも 8 ポイント程度高くなっている。



年代別にみると、20歳代から40歳代では「会社等が、有給休暇の取得や労働時間の削減に向けた取組を進める」が4割半ばから5割と高くなっている。また、20歳代、30歳代では「会社等が、育児や介護等の休暇制度を整備・充実させる」が他の年代よりも高く、いずれも4割を超えている。

問66 「ワーク・ライフ・バランス」が実現された社会に近づくために必要だと思う取組



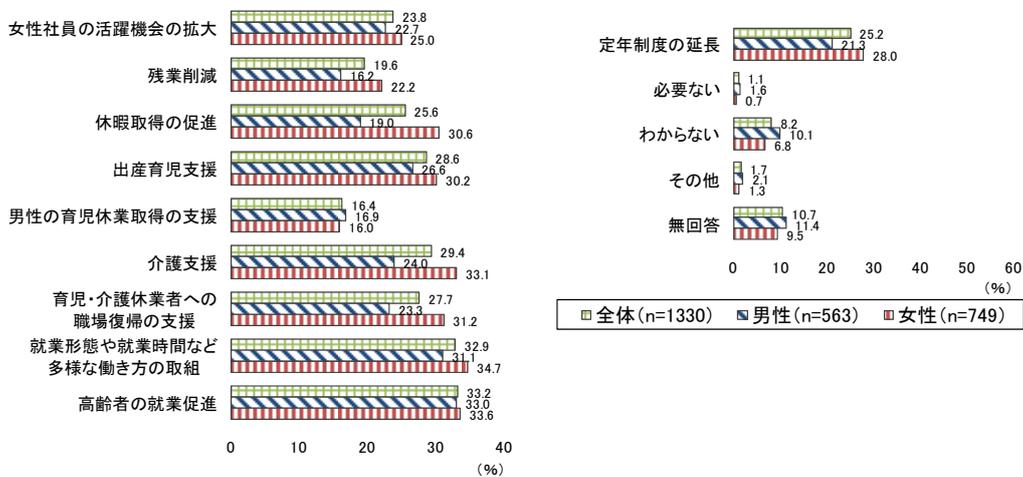
**問67 女性や高齢者が長く働ける労働環境づくりのためにどのような取組が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）**

「高齢者の就業促進」が33.2%と最も高く、ついで「就業形態や就業時間など多様な働き方の取組」が32.9%、「介護支援」が29.4%となっている。

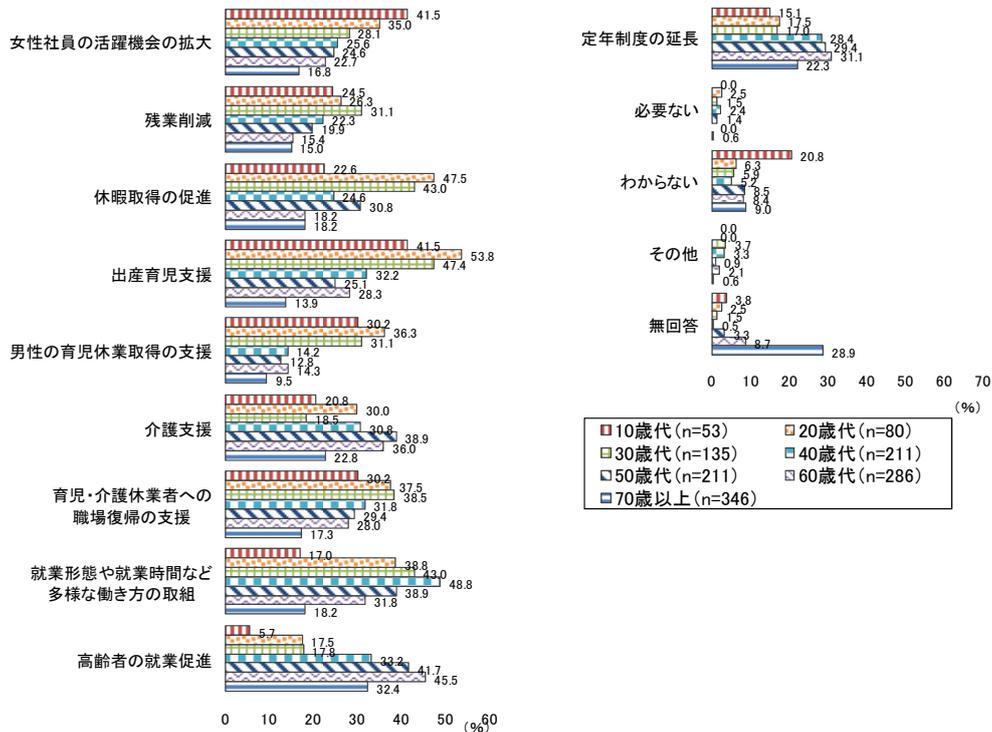
性別にみると、「休暇取得の促進」「介護支援」「育児・介護休業者への職場復帰の支援」で性別による違いがみられ、女性の方が男性よりも10ポイント前後高くなっている。

年代別にみると、10歳代から30歳代の若い世代では「出産育児支援」が高くなっており、いずれの年代でも4割を超えている。一方で50歳代、60歳代では「高齢者の就業促進」が高くなっており、いずれの年代でも4割を超えている。

問67 女性や高齢者が長く働ける労働環境づくりのために必要だと思う取組



問67 女性や高齢者が長く働ける労働環境づくりのために必要だと思う取組

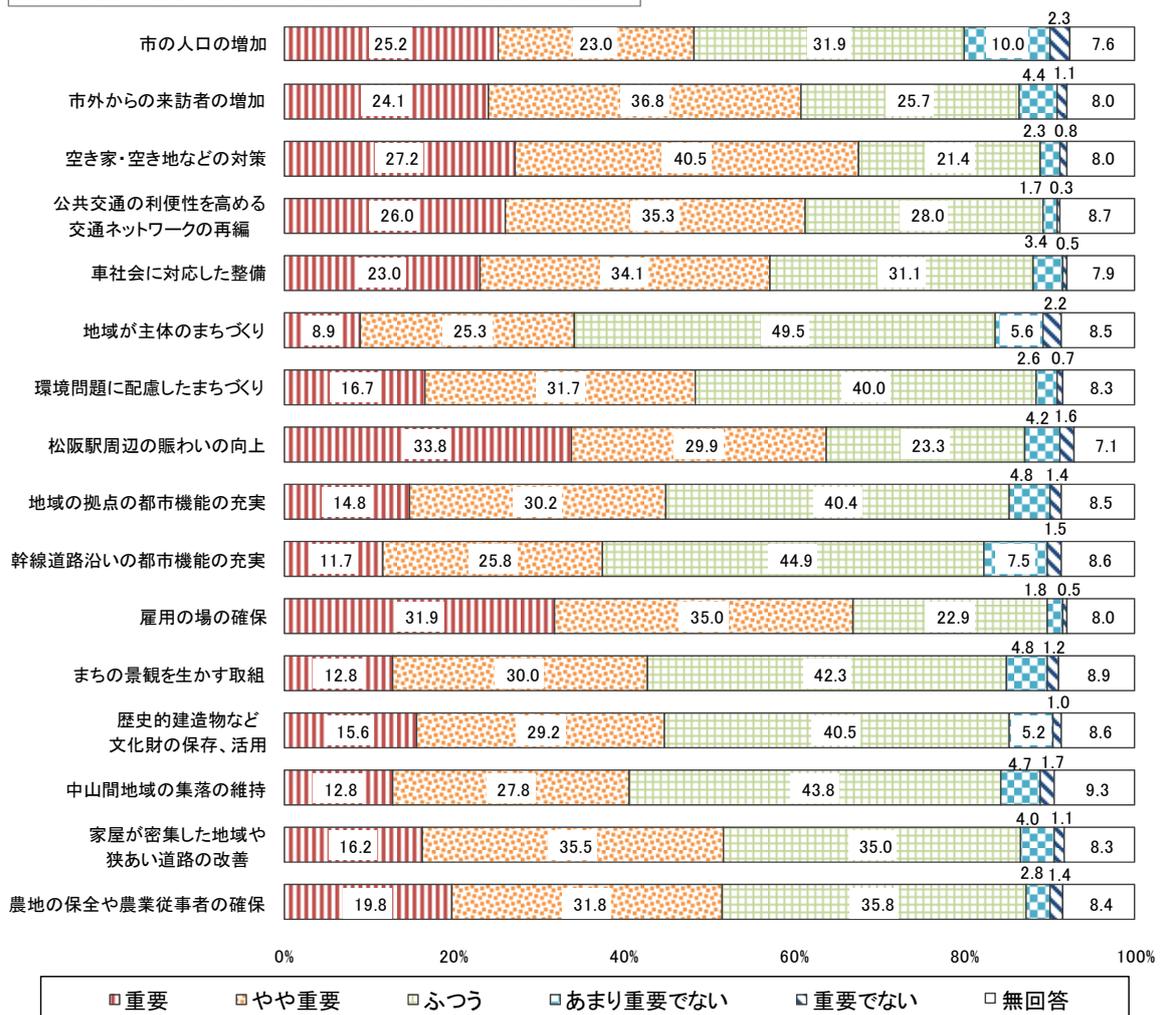


## 松阪市の都市機能について

問 68 今後 20 年間の松阪市のまちづくりを進めるにあたり、次の各項目の重要度に関して、あなたのお考えに近いものをそれぞれ 1 つずつ選んで○をつけてください。

「重要」「やや重要」の合計の割合が高くなっているのは、「空き家・空き地などの対策」が 67.7%、「雇用の場の確保」が 66.9%、「松阪駅周辺の賑わいの向上」が 63.7%となっている。

問68 今後20年間のまちづくりを進めるにあたり、重要だと思うこと



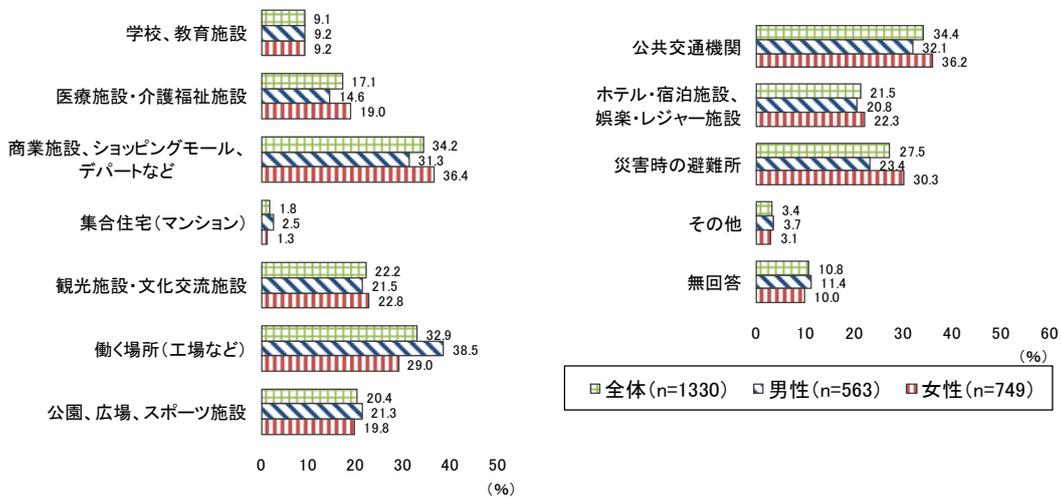
問 69 松阪市に不足していると感じている施設、機能は何ですか。（〇はいくつでも）

「公共交通機関」が34.4%と最も高く、ついで「商業施設、ショッピングモール、デパートなど」が34.2%、「働く場所（工場など）」が32.9%となっている。

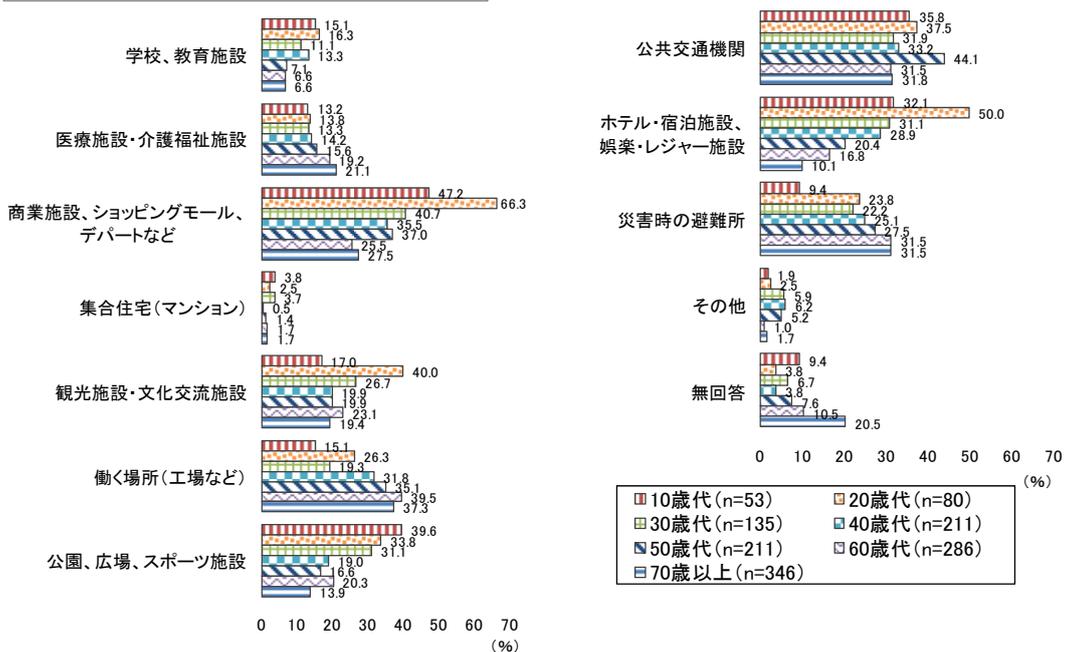
性別にみると、男性では「働く場所（工場など）」が38.5%で最も高く、女性を10ポイント程度上回っている。女性では「商業施設、ショッピングモール、デパートなど」が最も多く、36.4%となっている。

年代別にみると、「商業施設、ショッピングモール、デパートなど」「観光施設・文化交流施設」「ホテル・宿泊施設、娯楽・レジャー施設」は年代を問わず比較的高くなっており、特に20歳代では他の年代を大きく上回り、15ポイントから20ポイント以上高くなっている。また、年齢層の高い世代では「働く場所（工場など）」が比較的高くなっている。

問69 松阪市に不足していると感じている施設・機能



問69 松阪市に不足していると感じている施設・機能



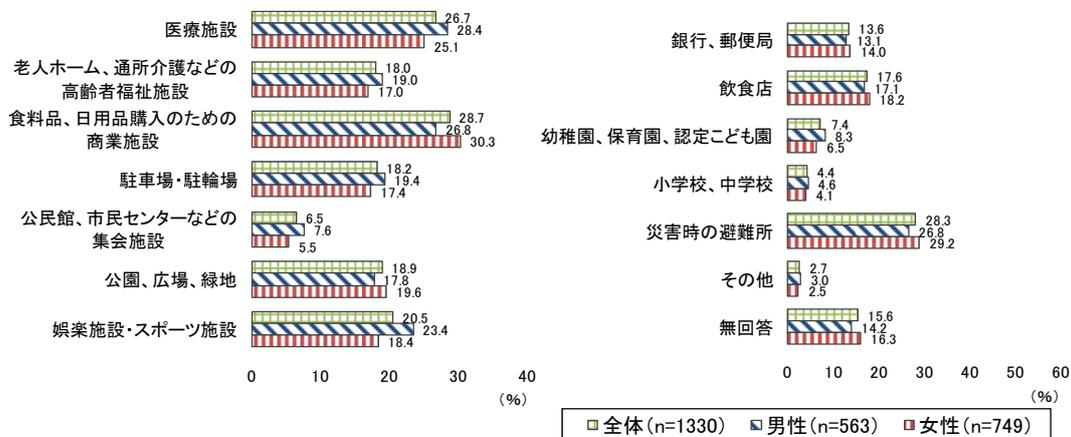
問70 お住まいの地域の鉄道駅や地域振興局、地区市民センター周辺等に必要な施設は何か。(〇はいくつでも)

「食料品、日用品購入のための商業施設」が28.7%と最も高く、ついで「災害時の避難所」が28.3%、「医療施設」が26.7%となっている。

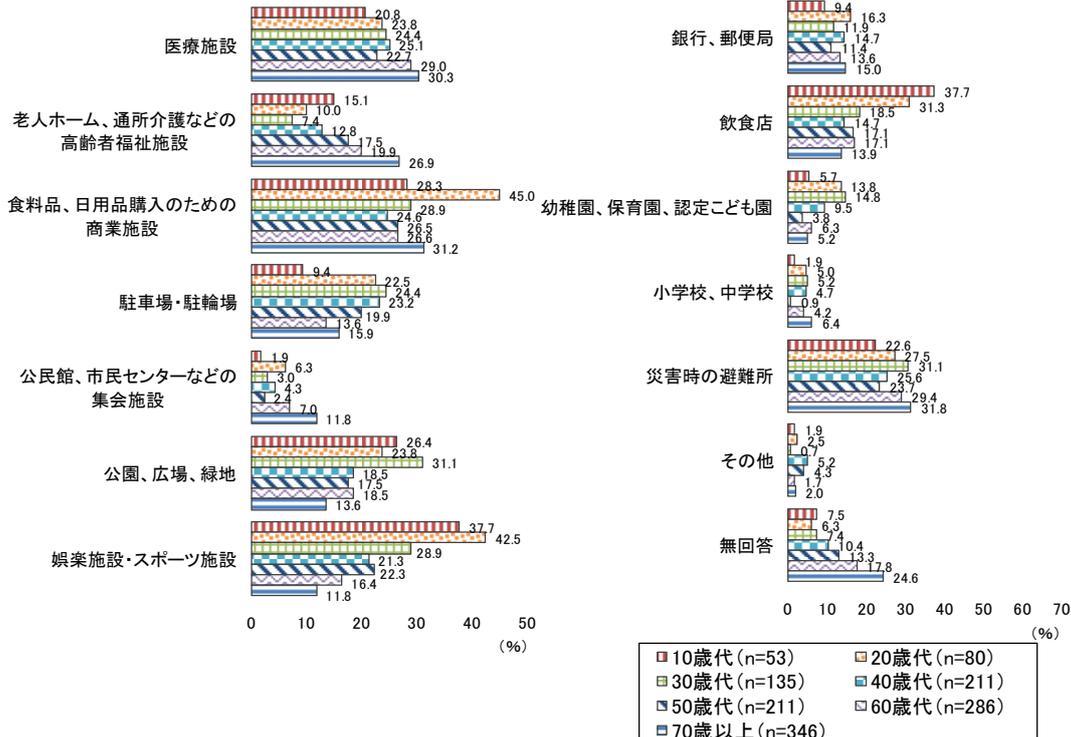
性別にみると、男性では「医療施設」が最も高く28.4%となっている。一方で女性では「食料品、日用品購入のための商業施設」が最も高く、30.3%となっている。

年代別にみると、20歳代で「食料品、日用品購入のための商業施設」が45.0%で他の年代と比較して15ポイント以上高くなっている。また、10歳代、20歳代では「娯楽施設・スポーツ施設」「飲食店」も高くなっており、他の世代を大きく上回っている。

問70 居住地域の鉄道駅や地域振興局、地区市民センター周辺等に必要な施設



問70 居住地域の鉄道駅や地域振興局、地区市民センター周辺等に必要な施設



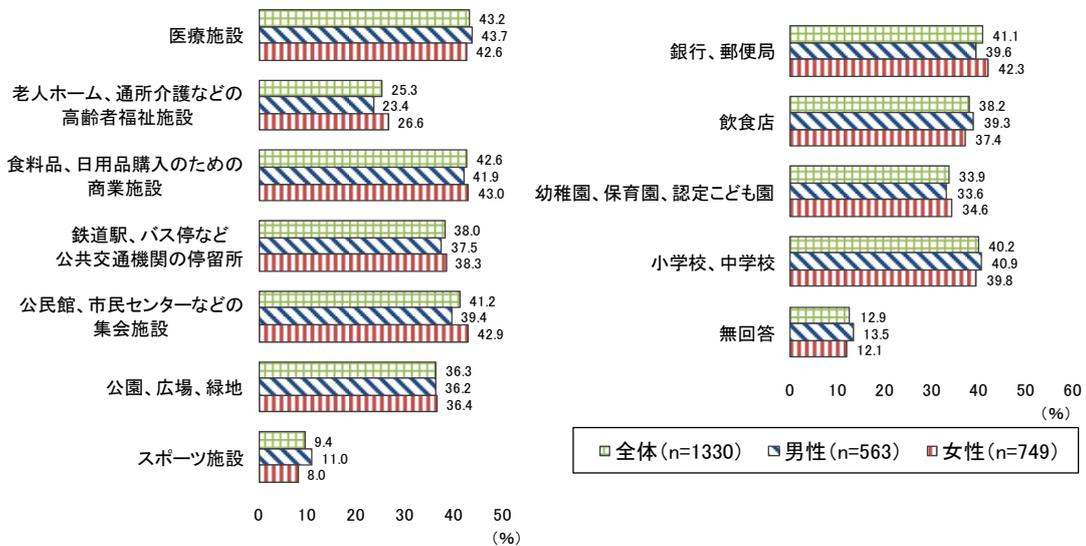
問 71 自宅から徒歩10分圏内にある施設をお答えください。(〇はいくつでも)

「医療施設」が43.2%と最も高く、ついで「食料品、日用品購入のための商業施設」が42.6%、「公民館、市民センターなどの集会施設」が41.2%となっている。

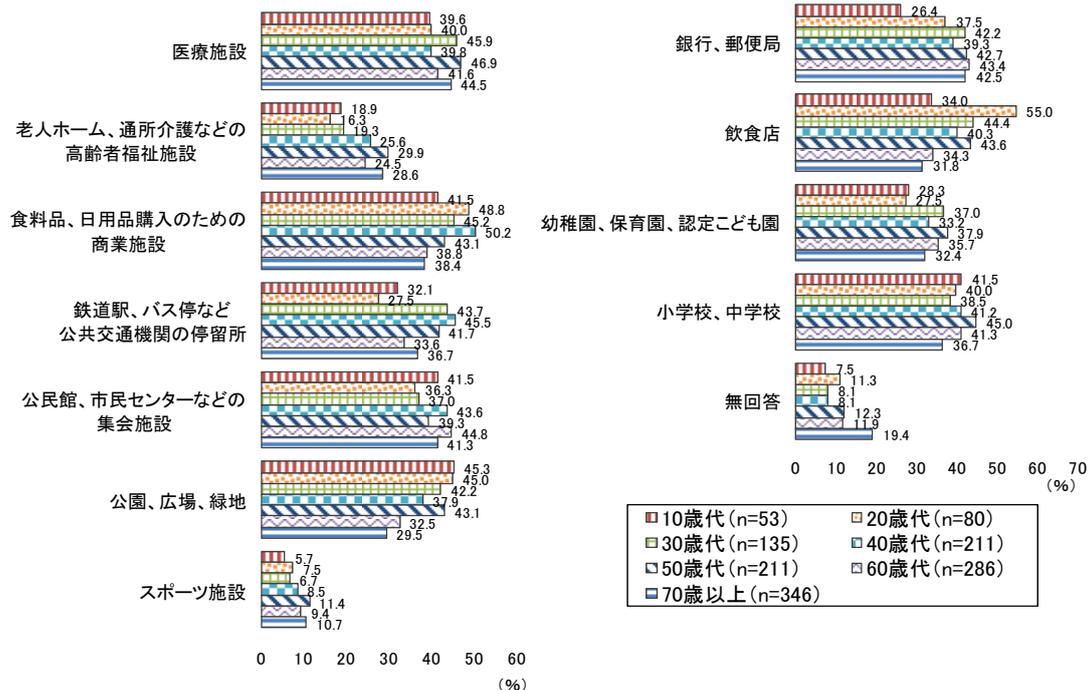
性別にみると、「老人ホーム、通所介護などの高齢者福祉施設」「公民館、市民センターなどの集会施設」「銀行、郵便局」で女性が男性よりも高くなっているが、性別による大きな違いはみられない。

年代別にみると、20歳代では「飲食店」が他の年代を大きく上回り、55.0%となっている。また、60歳代、70歳以上では「飲食店」「公園、広場、緑地」が相対的に低くなっている。

問71 自宅から徒歩10分圏内にある施設



問71 自宅から徒歩10分圏内にある施設



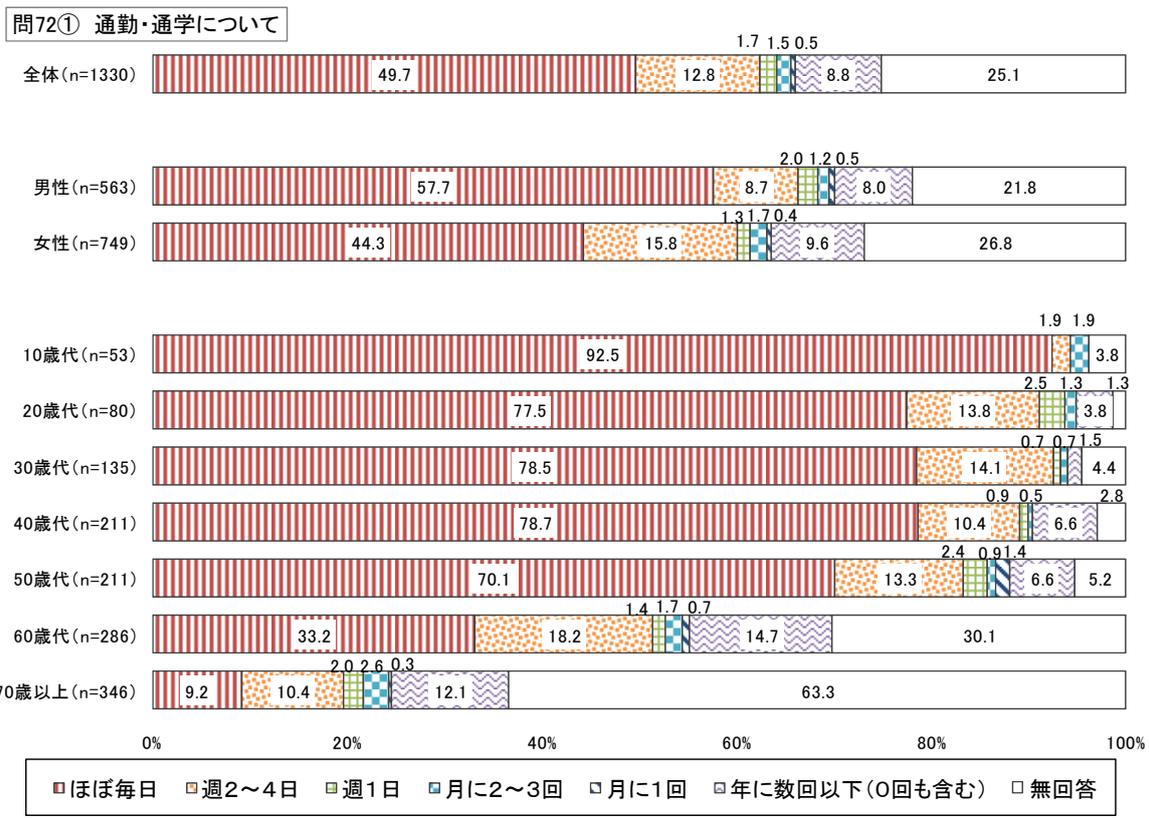
問 72 あなたの外出状況（頻度）について①～⑤の目的ごとにお答えください。

①通勤・通学

「ほぼ毎日」が49.7%と最も高く、ついで「週2～4日」が12.8%、「年に数回以下（0回も含む）」が8.8%となっている。

性別にみると、男性では「ほぼ毎日」が57.7%で女性の44.3%を大きく上回っている。女性では「週2～4日」が男性よりも高く、15.8%となっている。

年代別にみると、10歳代では「ほぼ毎日」が92.5%と高くなっているが、60歳代以降減少していき、70歳以上では1割以下となっている。



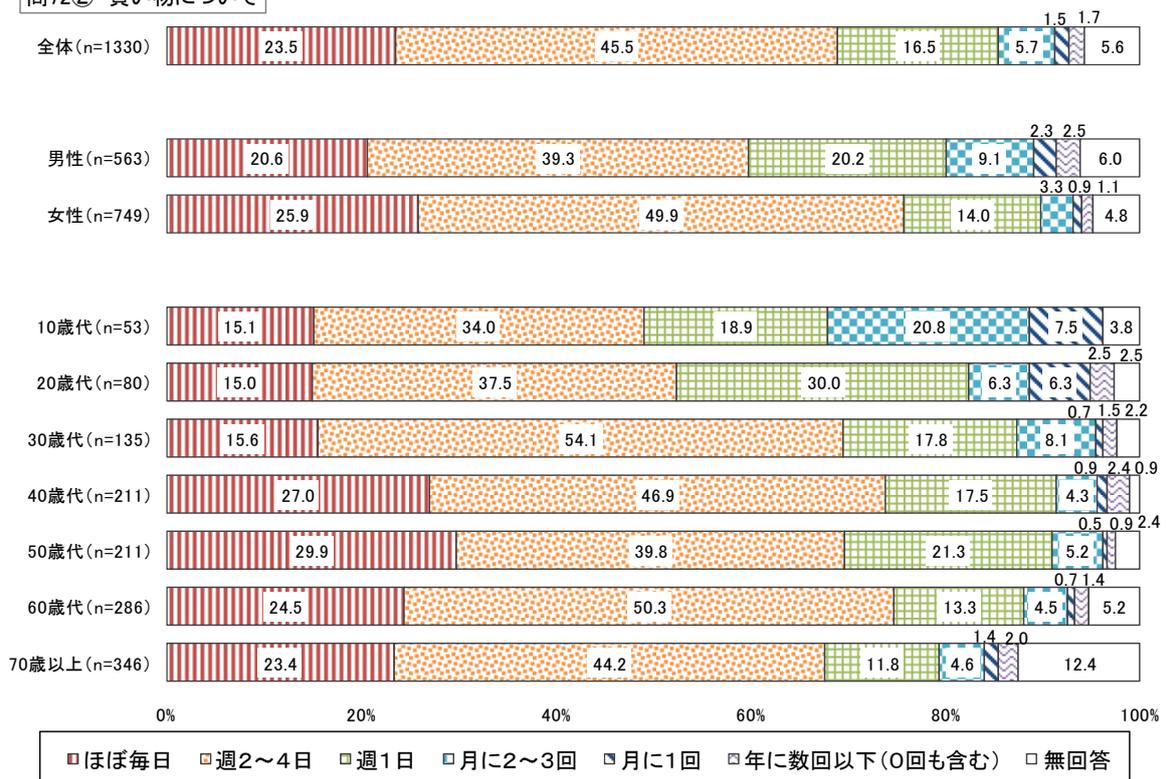
## ②買い物

「週2～4日」が45.5%と最も高く、ついで「ほぼ毎日」が23.5%、「週1日」が16.5%となっている。

性別にみると、女性では「ほぼ毎日」「週に2～4日」が男性よりも5ポイントから10ポイント程度高くなっている。

年代別みると、40歳代以降では10歳代から30歳代に比べ「ほぼ毎日」が10ポイント程度高くなっている。また、10歳代では「月に2～3回」が20.8%と他の年代を大きく上回っている。

問72② 買い物について

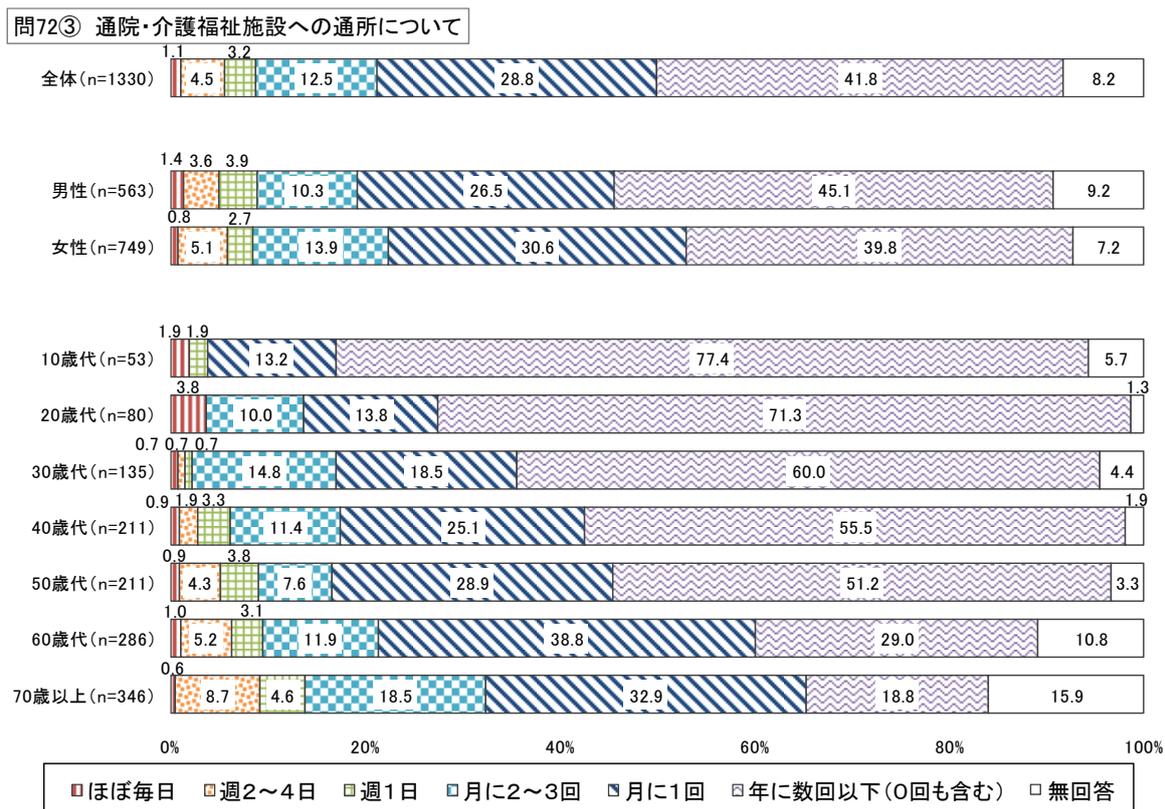


### ③通院・介護福祉施設への通所

「年に数回以下（0回も含む）」が41.8%と最も高く、ついで「月に1回」が28.8%、「月に2～3回」が12.5%となっている。

性別にみると、男性では「年に数回以下（0回も含む）」が女性よりも高く、45.1%となっている。

年代別にみると、「年に数回以下（0回も含む）」の割合が10歳代で最も高く、年代が上がるにつれて減少している。



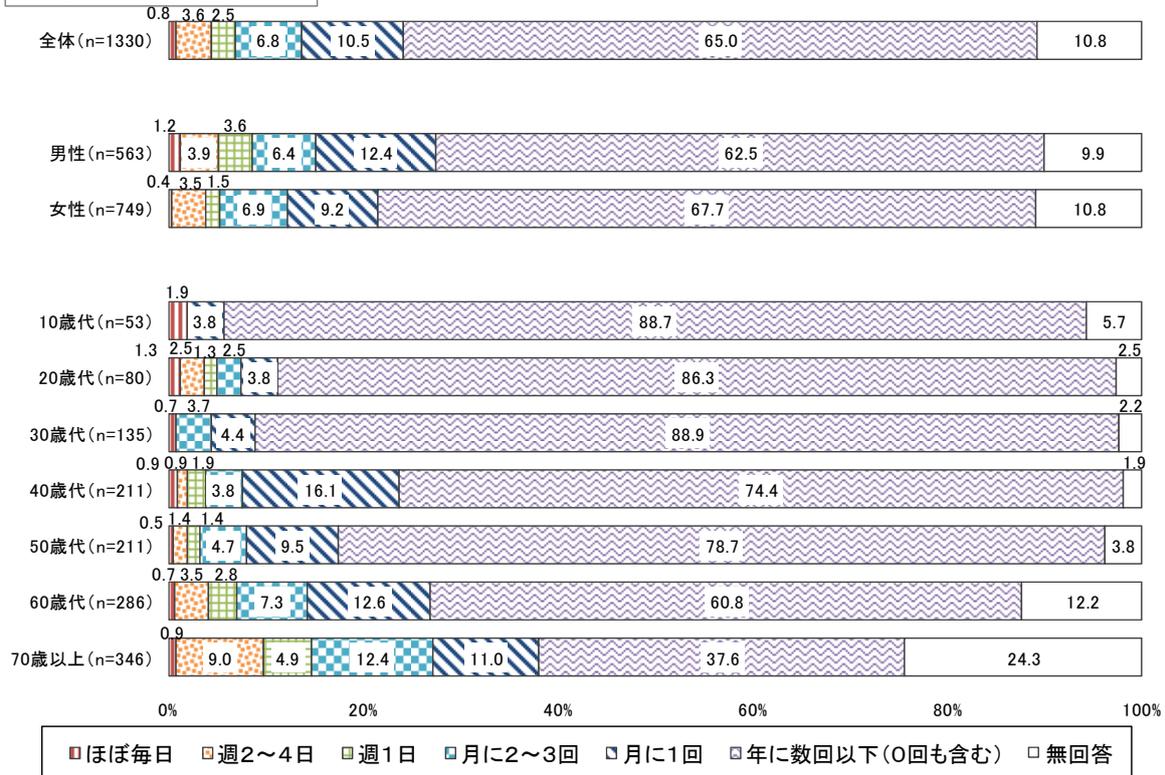
#### ④地域での活動

「年に数回以下（0回も含む）」が65.0%と最も高く、ついで「月に1回」が10.5%、「月に2～3回」が6.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに概ね同様の傾向を示しているが、「年に数回以下（0回も含む）」で女性の方が男性よりも5ポイント程度高くなっている。

年代別にみると、10歳代から30歳代の若い世代では「年に数回以下（0回も含む）」が8割半ば程度と高くなっている。40歳代以降では定期的に地域での活動に外出する割合が高くなっており、70歳以上ではおよそ4割に達している。

問72④ 地域での活動について

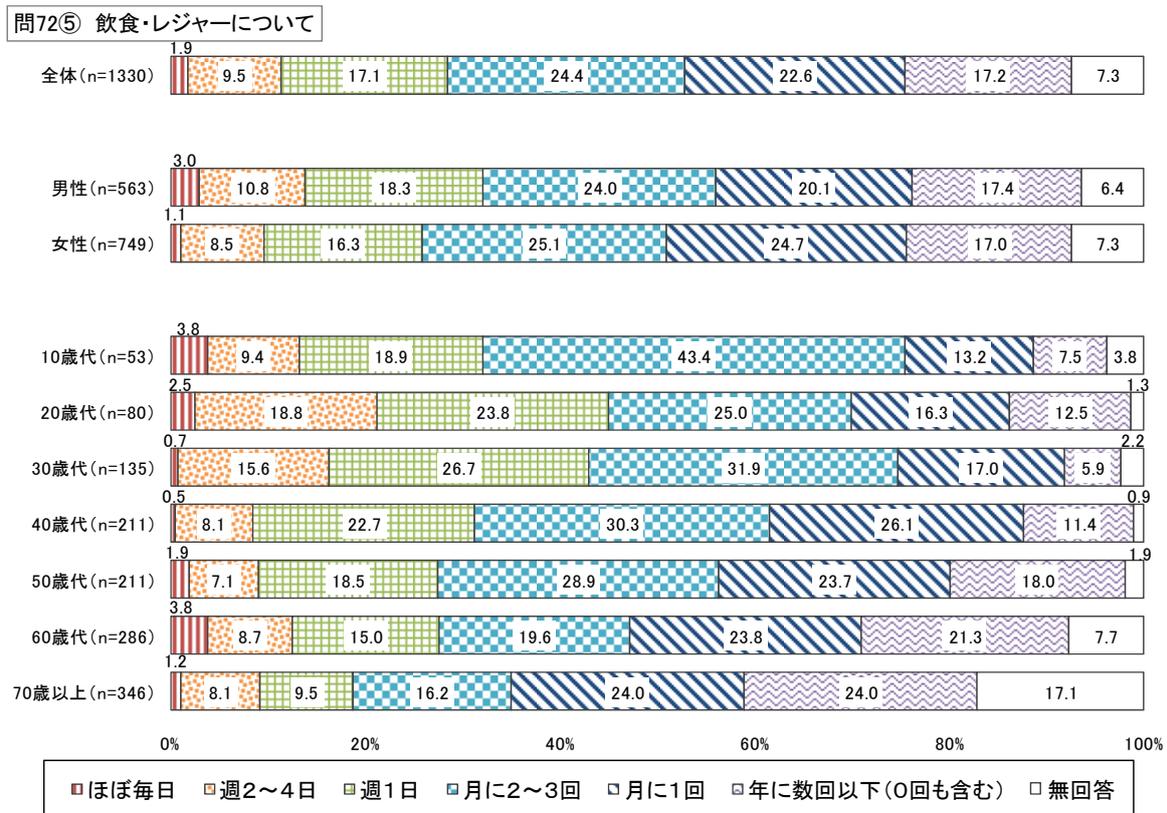


### ⑤ 飲食・レジャー

「月に2～3回」が24.4%と最も高く、ついで「月に1回」が22.6%、「年に数回以下（0回も含む）」が17.2%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「月に2～3回」が最も高いが、女性の方が男性を僅かに上回っている。

年代別にみると、「年に数回以下（0回も含む）」が30歳代では5.9%となっているが、40歳代以降、年代が上がるにつれて増加していき、70歳以上では24.0%に達している。また、年代が上がるにつれて、「週1日」「月に2～3回」が減少していく一方で、「月に1回」が増加しており、外出の頻度が低下している。



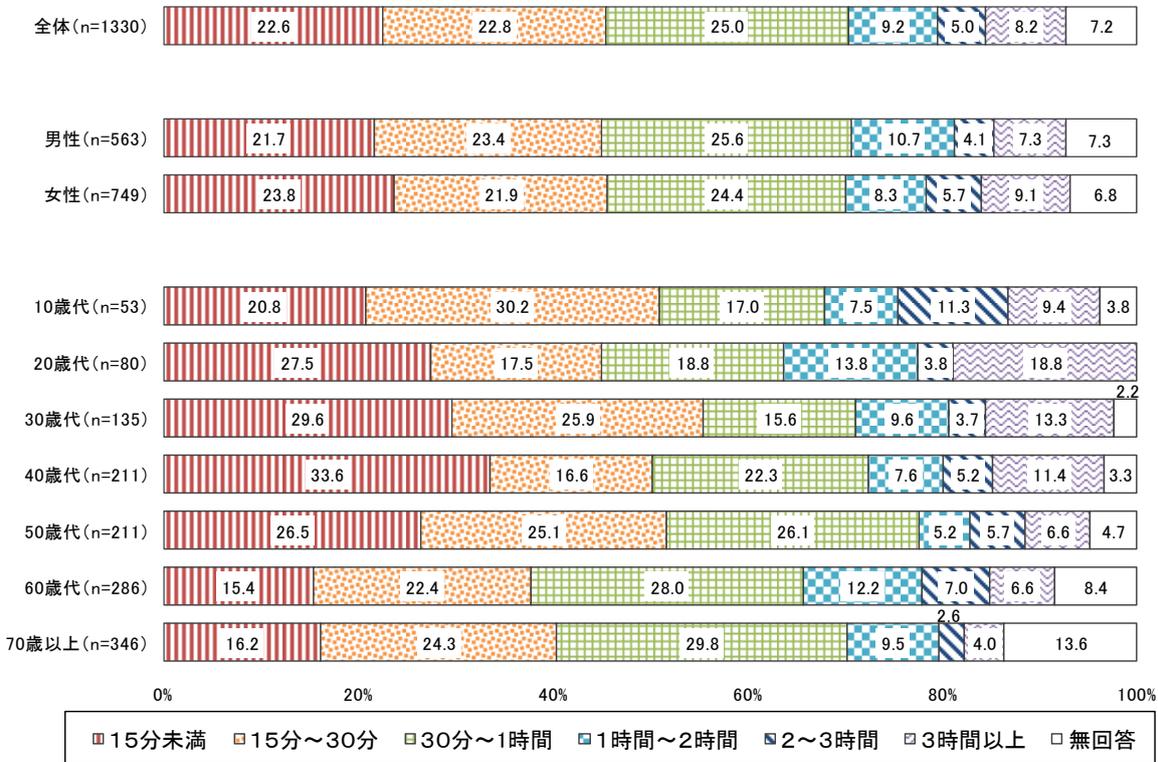
**問 73 あなたの1日の平均歩行時間はどの程度ですか。ウォーキングや運動を実施している方は、その時間も含めてお答えください。（○は1つだけ）**

「30分～1時間」が25.0%と最も高く、ついで「15分～30分」が22.8%、「15分未満」が22.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「30分～1時間」が高くなっている。また、女性では「3時間以上」が僅かに男性を上回っており、9.1%となっている。

年代別にみると、20歳代から50歳代までは「15分未満」が高くなっている。60歳以上では「15分未満」の割合はその他の年代に比べ低くなっているが、「30分～1時間」がおおよそ3割と高くなっている。また、20歳代では「3時間以上」が18.8%となっているが、年代が上がるにつれてその割合は低下していき、70歳以上では4.0%となっている。

問73 1日の平均歩行時間

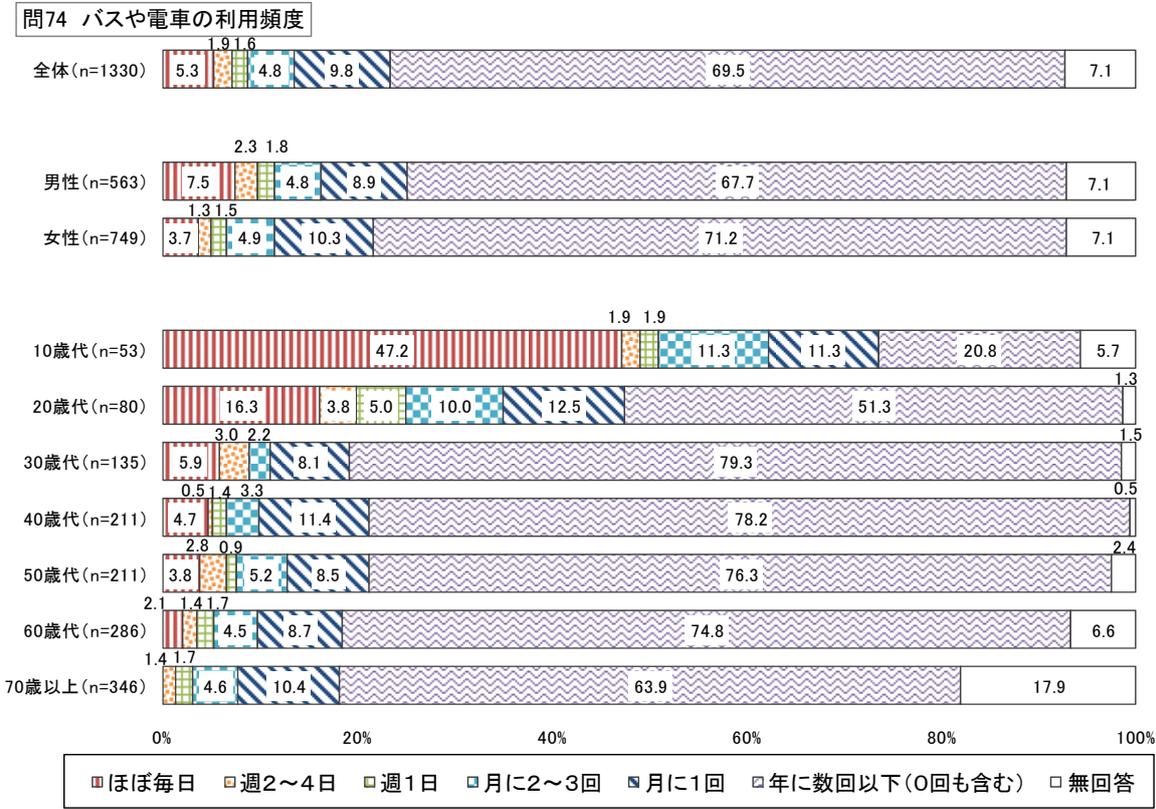


問 74 バスや電車をどれくらいの頻度で利用しますか。（通勤・通学を含む）（〇は1つだけ）

「年に数回以下（0回も含む）」が 69.5%と最も高く、ついで「月に1回」が 9.8%、「ほぼ毎日」が 5.3%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「年に数回以下（0回も含む）」が最も高くなっているが、女性の方が男性よりも僅かに高くなっている。また、男性では「ほぼ毎日」が女性と比べ高く、7.5%となっている。

年代別にみると、10歳代では「ほぼ毎日」が 47.2%と他の年代を大きく上回っている。20歳代以降ではいずれの年代でも「年に数回以下（0回も含む）」が高くなっており、半数を超えている。

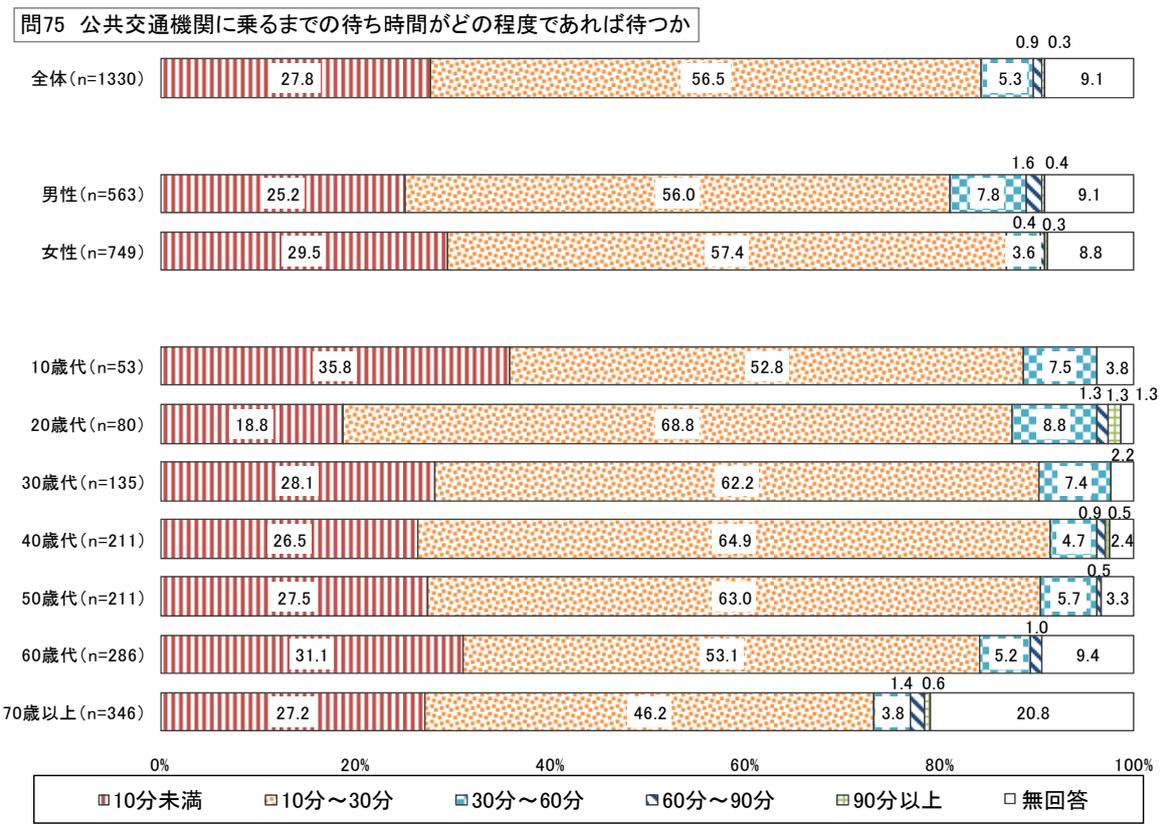


問 75 電車やバスなど、公共交通機関に乗るまでの待ち時間はどの程度であれば待ちますか。(〇は1つだけ)

「10分～30分」が56.5%と最も高く、ついで「10分未満」が27.8%、「30分～60分」が5.3%となっている。

性別にみると、女性で「10分未満」が男性をやや上回っており、29.5%となっているほか、男性では「30分～60分」が女性よりもやや高くなっているが、性別による大きな違いはみられない。

年代別にみると、いずれの年代でも「10分～30分」が高くなっている。「30分～60分」では10歳代から30歳代では40歳代以降と比べやや高くなっている。



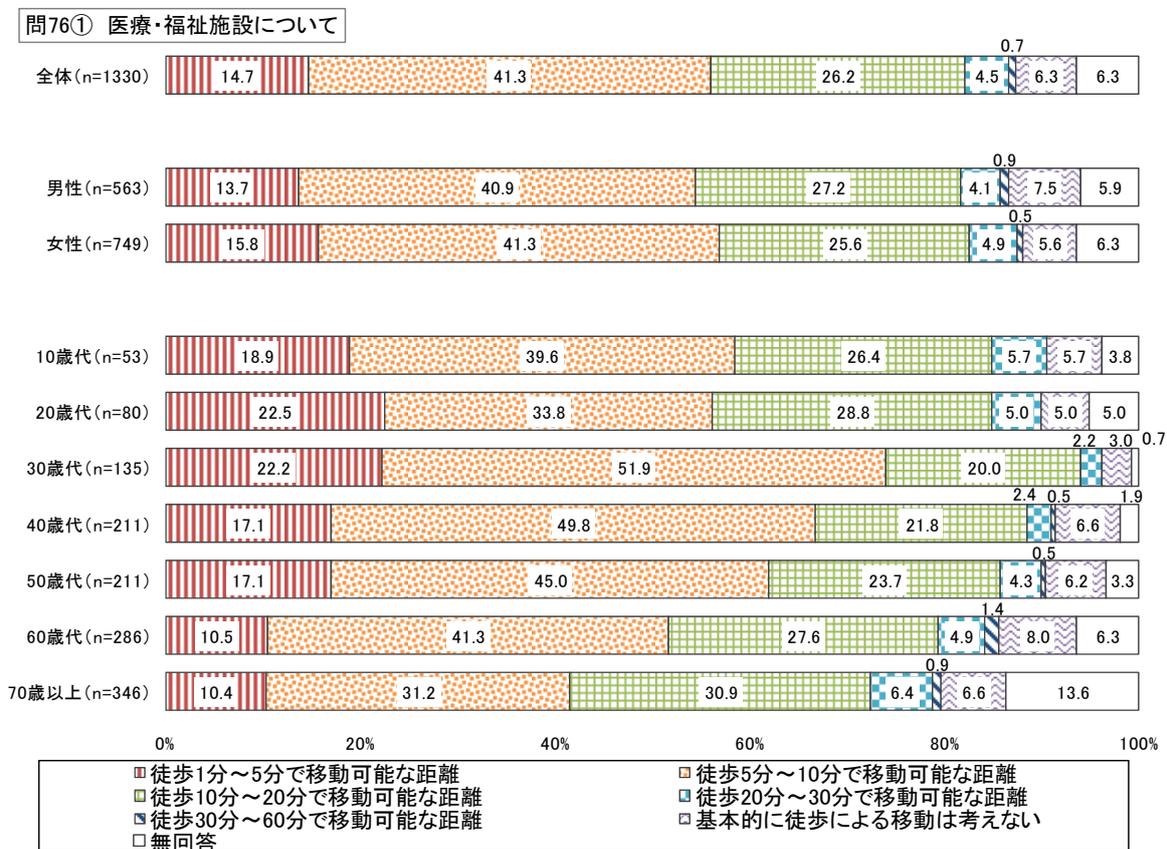
問 76 公共施設（市役所など）、商業施設等（スーパー、病院など）への移動について、自宅及び駅、バス停からの距離がどの程度であれば徒歩で移動をしようと思いませんか。①～③の施設ごとにお答えください。

①医療・福祉施設

「徒歩 5 分～10 分で移動可能な距離」が 41.3%と最も高く、ついで「徒歩 10 分～20 分で移動可能な距離」が 26.2%、「徒歩 1 分～5 分で移動可能な距離」が 14.7%となっている。

性別にみると、女性では「徒歩 1 分～5 分で移動可能な距離」が男性に比べ僅かに高くなっているが、性別による大きな違いはみられない。

年代別にみると、60 歳代以降では「徒歩 1 分～5 分で移動可能な距離」が他の年代よりも低く、1 割程度となっている。

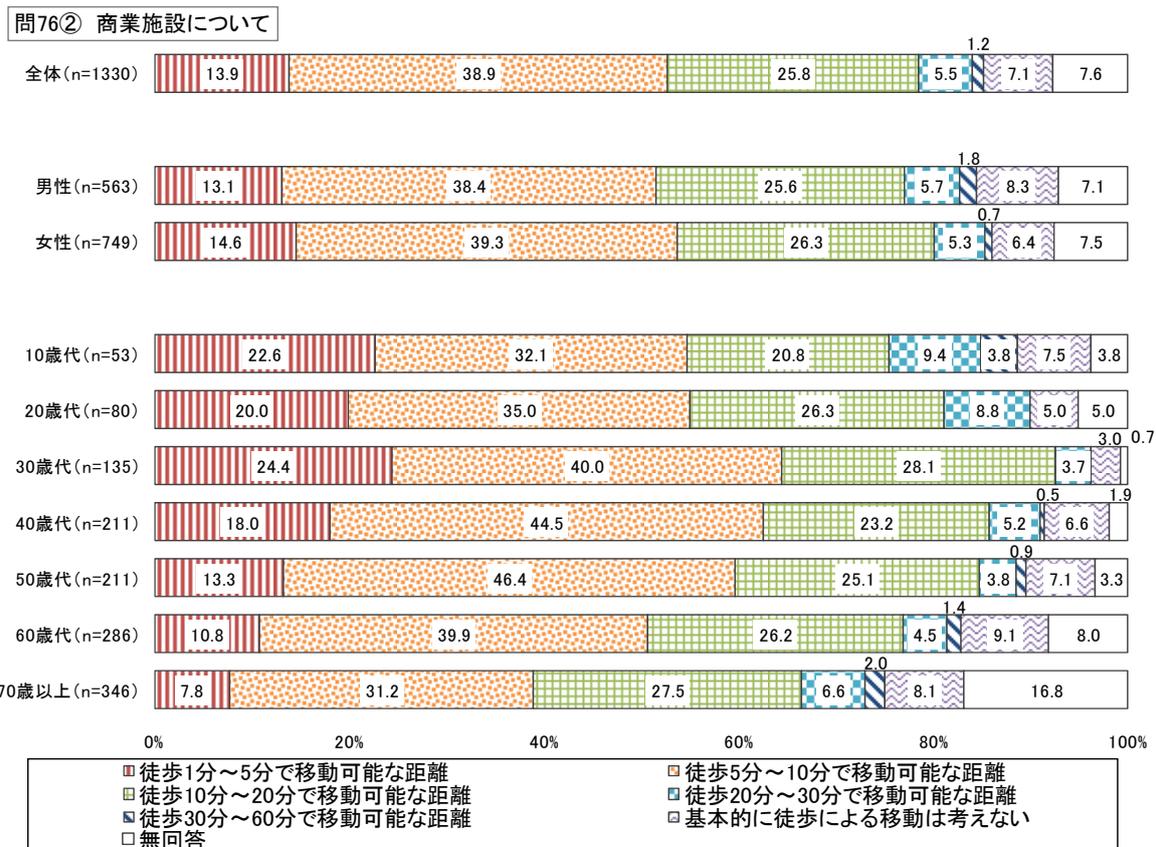


## ②商業施設

「徒歩 5 分～10 分で移動可能な距離」が 38.9%と最も高く、ついで「徒歩 10 分～20 分で移動可能な距離」が 25.8%、「徒歩 1 分～5 分で移動可能な距離」が 13.9%となっている。

性別にみると、男性では「基本的に徒歩による移動は考えない」が、女性よりもやや高くなっているが、男性・女性ともに概ね同様の傾向を示しており、性別による大きな違いはみられない。

年代別にみると、10 歳代から 30 歳代では「徒歩 1 分～5 分で移動可能な距離」が他の年代よりも高く、2 割を超えている。



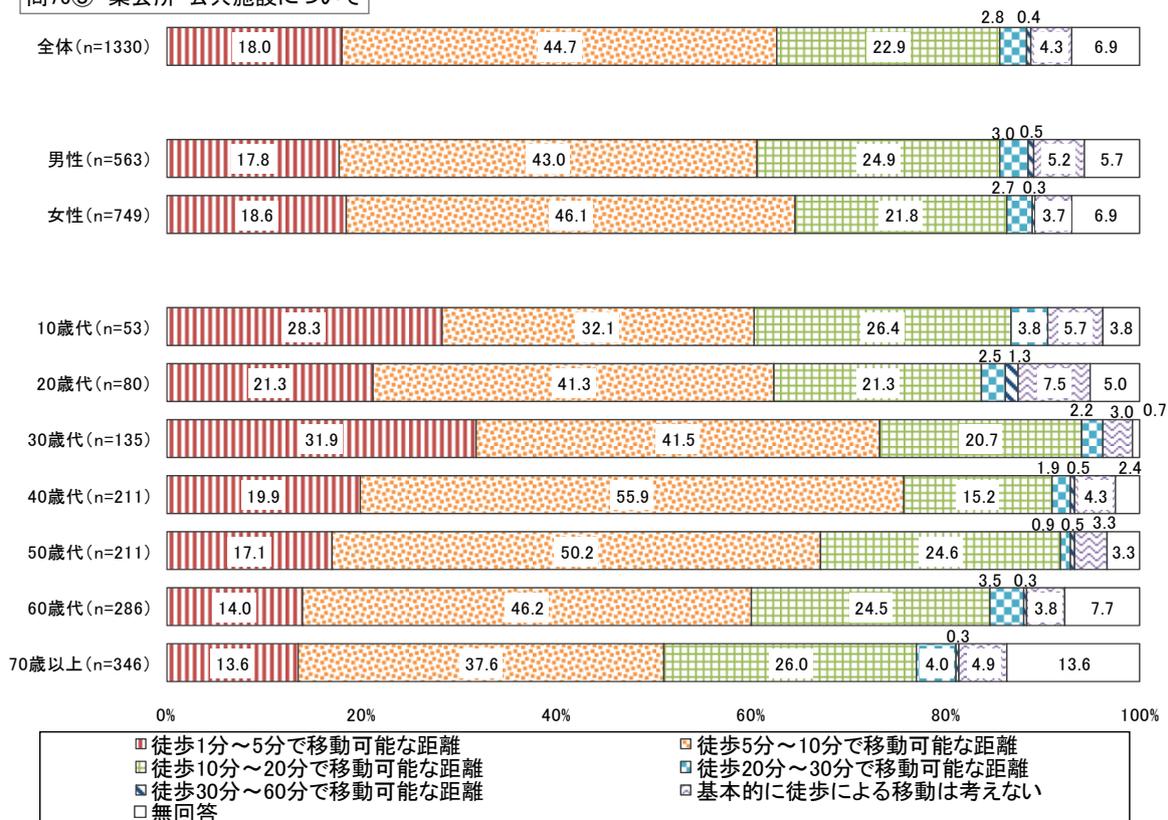
### ③集会所・公共施設

「徒歩 5 分～10 分で移動可能な距離」が 44.7%と最も高く、ついで「徒歩 10 分～20 分で移動可能な距離」が 22.9%、「徒歩 1 分～5 分で移動可能な距離」が 18.0%となっている。

性別にみると、男性では「徒歩 10 分～20 分で移動可能な距離」が 24.9%と女性よりもやや高くなっている。女性では「徒歩 5 分～10 分で移動可能な距離」が 46.1%で男性よりも高くなっている。

年代別にみると、10 歳代、30 歳代では「徒歩 1 分～5 分で移動可能な距離」が高くなっているが、40 歳代以降減少していき、70 歳以上では 13.6%にとどまっている。

問76③ 集会所・公共施設について



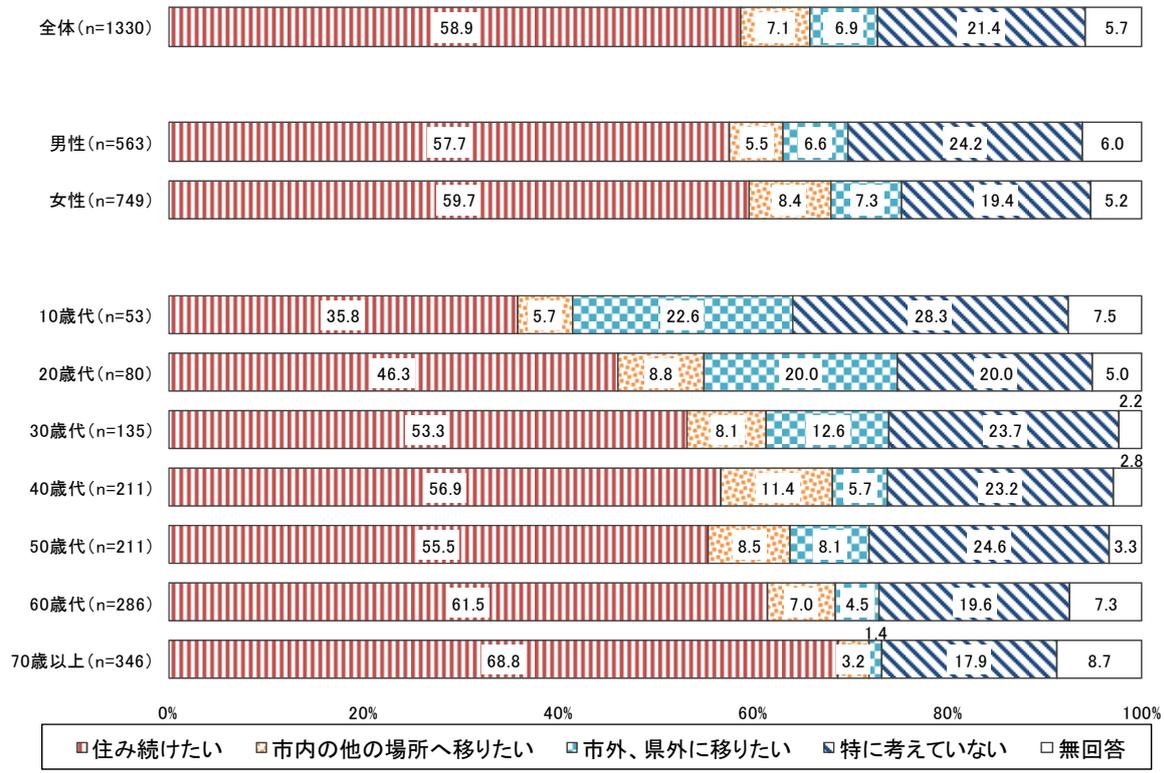
**問 77 あなたは現在お住いの地域、住居に住み続けたいと思いますか。（〇は1つだけ）**

「住み続けたい」が58.9%と最も高く、ついで「特に考えていない」が21.4%、「市内の他の場所へ移りたい」が7.1%となっている。

性別にみると、男性では「特に考えていない」が女性よりも5ポイント程度高い24.2%となっている。女性では「市内の他の場所へ移りたい」が男性よりも僅かに高く8.4%となっている。

年代別にみると、年代が上がるにつれて「住み続けたい」が増加していく傾向にあるが、10歳代から30歳代の若い世代では「市外、県外に移りたい」がその他の年代よりも高くなっている。

問77 現在の居住地域に住み続けたいと思うか



問 78 住み続けたい理由は何ですか。優先順位の高い順に3つまでお答えください。

1位の理由では「自分（もしくは親族）の家、土地であるから」が43.3%と最も高く、ついで「日常生活に必要な商業施設や医療施設があるから」が18.1%、「長く同じ場所で生活しているから」が9.6%となっている。

2位の理由では「長く同じ場所で生活しているから」が14.6%と最も高く、ついで「自分（もしくは親族）の家、土地であるから」「家族、親戚が近くに居住しているから」が10.3%となっている。

3位の理由では「長く同じ場所で生活しているから」が19.8%と最も高く、ついで「新たな場所での生活は不安だから」が10.0%、「自然環境に恵まれているから」が9.2%となっている。

性別にみると、男性では「長く同じ場所で生活しているから」が女性よりもやや高く、46.2%となっている。女性では「新たな場所での生活は不安だから」が男性より高い20.8%となっている。

問78 住み続けたい理由



問 79 住み続けたいと思わない理由は何ですか。優先順位の高い順に3つお答えください。

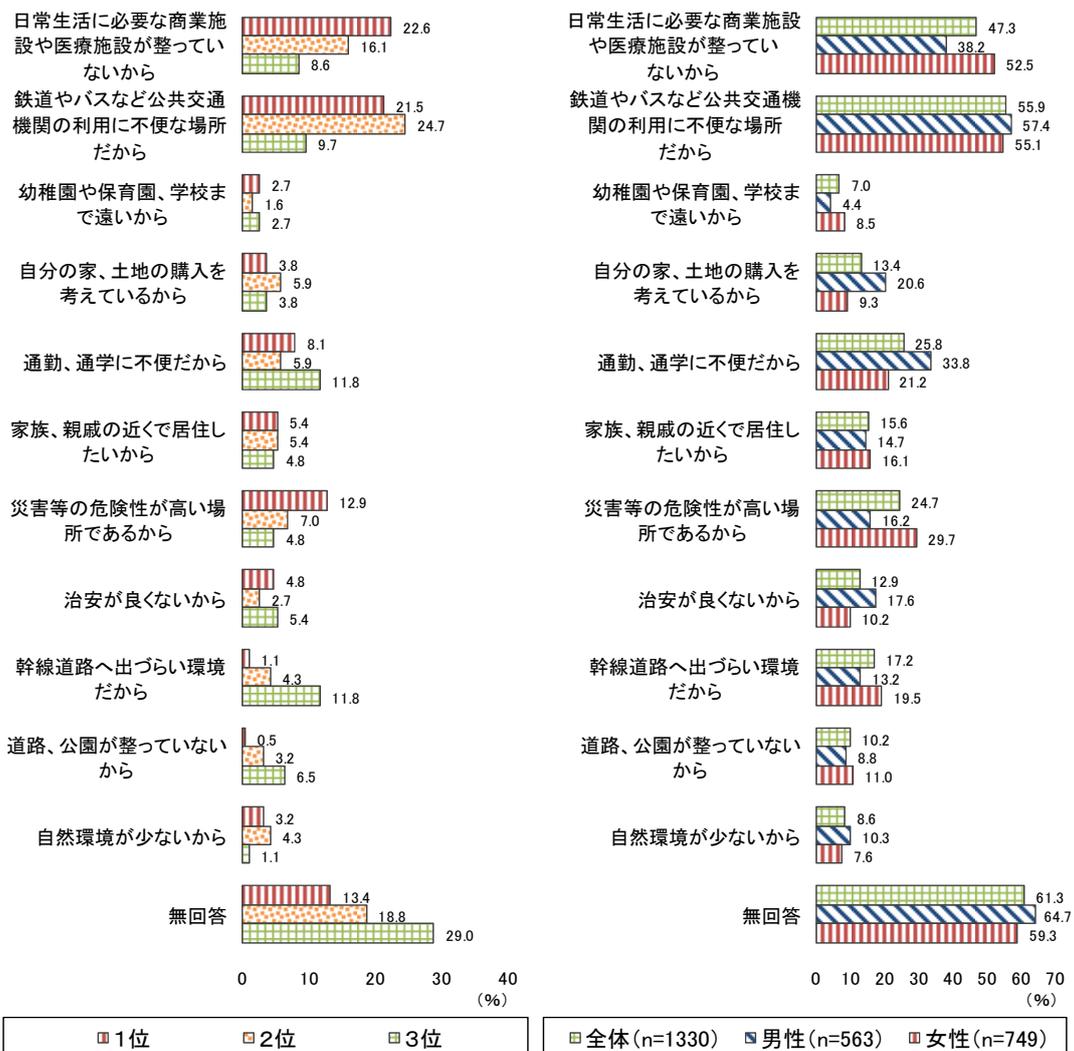
1位の理由では「日常生活に必要な商業施設や医療施設が整っていないから」が22.6%と最も高く、ついで「鉄道やバスなど公共交通機関の利用に不便な場所だから」が21.5%、「災害等の危険性が高い場所であるから」が12.9%となっている。

2位の理由では「鉄道やバスなど公共交通機関の利用に不便な場所だから」が24.7%と最も高く、ついで「日常生活に必要な商業施設や医療施設が整っていないから」が16.1%、「災害等の危険性が高い場所であるから」が7.0%となっている。

3位の理由では「通勤、通学に不便だから」「幹線道路へ出づらい環境だから」が11.8%と最も高く、ついで、「鉄道やバスなど公共交通機関の利用に不便な場所だから」が9.7%となっている。

年代別にみると、男性では「通勤、通学に不便だから」が女性と比べ10ポイント以上高く、33.8%となっている。女性では「災害等の危険性が高い場所であるから」が男性よりも10ポイント以上高い29.7%となっている。

問79 住み続けたいと思わない理由



# 広報について

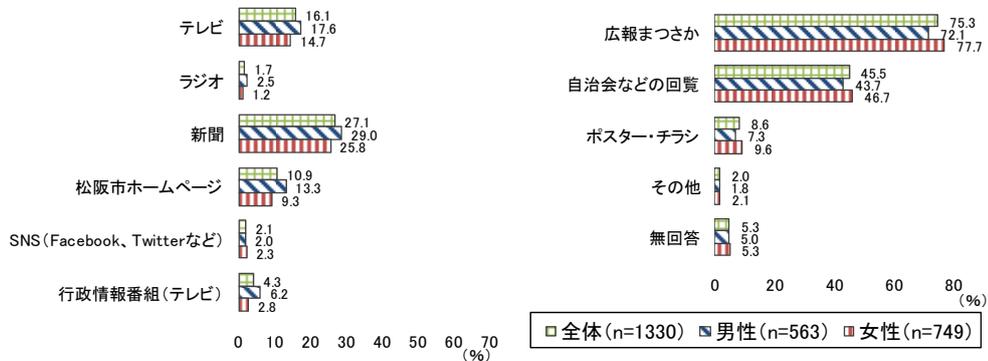
## 問 80 松阪市の情報を主にどのような方法で得ていますか。(〇は3つまで)

「広報まつさか」が75.3%と最も高く、ついで「自治会などの回覧」が45.5%、「新聞」が27.1%となっている。

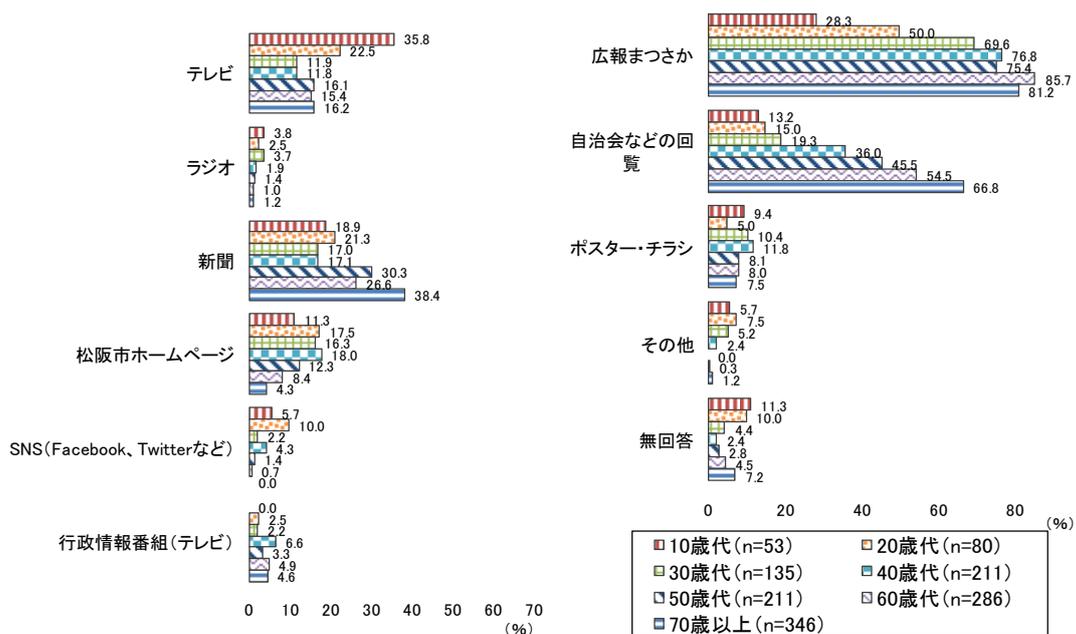
性別にみると、男性・女性ともに「広報まつさか」が最も高くなっているが、男性は女性に比べ5ポイント程度低くなっている。

年代別にみると、「広報まつさか」は30歳代以降で高くなっているが、10歳代、20歳代では50%以下となっており、相対的に低くなっている。「自治会などの回覧」でも年代が上がる程、割合は高くなっている。10歳代、20歳代の若い世代では「テレビ」が比較的高くなっている。

問80 市の情報を主にどのような方法で得ているか



問80 市の情報を主にどのような方法で得ているか



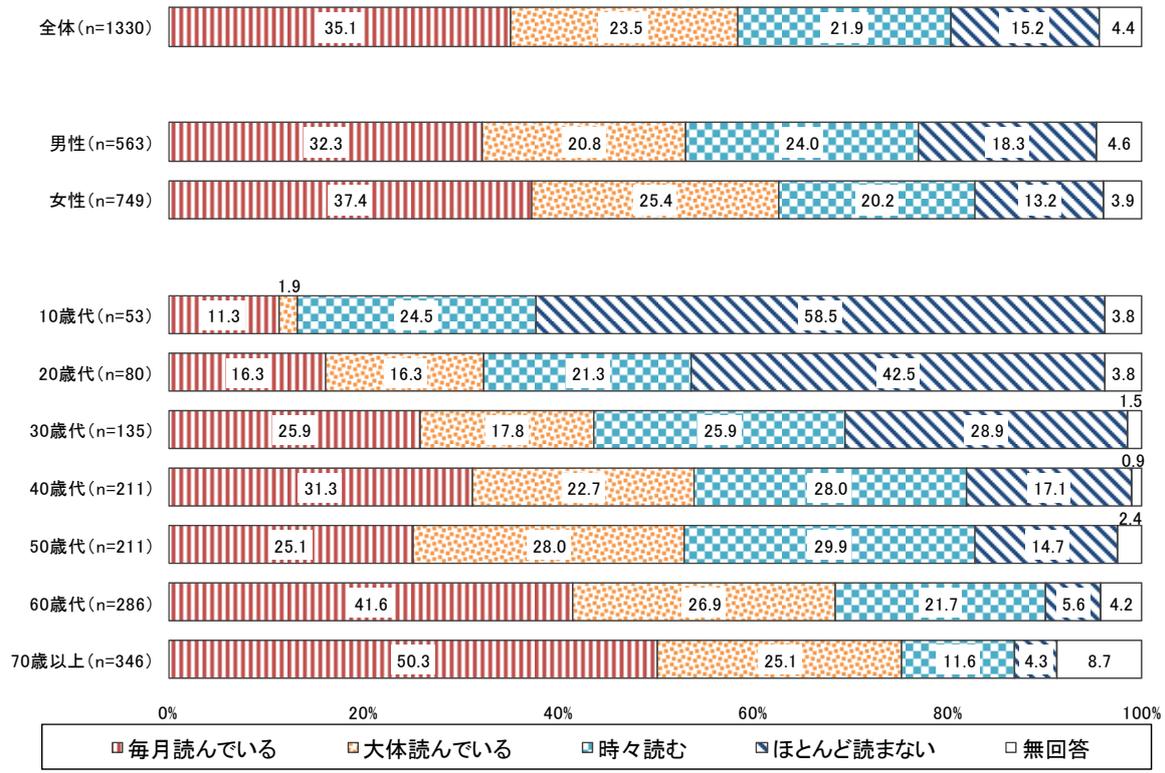
**問 81 広報まつさかを読んでいますか。(〇は1つだけ)**

「毎月読んでいる」が35.1%と最も高く、ついで「大体読んでいる」が23.5%、「時々読む」が21.9%となっている。

性別にみると、女性では「毎月読んでいる」「大体読んでいる」が男性よりも高くなっており、その合計の割合は男性よりも約10ポイント高い、62.8%となっている。

年代別にみると、10歳代では「ほとんど読まない」が最も高く、58.5%となっているのに対し、70歳以上になると「毎月読んでいる」が50.3%で最も高くなってきている。

問81 広報まつさかを読んでいるか

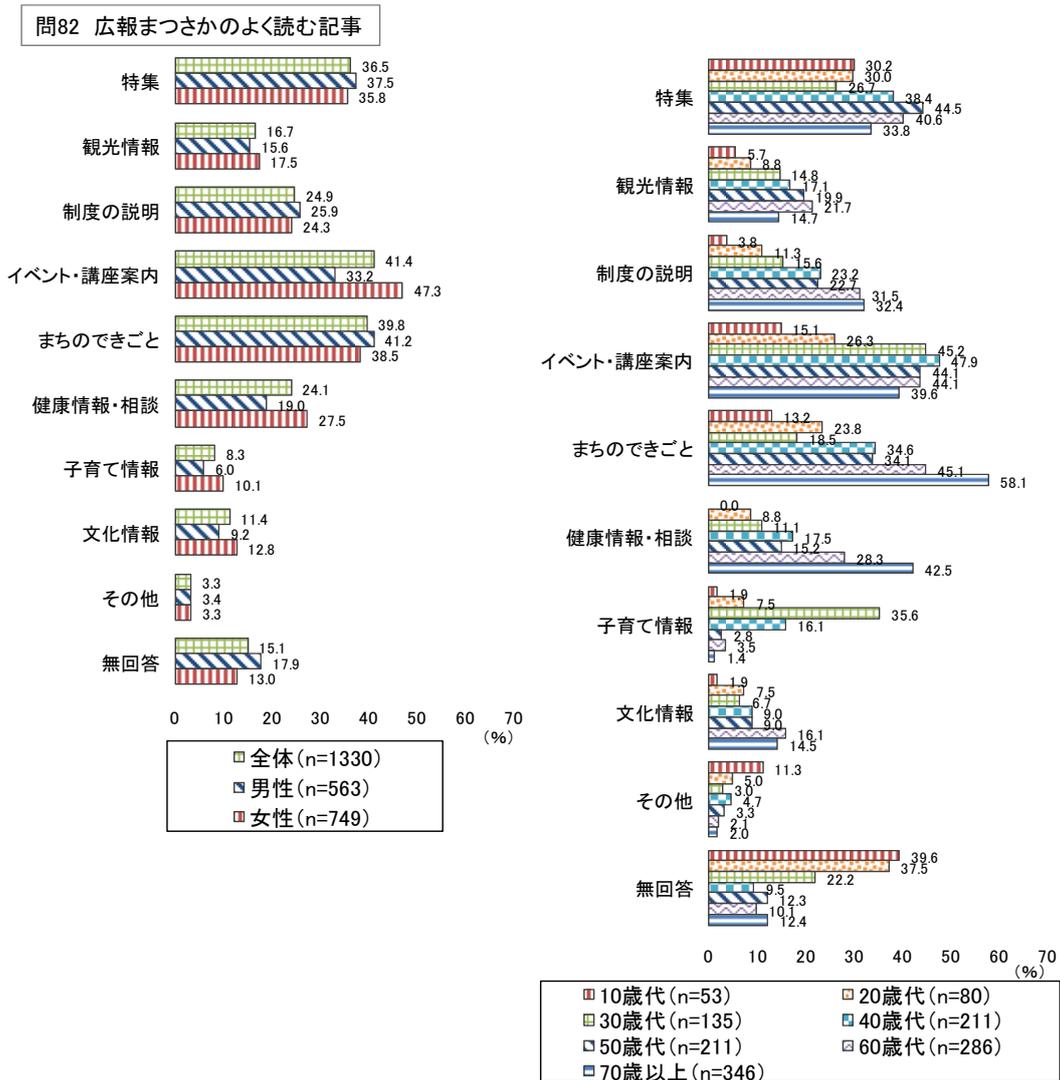


問 82 広報まつさかのよく読む記事を次のうちから選んでください。(〇はいくつでも)

「イベント・講座案内」が41.4%と最も高く、ついで「まちのできごと」が39.8%、「特集」が36.5%となっている。

性別にみると、男性では「まちのできごと」が最も高く41.2%となっている。女性では「イベント・講座案内」が47.3%と最も高く、男性よりも10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、「イベント・講座案内」では30歳代から70歳以上で4割から4割半ばとなっているが、10歳代、20歳代では1割半ばから2割半ばと低くなっている。また、「まちのできごと」「健康情報・相談」では年代が上がるにつれて割合も増える傾向にある。



問 83 どのような記事や情報があると読みたいと思いますか。ご自由にお書きください。

設問	詳細分類項目		件数	構成比 (%)
問 83	1	グルメ・ショッピング	16	8.1
	2	観光・レジャー	30	15.2
	3	歴史・文化	11	5.6
	4	スポーツ・健康・医療・福祉	17	8.6
	5	子育て・教育・生涯学習	20	10.2
	6	生活情報・地域情報・雇用情報	30	15.2
	7	行政情報	25	12.7
	8	その他	48	24.4
		合計	197	

《主な意見》

「2. 観光・レジャー」

- ・地域ごとの特色のある取り組み、まつりやイベント情報。
- ・近くで行われる行事。
- ・まちのできごとや観光情報。

「6. 生活情報・地域情報・雇用情報」

- ・仕事情報、地域活性化の情報。
- ・身近な出来事。
- ・生活に役立つ記事。

「7. 行政情報」

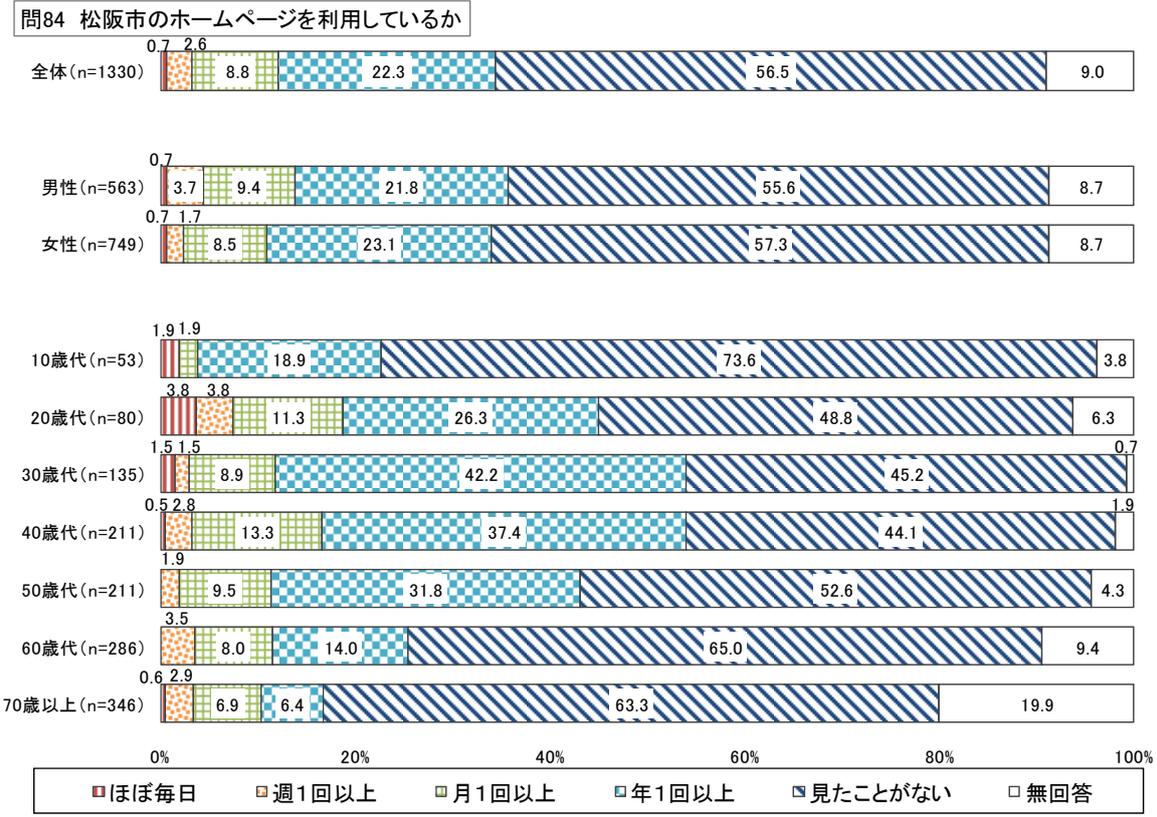
- ・市の制度や窓口の詳細情報。
- ・市議会で何を議論しているか、市内の様々の出来事。
- ・公共事業の紹介。

**問 84 松阪市ホームページを利用していますか。（〇は1つだけ）**

「見たことがない」が56.5%と最も高く、ついで「年1回以上」が22.3%、「月1回以上」が8.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「見たことがない」が5割半ばで最も高くなっているほか、概ね同様の傾向を示しており、性別による違いはみられない。

年代別にみると、10歳代、60歳代、70歳以上では「見たことがない」が最も高くなっている。30歳代、40歳代では「年1回以上」が他の年代に比べ高くなっている。



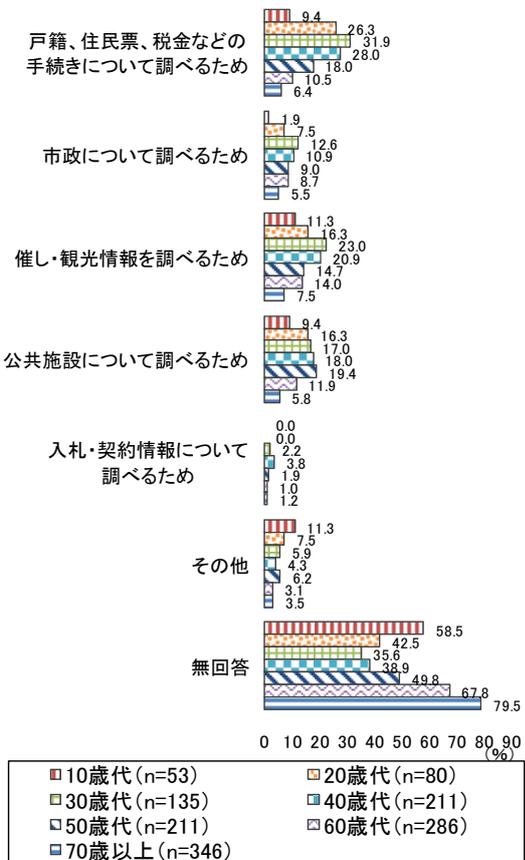
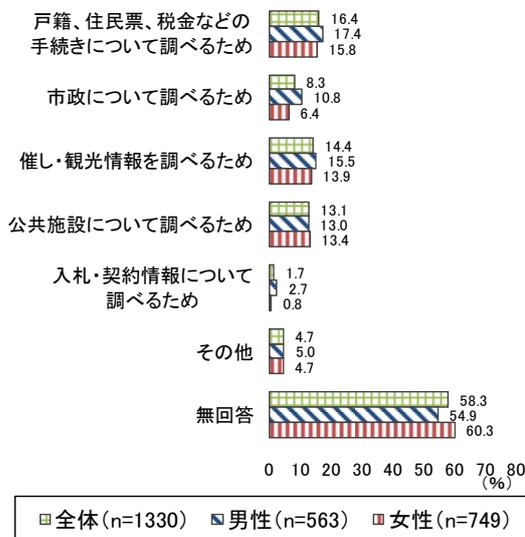
問 85 松阪市ホームページを利用する目的は何ですか。（〇はいくつでも）

「戸籍、住民票、税金などの手続きについて調べるため」が16.4%と最も高く、ついで「催し・観光情報を調べるため」が14.4%、「公共施設について調べるため」が13.1%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「戸籍、住民票、税金などの手続きについて調べるため」が最も高くなっている。また、男性では「市政について調べるため」が10.8%であるのに対し、女性では6.4%となっており、性別によって僅かだが差が生じている。

年代別にみると、「戸籍、住民票、税金などの手続きについて調べるため」は20歳代から40歳代で比較的高くなっている。

問85 松阪市のホームページの利用目的



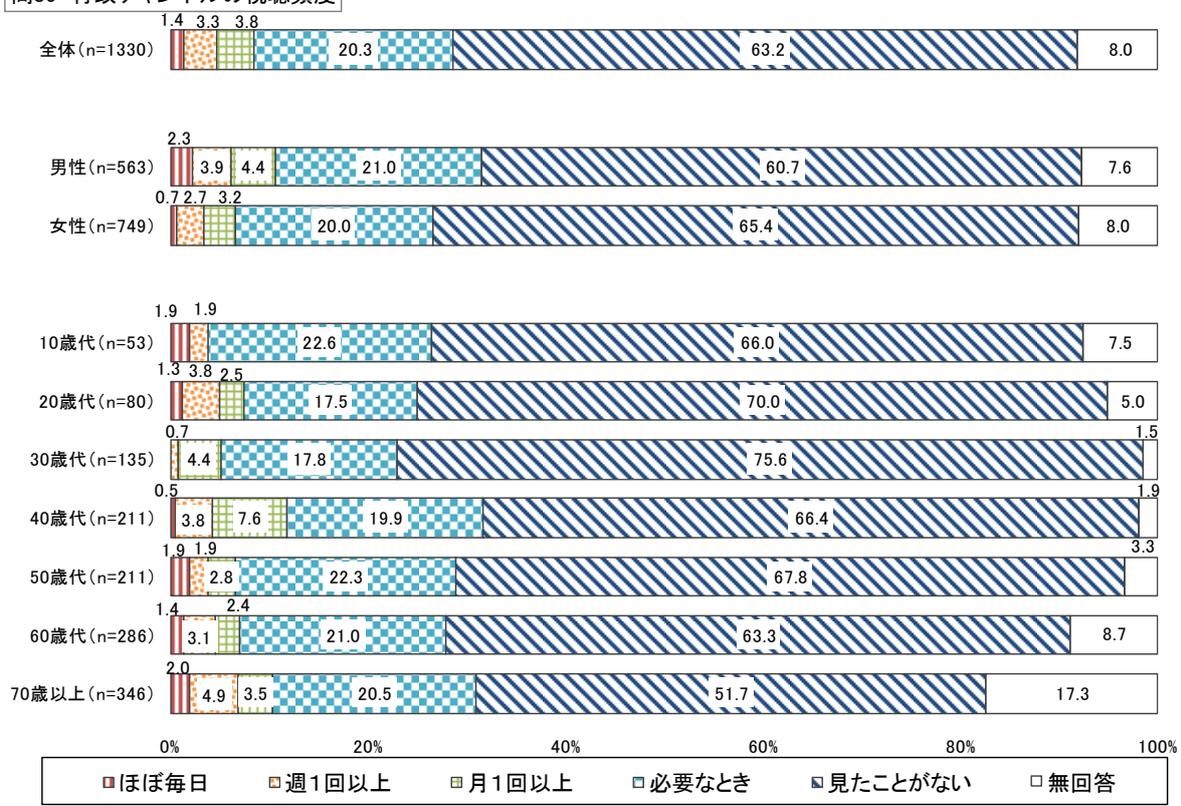
**問 86 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありますか。（○は1つだけ）**

「見たことがない」が63.2%と最も高く、ついで「必要なとき」が20.3%、「月1回以上」が3.8%となっている。

性別にみると、女性では「見たことがない」が男性よりも5ポイント程度高くなっており、65.4%となっている。男性では定期的に見ている（「ほぼ毎日」「週1回以上」「月1回以上」を含む）人が女性よりも高く、1割を超えている。

年代別にみると、20歳代、30歳代では「見たことがない」が高くなっており、いずれも7割を超えている。一方で見たことがある（「ほぼ毎日」「週1回以上」「月1回以上」「必要なとき」）は、40歳代、70歳以上で高くなっており、いずれも3割以上となっている。

問86 行政チャンネルの視聴頻度



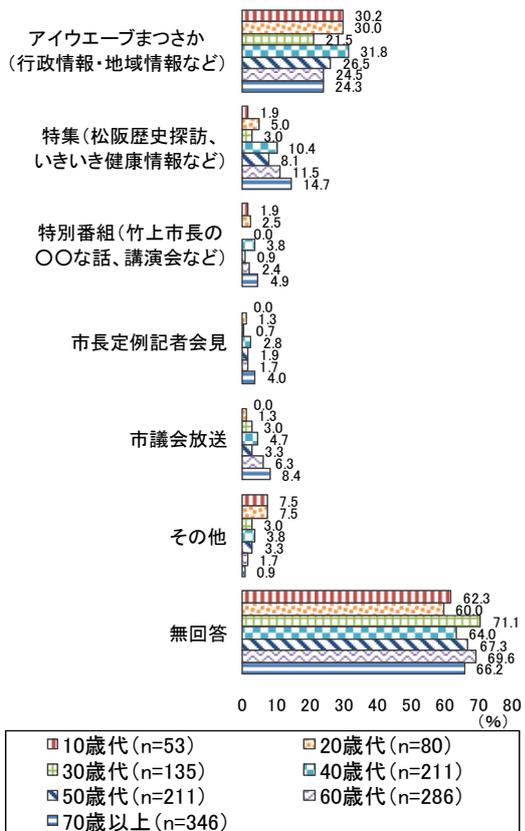
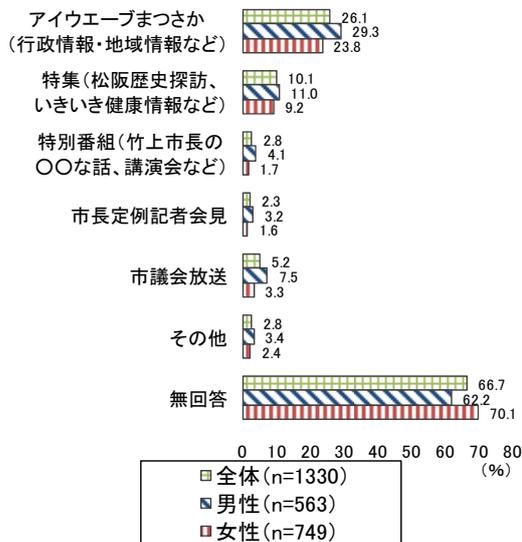
問 87 ご覧になった番組をお聞かせください。(〇はいくつでも)

「アイウエブまつさか(行政情報・地域情報など)」が26.1%と最も高く、ついで「特集(松阪歴史探訪・いきいき健康情報など)」が10.1%、「市議会放送」が5.2%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「アイウエブまつさか(行政情報・地域情報など)」が最も高くなっているが、男性の方が女性に比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、10歳代、20歳代、40歳代で「アイウエブまつさか(行政情報・地域情報など)」が他の年代よりも高くなっている。また、「特集(松阪歴史探訪・いきいき健康情報など)」は若い年代よりも年代が高い方が割合も比較的高くなっている。

問87 行政チャンネルの視聴番組

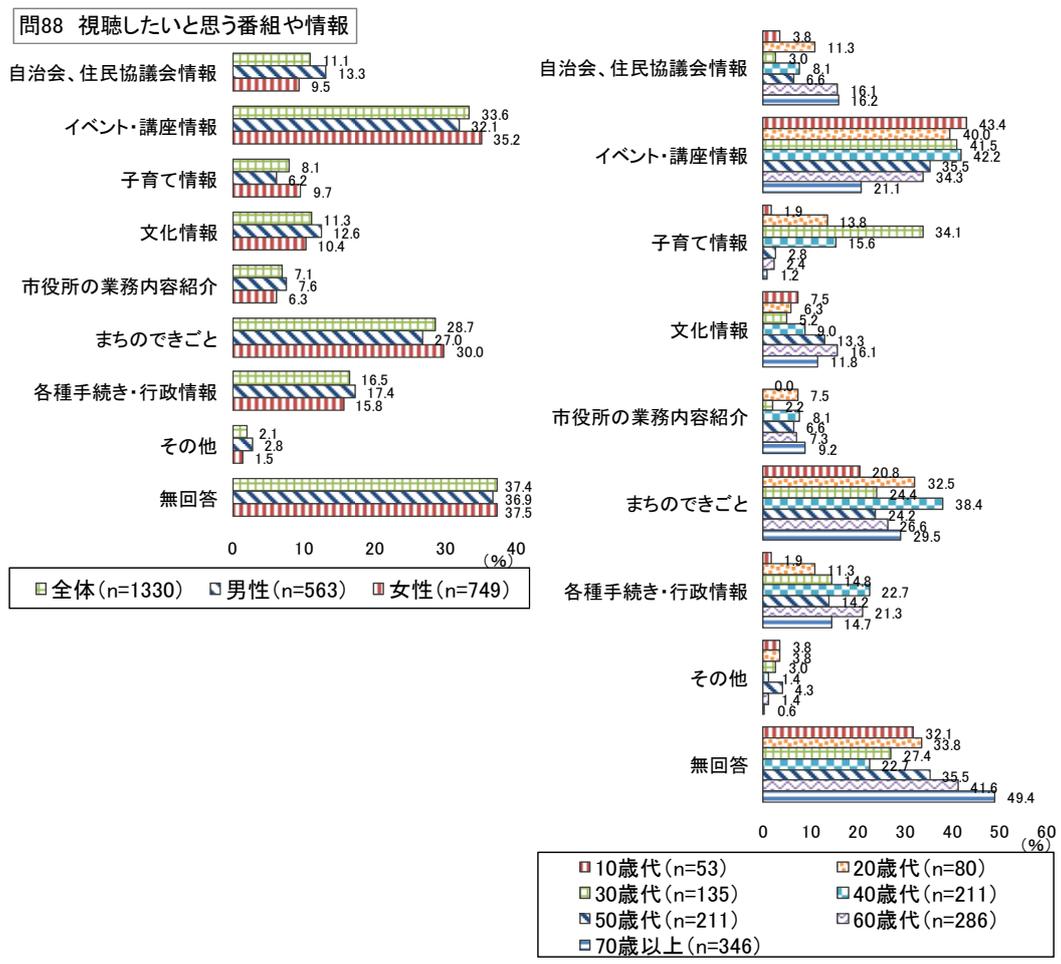


問 88 行政チャンネルでどんな番組や情報があれば視聴したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「イベント・講座情報」が 33.6%と最も高く、ついで「まちのできごと」が 28.7%、「各種手続き・行政情報」が 16.5%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「イベント・講座情報」が最も高くなっているが、女性が男性を僅かだが上回っている。

年代別にみると、「イベント・講座情報」が 10 歳代から 40 歳代までで 4 割を超えているが、50 歳代以降徐々に減少していき、70 歳以上では 21.1%と低くなっている。



問 89 番組に対するご意見があれば、ご自由にお書きください。

設問	詳細分類項目		件数	構成比 (%)
問 89	1	番組の内容について	15	48.4
	2	番組の視聴の仕方について	2	6.5
	3	番組の周知について	5	16.1
	4	その他	9	29.0
	合計		31	

《主な意見》

「1. 番組の内容について」

- ・地域の情報などに興味があります。
- ・行政の内容を分かりやすく知りたい。

「2. 番組の視聴の仕方について」

- ・行政チャンネルをどうやって見るのか分からない。(操作方法)。

「3. 番組の周知について」

- ・番組があることも知らなかった。
- ・良く知らないからもっと PR すべき。

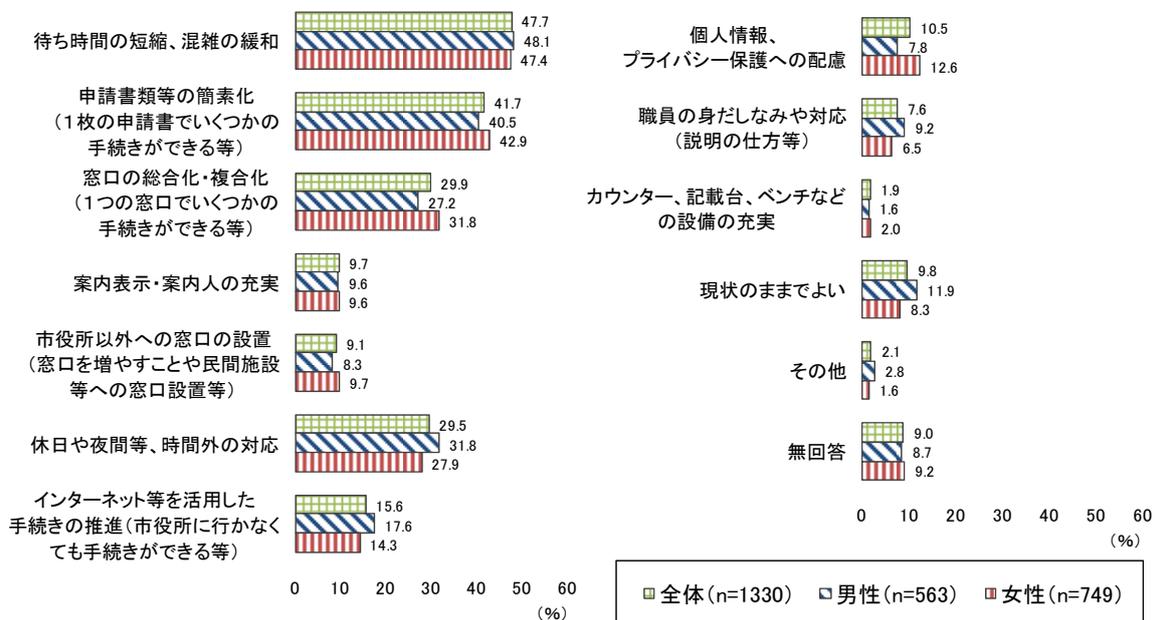
## 総合窓口の設置について

### 問 90 市の窓口サービスに期待することは何ですか。(〇は3つまで)

「待ち時間の短縮、混雑の緩和」が47.7%と最も高く、ついで「申請書類等の簡素化（1枚の申請書でいくつかの手続きができる等）」が41.7%、「窓口の総合化・複合化（1つの窓口でいくつかの手続きができる等）」が29.9%となっている。

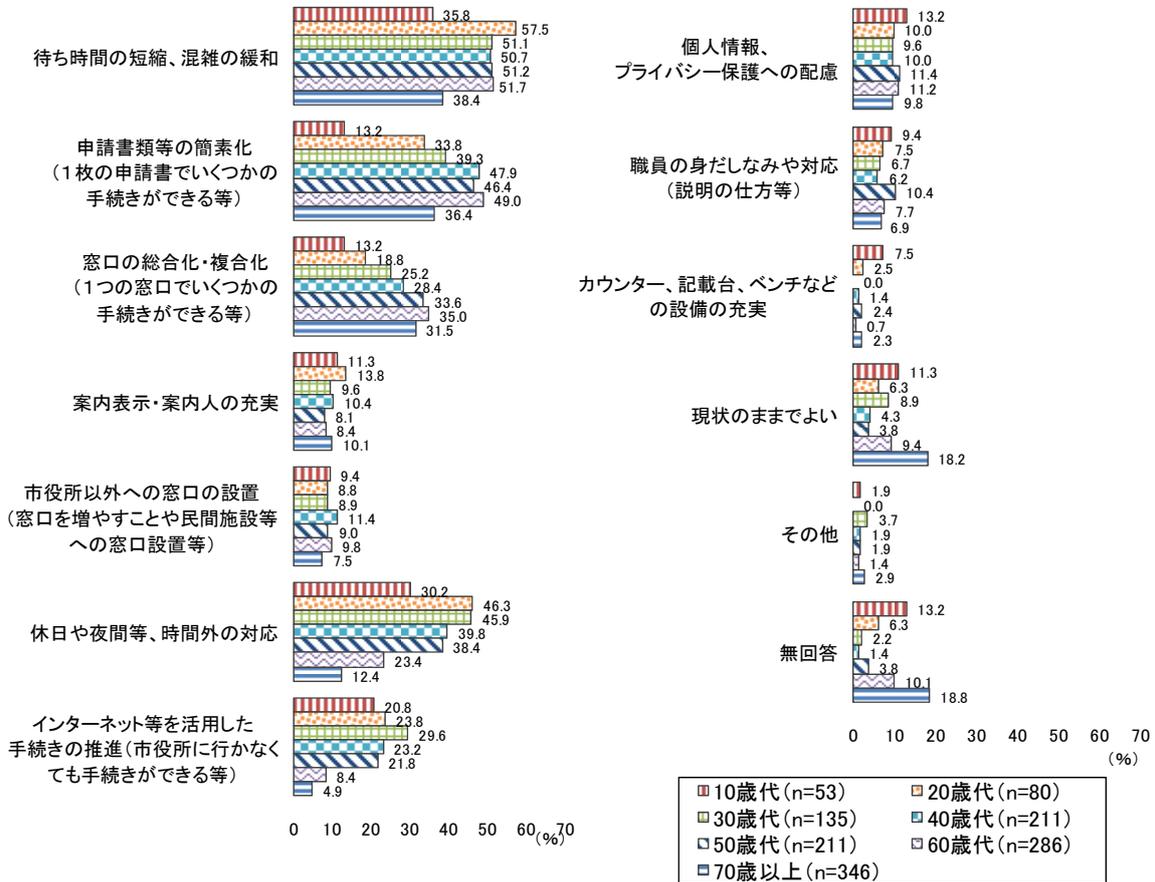
性別にみると、男性では「休日や夜間等、時間外の対応」が女性よりもやや高く31.8%となっている。女性では「個人情報、プライバシー保護への配慮」が男性に比べて高く12.6%となっている。

問90 市の窓口サービスに期待すること



年代別にみると、10歳代、60歳代、70歳以上では「休日や夜間等、時間外の対応」があまり高くないが、20歳代、30歳代では4割半ばと高くなっている。「待ち時間の短縮、混雑の緩和」も同様に10歳代、70歳以上では相対的に高くはないが、それ以外の年代では5割以上と高くなっている。

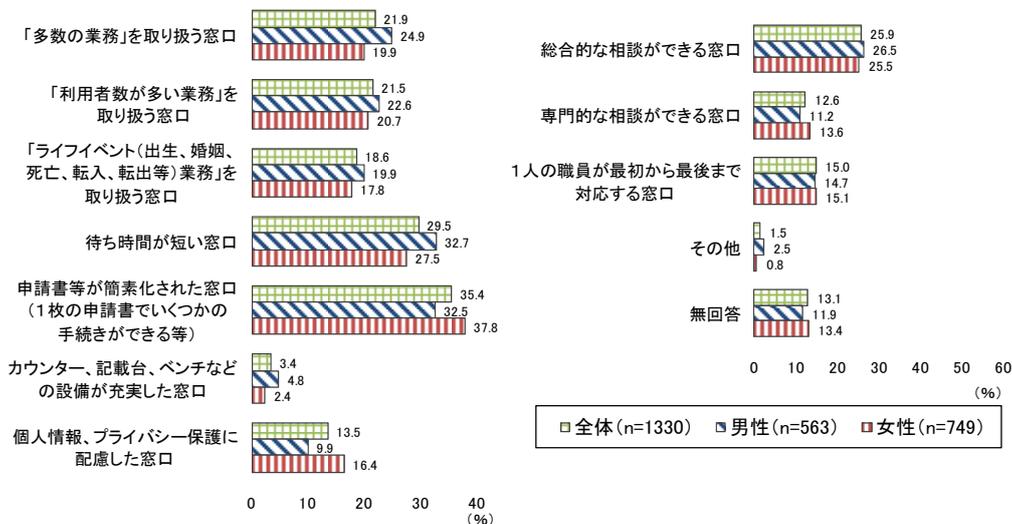
問90 市の窓口サービスに期待すること



問 91 「総合窓口」を実施する場合、どのような「総合窓口」を実現することが重要だと思いますか。（〇は3つまで）

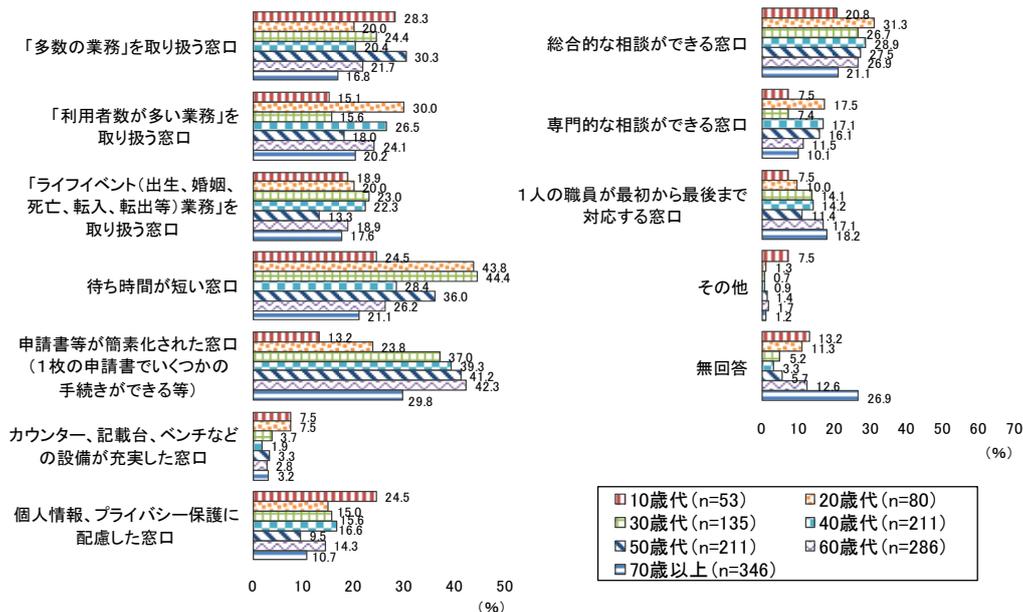
「申請書等が簡素化された窓口（1枚の申請書でいくつかの手続きができる等）」が35.4%と最も高く、ついで「待ち時間が短い窓口」が29.5%、「総合的な相談ができる窓口」が25.9%となっている。性別にみると、男性では「待ち時間が短い窓口」が32.7%で女性よりも5ポイント以上高くなっている。一方で女性では「申請書等が簡素化された窓口（1枚の申請書でいくつかの手続きができる等）」が最も高く、37.8%となっている。

問91 どのような「総合窓口」を実現することが重要だと思うか



年代別にみると、「申請書等が簡素化された窓口（1枚の申請書でいくつかの手続きができる等）」では30歳代から60歳代で4割程度と高くなっている。また、「待ち時間が短い窓口」は20歳代、30歳代で4割半ばと高くなっている。

問91 どのような「総合窓口」を実現することが重要だと思うか



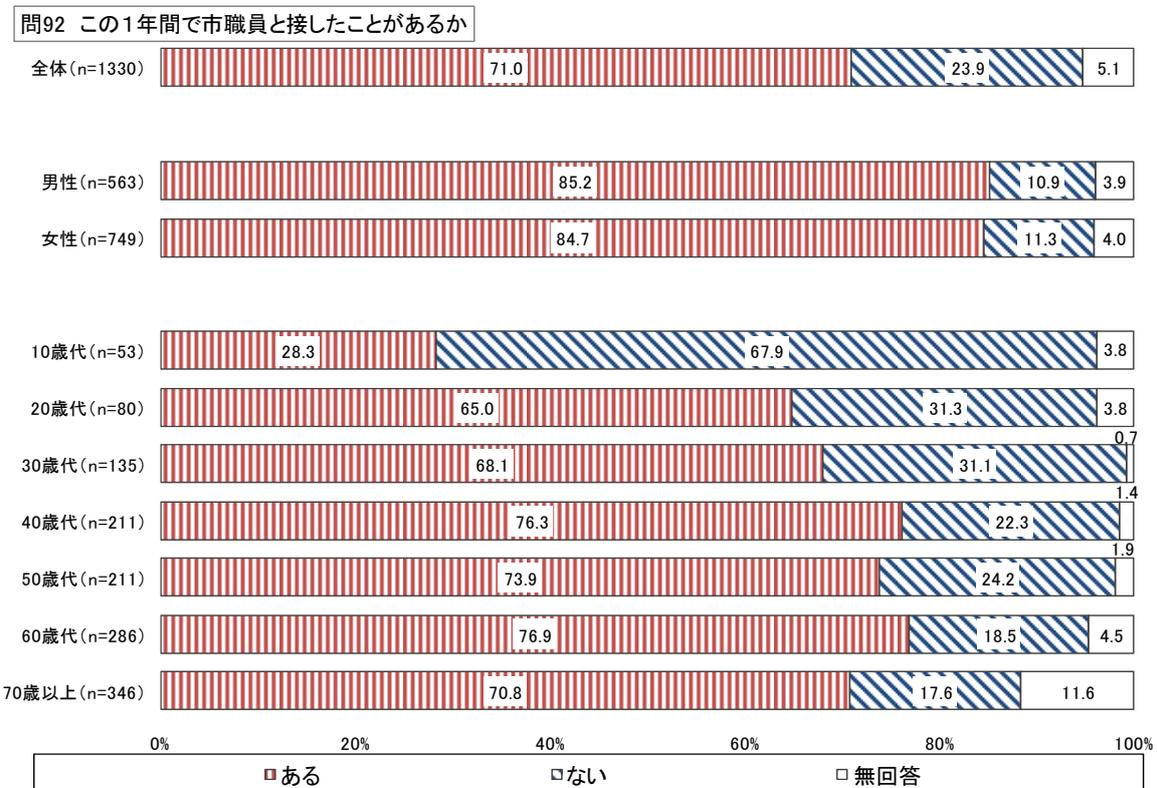
## 市職員に対する市民の満足度について

問 92 この1年間で市職員に接したことはありますか。(○は1つだけ)  
(市役所内のみではなく、市民懇談会等地元で会うのも含めます)

「ある」が71.0%と最も高く、ついで「ない」が23.9%となっている。

性別による違いはみられず、「ある」が8割以上となっており、男性・女性ともに概ね同様の傾向を示している。

年代別にみると、10歳代では「ある」が他の年代に比べ、非常に低くなっている。その他の年代では、6割半ばから7割半ば程度の割合で「ある」が高くなっている。

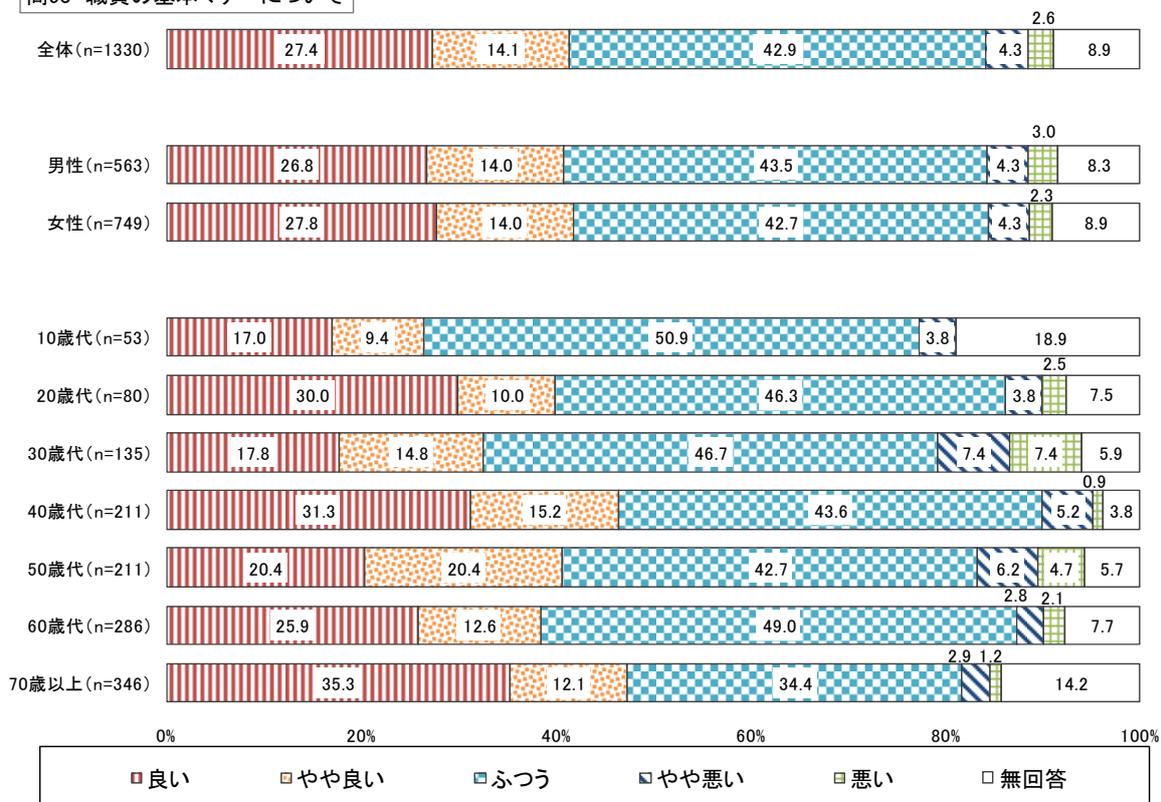


問 93 職員の基本マナーについてどう思いますか。（○は1つだけ）  
 （例：あいさつ、身だしなみ、態度、動作）

「ふつう」が42.9%と最も高く、ついで「良い」が27.4%、「やや良い」が14.1%となっている。  
 性別にみると、女性の方が「良い」としている割合が僅かに高くなっているが、そのほかでは大きな違いはみられない。

年代別にみると、20歳代、40歳代、50歳代、70歳以上で「良い」「やや良い」が高くなっており、「良い」「やや良い」の合計の割合がいずれも4割を超えている。一方で30歳代では「やや悪い」「悪い」の合計の割合が他の年代に比べ、高くなっており、1割半ば程度となっている。

問93 職員の基本マナーについて



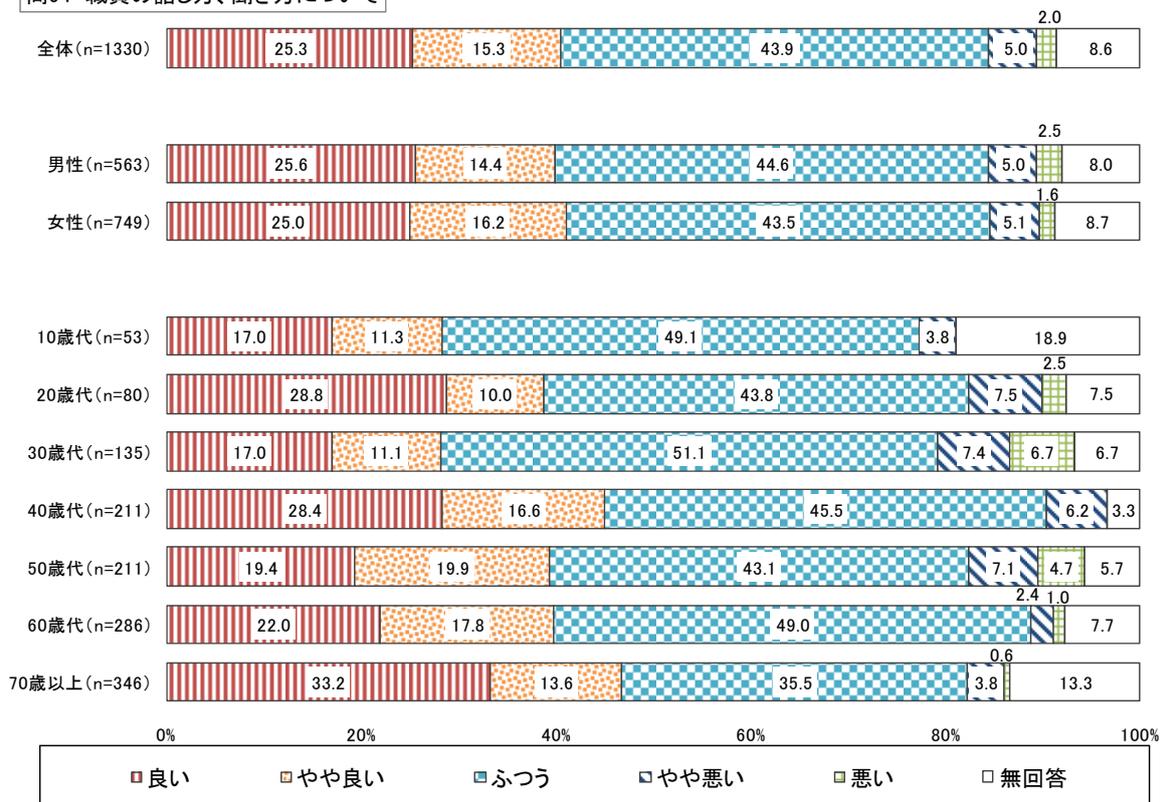
問 94 職員の話し方、聞き方についてどう思いますか。（○は1つだけ）

（例：言葉づかい、敬語、表情、返事、相づち、電話対応）

「ふつう」が43.9%と最も高く、ついで「良い」が25.3%、「やや良い」が15.3%となっている。性別にみると、概ね同様の傾向を示しているが、「やや良い」が女性の方が僅かに高く、16.2%となっている。

年代別にみると、40歳代と70歳以上で「良い」「やや良い」の割合が高くなっており、「良い」「やや良い」の合計の割合が、いずれの年代でも4割半ばと高くなっている。

問94 職員の話し方、聞き方について



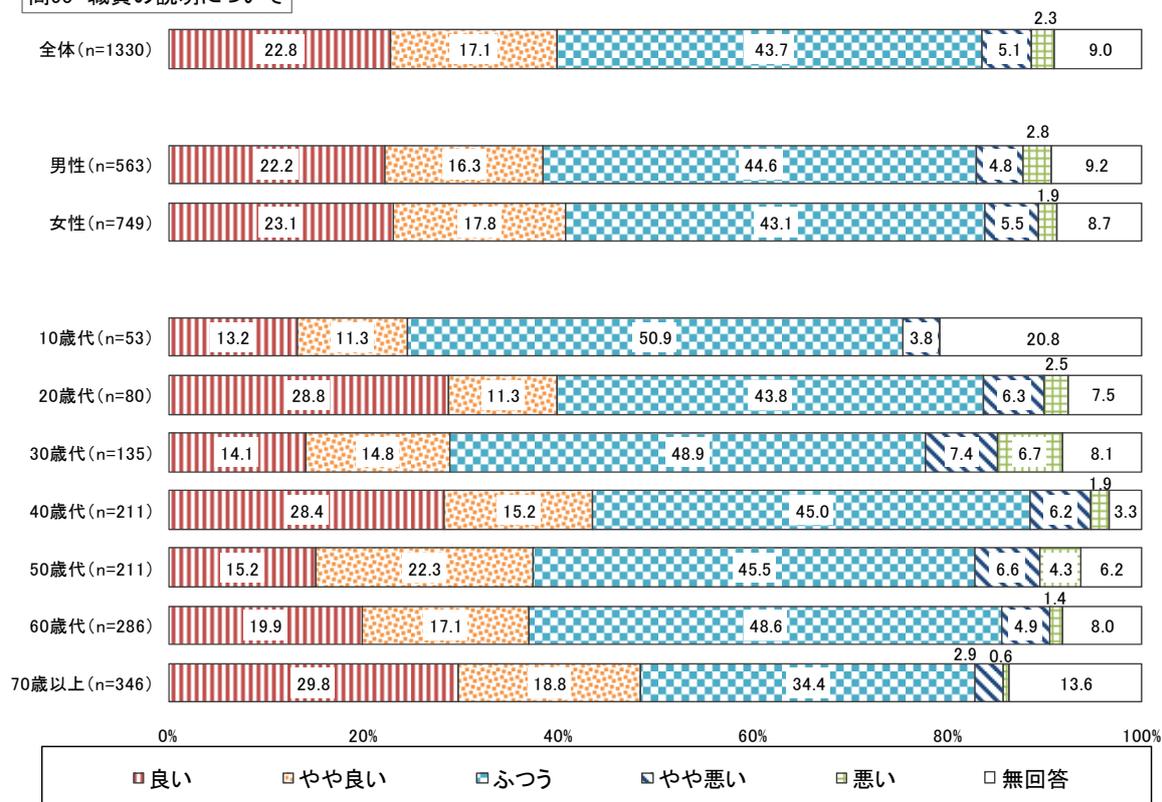
問 95 職員の説明についてどう思いますか。（〇は1つだけ）

（例：説明の分かりやすさ、内容確認の仕方）

「ふつう」が43.7%と最も高く、ついで「良い」が22.8%、「やや良い」が17.1%となっている。性別にみると、男性・女性ともに概ね同様の傾向を示しており、性別による大きな差は見られないが、僅かに女性の方が「良い」「やや良い」の割合が高くなっている。

年代別にみると、20歳代、40歳代、70歳以上で「良い」「やや良い」の割合が高くなっており、「良い」「やや良い」の合計の割合がいずれも4割を超えている。一方で30歳代と50歳代では、「やや悪い」「悪い」としている割合が比較的高くなっている。

問95 職員の説明について

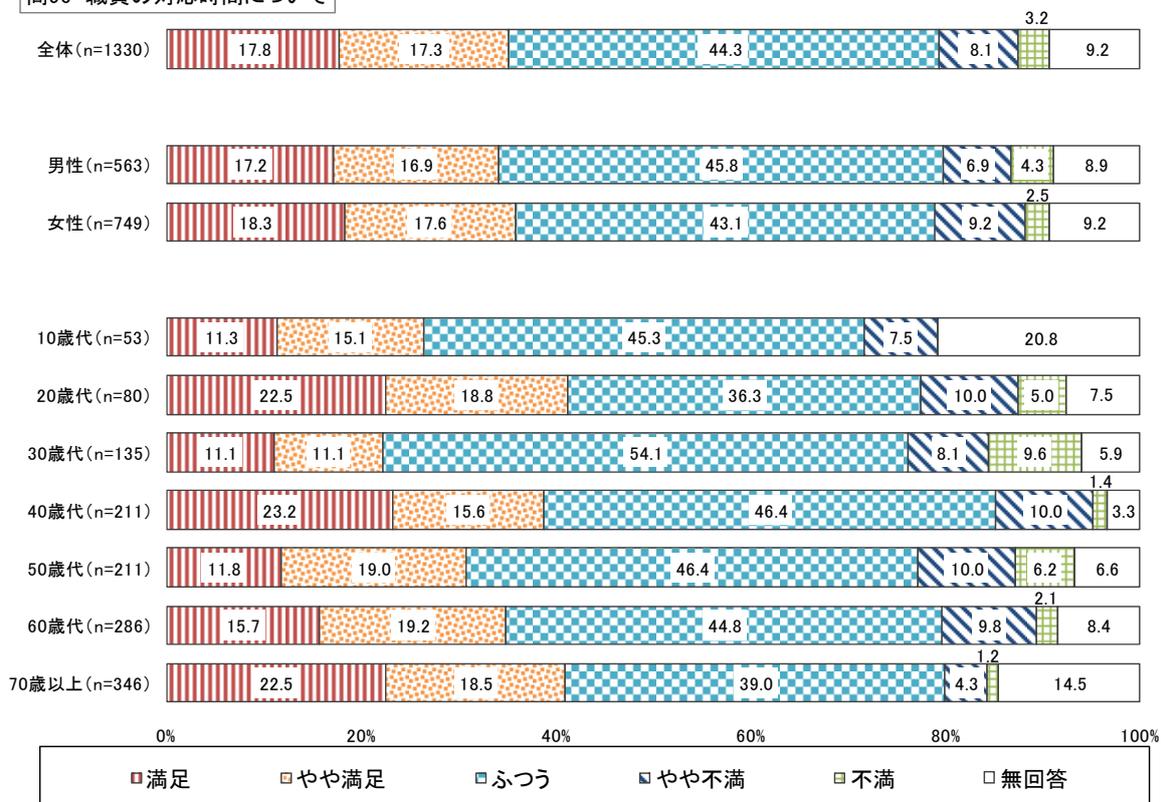


問 96 職員の対応時間についてどう思いますか。(〇は1つだけ)  
 (例：迅速さ、たらい回し、用件完了までの時間)

「ふつう」が44.3%と最も高く、ついで「満足」が17.8%、「やや満足」が17.3%となっている。性別にみると、性別による大きな違いはみられないが、僅かに女性の方が男性よりも「満足」「やや満足」としている割合が高くなっている。

年代別にみると、20歳代と70歳以上では「満足」「やや満足」としている割合が高くなっており、「満足」「やや満足」の合計の割合は、いずれでも4割を超えている。一方で、30歳代と50歳代では「やや不満」「不満」としている割合が他の年代よりも僅かに高くなっている。

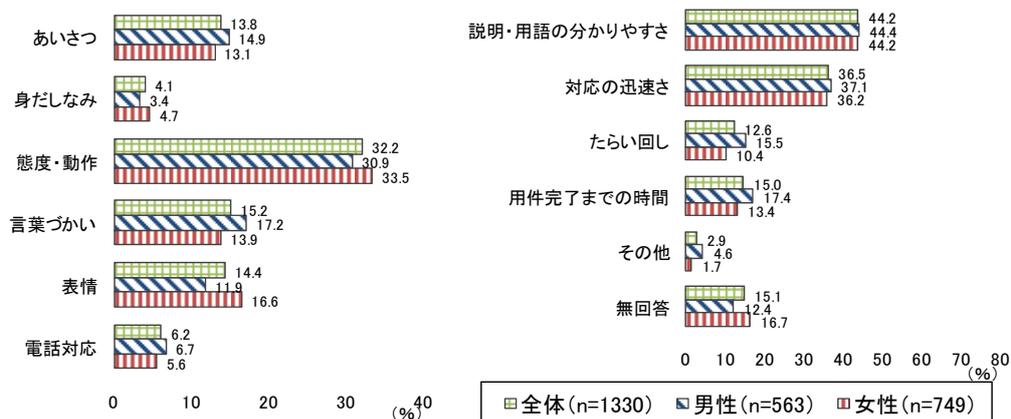
問96 職員の対応時間について



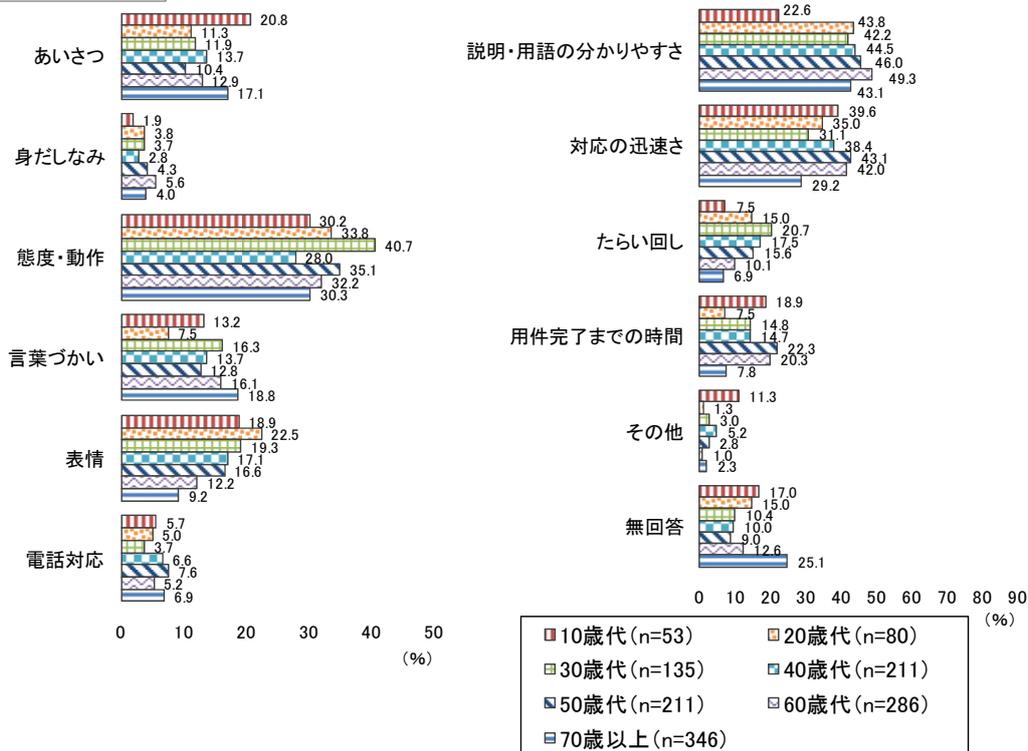
問97 より良い市民サービスを提供する上で、職員が改善すべき点は何だと思いますか。  
(○は3つまで)

「説明・用語の分かりやすさ」が44.2%と最も高く、ついで「対応の迅速さ」が36.5%、「態度・動作」が32.2%となっている。

問97 職員が改善すべき点



問97 職員が改善すべき点



問 98 市職員の対応に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。

設問	詳細分類項目		件数	構成比 (%)
問 98	1	態度・対応について (好意的)	60	29.3
	2	態度・対応について (批判的)	69	33.7
	3	資質・能力について	9	4.4
	4	服装・身だしなみについて	7	3.4
	5	要望について	41	20.0
	6	その他	19	9.3
	合計		205	

《主な意見》

「1. 態度・対応について (好意的)」

- ・話しやすく、対応も丁寧で、良いと思います。
- ・とても丁寧、適切、迅速に対応していただいています。こちらが忘れていても、担当部署から連絡をもらったこともあります。松阪市の職員の方々はとても良いと思います。
- ・以前に比べていろいろな面でかなり改善されているように思います。横柄な感じがなくなりました。

「2. 態度・対応について (批判的)」

- ・上から目線の時が多いです。
- ・たらい回しにするは、業務的な対応しかしないは、だらだら面倒くさそうに対応されると不快。
- ・仕事が無く、パソコンで遊んでいる様子が見える。どの課でも人数が多すぎるのが目につく。

「5. 要望について」

- ・もう少し笑顔での対応をお願いします。
- ・担当して下さる方によって、すぐ終わる、待たされるが分かります。部下、上司にかかわらず、手続きがスムーズに行えるようにしてほしい。
- ・分かりやすく説明してほしい。

## IV 自由回答

市政に対するご意見については、303人の方からご意見をいただきました。いただいたご意見の主なものを総合計画の政策体系に沿って分類し、政策体系に属さない分野については、「8. その他」に分類しました。

できる限り原文に忠実に記述していますが、不適切な表現は一部修正しています。また、誤字等についても修正させていただいています。ご了承ください。



## 《主な意見》

※「1-④青少年の健全育成」、「1-⑤人権教育の推進」、「2-②生涯スポーツの推進」、「3-②松阪牛の振興」、「3-④水産業の振興」、「3-⑥企業誘致・連携の推進」、「4-④人権の尊重」、「5-②消費者対策の充実」、「5-⑤消防団の充実」、「5-⑥浸水対策の充実」についての自由記述はありませんでした。

### 1. 輝く子どもたち

#### ①子育て支援の推進

- 子育てしにくい社会だと思う。
- 「子どもは社会の宝である」との言葉は、私は間違いないと考えています。子どもに対するキメ細かい行政サービスを期待します。
- 子どもの医療費が無償になっているのですごく助かっていますが、できるなら別の自治体のように窓口での支払いがなくなるともっとありがたいと思います。
- 仕事をするために学童に入れたのに、学童に入れたせいで仕事に支障をきたすという本末転倒な状況を強いられている。保育園のように、行政主体の学童にならないものかと思っています。子育てしながら安心して働ける状況をもっと真剣に考えていただきたいと思います。
- 子育てに力を入れていただけているので嬉しい。
- 中学生までの医療費無料を廃止にすべき。無料だからといって、たいしたことのない病気・ケガでも、無料だからと利用する人がいる。
- 児童手当、子どもの医療費の所得制限をなくしてほしい。児童手当という形ではなく、給食費、教育費として公平に子どものために使っていただきたいです。
- 不妊治療をしている人がたくさんいます。お金の問題や仕事との両立など、治療がしづらい環境です。そういったことへの取組もお願いします。

#### ②未就学児への支援

- 旧市内の幼稚園も預かりをしてほしい。嬉野だけあるのはなぜですか。
- 保育園の受け入れ数を増やしてほしい。兄弟で違う園へ入園させないといけないような事を無くしてほしい。
- 日祝日が就労の保護者にとって、休日保育は大変ありがたく、そして保育士の方がたも当番制で休日保育をいただいていることにとっても感謝しています。
- 休日の利用料金ですが、所得に応じた保育料を払い、その上、休日1日に付き2,500円の利用料がかかります。休日保育を利用した者は、基本平日に2日間保育所を休ませます。もちろん、週2日間は給食をいただきません。休日保育は弁当持参です。休日保育は保育所の通常利用の一部という考え方はないのでしょうか。

#### ③学校教育の充実

- 給食費をなくしてほしい。制服とかは、なぜこんなに高価なのか。もっと子どもの事に税金をかけてほしいです。義務教育なのに給食費、制服代がかかるのはおかしいと思います。

- 義務教育の充実、特に中学の進路指導に力を入れてほしい。小学生の頃からもう少ししっかりと勉強する環境を整えるという面からもエアコンの設置は必要であると思います。
- 今の子どもたちは普通でいなければという気持ちが強いように思います。ひとつの家庭の教育では限界があります。
- 教育行政に対する理解がなさすぎます。特に ICT 教育の充実を切に望みます。
- 市の将来を担う児童生徒の教育環境を整えて下さい。
- 部活の顧問の先生の態度の悪さが目にあまるものがあります。先生にも休みを増やして、生徒に優しくできるようにしてあげて下さい。
- 中学校の給食がやっと取り入れられ、定着したことは高く評価しています。
- 中学校の給食も廃止にしては。両親からの手作り弁当の方が、愛情を感じ、良い。給食費の未払い問題もなくなる。
- 親、子、孫3代が学び、愛着のある中学校を見捨てないで下さい。他の中学校へ行く事よりも近くに立派な学校がある事を誇りとして何とか他の中学へ行くことなく、近くの素敵な大江をいつまでも大切に。
- 小学校の施設の老朽化に対する対策もお願いしたいです。
- 教育の情報化への取り組みなど全国の動きから遅れているように思える。
- 松阪市内に私立小学校があってほしいです。初等教育の選択肢が無いことが疑問です。

## 2. いつまでもいきいきと

### ①健康づくりの推進

- 高齢になっても働かなければならない人もいます。日曜日の健康診断の回数・場所を増やしてほしい。
- 松阪市では、中高年の方の運動（体力づくり）を進めています。手軽に安い料金で、ヨガ、エアロビクスなどが習える機会を増やしてほしいです。

### ③救急医療体制の確保

- 救急医療施設をもう少し増やしてほしい。
- 救急医療について、大きい病院で検査点滴が必要なことが明らかな場合でも紹介状が必要ということで、休日夜間応急診療所に行ったことがあります。そういうことをしなくてもよい体制がほしいと思います。
- 休日夜間の診療時間以外（深夜など）に診てもらいたい時、救急車を呼ばずに総合病院などへ直接行って診てもらえるようになるとありがたい。
- いおうじ応急クリニックは重要な役割を担っているのに、予算を削減する動きがあるようだがなぜか。

### ④地域福祉・生活支援の推進

- 一人親世帯や高齢者が貧困で路頭に迷わないよう福祉制度を充実させて下さい。

- 地域づくりや福祉への取組を充実させてほしい。
- 生活保護受給者で健康と医師判断された者を、半日でもよいから毎日市業務等に勤労させるべきです。
- 生活保護の給付をもっと厳しくすべき。元気で若いのに、全く働かず、遊んで、お金をもらっている人が多過ぎる。余りにも審査があますぎる。担当の課も市民の税金である事をよく考えること。
- 生活保護受給者が増えているように思う。必要な人への支援はもちろん大切ですが、必要ない不正受給などがないよう十分調べて、安易に受給者を増やさないようにしてほしい。

### ⑤高齢者福祉の推進

- 高齢者の介護予防応援ポイントカードまたサテライト交流会等、やっていただき嬉しく思います。
- 認知症が進んできた高齢の親の介護をしていますが、負担が少なくなるような制度などの情報がもっとほしいです。本人のかわりに申請をしたりしますが、手続きが大変です。相談窓口がほしいです。
- 接することの少ない高齢者に巡回課を設け、抽出訪問ではなく確実に対面してもらいたい。
- 国民年金程度で介護老人保健施設に市政の力で入所できるようお願いします。
- 高齢化のニーズに対し、認知症予防の体操などTVで観ましたが、質を高め皆が利用でき、少しでも老後楽しみを持って生き生き暮らせるよう市にも協力、努力をお願いします。
- 高齢者が、暮らしやすい安全と、そのパワーを生かせる仕組み作りを。
- 松阪市は介護施設が充実しているわけではないのに介護保険料が高いと思う。介護保険料が安くても充実した介護を受けられるように考えてほしい。より多く利用出来るよう、努めるべき課題だと思う。
- 高齢者に優しい市政をお願いします。
- 年金生活者の介護保険、健康保険等が、他の市町村にくらべると高いと思います。

### ⑥障がい者福祉の推進

- 年金、障害者手帳、自立支援医療費、サービス受給者証等、一件ずつ申請が必要ですが、一つ申請すれば、必要なものが全て受け取れる制度がほしいです。
- 障がい者の方がもっと外へ出て生活しやすい地域になるように、バリアフリーを増やしてほしい。

## 3. 活力ある産業

### ①農業の振興

- 米農家を助けて下さい。200年も頑張ってきたのに、ここまでなんて悔しいです。産業を助けて下さい。

- 高齢化などで農地が活用されず、また処分することもできず困っている人たちが多々いると聞きます。今後、食糧問題が生まれた時、農地が不毛地になっていたらまた人口減少し、今日の市政が成り立っていけなくなるかもしれません。今こそ市政が行動すべきだと考えます。
- 荒廃地を有効的に利用できる政策を考えてください。
- 農地の計画的利用を推進してください。
- 農地への宅地化規制の見直し（農地売買の規制緩和）を。

### ③林業の振興

- 雑木林や市所有の山を整備し、松茸を生産して名物にすることや、松阪牛を大切にするための仕組みを見直しながら頭数を増やす仕組みを。

### ⑤商工業の振興

- セントレアと松阪港との高速船が廃止されましたが、あの場所を地域発展のために何か考えて利用すれば如何でしょうか。セントレア付近の商業施設は大変な賑わいを見せていますので、松阪の特性（肉産業）を生かして沢山の方を誘客してほしい。
- 似たような商業施設が多いですが、どれも決め手に欠け、中途半端な感じが否めません。他の市町村からも松阪に来てくれるような、都会的な商業施設が必要だろうと思います。
- 映画館などの娯楽施設なども松阪市に誘致してもらいたい。

### ⑦観光・交流の振興

- 松阪駅前の開発が必要。飲食店を増やすと観光客も増えると思います。松阪牛のブランドがあるのに残念なまちです。
- タクシーの運転手さんに松阪の名所（鈴屋）などの説明や案内ができるようにしてほしいです。
- 商人の館、長谷川邸など、開館が遅すぎる。観光客がうろうろしている。
- 市外県外からの観光客、買い物客の誘客を。
- 松阪市の偉大な国学者、本居宣長をもっとアピールするべきだと思います。

### ⑧地域ブランドの振興

- 松阪木綿は、いつのまにか伊勢木綿に押されていくのではないか。もっと強くアピールしたほうが良いと思います。

### ⑨雇用・勤労者福祉の充実

- 若者の流出は未来の市の可能性を減少させることになっている。「働き方改革」を進めて定住、Uターンを増やしていくことが伝統の産業・文化の維持につながると思う。より一層学生に対して地域の魅力、地元企業で働くワークスタイルを認識してもらえるように、インターン等を利用していくことお勧めする。

○数年後に定年を迎える者にとって、少しでも生活の足しになるようにアルバイト程度のも  
を探したいと思っております。そういう職場を増やしていただきたいのと、そんな情報をた  
くさん教えていただければ嬉しいです。

#### 4. 人と地域の頑張る力

##### ①住民協議会・市民活動の推進

○地域あげてのお祭り、イベントなどへの経費削減はつらいです。今まで通りをお願いします。  
○働き者の多い松阪です。市民の力を生かして楽しい松阪にしてください。  
○まちづくり協議会は中途半端な組織、活動になっていると思う。廃止しても困らないと思う。

##### ②生涯学習の推進

○図書館経営を市に戻していただきたい。  
○図書館の1年間休館(改造のため)、中央公民館の移転問題等、市民の考えと多少違うような気がする。  
○図書館の一年間の閉鎖。学力向上を訴えた市長の姿勢と全く反対の事態にびっくりしています。  
○松阪公民館での講座の移転等、勝手に決めた後での発表は卑怯である。まず、利用者に意見を聞くのが  
先だと思う。公民館は私物ではない。公共の物を勝手に決めるのは民主主義に反するのではないか。

##### ③文化の振興

○子どもが伸び伸び成長できるよう、文化的な施設や行事、体験の充実を。  
○文化的な取組の貧弱さ。昔から伊勢などと比べコンサートとか少ない。  
○松坂城を復元してほしい。

##### ⑤男女共同参画の推進

○プラザ鈴の講座に通えない。車じゃないと行けないので。

#### 5. 安全・安心な生活

##### ①交通安全対策の充実

○他市より移転してきたが、松阪市は赤信号でも平気で車が出てくるのでびっくりした。もっ  
と取り締まってほしい。  
○松阪は交通のマナーがすごく悪く、特に自転車のマナーが悪いので厳しい規制をお願いします。  
○もっと交通マナーと交通指導を徹底してほしい。高齢者の歩道横切りなど、安全教育以前の  
問題も多い。  
○小学校半径1km以内をスクールゾーンエリアとし、午前7時~8時半は25km規制を行う。違  
反者、厳罰化ルールの改正を行う。道路にレーンマーク標識をつける。  
○深夜の暴走行為を警察との連携でなくしてほしい。

### ③防犯対策の充実

- 駅前通りを繁華街にし、夜間照明も増やし明るいまちに。防犯カメラの設置など犯罪のないまちに。
- 交通事故や空き巣など、治安が悪いので取り締まりを強化して下さい。

### ④防災・危機管理対策の充実

- 環境の変化や災害が多発する昨今ですが、三雲地域に避難タワーがありません。一刻も早く建設を望みます。
- 河川の推積土砂の定期的取り除きが必要。
- 海岸部に住んでいますが、早急に避難タワーの設置をお願いします。
- 生命尊厳を第一に考えて、一人の人を大切にす市政であってほしい。もしも、災害が発生した時に普通の市政、行政の真価が問われると思います。市民側も団結して乗り越えていくため、出来る事は知恵を出し合い行動に移して、結果（幸福を築く）として出していく事が大事ではないでしょうか。
- これまでに何十年前から名古屋川の川幅を拓げる等の要望、提案をしてきました。市民の身に危険が及ぶような案件は優先的に解決すべきではないでしょうか。是非調査審議を切に願います。
- 地域の特性か、危機意識に欠けると思います。災害に対する備えや非常事態の危機管理体制等を徹底してほしいです。
- 防災放送がほとんど聞こえない。
- 市政で最も大切なことは、災害等で混乱に陥らないよう、早く復旧させるためには日頃からどのような対策をとっておけばよいか考えておくということだと思います。社会福祉協議会との密なる連携、研修、縦割りにならず自治会、住民協議会、公共の機関等とのつながりを持って、いざという時にスムーズに対応できるよう、市長はじめ市の職員の方々は率先して日頃から研鑽に励んでいただきたいと思います。

## 6. 快適な生活

### ①自然と生活の環境保全

- 阪内川のほとりを散歩して、いつも「何と汚い川だろう」と思います。この川を公園のようにきれいに出来ないのだろうか。私の育った金沢では市長や県知事が協力して見事な川にしました。是非お願いします。
- 犬のフン、オシッコなど後片づけをしない人の罰則強化をお願いします。マナーの悪い人がたくさんいます。
- 道路を車で走っていて、景観を乱す看板が目にあまる。歴史的な良さを引き出すために、目立ちすぎる看板を規制してほしい。

○阪内川周辺、松坂城周辺の散策を日課にしていますが、犬のフンやペットボトルなどの放置が目立ちます。また、阪内川河川敷のゴミなどの放置や雑草、雑木の放置、特に左岸側は目に余るものがあります。市の中心を流れる阪内川のこのありさまは、観光・松阪にとって大きなマイナスだと思います。

## ②資源循環型社会の推進

○粗大ごみ等、ごみ集積場で扱いのできない物件について処理センターまで持ち込むということであるが、何らかの方法にて処理する方法を検討してほしい。

## ③地域公共交通の充実

- 老夫婦ですが足が痛くて車が運転できなくなりました。病院へ行くのに思うように行けず、タクシー代が高いので何とかしてほしいです。
- 松阪市も加速度的に進行する超高齢化社会に対する今後の対応は大きな課題であり、急務でもある。その一環として、運行しているコミュニティバスの動向も大いに関心を持っている。ニーズは高まる一方で、運営の厳しさは容易に想像できる。運賃の値上げもやむを得ないのではないか。ただ、税も投入されていると思うので、市税の公平な分担という視点からも、運行してほしい。ただ、税も投入されていると思うので、市税の公平な分担という視点からも、運行してほしい。ただ、税も投入されていると思うので、市税の公平な分担という視点からも、運行してほしい。ただ、税も投入されていると思うので、市税の公平な分担という視点からも、運行してほしい。
- 交通手段として、公務員、大企業の方達は、自家用車を通勤に使用せず、公共の交通機関を利用する努力をしてほしい。バスの利用者も増えて、路線を増やす事が出来るのではないのでしょうか。
- コミュニティバスも大切ですが、福祉タクシーなどが乗りやすいようにして下さい。
- バス等も利用しやすいように、すべてのバスをノンステップバスとし市民の利便性を図ってほしい。

## ④まちづくりの推進

- 駅前賑わいを取り戻すための計画と本町、魚町の昔（商人の町、宿場町）の街並みを復元し、観光名所としてほしい。
- 松阪牛が全国的に有名なのにあまりにも駅前が寂しいし、駅が古く汚い。全国から見ても恥ずかしくない駅前（せめて駅だけでも）を作してほしい。
- 駅周辺の現行都市計画の見直し。（農地を開発可能にしてほしい）
- 旧市内だけでなく、旧市外にもっと目を向けてほしい。駅周辺の再開発はあまり必要性を感じない。
- 私は10年前に他都市から松阪市へ来ました。それまでに勤務の都合上、全国各地で生活してきましたが、松阪は災害のないこと、食べ物が美味しいこと、おだやかな風土・人柄などから、住みやすさという点では3本の指に入ります。勤務も卒業しましたが、このまま松阪に永住することに決めました。ただ残念に思うことが少しあります。市の玄関口・松阪駅周辺の一等地の空洞化（駐車場化）。
- 松阪市の玄関が松阪駅でなく中川駅でもよい。市役所は殿町ではなく交通が便利な所へ。
- 昨年、将来の不安を感じ松阪市へ転居しました。独身でも住みやすいまちづくりをお願いします。
- 今まで同様に住み良いまちでありますようにお願いします。
- 高齢者が安全で安心して暮らせるまちであってほしい。

- 未来ある子どもたちが、ずっと松阪に住みたいと思えるようなまちづくりをお願いします。
- 豪商のまちづくりにたくさんお金をかけているイメージがある。
- 近鉄中川駅西口の北側周辺の道路を改修し、家を建てることも出来ない空地の活用を推し進めてほしい。また、将来のことを考えると電気ガス水道下水などのインフラ設備の抑制を図るためにも、住宅の集約が必要な時代がくると思われる。
- 市街化調整区域で増税化された上に、回りに騒音発生事務所が増え、ダブルで住みにくくなっている事を認識していますか。
- 私の住んでいる地区は市街化調整地区のため、他から移り住む人はほとんど無く、世帯数、人口は減るばかりです。市は周辺地域を見捨てているのでしょうか。

### ⑤景観の保全

- 観光都市を目指すためには景観の美しいまちづくりも大切な要素ではないか。

### ⑥道路・公園の整備

- 以前に比べ、自転車で走りやすい道路になってきて、嬉しく思っています。ただし、交差点での歩道の途切れた部分の段差がきついと思います。車椅子でも難しいのではないのでしょうか。
- 道路の消えかけた白線を明確にしてほしい。
- 通学路に危険な所があります。中万町の交差点に歩道橋を設置してもらえないでしょうか。
- 市内の幹線道路はライフラインの工事の後の整備が悪い。凹凸があり過ぎる。もっと計画性のある工事を行ってほしい。
- 道路の掘削工事が多すぎると思います。
- 道路が危ない。歩道整備が出来ていない。
- カーブミラーがない等、もう少し自治会の声を聞いてほしい。
- 狭い道を広くしてほしい。
- 劣化している道路を舗装し直してもらいたい。
- 狭い公園のフェンスや環境も設備してもらえたら助かります。
- 公園が少ない。

### ⑦上下水道の整備

- 10年近く前に松阪市に引っ越してきて驚いたことは、水道料金とプロパンガス代の高さです。水道料金は以前に住んでいた大阪の2ヶ月分相当です。それだけで住みづらいつ感じました。
- 他の市町村に比べて水道料が高い。
- 水道代が高い。住みにくさ No.1 である。津市など松阪市の半分くらいと聞きます。どうしてこうなるのか。なんとかしてほしいです。
- 下水道を前倒しで設置してほしい。

- 観光政策で施設建築をするより、下水とか身近な整備を進めてほしい。中心市街地以外の整備も大事なのではないですか。
- 下水道ができて何年も経つのにまだ浄化槽を使っている家がある。何とかありませんか。臭くてたまりません。
- 家庭排水がそのまま用水路に流されている。
- 水道使用量に汚水排除量が相等しいのはおかしい。上水を使用した分、全てが汚水にまわらないと思うし、洗車や植木等の散水は排除量に含まない。汚水使用単価は減額しても良いのでは。
- 水道メーターの検針も、電気・ガスメーターのようにスマートメーター化してほしい。

## ⑧中山間地域の振興

- 松阪市内だけでなく、過疎地へのサービス向上をお願いします。
- 私の住んでいる所（飯南）は田舎ですが、これからも不便なく暮らせますように願いたいです。中央集約ではなく、過疎地域にも配慮のある行政をお願いします。
- 過疎地域の対策を進めていただけるよう願うばかりです。土地と人材の有効活用を。
- 市街地より遠く離れた山間地域にも行き届いた市政をお願いします。
- 過疎化が進んでいる地域にリゾート地を作り活性化し、公共交通機関やショッピングモール、娯楽施設を増やす。

## 7. 市民のための市役所

### ①計画的な行政運営

- 毎晩のように22時を過ぎるくらいまで市庁舎の電灯が点いているのはおかしいのではないかと。
- 指定管理者制度の施設等には、定期的に監査等を入れて厳しくされたほうが良いと思います。
- 課の名前がよく変わったり、覚えにくい言葉が並べられたりして戸惑う事があります。年度で課の場所が変わるので、あまり変わらないようにしてほしい。
- 行政がすべき事を住協及び民生委員等が行動しているように思う。
- 日祝日や時間外対応を考えてほしい（平日は仕事をしているので行けない）。
- 総合窓口を早急に設置してほしい。
- 民間は、給料がどんどん減っているのだから、市職員ももっと下げるべき。大企業と比較せず、もっと中小・零細企業と比較すべき。
- 松阪市に住んで40年近くになりますが、日々、各方面に市職員の方が努力されている感じます。私は満足して住んでいます。
- 市民センター職員の時間外労働や休日出勤が多い。公民館行事等での代休を確実に取れるように配慮すべきです。
- 松阪市役所の職員さんの対応がいかげなもののかなと思う時がある。
- 能力を十分に活用できる場所になって下さい。人と人とのつながりも市政です。職員さんの活躍できる職場、明るい笑顔が市民の生活の安全安心、住みやすい松阪につながることを思います。

○人口減少、高齢化に伴い、本当の暮らしの良さは何かをしっかりと考えた市政運営、変えるべき所は変え、守るべきものは守る、ブレ無い姿勢で行ってほしいものです。

## ②市民との情報共有

○市役所での手続きについて、広報等で月に1つずつでいいので説明の紙面などを作っていただけるとありがたいです。切り抜いて置いておけるように。

○パソコンを持ってない、使っていない者も私だけではないと思います。詳しいことはホームページでとか、手続きはファックスかメールでなどを書いてあると不快感があります。出来れば、手紙とか電話にしてほしいと思います。

○市長さん、市議会議員の方々は、もっと地域とかかわってほしいです。活動の内容が記事だけでは解りづらい。いつ、どこで、誰が、市議会の報告をされるのかを知らせてほしい。

○市長と直接お話できる場に一度参加させてもらったが、私たちが困っていることなど直接聞いていただき、とても良い会だと思いましたので、これからもそのような場を設けてほしい。

## ③健全な財政運営

○市の借金を減らしてください。

○もう少しお金の使い方を考えてほしい。

○古い人より若い人の声に耳を傾けるように。今後の財政はもっともっと厳しくなるのでそのことを納税者に隠すことがないようにお願いしたい。

○厳しい財政だとは思いますが、財政難に陥ることのないように舵取りして下さい。とにかく小手先のことだけを考えるのではなく、遠い将来を見据えて日々の生活に役立つ方向に行くといいかなと思います。

○立派で大きな市役所の建設。

○税金は職員に払うのではない。市民に還元することを考え行動する人に払いたい。その姿勢と話芸を見せてほしい。

## 8. その他

### ①市議会

○市会議員の定数問題は解決しましたか。まだまだ人数的に多いと感じます。

○市長、議員の方々が地域活動に参加していただけると、とても嬉しいです。

○本当の市政を各議員が考えて、安全なことを早急に実現してもらいたい。何にもできないのなら議員は半分に減らすとか、各人が責任を強く持ってもらいたい。

### ②アンケートについて

○質問項目が多いです。もう少し減らしてもらえると助かります。調査用紙の量に対しての封筒のサイズが合っていないです。

- できればアンケート送ってこないで下さい。
- このようなアンケート調査はとても良い事だと考えます。このアンケート結果で市政に何か役に立てればと思います。将来を見据えた松阪市づくりに期待しています。
- このアンケートは高齢者用ではありません。高齢者と若者向を分けるべき。記入する必要のない問が多かったです。
- もっと短い間にして、多くの人から意見をまとめて、かつ、年に 2 回ぐらいにしてやって下さい。3,000 人は少なすぎる、最低 5,000 人以上で。
- こんな事をするのだったら年金暮らしの人の税金をなくしてほしい。こんなアンケート意味がないと思う。絶対に良くはならないと思う。
- このアンケートは対象が多すぎる。もう少し分野をしばって行くほうが良い。このアンケートの費用は莫大だと思う。無駄なくアンケートの結果を反映させて市政等を進めてほしい。
- 意見を聞き、分析、数字で見せるだけでは結果は出ない。もっと項目を絞る事が必要ではないか。
- 定期的に各自治会へアンケート調査をお願いしたいと思う。
- 高校生では答えられない問題が多すぎました。「わからない」の選択肢がほしかった。
- こういったアンケートで少しでも改善していく試みは有難いと思いますが、もう少し項目に分けてアンケートしていただくとありがたい。
- このアンケートでは、どのような傾向にあるか、政策の何を優先させるべきかを知る目的で実施されたものと思われませんが、選択できない大切な項目は多くあり、それだけに優先順位をつけるよりは、並行に取り組めるよう、分業、分担して提案し地元の声をよく聴き、足を運び、地道に積み重ねていくことでよりよい施策を進めていってほしいと思います。
- 他県の出身で松阪市に引っ越してまだ 3 カ月ほどのため、松阪市のことがまだまだ分からない状況での回答でした。しかしながら、今回の調査を通して、松阪を知る 1 つのきっかけになったので、これからどんどん松阪について知っていこうと思います。



## V 調査票



問2. あなたの現在の状況についておうかがいします。

(1) 健康だと思いますか。(Oは1つだけ)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 健康だと思う           | 2. どちらかという与健康だと思う |
| 3. どちらかという与健康だと思わない | 4. 健康だと思わない       |
| 5. わからない            |                   |

(2) 現在の生活に満足していますか。(Oは1つだけ)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 満足している          | 2. どちらかというと満足している |
| 3. どちらかというと満足していない | 4. 満足していない        |
| 5. わからない           |                   |

(3) 生活に経済的な余裕はありますか。(Oは1つだけ)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. ある         | 2. どちらかというとある |
| 3. どちらかというとない | 4. ない         |
| 5. どちらともいえない  |               |

(4) 将来の生活に不安を感じていますか。(Oは1つだけ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている          | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない        |
| 5. どちらともいえない      |                  |

問3. あなたの生きがいについておうかがいします。

(1) 人から頼りにされていると感じていますか。(Oは1つだけ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている          | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない        |
| 5. わからない          |                  |

(2) 社会に貢献(他人のために何かを)していると感じていますか。(Oは1つだけ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている          | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない        |
| 5. わからない          |                  |

(3) 自分が活躍する場はありますか。(Oは1つだけ)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. ある         | 2. どちらかというとある |
| 3. どちらかというとない | 4. ない         |
| 5. どちらともいえない  |               |

(4) 余暇は充実していますか。(Oは1つだけ)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 充実している          | 2. どちらかというと充実している |
| 3. どちらかというと充実していない | 4. 充実していない        |
| 5. どちらともいえない       |                   |

(5) 生きがいにしているものはありますか。(Oは1つだけ)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. ある           | 2. どちらかというところ |
| 3. どちらかというところない | 4. ない         |
| 5. どちらともいえない    |               |

(6) 地域への愛着はありますか。(Oは1つだけ)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. ある           | 2. どちらかというところ |
| 3. どちらかというところない | 4. ない         |
| 5. どちらともいえない    |               |

問4. あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(Oは1つだけ)

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1. している             | 2. どちらかというところ |
| 3. どちらかというところとしていない | 4. していない      |
| 5. どちらともいえない        |               |

(2) 健康づくりのために、ウォーキングや体調管理をしていますか。(Oは1つだけ)

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1. している             | 2. どちらかというところ |
| 3. どちらかというところとしていない | 4. していない      |
| 5. どちらともいえない        |               |

(3) かかりつけ医がいますか。(Oは1つだけ)

- |        |
|--------|
| 1. いる  |
| 2. いない |

(4) あなたはこの1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。

(Oは1つだけ)

- |            |           |            |
|------------|-----------|------------|
| 1. ほぼ毎日    | 2. 週に4~5回 | 3. 週に2~3回  |
| 4. 週に1回    | 5. 月に2~3回 | 6. 月に1回    |
| 7. 年に6~10回 | 8. 年に1~5回 | 9. 特にしていない |

(5) 最近(この2~3年間で)、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。

(Oは1つだけ)

- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| 1. よく利用する                  | 2. たまに利用する(年に数回程度) |
| 3. あまり利用しない(これまでに数回利用した程度) | 4. 利用したことがない       |

問5. あなたの結婚や子育てについてのお考えなどをおうかがいします。

(1) あなたの婚姻状況について(Oは1つだけ)

- |               |       |          |
|---------------|-------|----------|
| 1. 既婚(事実婚を含む) | 2. 未婚 | 3. 離別・死別 |
|---------------|-------|----------|

(2) あなたはお子さん(自立しているお子さんも含む)がいらっしゃると思いますか。

(Oは1つだけ)

- |       |                    |        |
|-------|--------------------|--------|
| 1. 1人 | 2. 2人              | 3. 3人  |
| 4. 4人 | 5. 5人以上(具体的に____人) | 6. いない |

《(2)で「1」～「5」とご回答いただいた方にお聞きいたします。》((3)のみ)

(3) お子さんの就学区分をお答えください。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| 1. 保育園                 | 2. 幼稚園      |
| 3. 小学生                 | 4. 中学生      |
| 5. 高校生                 | 6. 大学生・大学院生 |
| 7. その他(乳幼児・社会人・無職等を含む) |             |

※高等専門学校生の方は、3年生までは「5」、4年～5年生は「6」に○をつけてください。

(4) あなたにとって、理想的な子どもの数をお答えください。(○は1つだけ)

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1. 1人               | 2. 2人       |
| 3. 3人               | 4. 4人       |
| 5. 5人以上(具体的に_____人) | 6. 子どもはいらない |
| 7. わからない            |             |

(5) 松阪市における子育ての環境や支援への満足度について、あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。(○は1つだけ)

- |        |          |
|--------|----------|
| 1. 満足  | 2. やや満足  |
| 3. ふつう | 4. やや不満  |
| 5. 不満  | 6. わからない |

問6. あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

(1) あなたのお住まいの地域の住民協議会(まちづくり協議会)<sup>\*</sup>を知っていますか。

(○は1つだけ)

- |          |                       |         |
|----------|-----------------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない | 3. 知らない |
|----------|-----------------------|---------|

※住民協議会(まちづくり協議会)とは、地域の住民等が身近な地域の課題を自主的に解決し、地域の特性を生かして自律的にまちづくりを行う組織。

(2) あなたのお住まいの地域の住民協議会(まちづくり協議会)に期待する活動は何ですか。(○は3つまで)

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 防災、防犯、交通安全等に関する事   | 2. 福祉、健康づくり等に関する事 |
| 3. 環境美化、環境保全等に関する事    | 4. 住環境整備に関する事     |
| 5. 歴史、文化、伝統継承に関する事    | 6. 産業振興等に関する事     |
| 7. 地区住民の交流または連帯に関する事  | 8. 地区の団体育成に関する事業  |
| 9. 他の地区との交流または連携に関する事 | 10. 特になし          |

(3) あなたはお住まいの地域の住民協議会(まちづくり協議会)のまちづくり活動に参加していますか。(○は1つだけ)

- |               |
|---------------|
| 1. 積極的に参加している |
| 2. ときどき参加している |
| 3. 参加していない    |

問7. あなたが幸福な生活を送るにあたって望むことについておうかがいします。

(1) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 健康であること          | 2. 食生活が良好であること      |
| 3. 住まいがあること         | 4. 生活に経済的な余裕があること   |
| 5. 家族との関係が良好なこと     | 6. 災害に対する備えができていること |
| 7. 治安が保たれていること      | 8. 食の安全が保たれていること    |
| 9. 生活環境が良好なこと       | 10. 近所づきあいが良好なこと    |
| 11. 地域活動・行事に参加できること | 12. 地域に憩いの場があること    |
| 13. 頼れる人がいること       | 14. 地域に愛着があること      |
| 15. 人から頼りにされること     | 16. 自分が活躍する場があること   |
| 17. 社会に貢献していると感じること | 18. 働く場所があること       |
| 19. 仕事にやりがいを感じることを  | 20. 生きがいがあること       |
| 21. 余暇が充実していること     | 22. その他 ( )         |

(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになるのが良いと思いますか。

(〇は3つまで)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 健康づくりが盛んなまち        | 2. 安心して医療を受けることができるまち |
| 3. 安心して子育てができるまち      | 4. 誰もが安心して働くことができるまち  |
| 5. 充実した教育を受けることができるまち | 6. 生涯学習をとおして生きがいもてるまち |
| 7. 地域の産業や商業に活力があるまち   | 8. リサイクルなど環境に配慮したまち   |
| 9. 地域コミュニティが活発なまち     | 10. ごみが落ちていない美しいまち    |
| 11. 緑とうるおいのあるまち       | 12. 芸術・文化にふれあえるまち     |
| 13. 犯罪が少ないまち          | 14. 災害に強いまち           |
| 15. 交通事故が少ないまち        | 16. 交通の利便性が高いまち       |
| 17. 歴史や文化を生かした観光のまち   | 18. 地域ブランドを生かしたまち     |
| 19. 市街地に高層ビルが並ぶ都市化のまち | 20. その他 ( )           |

問8. あなたは今、幸せだと感じますか。(〇は1つだけ)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. とても幸せだと感じる       | 2. どちらかという幸せだと感じる |
| 3. どちらかという幸せでないと感じる | 4. 幸せでないと感じる      |
| 5. どちらともいえない        |                   |

問9. 問8の質問で、幸せを判断するときに重視したことは何ですか。

(次のうちから重視した順に3つまでお書きください。)

回答欄 重視した順 1位 \_\_\_\_\_ 2位 \_\_\_\_\_ 3位 \_\_\_\_\_



- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 健康         | 2. 食生活             |
| 3. 住居         | 4. 家計(所得・消費)       |
| 5. 家族との関係     | 6. 友人との関係          |
| 7. 職場の人間関係    | 8. 充実した余暇(趣味・社会貢献) |
| 9. 仕事(やりがいなど) | 10. 地域コミュニティとの関係   |
| 11. 政治・行政の状況  | 12. その他 ( )        |

問 10. 市全般に関することについておうかがいします。

(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(〇は3つまで)

1. 公園や憩いの施設が整っている	2. 緑が比較的多く自然環境に恵まれている
3. 道路が整備されている	4. バスや鉄道など、公共交通の便が良い
5. 買い物が便利	6. 働く場所がある
7. 子育てや子どもの教育の環境が整っている	8. 保健・福祉施設が整っている
9. 文化・スポーツなどの施設が整っている	10. 医療施設、救急医療が整っている
11. 人と人とのつながりがある	12. 市政に参加する機会が多い
13. 治安が良い	14. 防災対策が進んでいる
15. 騒音などの公害が少ない	16. 歴史や伝統がある
17. 商業や事業を行うのに有利	18. 情報・通信が整備されている
19. 市の情報公開や情報提供が積極的	20. ごみが落ちていない
21. 観光資源が豊富	22. 食べ物がおいしい
23. 交通マナーが良い	24. 空気がきれい
25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されている	26. その他 ( )

(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(〇は3つまで)

1. 公園や憩いの施設が整っていない	2. 緑が少なく自然環境に恵まれていない
3. 道路が整備されていない	4. バスや鉄道など、公共交通の便が悪い
5. 買い物が不便	6. 働く場所がない
7. 子育てや子どもの教育の環境が整っていない	8. 保健・福祉施設が整っていない
9. 文化・スポーツなどの施設が整っていない	10. 医療施設、救急医療が整っていない
11. 人と人とのつながりが薄い	12. 市政に参加する機会が少ない
13. 治安が悪い	14. 防災対策が遅れている
15. 騒音などの公害が多い	16. 歴史や伝統がない
17. 商業や事業を行うのに不利	18. 情報・通信が整備されていない
19. 市の情報公開や情報提供が消極的	20. ごみが落ちている
21. 観光資源が少ない	22. 食べ物がおいしくない
23. 交通マナーが悪い	24. 空気が汚れている
25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されていない	26. その他 ( )

(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)

1. 住みやすい	2. どちらかという住みやすい
3. どちらかという住みにくい	4. 住みにくい
5. どちらともいえない	

問 11. 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(32)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	満 足 度					重 要 度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
(1) 地震や台風などの災害に強いまちづくり (防災対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 交通事故のないまちづくり (交通安全対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり (防犯対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 快適に暮らせる地域づくり、中心市街地の賑わいをつくるまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 安全で快適に利用できる道路づくり、津波など災害に強い海岸の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 地域の路線バスの充実とバス路線のない地域の移動手段の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供 (上水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 生活排水や雨水を適切に処理し、浸水に強いまちづくり (下水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 市営住宅など、安全で快適に生活できる住まいづくり (住環境の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組 (自然環境の保全)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) ごみを減らしたり、ごみを再利用する取組 (廃棄物 (ごみ) 対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) お年寄りの方が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 障がいを持つ方が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 子どもたちがのびのび育つ環境づくり (児童・家庭福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり (学校教育の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり (生涯学習の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満 足 度					重 要 度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	でない	あまり重要でない
(20) 地域の伝統芸能や芸術文化を生かしたまちづくり（文化活動の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加できる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 地域の特色を生かした農林水産業の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 魅力的な商店街づくりや中小企業の支援など地域の産業を育てる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 地域の文化や歴史を生かした観光政策や観光客の誘致の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 働く人がいきがいをもち働ける魅力ある環境づくり（雇用・勤労者対策）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり（人権の尊重）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 市民と行政との協働を推進するまちづくり（市民参加の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) 外国人住民にも暮らしやすいまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 市民生活の利便性を高める情報通信社会の取組（情報・通信の整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) 市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 12. あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。

（○は1つだけ）

1. 満足	2. やや満足	3. ふつう	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	--------	---------	-------

問 13. あなたは松阪市の総合計画「住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪」を知っていますか。（○は1つだけ）

1. 知っている	2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない	3. 知らない
----------	-----------------------	---------

## 幼稚園及び小中学校におけるエアコンの設置について

これまで幼稚園及び小中学校には夏休みがあることなどから、一部の教室を除いてエアコンが設置されていません。しかし、夏の気温が上昇傾向にあり、熱中症対策、授業中の集中力向上等の観点から、教室にエアコンの設置を求める声をいただいています。

エアコンの設置の現状については幼稚園では、3歳児保育室、遊戯室、職員室にエアコンを設置しています。しかし、4歳・5歳児の保育室には設置していません。なお、保育園は夏休みが無いことや長時間保育を行っていることなどから、すべての保育室にエアコンが設置されています。

小中学校では、保健室、図書室、パソコン教室、特別支援学級の一部、校長室、職員室に設置していますが、使用頻度の高い普通教室などには、設置していません。

### 【エアコン導入のメリット】

- ① 体温調整が難しい子どもにとって健康維持がはかれる。
- ② 最近の温暖化により40度を超える教室もあり、熱中症予防になる。
- ③ 夏休みの補習等、暑い時でも授業に集中できる。

### 【エアコン導入のデメリット】

地球温暖化に拍車がかかる。(CO<sub>2</sub>増加等)

この幼稚園及び小中学校へのエアコン設置に関して、以下の問いにお答えください。

問 14. 幼稚園及び小中学校の教室にエアコンは必要だと思いますか。(○は1つだけ)

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. 必要だと思う・・・問 15、問 16へ | 2. 必要ではない・・・問 17へ |
| 3. どちらでもない             |                   |

≪問 14で「1. 必要だと思う」とご回答いただいた方にお聞きいたします。≫ (問 15～問 16)

問 15. その理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 熱中症が心配だから                     | 2. 健康維持のため            |
| 3. 授業への集中力が高まるから                 | 4. 学力が上がると思われるから      |
| 5. 食中毒の予防につながるから                 | 6. 地球温暖化等で暑くなってきているから |
| 7. エアコン設置が今の時代一般的だから             |                       |
| 8. 自宅にエアコンがあり自宅同様の環境で授業を受けさせたいから |                       |
| 9. その他 ( )                       |                       |

問 16. 教室にエアコンが設置された場合、今後の松阪市の教育にどのようなことを期待しますか。ご自由にお書きください。

--

≪問 14で「2. 必要ではない」とご回答いただいた方にお聞きいたします。≫ (問 17のみ)

問 17. その理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 設置及び運用に多額の費用を要するから                   |
| 2. (学校には夏休み等があり)空調機器の使用期間を考えると必要ないと思うから |
| 3. 教室の室温低下が体の冷えなど健康面にマイナスとなるから          |
| 4. 教室と教室外との気温差などから服装の選択が難しくなるから         |
| 5. 地球環境面からみてマイナスと思うから                   |
| 6. 扇風機の設置など空調機器以外の方法もあると思うから            |
| 7. その他 ( )                              |

問 18. 幼稚園及び小中学校へのエアコン設置等に関してのお考えをご自由にお書きください。

--

## 幼稚園及び小中学校のトイレ洋式化について

幼稚園及び小中学校におけるトイレの状況（職員用と児童生徒用の合計で算出）

【平成29年4月現在】

小学校では、洋式が約30.2%、和式は69.8%が設置されています。

中学校では、洋式が約21.5%、和式は78.5%が設置されています。

幼稚園では、洋式が約72.3%、和式は27.7%が設置されています。

今後の幼稚園及び小中学校のトイレの洋式化を進めることについて、以下の問いにお答えください。

問 19. 幼稚園及び小中学校のトイレの洋式化を、現状より進めることが必要と思いますか。

(○は1つだけ)

1. 必要だと思う・・・問 20、問 21 へ
2. 必要ではない・・・問 22 へ
3. どちらでもない

≪問 19 で「1. 必要だと思う」とご回答いただいた方にお聞きいたします。≫ (問 20～問 21)

問 20. 全体として洋式と和式の割合は、どのくらいがよいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 洋式化率100%
2. 洋式化率99%～71%
3. 洋式化率70%～51%
4. 洋式化率50%
5. 洋式化率49%～41%

問 21. その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 洋式に慣れているから
2. 生活様式が変わり、洋式が一般的になっているから
3. 足腰に負担がかからないから
4. 清潔なイメージがあるから
5. 子ども達が和式を使用したことがあまりなく敬遠するから
6. その他 ( )

≪問 19 で「2. 必要ではない」とご回答いただいた方にお聞きいたします。≫ (問 22 のみ)

問 22. その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 和式に慣れているから
2. 改修費用を要するから
3. 足腰が弱くなるから
4. 和式より洋式の方が掃除の負担が大きいから
5. 和式にも対応できるようになって欲しいから
6. 他の人が使う洋式は使いたくないから
7. その他 ( )

問 23. 子どもたちが通常使うトイレを洋式化した場合、洋式トイレの種類は、次のうちどれが最適と考えますか。(○は1つだけ)

1. 通常の洋式便座（温水洗浄機能や暖房機能がない洋式便座）
2. 暖房便座（温水洗浄機能はなく、暖房機能のみの洋式便座）
3. 温水洗浄機能付き暖房便座
4. わからない

問 24. 幼稚園及び小中学校のトイレの洋式化に関してのお考えをご自由にお書きください。

## ひとり親・多子世帯への支援策について

国の統計では、ひとり親世帯はこの25年間で、母子家庭は1.5倍、父子家庭は1.3倍に増加しています。

ひとり親世帯には、児童扶養手当の支給など経済的支援や資格取得への就業支援などの施策がありますが、平均年間就労収入を一般世帯の女性又は男性と比較すると、母子家庭は67%、父子家庭は71%であり、子どもの大学等への進学率は、全世帯が54%であるのに対して、ひとり親世帯は24%にとどまっており、親の経済状況の影響を受けていると考えられます。

また、多子世帯においても、児童手当の加算支給、幼稚園・保育園の保育料負担軽減制度などがありますが、ひとり親世帯と同様に、経済的に厳しい状況に置かれた世帯が多いと考えられ、社会全体で支援していくことが必要となっています。

問 25. あなたは、ひとり親世帯（子どもが18歳未満）ですか。（○は1つだけ）

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 26. あなたは、ひとり親世帯（子どもが18歳未満）の子育てには、更なる支援が必要だと思いませんか。（○は1つだけ）

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| 1. 母子家庭に必要          | 2. 父子家庭に必要 |
| 3. 母子家庭・父子家庭どちらにも必要 | 4. 必要なし    |

◀問 26 で、「1」～「3」とご回答いただいた方にお聞きいたします。▶（問 27 のみ）

問 27. あなたは、ひとり親世帯（子どもが18歳未満）の子育てには、どのような支援が必要だと思いませんか。（○は3つまで）

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 経済的負担の軽減              | 2. 就職又は再就職への支援       |
| 3. 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備   | 4. 教育・保育環境の整備        |
| 5. 保健・医療の充実              | 6. 地域における子育て支援       |
| 7. 総合的な相談事業や情報提供         | 8. 子育てしやすいまちの環境面での充実 |
| 9. 両親・きょうだい・祖父母など身近な人の支援 | 10. わからない            |
| 11. その他（                 | ）                    |

問 28. あなたは、多子世帯（18歳未満の子どもが3人以上）ですか。（○は1つだけ）

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

◀問 28 で「1. はい」とご回答いただいた方にお聞きいたします。▶（問 29 のみ）

問 29. 18歳未満のお子さんは何人ですか。（○は1つだけ）

- |       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 1. 3人 | 2. 4人 | 3. 5人以上 |
|-------|-------|---------|

問 30. あなたは、多子世帯（18歳未満の子どもが3人以上）の子育てには、更なる支援が必要だと思いませんか。（○は1つだけ）

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 子どもが3人以上の世帯に必要 | 2. 子どもが4人以上の世帯に必要 |
| 3. 子どもが5人以上の世帯に必要 | 4. 必要なし           |

◀問 30 で、「1」～「3」とご回答いただいた方にお聞きいたします。▶（問 31 のみ）

問 31. あなたは、多子世帯（18歳未満の子どもが3人以上）の子育てには、どのような支援が必要だと思いませんか。（○は3つまで）

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 経済的負担の軽減              | 2. 就職又は再就職への支援       |
| 3. 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備   | 4. 教育・保育環境の整備        |
| 5. 保健・医療の充実              | 6. 地域における子育て支援       |
| 7. 総合的な相談事業や情報提供         | 8. 子育てしやすいまちの環境面での充実 |
| 9. 両親・きょうだい・祖父母など身近な人の支援 | 10. わからない            |
| 11. その他（                 | ）                    |

### 交通安全対策について

問 32. 松阪市は他自治体に比べて交通事故が多いことを知っていますか。(○は1つだけ)

1. よく知っている 2. 少し知っている 3. あまり知らない 4. 全く知らない

問 33. 松阪市で交通事故が多い原因は何だと思えますか。(○はいくつでも)

1. ドライバーが交通ルールやマナーを守らない  
2. 歩行者や自転車運転者が交通ルールやマナーを守らない  
3. スピードを出せる道路が多い 4. 道幅が狭い道路が多い  
5. 警察の取締頻度が少ない 6. その他 ( )

問 34. 松阪市の交通安全対策は、ソフト面、ハード面のどちらの対策を優先すべきだと思いますか。(○は1つだけ)

1. ソフト面 (交通安全啓発、交通安全教育など) 2. ハード面 (道路の整備など)

問 35. 交通事故を減少させるため、どのような活動が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 交通安全教室等による交通安全教育 2. 広報車による広報活動  
3. イベント等での啓発活動 4. 地域と連携した啓発活動  
5. のぼり旗等の設置 6. 路面標示の塗り直し  
7. 交通規制の見直し 8. 交通取締の強化  
9. カーブミラーの増設 10. 道路拡張等の道路改良  
11. その他 ( )

問 36. あなたは自転車に乗りますか。(○は1つだけ)

1. ほぼ毎日乗る 2. 週に2～3回乗る  
3. 週1回以下しか乗らない 4. 全く乗らない

≪問36で「1」～「3」とご回答いただいた方にお聞きいたします。≫ (問37～問38)

問 37. あなたは現在自転車保険に加入していますか。(○は1つだけ)  
加入している方は保険の種類もお選びください。

1. 加入している  
→ (1)TSマーク付帯保険 (2)民間保険会社の保険 (3)その他の保険 ( )  
2. 加入していない

問 38. 自転車保険への加入を促進するためには、どのような施策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 自転車保険の重要性に関する啓発 2. 自転車保険に関する案内窓口の設置  
3. 加入の義務化 4. 加入に対する県や市の補助  
5. その他 ( )

≪65歳以上の方で自動車運転免許証(二輪を含む)をお持ちの方にお聞きいたします。≫ (問39～問41)

問 39. 運転免許証自主返納制度<sup>※</sup>を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

<sup>※</sup>運転免許証自主返納制度とは、加齢に伴う身体機能や判断力の低下などにより、運転に不安を感じる方が、自主的に運転免許の取消し(全部取消し又は一部取消し)を公安委員会に申請することができる制度のこと。

問 40. あなたは将来的に自主返納するつもりはありますか。(○はいくつでも)

1. 身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである  
2. 一定の年齢になったら返納するつもりである  
3. 返納者への支援対策等が整備されれば返納するつもりである  
4. 家庭の事情等で運転する必要が無くなれば返納するつもりである  
5. 返納するつもりはない

問 41. 返納者に対してどのような支援対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 公共交通機関(タクシーを含む)の運賃割引 2. 公共交通機関の増発  
3. バスの運行範囲拡大 4. 地域での乗合制度の推進  
5. 買い物等での代金割引 6. 移動販売の拡充  
7. 訪問診療制度の拡充 8. その他 ( )

## コミュニティ交通について

問 42. ご家族（あなたを含みます。以下同じ。）で、日常生活においてバス（民間路線バス、コミュニティバスを問いません。以下同じ。）を利用される方はいらっしゃるでしょうか。いらっしゃる場合、その利用頻度はどのくらいですか。

（複数人いらっしゃる場合は、○はいくつでも）

1. いない                      2. 月 1～3 回程度                      3. 週 1～3 回程度                      4. 週 4 回以上

≪問 42 で「1. いない」とご回答いただいた方にお聞きいたします。≫（問 43～問 44）

問 43. 利用されない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 近くにバス停がない                      2. 適当な運行ダイヤがない  
3. 運賃が高い                      4. 移動手段は他の方法（自動車、自転車など）  
5. その他（                      ）

問 44. ご家族にとって、現在あるいは近い将来、バスは必要ですか。（○は 1 つだけ）

1. 必要である                      2. 近い将来必要となる                      3. 必要でない

≪問 42 で「2」～「4」とご回答いただいた方にお聞きいたします。≫（問 45 のみ）

問 45. バスの主な利用目的は何ですか。（○は 1 つだけ）

1. 買い物                      2. 通院                      3. 通勤・通学  
4. 飲食・レジャー                      5. その他（                      ）

問 46. 市内または隣接市町で、バスを運行すれば出かける、あるいは便利だと思うところはどこですか。具体的な市町名・施設名をお答えください。

[                      市・町(地域)の                      ]  
[                      市・町(地域)の                      ]  
[                      市・町(地域)の                      ]

松阪市運営のコミュニティバス関係の予算は、平成 28 年度は約 1 億 3,000 万円、平成 29 年度は約 1 億 4,000 万円で、年々増加しています。

問 47. コミュニティバス関係予算のうち、大部分を占める運行経費は、運賃（約 2,480 万円）のほか、松阪市の特色である、企業や地域・沿線住民からの協賛金（約 1,520 万円）により賄われていることをご存知ですか。（○は 1 つだけ）

1. 知っていた                      2. 知らなかった

運賃は、コミュニティバスの運行経費に対する重要な財源となるもので、その運賃は多くの路線を 100 円（一部 200 円）で運営しています。

バスの運行経費は、運転手の高齢化・運転手不足、安全運行のための車両維持費などを要因に、年々増加しつつあります。その一方で、人口減少や過疎化が進む地域では、運賃収入は減少し、財政負担が増えつつあることから、現在、運賃値上げの議論があります。

問 48. この現状をふまえて、あなたはコミュニティバスの運賃がいくらまでなら利用しますか。（○は 1 つだけ）

1. 100 円まで                      2. 200 円まで                      3. 300 円まで  
4. 500 円まで                      5. その他（                      ）

問 49. 運行経費が増加する一方で、依然として公共交通の利用が困難な地域があり、過疎化・高齢化社会の進展や運転免許の自主返納者の増加などを要因として、コミュニティバスに対するニーズも高まっています。松阪市のコミュニティ交通について、あなたの考えに 1 番近いものはどれですか。（○は 1 つだけ）

1. 必要なものであるから、積極的に経費をかけて路線を拡充  
2. 現在の路線を維持しながら、公共交通利用が困難な地域を中心に路線を拡充  
3. 現在の路線を維持していくことで十分  
4. 利用の少ない路線やバス停の合理化・廃止などにより経費を削減

### 救急医療体制などについて

問 50. 休日夜間応急診療所など休日や年末年始、夜間に初期救急に対応する診療所をご存知ですか。(以下、「応急診療所」といいます。)(○は1つだけ)

1. 知っていた
2. 知らなかった

問 51. 松阪市の休日夜間の応急診療は、「休日夜間応急診療所(春日町)」と松阪市が委託している「いおうじ応急クリニック(久保町)」があります。ご存知でしたか。(○は1つだけ)

1. 両方知っていた
2. 休日夜間応急診療所のみ知っていた
3. いおうじ応急クリニックのみ知っていた
4. 両方知らなかった

問 52. 今までに、「休日夜間応急診療所(春日町)」、「いおうじ応急クリニック(久保町)」を受診したことがありますか。(○は1つだけ)

1. 「休日夜間応急診療所(春日町)」を受診したことがある
2. 「いおうじ応急クリニック(久保町)」を受診したことがある
3. 両方受診したことがある
4. 受診したことはない

≪問 52 で「1」～「3」とご回答いただいた方にお聞きいたします。≫(問 53 のみ)

問 53. かかりつけ医などの医療機関を受診せず応急診療所を受診した理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 診療時間外の急病・不意なケガ
2. 診療時間内は仕事の都合で受診できなかった
3. 診療時間内は家族の都合で受診できなかった
4. その他 ( )

問 54. 応急診療所は、応急的な診療のみで、後でかかりつけ医など医療機関にかかっているだけで必要があります。このことをご存知ですか。(○は1つだけ)

1. 知っていた
2. 知らなかった

問 55. 急な発熱、不意のケガなど応急手当等の相談に医師、看護師、保健師等が 24 時間無料で相談ができる「松阪地区救急相談ダイヤル 24」(☎0120-4199-17)をご存知ですか。(○は1つだけ)

1. 知っていた
2. 知らなかった



## 働き方改革について

### ◎時間外労働の削減

問 60. ご家族（あなたを含みます。）の中で、働いている方はいらっしゃいますか。（複数人いらっしゃる場合は、主に生計を維持している方についてご回答ください。）

（〇は1つだけ）

1. いる
2. いない

≪問 60 で「1. いる」とご回答いただいた方にお聞きいたします。≫（問 61 のみ）

問 61. 職場で定められた1日の労働時間を上回って労働することがどのくらいありますか。

（〇は1つだけ）

1. ない
2. 月 1～3 回程度
3. 週 1～3 回程度
4. ほぼ毎日

問 62. 時間外労働の削減のためにどのような取組が必要だと思いますか。

（〇はいくつでも）

1. 経営者・事業主が主導する自発的な意識改革
2. 長時間労働の抑制に対する労使間交渉
3. 職場におけるIT環境の改善
4. 従業員の能力開発や自己啓発への支援
5. 業務改善の実施（「残業事前承認制度」「従業員間の労働時間の平準化」など）
6. 定時退社の徹底（「ノー残業デー」「ノー残業ウィーク」の導入など）
7. 勤務体系の見直し（「変形労働時間制」「フレックスタイム制」の導入など）
8. 有給休暇取得の促進（月1日取得、連休に絡めた連続取得の徹底など）
9. プレミアム・フライデーの推奨と徹底
10. 必要ない
11. わからない
12. その他（ )

### ◎ワーク・ライフ・バランス

問 63. 「ワーク・ライフ・バランス」※ について知っていますか。（〇は1つだけ）

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが、意味は知らない
3. 言葉も意味も知らない

※ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、働くすべての方々が「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

問 64. 満足した「ワーク・ライフ・バランス」がとれていると思いますか。

（〇は1つだけ）

1. とれている
2. どちらかといえばとれている
3. どちらかといえばとれていない
4. とれていない
5. わからない

問 65. 「ワーク・ライフ・バランス」を充実させようとする際に、課題と感ずることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 仕事が忙しい
2. 家庭生活を大切にすることについて、職場の理解・協力が得られない
3. 会社等で育児や介護等の休暇制度が整備されていない、または取得しにくい
4. 経済的余裕がない
5. 家事等について、家族の理解・協力が得られない
6. 育児について、子の預け先がない、または保育時間が希望に合わない
7. 介護について、介護施設に預けられない、または希望に合った施設が見つからない
8. 自分の趣味や習い事が忙しい
9. 健康上の問題
10. 課題と感ずることはない
11. わからない
12. その他 ( )

問 66. 「ワーク・ライフ・バランス」が実現された社会に近づくために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 一人ひとりが、ワーク・ライフ・バランスの考え方について理解を深める
2. 家族で話し合い、家事・育児・介護などを協力し合う
3. 会社等が、育児や介護等の休暇制度を整備・充実させる
4. 会社等が、有給休暇の取得や労働時間の削減に向けた取組を進める
5. 会社等が、ワーク・ライフ・バランスの考え方に関する社員教育を実施する
6. 行政が、ワーク・ライフ・バランスの考え方を会社等や市民に啓発する
7. 行政が、子育て支援に関する施策を充実させる
8. 行政が、介護支援に関する施策を充実させる
9. 松阪市全体でプレミアム・フライデーを推奨・徹底する
10. 必要ない
11. わからない
12. その他 ( )

### ◎女性や高齢者の労働環境づくり

問 67. 女性や高齢者が長く働ける労働環境づくりのためにどのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 女性社員の活躍機会の拡大      | 2. 残業削減                 |
| 3. 休暇取得の促進           | 4. 出産育児支援               |
| 5. 男性の育児休業取得の支援      | 6. 介護支援                 |
| 7. 育児・介護休業者への職場復帰の支援 | 8. 就業形態や就業時間など多様な働き方の取組 |
| 9. 高齢者の就業促進          | 10. 定年制度の延長             |
| 11. 必要ない             | 12. わからない               |
| 13. その他 ( )          |                         |

### 松阪市の都市機能※について

※都市機能とは、電気や水道の供給、交通手段の提供、行政機能、及び商業、教育、観光の場など、都市としての機能のこと。

問 68. 今後 20 年間の松阪市のまちづくりを進めるにあたり、次の各項目の重要度に関して、あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

		重 要 度				
		重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
1	市の人口を増やすこと	1	2	3	4	5
2	観光などで市外から訪れる人を増やすこと	1	2	3	4	5
3	空き家・空き地などの対策をおこなうこと	1	2	3	4	5
4	公共交通の利便性を高める交通ネットワークの再編を進めること	1	2	3	4	5
5	道路整備や駐車場整備など車社会に対応した整備をおこなうこと	1	2	3	4	5
6	住民協議会など地域が主体のまちづくりを進めること	1	2	3	4	5
7	環境問題へ配慮したまちづくりを進めること	1	2	3	4	5
8	松阪駅周辺の賑わいを向上させること	1	2	3	4	5
9	地域の拠点（鉄道駅や地域振興局、地区市民センター周辺等）に都市機能を充実させること	1	2	3	4	5
10	幹線道路沿いに都市機能を充実させること	1	2	3	4	5
11	企業誘致や産業振興を進め、雇用の場を確保すること	1	2	3	4	5
12	まちの景観を生かす取組を進めること	1	2	3	4	5
13	歴史的建造物など文化財の保存や活用をおこなうこと	1	2	3	4	5
14	中山間地域の集落を維持していくこと	1	2	3	4	5
15	家屋が密集した地域や狭あい道路の改善をおこなうこと	1	2	3	4	5
16	農地の保全や、農業従事者の確保を進めること	1	2	3	4	5

問 69. 松阪市に不足していると感じている施設、機能は何ですか。(○はいくつでも)

1. 学校、教育施設	2. 医療施設・介護福祉施設
3. 商業施設、ショッピングモール、デパートなど	4. 集合住宅（マンション）
5. 観光施設・文化交流施設	6. 働く場所（工場など）
7. 公園、広場、スポーツ施設	8. 公共交通機関
9. ホテル・宿泊施設、娯楽・レジャー施設	10. 災害時の避難所
11. その他（	）

問 70. お住まいの地域の鉄道駅や地域振興局、地区市民センター周辺等に必要な施設は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 医療施設	2. 老人ホーム、通所介護などの高齢者福祉施設
3. 食料品、日用品購入のための商業施設	4. 駐車場・駐輪場
5. 公民館、市民センターなどの集会施設	6. 公園、広場、緑地
7. 娯楽施設・スポーツ施設	8. 銀行、郵便局
9. 飲食店	10. 幼稚園、保育園、認定こども園
11. 小学校、中学校	12. 災害時の避難所
13. その他 ( )	

問 71. 自宅から徒歩10分圏内にある施設をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 医療施設	2. 老人ホーム、通所介護などの高齢者福祉施設
3. 食料品、日用品購入のための商業施設	4. 鉄道駅、バス停など公共交通機関の停留所
5. 公民館、市民センターなどの集会施設	6. 公園、広場、緑地
7. スポーツ施設	8. 銀行、郵便局
9. 飲食店	10. 幼稚園、保育園、認定こども園
11. 小学校、中学校	

問 72. あなたの外出状況(頻度)について①～⑤の目的ごとにお答えください。

①通勤・通学

1. ほぼ毎日	2. 週2～4日	3. 週1日
4. 月に2～3回	5. 月に1回	6. 年に数回以下(0回も含む)

②買い物

1. ほぼ毎日	2. 週2～4日	3. 週1日
4. 月に2～3回	5. 月に1回	6. 年に数回以下(0回も含む)

③通院・介護福祉施設への通所

1. ほぼ毎日	2. 週2～4日	3. 週1日
4. 月に2～3回	5. 月に1回	6. 年に数回以下(0回も含む)

④地域での活動

1. ほぼ毎日	2. 週2～4日	3. 週1日
4. 月に2～3回	5. 月に1回	6. 年に数回以下(0回も含む)

⑤飲食・レジャー

1. ほぼ毎日	2. 週2～4日	3. 週1日
4. 月に2～3回	5. 月に1回	6. 年に数回以下(0回も含む)

問 73. あなたの1日の平均歩行時間はどの程度ですか。

ウォーキングや運動を実施している方は、その時間も含めてお答えください。

(〇は1つだけ)

1. 15分未満	2. 15分～30分	3. 30分～1時間
4. 1時間～2時間	5. 2～3時間	6. 3時間以上

問 74. バスや電車をどれくらいの頻度で利用しますか。(通勤・通学を含む)

(〇は1つだけ)

1. ほぼ毎日	2. 週2～4日	3. 週1日
4. 月に2～3回	5. 月に1回	6. 年に数回以下(0回も含む)

問 75. 電車やバスなど、公共交通機関に乗るまでの待ち時間はどの程度であれば待ちますか。(〇は1つだけ)

1. 10分未満	2. 10分～30分	3. 30分～60分
4. 60分～90分	5. 90分以上	

問 76. 公共施設（市役所など）、商業施設等（スーパー、病院など）への移動について、自宅及び駅、バス停からの距離がどの程度であれば徒歩で移動をしようと思えますか。①～③の施設ごとにお答えください。

①医療・福祉施設

1. 徒歩1分～5分で移動可能な距離	2. 徒歩5分～10分で移動可能な距離
3. 徒歩10分～20分で移動可能な距離	4. 徒歩20分～30分で移動可能な距離
5. 徒歩30分～60分で移動可能な距離	6. 基本的に徒歩による移動は考えない

②商業施設

1. 徒歩1分～5分で移動可能な距離	2. 徒歩5分～10分で移動可能な距離
3. 徒歩10分～20分で移動可能な距離	4. 徒歩20分～30分で移動可能な距離
5. 徒歩30分～60分で移動可能な距離	6. 基本的に徒歩による移動は考えない

③集会所・公共施設

1. 徒歩1分～5分で移動可能な距離	2. 徒歩5分～10分で移動可能な距離
3. 徒歩10分～20分で移動可能な距離	4. 徒歩20分～30分で移動可能な距離
5. 徒歩30分～60分で移動可能な距離	6. 基本的に徒歩による移動は考えない

問 77. あなたは現在お住いの地域、住居に住み続けたいと思えますか。(〇は1つだけ)

1. 住み続けたい	→ 問 78 へ
2. 市内の他の場所へ移りたい	→ 問 79 へ
3. 市外、県外に移りたい	→ 問 79 へ
4. 特に考えていない	

◀問 77 で「1. 住み続けたい」とご回答いただいた方にお聞きいたします。(問 78 のみ)

問 78. その理由は何ですか。優先順位の高い順に3つまでお答えください。

回答欄	順位	1位	2位	3位
-----	----	----	----	----



- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 日常生活に必要な商業施設や医療施設があるから    |                      |
| 2. 鉄道やバスなど公共交通機関の利用に便利な場所だから |                      |
| 3. 幼稚園や保育園、学校が近くにあり、よい環境だから  |                      |
| 4. 自分（もしくは親族）の家、土地であるから      |                      |
| 5. 通勤、通学に便利な場所だから            | 6. 家族、親戚が近くに居住しているから |
| 7. 災害等の危険性が低い場所であるから         | 8. 治安が良いから           |
| 9. 幹線道路へ出やすい環境だから            | 10. 道路、公園が整っているから    |
| 11. 自然環境に恵まれているから            | 12. 長く同じ場所で生活しているから  |
| 13. 新たな場所での生活は不安だから          | 14. 知人が多いから          |

◀問 77 で「2」「3」とご回答いただいた方にお聞きいたします。▶ (問 79 のみ)

問 79. その理由は何ですか。優先順位の高い順に3つお答えください。

回答欄	順位	1位	2位	3位
-----	----	----	----	----



- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 日常生活に必要な商業施設や医療施設が整っていないから |                       |
| 2. 鉄道やバスなど公共交通機関の利用に不便な場所だから  |                       |
| 3. 幼稚園や保育園、学校まで遠いから           | 4. 自分の家、土地の購入を考えているから |
| 5. 通勤、通学に不便だから                | 6. 家族、親戚の近くで居住したいから   |
| 7. 災害等の危険性が高い場所であるから          | 8. 治安が良くないから          |
| 9. 幹線道路へ出づらい環境だから             | 10. 道路、公園が整っていないから    |
| 11. 自然環境が少ないから                |                       |

## 広報について

問 80. 松阪市の情報を主にどのような方法で得ていますか。(〇は3つまで)

- |                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| 1. テレビ                       | 2. ラジオ          |
| 3. 新聞                        | 4. 松阪市ホームページ    |
| 5. SNS (Facebook、Twitter など) | 6. 行政情報番組 (テレビ) |
| 7. 広報まつさか                    | 8. 自治会などの回覧     |
| 9. ポスター・チラシ                  | 10. その他 ( )     |

問 81. 広報まつさかを読んでいますか。(〇は1つだけ)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 毎月読んでいる | 2. 大体読んでいる  |
| 3. 時々読む    | 4. ほとんど読まない |

問 82. 広報まつさかのよく読む記事を次のうちから選んでください。(〇はいくつでも)

- |              |            |            |
|--------------|------------|------------|
| 1. 特集        | 2. 観光情報    | 3. 制度の説明   |
| 4. イベント・講座案内 | 5. まちのできごと | 6. 健康情報・相談 |
| 7. 子育て情報     | 8. 文化情報    | 9. その他 ( ) |

問 83. どのような記事や情報があると読みたいと思いますか。ご自由にお書きください。

--

問 84. 松阪市ホームページを利用していますか。(〇は1つだけ)

- |          |            |          |
|----------|------------|----------|
| 1. ほぼ毎日  | 2. 週1回以上   | 3. 月1回以上 |
| 4. 年1回以上 | 5. 見たことがない |          |

問 85. 松阪市ホームページを利用する目的は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 戸籍、住民票、税金などの手続きについて調べるため |
| 2. 市政について調べるため              |
| 3. 催し・観光情報を調べるため            |
| 4. 公共施設について調べるため            |
| 5. 入札・契約情報について調べるため         |
| 6. その他 ( )                  |

問 86. 行政チャンネル (123ch) をご覧になったことはありますか。(〇は1つだけ)

- |          |            |          |
|----------|------------|----------|
| 1. ほぼ毎日  | 2. 週1回以上   | 3. 月1回以上 |
| 4. 必要なとき | 5. 見たことがない |          |

問 87. ご覧になった番組をお聞かせください。(〇はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. アイウエーブまつさか (行政情報・地域情報など) |
| 2. 特集 (松阪歴史探訪・いきいき健康情報など)   |
| 3. 特別番組 (竹上市長の〇〇な話、講演会など)   |
| 4. 市長定例記者会見                 |
| 5. 市議会放送                    |
| 6. その他 ( )                  |

問 88. 行政チャンネルでどんな番組や情報があれば視聴したいと思いますか。

(〇はいくつでも)

- |                |               |            |
|----------------|---------------|------------|
| 1. 自治会、住民協議会情報 | 2. イベント・講座情報  | 3. 子育て情報   |
| 4. 文化情報        | 5. 市役所の業務内容紹介 | 6. まちのできごと |
| 7. 各種手続き・行政情報  | 8. その他 ( )    |            |

問 89. 番組に対するご意見があれば、ご自由にお書きください。

--



**市職員に対する市民の満足度について**

問 92. この1年間で市職員に接したことはありますか。(〇は1つだけ)

(市役所内のみではなく、市民懇談会等地元で会うのも含めます)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 93. 職員の基本マナーについてどう思いますか。(〇は1つだけ)

(例：あいさつ、身だしなみ、態度、動作)

- |         |         |        |
|---------|---------|--------|
| 1. 良い   | 2. やや良い | 3. ふつう |
| 4. やや悪い | 5. 悪い   |        |

問 94. 職員の話し方、聞き方についてどう思いますか。(〇は1つだけ)

(例：言葉づかい、敬語、表情、返事、相づち、電話対応)

- |         |         |        |
|---------|---------|--------|
| 1. 良い   | 2. やや良い | 3. ふつう |
| 4. やや悪い | 5. 悪い   |        |

問 95. 職員の説明についてどう思いますか。(〇は1つだけ)

(例：説明の分かりやすさ、内容確認の仕方)

- |         |         |        |
|---------|---------|--------|
| 1. 良い   | 2. やや良い | 3. ふつう |
| 4. やや悪い | 5. 悪い   |        |

問 96. 職員の対応時間についてどう思いますか。(〇は1つだけ)

(例：迅速さ、たらい回し、用件完了までの時間)

- |         |         |        |
|---------|---------|--------|
| 1. 満足   | 2. やや満足 | 3. ふつう |
| 4. やや不満 | 5. 不満   |        |

問 97. より良い市民サービスを提供する上で、職員が改善すべき点は何だと思いませんか。

(〇は3つまで)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. あいさつ         | 2. 身だしなみ      |
| 3. 態度・動作        | 4. 言葉づかい      |
| 5. 表情           | 6. 電話対応       |
| 7. 説明・用語の分かりやすさ | 8. 対応の迅速さ     |
| 9. たらい回し        | 10. 用件完了までの時間 |
| 11. その他 ( )     |               |

問 98. 市職員の対応に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。

--

最後に 市政に対するご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。


同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

7月25日(火)までに、郵便ポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

平成29年11月

松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町1340番地1

TEL 0598-53-4319

FAX 0598-22-1377

E-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp